



Cayenne

Good to know - 取扱説明書



Porsche, Porsche Crest, Cayenne, PCCB, PCM, PDK, PSM, PTM, Tequipment および他の商標は Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG からの文書による許可がない限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

装備品

ボルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準の同梱部品または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装着品が Porsche に装備されている場合、Porsche 正規販売店がその装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル マーク

この説明書には様々な警告およびシンボル マークが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度のケガまたは軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度のケガまたは軽傷を負う可能性があります。

知識

車両が損傷する可能性

「知識」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。



インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件。

▶ お守りいただく必要のある指示。

1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

1. タッチ ディスプレイに関してお守りいただく必要のある指示です。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル



危険

助手席のチャイルドシート

チャイルドシートが助手席に取り付けられている場合、エアバッグが作動した際に重傷または致命傷を負う危険があります。

▶ お子様にケガや死亡の危険があるため、フロントエアバッグが有効になっている状態で、後ろ向きチャイルドシートを助手席で絶対に使用しないでください。

▶ 「チャイルドシート」の章（160ページ）を参照してください。



マニュアルの構成

取扱説明書 – デジタル



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式で入手可能です。

▷ 3ページ

実用的なヒント



新機能についての補足情報をご覧ください。

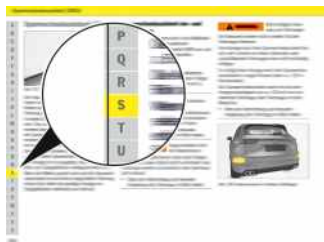
▷ 27ページ以降

目次



概要を把握し、確認したいトピックを探すことができます。

50 音順トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

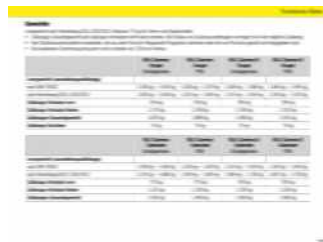
安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 5ページ以降

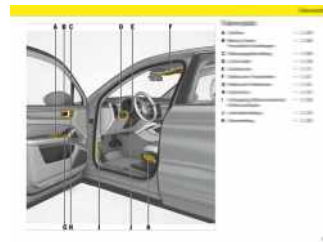
テクニカル データ



特定の図を検索してください。

▷ 295ページ以降

概要



部品やコントロールについて十分に理解してください。

▷ 20ページ以降

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

取扱説明書 – デジタル

お客様の車両についての詳しい情報はオンボード車両取扱説明書をご覧ください。

オンボード



取扱説明書はボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の下記で確認できます:

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ マニュアル

目次

安全性とドライビング・プレジャー	5	エアサスペンションおよびレベルコントロール システム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	58	ナビゲーションおよび接続	
外観図		エンジンの始動および停止	67	Apple CarPlay	281
エンジン コンパートメント フィラー開口	25	オフロード ドライビング プログラム	70	デバイス マネージャー	169
オーバーヘッド コンソール	22	オフロード 走行	71	ナビゲーション	179
コントロール パネル	21	オンロード ドライビング プログラム	75	ボルシェ コネクト	226
ボルシェ アドバンスド コックピット	19	オート スタート/ストップ機能	68	ラゲッジおよびトランスポート	
リアのエアコン コントロール パネル	24	クルーズ コントロール	83	カップ ホルダー	78
後部座席	23	スピード リミッター	126	スモーカーズ パッケージ	131
運転席	20	スポーツ クロノ ストップウォッチ	128	ラゲッジ コンパートメント	251
使用上のヒント		トランスミッション	171	ルーフ トランスポート システム	268
実用的なヒント	27	ナイト ビュー アシスト	177	収納スペース	146
開閉操作とロック		ハイブリッド車両	184	電気ソケット	176
ウィンドウ	46	パークアシスト	193	モビリティおよび故障修理	
キー	79	フロント ワイパー	212	けん引	85
セントラル ロッキング	132	ブレーキ	208	ウィンドウ オッシャー	49
ボンネット	240	ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	222	エンジン オイル	63
リヤ リッド	260	ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)	223	クーラント (冷却水)	81
ルーフ システム	264	ボルシェ ヒル コントロール (PHC)	238	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム	121
警報システム	111	ライト	246	ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	123
エアコンおよび人間工学		リヤ スポイラー	259	タイヤおよびホイール	152
エアコン システム (2-/4- ゾーン エアコン)	50	ルーフ スポイラー	267	テスト スタンドでの点検	168
エアバック システム	61	レーン キープ アシスト	273	バッテリー	187
サンバイザー	112	レーン チェンジ アシスト (LCA)	276	パンク	190
シート	113	インストルメント クラスタおよびPCM		ヒューズ	203
シート ベルト	119	インストルメント クラスタ	37	ブレーキ液	211
ステアリングホイール	125	ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170	充電	147
チャイルド シート	160	ヘッドアップ ディスプレイ	216	給油	88
パーソナル設定	201	ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)	230	緊急電話システム	286
ミラー	242	警告およびインフォメーション メッセージ	91	車両のお手入れ	139
運転およびドライバー アシスタントシステム		車両設定	144	テクニカル データ	
HOLD 機能: 停止制御	283	エンターテインメントおよびコミュニケーション		テクニカル データ	295
OFFにする	284	ボイス コントロール	217	無線装置 (EU の地域外)	308
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)	30	メディア	244	索引	314
インテリア ライト	44	携帯電話	288		

ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上

ポルシェ車は、最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇ります。魅惑的な経験 - 間違いありません。更にはどのような状況でも安全性を提供します。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

ここで、ポルシェ運転中の安全性を保証する自らの役割を知ることができます。

完璧なテクノロジー、安全性の前提条件

高品質な素材とスタッフの優れた技術でお客様の車両を末永く見守ります。車両の能力を十分に発揮させるためには、注意とケアが必要です。ポルシェにお任せいただければ、重大な局面でもお客様の信頼に応えることをお約束いたします。

車両の損傷および正常な動作の点検



技術的な不具合が生じている車両は、不良な作動挙動などにより事故を招く恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し [少なくとも 1 カ月に 1 度および長時間のドライブの前]、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください:
 - タイヤに損傷がない、空気圧が適正でトレッドの深さが十分ある
 - ヘッドライト、ブレーキ ライト、および方向指示器がすべて作動する

- エアロ パーツに損傷がない
- ワイパー ブレードに損傷がない
- ガラスのひび割れまたは損傷がなく、フロントガラス / ウィンドウが妨げられていない
- ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
- センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
- クーリング エア ダクト、センサーおよびカメラが妨げられていない (フィルム、ストーン ガード、ライセンス プレート ホルダーなどで)
- ▶ 車両内の電話やラジオ アンテナを装備した無線機器は、接続済みの外部アンテナを使用して作動させ、車両内の電磁波のしきい値が超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも 1 カ月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがなければ確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤはただちに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

い。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
 - ▷ 「テクニカル データ」の章 (295 ページ) を参照してください。
 - ▷ 「タイヤ空気圧」の章 (302 ページ) を参照してください。
- ▶ マルチファンクション ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
 - ▷ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。
- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント クラスタに表示されるとき、直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。必要に応じてバンク修理剤で応急処置を行ってください。

ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上

- ▶ 「バンク」の章（190ページ）を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、視界不良の際にお客様の車両が暗くなり見えにくくなります。他の道路使用者に気付かれるのが遅れ、事故の危険が増大する恐れがあります。以下のライト類を点検してください：

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム、方向指示器
- ブレーキおよびリパースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライトが正常に機能していることを確認し、故障したライトは直ちに修理してください。

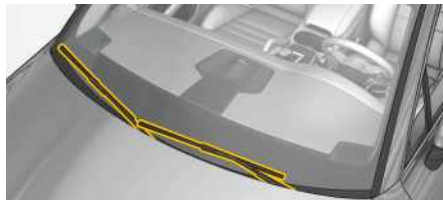
エアロ パーツの点検



エアロ パーツ（スポイラーまたはアンダーボディ パネル）が損傷または紛失しているとハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

ウインドウおよびワイパー ブレードを清潔に保ち正常に機能するようにしてください



フロントガラス、ウインドウが汚れていたり、ワイパー ブレードが故障していたりすると、視界が悪くなり事故の危険が著しく増大します。

- ▶ 車両およびフロントガラス / ウインドウはきれいな状態を保ってください。
- ▶ 凍結したワイパー ブレードは溶かし、フロントガラスから動くようにします。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントガラスに筋が残るようなら交換します。
 - ▶ 「ワイパー ブレード」の章（214ページ）を参照してください。

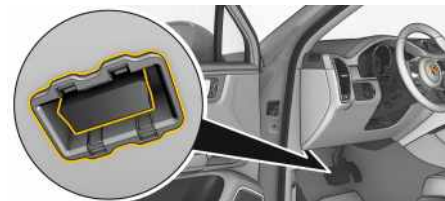
点検および仕様変更は、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。



車両の仕様を変更すると、悪影響が及んだり安全機能を無効にしたりする恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべての点検および仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、車両の不完全な整備の結果として生じる損傷を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



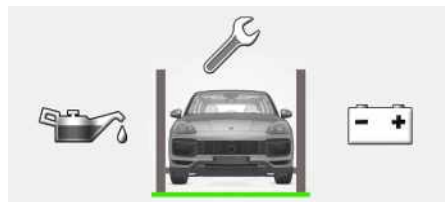
故障診断用ソケットは、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションを OFF にしたときにバッテリーを消耗させ

たり損傷 (完全放電) させたりする恐れがあります。外部装置やケーブルはペダル周辺で邪魔になったり、ブレーキを踏んだ時や方向転換をした時にペダルに引っ掛かったりする恐れがあります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ いかなる装置やケーブルも運転席フットウェルに置かないでください。

ボルシェのスペア パーツ



- ▶ お客様の車両専用のボルシェ純正スペア パーツ、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、車両の不完全な整備の結果として生じる損傷を防ぐことができます。これらの部品はボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ テクニクメントの範囲またはボルシェが検査し認定したアクセサリーのみ使用してください。ボルシェテクニクメントについての情報は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

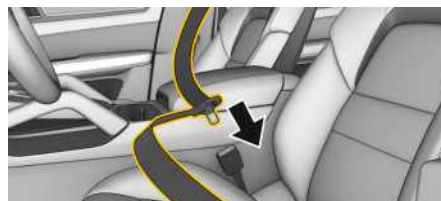
他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ボルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ボルシェ ドライバーへの注意事項

ボルシェ車は、100km/h (60 mph) までわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの適切な着用



シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合のみ乗員保護効果を発揮します。

インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備は、組み合わせさせて機能する場合にのみ、乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも正しく着用している場合にのみ保護機能が正常に働きます。

- ▶ 短い距離だとしても、シートベルトを常時しっかりと固定します。
- ▶ 1つのシートベルトは、1人の占有者だけを保護するために使用してください。
- ▶ 厚手の衣類 (例: コート) は脱いでください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください (例: メガネまたはボールペン)
- ▶ シートベルトをねじらないでください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊婦の場合：妊娠している運転手または乗客は、ラップベルトを腹部の下、ショルダーベルトを胸の上で締めます。
- ▶ 劣化または破損した場合、ベルト、ベルトバックルまたは接続箇所を交換してください。
 - ▷ 「シートベルト」の章 (119ページ) を参照してください。

エアバッグ システム



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグシステムは

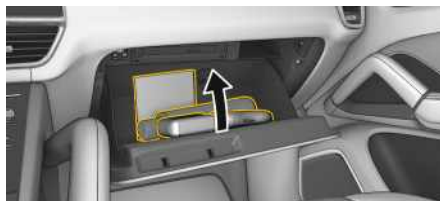
保護効果を発揮します。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 占有者とエアバッグが展開する範囲の間に、人、動物、または障害物がないことを確認してください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

- ▶ シートカバーを使用しないでください。
- ▶ ハンドルまたはエアバッグ周辺に、付加的な装飾またはステッカーを付けしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品 (例: ステアリングホイール、フロント シート、ルーフ トリムなど) は取り外さないでください。
- ▶ エアバッグ システムの配線や構成部品を改造しないでください。
 - ▷ 「エアバック システム」の章 (61ページ) を参照してください。

パッセンジャー コンパートメントのすべての荷物の固定



パッセンジャー コンパートメント内で安全にまたは適切に配置されていない負荷は、ブレーキ、加速、方向転換、または事故の結果としてスライドすることがあります。これにより、乗員に危険が及んだりケガを負わせる恐れがあります。

i インフォメーション

例えば、50 km/h (30 mph) で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。例えば、1.5 L のペットボトルの水が室内を飛んだ場合、最大 75 kg の力がかかります。

- ▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ コンパートメントやルーフ トランスポート システムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。

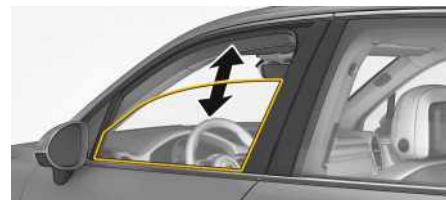
い。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。

- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバーの上またはダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ タイダウン ベルトで荷物を固定してください (ベルトの強度は最低でも 700kg のものを使用)。
- ▶ カバーのないストレージ コンパートメントで重い物体を移送しないでください。
- ▶ さらに、乗員に安全対策に関するすべての情報を提供してください。

荷物の適切な運搬および収納については：

- ▶ 「収納スペース」の章 (146ページ) を参照してください。
- ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章 (251ページ) を参照してください。

挟み込みの防止



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、身体の一部が巻き込まれたりまたはケガをする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラー ヒッチ
- フラップ、リッド、ルーフ、スポイラー
- ストレージ コンパートメントの蓋

- ▶ これらの車両構成部分を稼働する場合、人または動物が稼働範囲内にいないことを確認してください。

お子様の振る舞いの監督



お子様は危険を正確に判断できないことがあり、危険な状況で不適切に行動する可能性があります。

お子様が自動設定 (例: シート調整など) を誤って作動させ、ケガをする恐れがあります。緊急時にお子様を外に脱出することができない可能性があります (例: オーバーヒートした車内)。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ▶ 高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください (例: エキゾースト テールパイプなど)。
- ▶ 有害物質 (例: タイヤ シーラント、エンジン オイルなど) は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド シート システムを安全に使用



チャイルド シート システムは、正しく装備された場合にのみ動作します。

- ▶ ボルシェによって承認されているチャイルド シート システムのみを使用してください。
- ▶ チャイルド シート システムを使用する前に、本マニュアルに加え、チャイルド シート システムのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
 - ▷ 「チャイルド シート」の章 (160ページ) を参照してください。

安全で優れたドライビング: いつでも適切な判断力を発揮

ボルシェはオールラウンダーな車です。パフォーマン ス スタート機能から緊急ブレーキ機能まで、この車で走り出せば、すべてが可能になります。とはいえ、1日の終わりに車両を正常な状態に保っておくことは、ユーザーの責任です。

注意力の低下を防ぐ



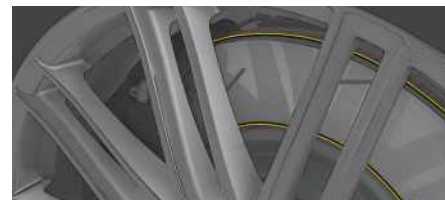
運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。シートやステアリング ホイールが必要以上に移動する可能性があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、およびステアリング ホイールの位置は、発進前に適切な位置に設定してください。
- ▶ マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの運転中の使用

は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。

- ▶ 運転席からリヤのタッチ ディスプレイの操作を行わないでください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキ ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。このようにすると腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（152ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転を続け、不具合の修理を受けてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。慎重に運転してタイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンター タイヤでの走行

ウィンター タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

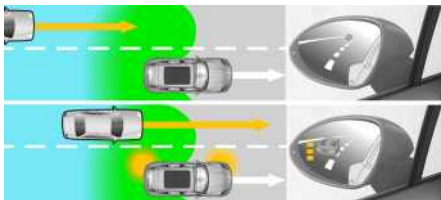
- ▶ 装着しているタイヤの最高許容速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメント クラスタで最高許容速度を制限速度として設定します：
 - ▶ 「インストルメント クラスタ」の章（37 ページ）を参照してください。

サマー タイヤでの走行

外気温が 15 °C 未満のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が 7 °C を下回る場合、ウィンター タイヤに交換してください。

アシスタント システムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるドライバー アシスタント システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、これらのシステムがあるからといって無謀な運転はしないでください。ドライバー アシスタント システムは、不適切

な運転スタイルによる事故の危険性を低減することとはできません。

- ▶ ドライバー アシスタント システムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。周囲の交通状況に適切に反応できるよう、慎重に運転してください。
- ▶ 使用する前に、アシスタント システムについて十分に理解してください。

ドライバー アシスタント システムの概要は次の通りです：

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)	▶ p. 30
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	▶ p. 284
ボルシェ ヒル コントロール (PHC)	▶ p. 238
スピード リミッター (LIM)	▶ p. 126
HOLD 機能	▶ p. 283
オートマチック ヘッドライト、PDLS、PDLS プラス、ダイナミック ハイ ビーム	▶ p. 246
ナイト ビュー アシスト	▶ p. 177
パークアシスト、リバース カメラ、サラウンド ビュー、アクティブ パーキング サポート、操作アシスト、リヤクロストラフィックアラート (RCTA)、降車警告 (EW)	▶ p. 193
ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)	▶ p. 223
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	▶ p. 222 ▶ p. 58

OFFにする ▶ p. 284

ボルシェ トルクベクトリング プラ
ス(PTV Plus)

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) ▶ p. 37

レーン キープ アシスト ▶ p. 273

クルーズ コントロール (CC) ▶ p. 83

緊急ブレーキ機能

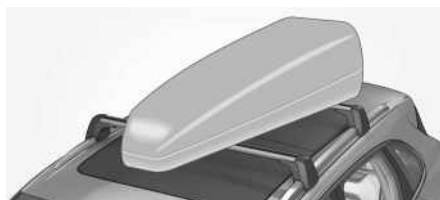


通常のフットブレーキが故障している場合などは、電動パーキングブレーキを使用してフルブレーキをかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時のみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ (E) を引き、引いたままにしてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
 - ▶ 「ブレーキ」の章 (208ページ) を参照してください。

荷物積載時の運転



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量や最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して走行する前に、本書の以下のセクションをお読みください：
 - ▶ 「ルーフトランスポートシステム」の章 (268ページ) を参照してください。

オフロード走行



オフロードを走行する場合、事故やケガ、車両の破損を防止するため、慎重に運転してください。

- ▶ 凹凸、盛土、斜面、坂などで転覆しないように注意してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、流れの速さ、底の状態、水の深さを確認してください。
- ▶ 障害物を越えるとき、車両の地上高を必ず点検してください。
- ▶ 「オフロードドライビングプログラム」の章 (70ページ) を参照してください。

パフォーマンススタートを使用した発進



パフォーマンススタート機能が作動している状態で発進すると、車両は急加速します。特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が

確保できる場合に限ってパフォーマンス スタートを使用してください。

- ▶ 他の通行者を危険にさらす状況ではパフォーマンス スタートを使用しないでください。
 - ▷ 「トランスミッション」の章（171ページ）を参照してください。
- ▶ スポーツ エキゾースト システムを排気音最適化モードに切り替え、非常にスポーティーなドライビングスタイルをすると、騒音レベルが大幅に増加します。そのため、社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください（特に夜間）。

警告音への適切な反応



センサーが故障または不良部品を検知すると、警告灯の点灯またはメッセージでドライバーに警告します。車両の警告音を無視すると、事故やケガの恐れが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるよう、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要に応じて走行を停止してください。
 - ▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（91ページ）を参照してください。
 - ▷ 「インストルメント クラスタ」の章（37ページ）を参照してください。

給油時の危険



燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり爆発を起こしたりする可能性があります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 給油の際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
 - ▷ 「給油」の章（88ページ）を参照してください。

事故の際、車内に置いたスペアのキャニスターが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ スペアのキャニスターは車内に携行しないようにしてください。

有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンおよびトランスミッションオイル、バッテリー液、クーラント、およびブレーキフルードも人体には有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ フルードのコンテナには必ず適切なラベルを貼付し、子どもの手の届かないところに保管してください。
- ▶ フルードの残留物の廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジン オイルは発火する可能性があります。十分に換気されていない場所に保管されたエンジン オイルや、エンジン オイルの残りが付着したまま廃棄された布は、自然発火して火災の原因となる恐れがあります。

- ▶ 飛散したエンジン オイルは布で拭き取ってください。
- ▶ エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで十分に換気されている場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- ▶ 停車時はエンジンを切ってください。閉鎖された空間では、不必要にエンジンを作動したままの状態にしないでください。
- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください：

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。インストルメント クラスタで作動モード P が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。セレクト

ター レバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。
イグニッションが OFF になると、トランスミッション パーキング ロックが自動的にかかります。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。

- ▶ 可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に立つときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ 子供がテール パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合に備えて: 故障および緊急時の安全確保

故障時には、安全のため以下の情報に注意してください。

緊急時はボイス コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用 しないでください。

車両で作業する際の注意事項

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷防止用の手袋など) を着用する必要があります。

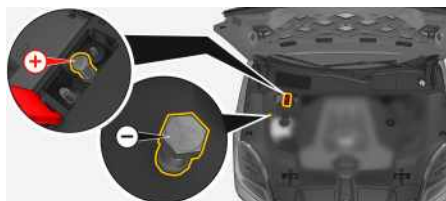
- ▶ 車両の作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と純正部品、専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバーには圧力がかかっています。ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリなどは、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラント リザーバーを開けないでください。

ジャンパー ケーブルによる始動



不適切なジャンパー ケーブルまたは不正な始動手順は、短絡の原因となり火災が発生する可能性があります。

さらに、自動的に始動する部品 (ラジエーター ファンなど) により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。

ジャンプ スタートを提供または受ける前に:

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章 (123ページ) を参照してください。

けん引



けん引または押しがけによる始動が原因で、車両に重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は **しない** ください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に:
 - ▷ 「けん引」の章 (85ページ) を参照してください。

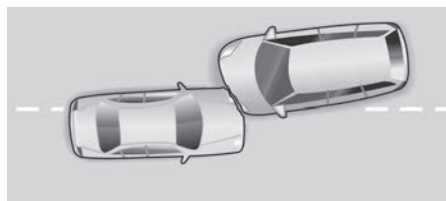
パンク



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行 **しない** ください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
 - ▷ 「パンク」の章 (190ページ) を参照してください。

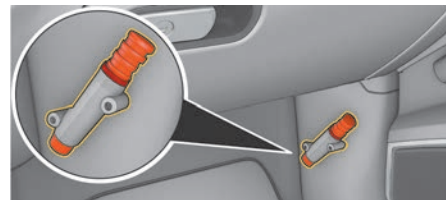
衝突後



衝突後は、安全装備 [例: シートベルト プリテンショナー およびエアバッグ] が作動しない場合があります。これにより、安全装置により保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装置は取り替えてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発炎筒



発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

⚠ 警告

火傷や火災につながる恐れがあります。

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様さがわからないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります。

⚠ 注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります。

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザードランプを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外します。本体をひねりながら、ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5 分間です。
- ▶ 発炎筒には有効期限があります。表示して ある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒 に交換してください。ボルシェ正規販売店 にお問い合わせください。

発進前: 車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 km に達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください:

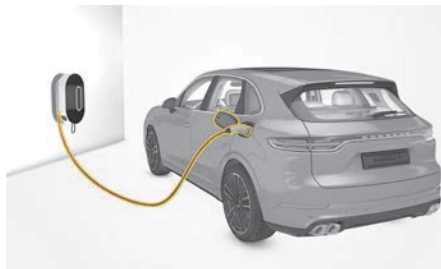
- ▶ なるべく長距離走行をする。可能な限り、冷えた状態での発進、短距離走行を繰り返さないようにする。
- ▶ モーター レース イベント、スポーツ ドライビング スクール、またはこれに類似したものに参加しない。
- ▶ エンジン回転数が4,000 rpm を超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ パッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクが「慣らされる」ことになり、そうすることで初めて最適な摩擦に到達します。ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキ ペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキ パッドまたはブレーキ ディスクを交換した場合もこれと同じ状況になります。

E-ハイブリッド車の特徴について



電気システム

高電圧車両電気システムシステムの電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクスまたはエアコンコンプレッサーに触れると致命的な感電を引き起こすことがあります。

ハイブリッド システムのすべての構成部品は、警告ステッカーでマーキングされています。高電圧ケーブルはオレンジ色です。

- ▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクスまたはエアコンコンプレッサーの作業は実施しないでください。
- ▶ オレンジ色の高電圧ケーブルを損傷したり、高電圧車両電気システムから取り外したり、切り離したりしないでください。
- ▶ 事故の後など、損傷したハイブリッド システムの部品に触れないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーを取り外さないでください。

認知されにくい状況

電動走行時は、内燃エンジンを使用するときより車両の走行音が大幅に減少します。交通静化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者には車両の音が聞こえないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。

ハイブリッド システムの緊急スイッチ OFF

i インフォメーション

事故後の迅速で安全なレスキュー措置または復旧を確実にするため、「e-hybrid」ロゴを取り外さないでください。

ハイブリッドシステムを危険な高電圧状態から保護するため、次のような状況では自動的にスイッチが OFF になります。

- シート ベルト プリテンショナーまたはエアバッグ が作動するような事故。
- ハイブリッド システムに短絡が検出された場合。
- ハイブリッド システムのコネクターが切り離された場合。

ハイブリッド システムの緊急スイッチ OFF が作動すると車両を始動できません。

- ▶ ご自身では絶対にハイブリッド システムを再起動しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

レース サーキット走行前



公道走行時に比べて、レース サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。これには、各レース サーキットセッション後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レース サーキットで走行する前に最新の規約について必ず確認してください。ポルシェ正規販売店にお尋ねください。

ブレーキ システム

ブレーキ液は時間とともに空気から湿気を吸収します。この水分吸収が沸点を下げ、高温でのブレーキ効率を大幅に低下させる可能性があります。

レース サーキット走行時、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ ブレーキ液が 12 か月以上経過している場合、レー

ス サーキット走行前にブレーキ液を交換してください。

- ▶ レース サーキット走行の前後に、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

レース サーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レース サーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤを装着しないでください。ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

エンジン オイル

- ▶ レース サーキット走行の前にエンジン オイルを最大のマーク位置まで補充します。
- ▶ レース サーキット走行の前後に、エンジン オイルレベルを確認します。
 - ▶ 「インストールメント クラスター」の章 (37 ページ) を参照してください。
 - ▶ 「エンジン オイル」の章 (63 ページ) を参照してください。

海外での走行の前に



ポルシェのすべてのモデルがすべての国で販売されているわけではありません。そのため、スペア パーツが利用できないかもしれません。ポルシェ正規販売店がすべての修理作業を実施できないかもしれません。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？

- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？
- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。

車両のデータ処理



車両には電子コントロールユニットが取り付けられています。車両の安全上必要なものもあれば、走行時にアシストするもの (ドライバーステアリングアシストシステム) もあります。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

車両には固有の車両番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両から収集されたデータをもとに所有者またはドライバーをさかのぼって追跡する他の方法もあります (例: 車両のライセンス プレートの使用)。

車両のテクニカル データの保存

電子コントロールユニットには、車両ステータス、構成部品の負荷、サービス要件、イベントまたは故障に関する技術的な情報を一時的または恒久的に保存できるデータ メモリーがあります。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例: 給油レベル)

- 車両および個々の構成部品 (例: ホイール回転数、速度、減速、横加[速度] に関するステータス メッセージ)
- 重要なシステム構成部品の故障 (例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例: エアバッグの展開、スタビリティ コントロール システムの作動)
- 環境要因 (例: 温度)

このデータは、コントロールユニットが実際に機能するために使用され、さらに故障の検出、修理、メーカーによる車両機能の最適化にも使用されます。このデータの大半は蓄積されることなく、車両内でのみ処理されます。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカル データの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にローカルでのみ保存されたデータを読み出すことができます。個々の場合および法規制を順守するために、ボルシェはメーカーとして、政府機関の要請に応じてメーカーによって保存されたデータを公開する必要がある場合があります (違反の調査など)。

車両の整備時、サービス ネットワーク作業者 (例: ワークショップ、ロード サービス、メーカー) は、車両からこの技術な情報を読み出すことになります。サービスには、修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準などが含まれます。データは、法的に規定された接続を使用して車両の OBD (オンボード診断) 用読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質の向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよび

イベント メモリーは、修理またはサービス作業の際に修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよびアドレス帳データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例: 携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドはマルチメディア システムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは装備品のタイプにより異なりますが、一般的な車両情報または位置データなどを含みます。これにより、ナビゲーション システムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの能動的なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティングシステムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

オンライン サービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (携帯電話など) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。ワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これ

にはボルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。

ボルシェ オンライン サービスでは、様々な機能が適切な場所 (例: Porsche Connect ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。個人データはオンライン サービス提供のために使用されることがあります。必要なデータ交換は保護された接続を経由して行われます。この目的でボルシェ IT システムなどが構築されています。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

通常、サービス (有料の場合が多い) や機能を、場合によっては車両のデータ接続全体を、有効または無効にできます。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

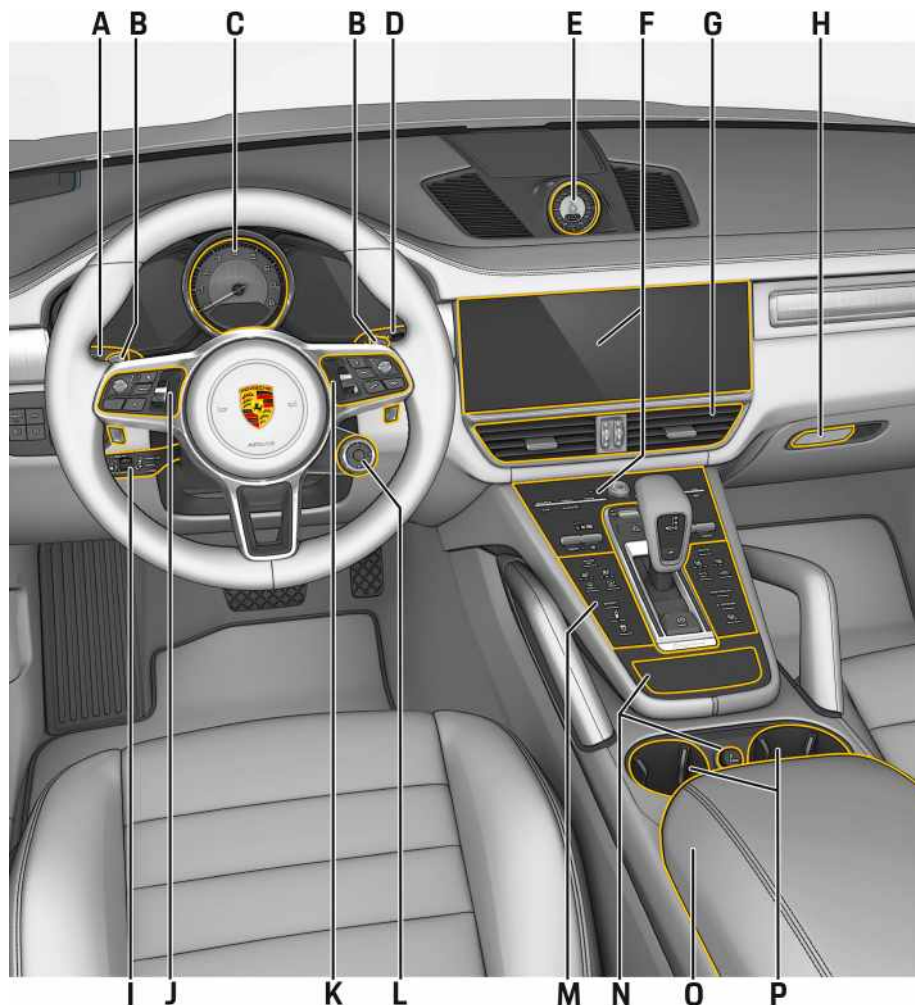
他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにはオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。この場合、ボルシェはデータ交換に何の干渉もしません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの種類の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

概観図

以下のページでは、車両のすべての部位の外観図が、簡単な説明文とともに表示されます。詳細な情報は関連ページでご確認いただけます。

ポルシェ アドバンスド コックピット

- A 方向指示灯およびハイビームヘッドライト▷ p. 246
- B ティフトロニック S シフトパドル▷ p. 172
- C インストルメントパネル▷ p. 37
- D フロントウィンドウワイパー▷ p. 212
- E スポーツクロノストップウォッチ▷ p. 128
- F ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM)▷ p. 230
- G エアベント▷ p. 53
- H グローブボックス▷ p. 146
- I クルーズコントロール▷ p. 83
- スピードリミッター▷ p. 126
- アダプティブクルーズコントロール (ACC)▷ p. 30
- レーンキープアシスト▷ p. 273
- ポルシェヒルコントロール (PHC)▷ p. 238
- J 電話コントロール、「速度 & アシスト機能」ディスプレイ▷ p. 39
- K 電話コントロール、「車両 & 情報」ディスプレイ▷ p. 39
- L モードスイッチ▷ p. 75
- M コントロールパネル▷ p. 21
- N 灰皿、シガーライター▷ p. 131
- O アームレスト、小物入れ▷ p. 78
- P ドリンクホルダー▷ p. 78



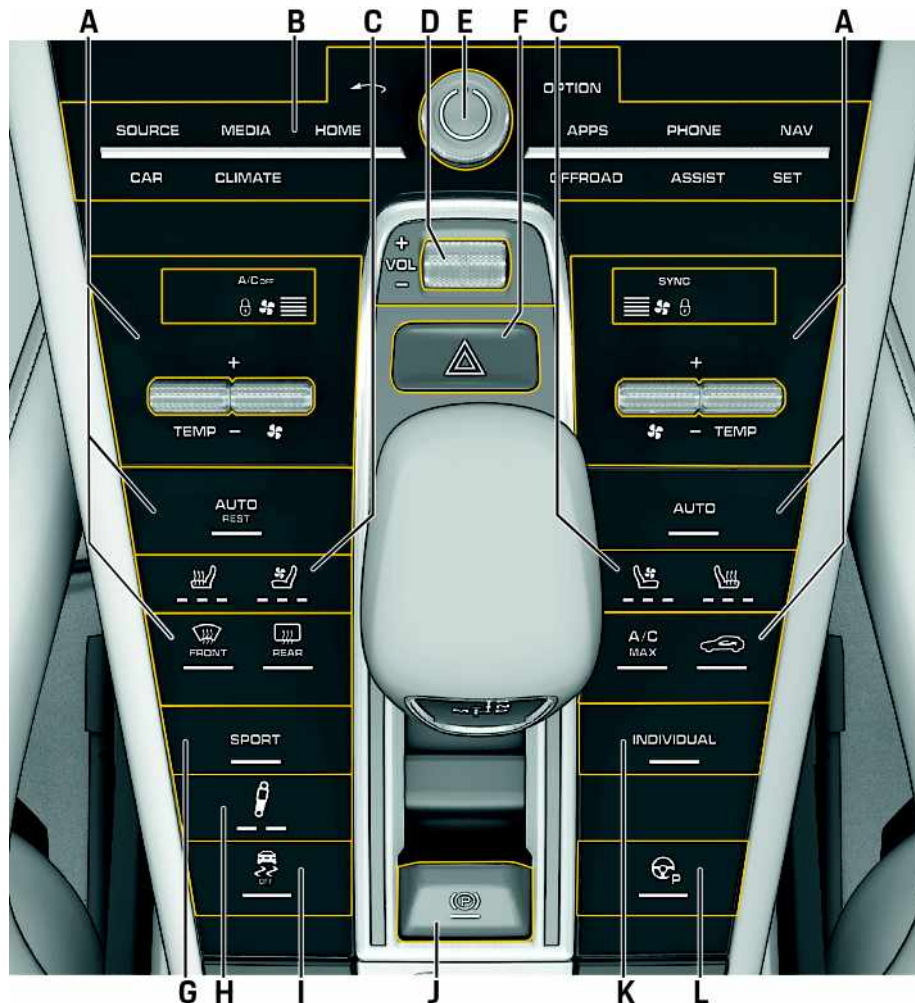


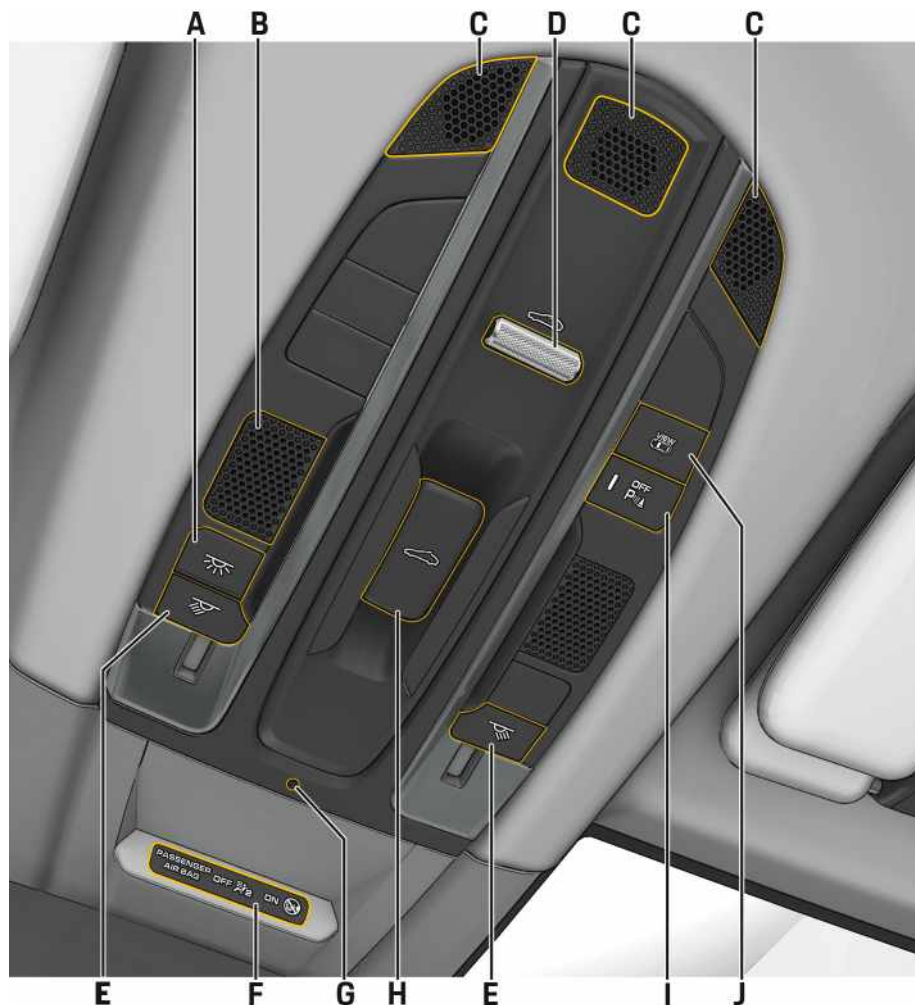
運転席

- A パワー ウィンドウおよびリヤリッド ▶ p. 46
- B ドア オープナー
- C パーソナル設定用メモリー ボタン ▶ p. 201
- D ライト コントロール パネル ▶ p. 246
- E イグニッションロック、ステアリング ロック ▶ p. 67
- F オーバーヘッド コンソール ▶ p. 22
- G ドア ミラーの調整 ▶ p. 242
- H セントラル ロック ▶ p. 132
- I ボンネット リリース ▶ p. 240
- J ステアリング ホイール調節 ▶ p. 125
- K シート調節 ▶ p. 113

コントロール パネル

- A エアコン システム ▶ p. 50
- B ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ▶ p. 230
- C シート ヒーター、シート ベンチレーター ▶ p. 117
- D ボリューム スイッチ、ミュート ▶ p. 230
- E ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作 用) ▶ p. 230
- F ハザード ライト ▶ p. 246
- G スポーツ モード ▶ p. 75
- H ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) ▶ p. 58
- I ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) ▶ p. 284
- J エレクトリック パーキング ブレーキ ▶ p. 208
- K 個別モード ▶ p. 75
- L アクティブ パーキング サポート ▶ p. 193





オーバーヘッド コンソール

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------|
| A | インテリア ライト | ▷ | p. 44 |
| B | ハンズフリー マイク | | |
| C | 車内モニタリング システム センサー | | |
| D | サン ブラインド | ▷ | p. 265 |
| E | 読書灯 | ▷ | p. 44 |
| F | 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯 | ▷ | p. 61 |
| G | オリエンテーション ライト | | |
| H | パノラミック ルーフ システム | ▷ | p. 264 |
| I | パークアシスト OFF ボタン | ▷ | p. 194 |
| J | サラウンド ビューを有効にする | ▷ | p. 195 |

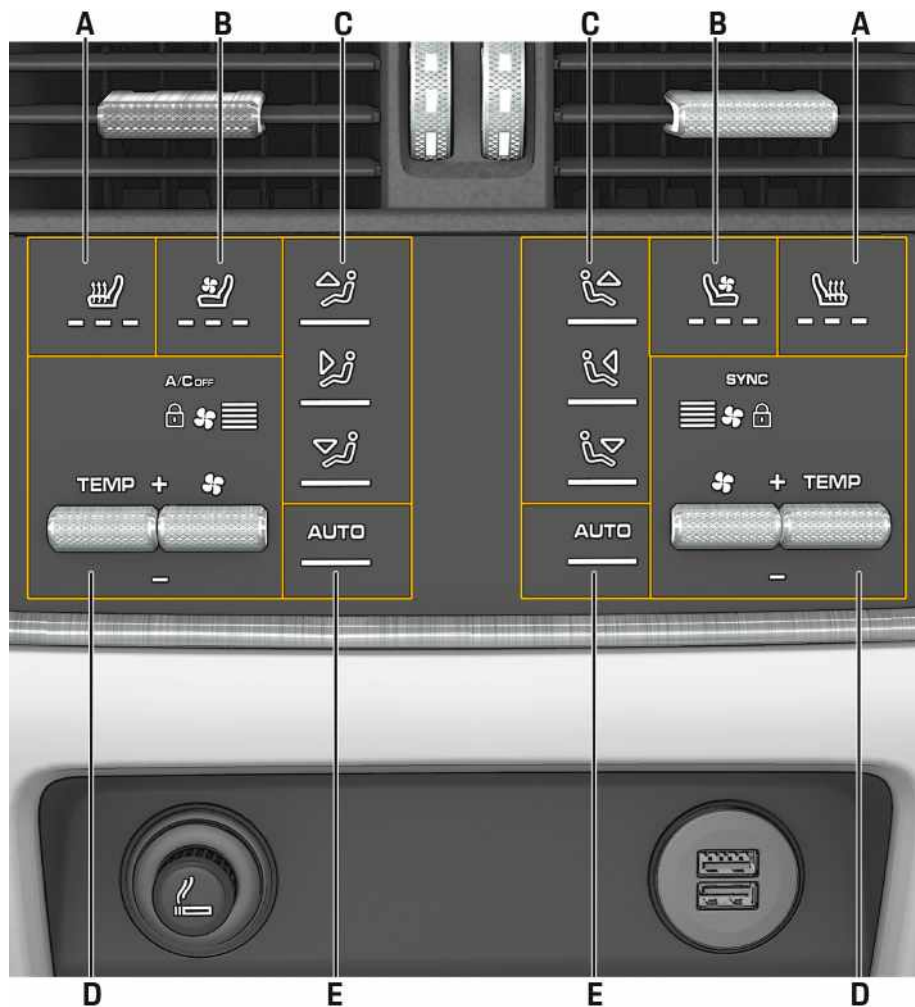
図 1: オーバーヘッド コンソール

後部座席

- A エアベント
- B センtralロック
- C ドアオープナー
- D パワーウィンドウ
- E マップポケット
- F エアコンシステム
- G 灰皿 / 小物入れ
- H USB充電ポート
- I シート調節

- ▷ p. 53
- ▷ p. 132
- ▷ p. 132
- ▷ p. 46
- ▷ p. 50
- ▷ p. 131
- ▷ p. 113





リアのエアコンコントロールパネル

- | | | | |
|----------|--------------|---|--------|
| A | シートヒーター | ▷ | p. 117 |
| B | シートベンチレーター | ▷ | p. 117 |
| C | 送風 | ▷ | p. 53 |
| D | 温度およびエアフロー | ▷ | p. 51 |
| E | オートモードをONにする | ▷ | p. 52 |

エンジン コンパートメント フィラー 開口

- A ウィンドウ ウォッシャー液
- B ブレーキフルード
- C クーラント (冷却水)
- D エンジン オイル

- ▷ p. 49
- ▷ p. 211
- ▷ p. 81
- ▷ p. 63



実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

一般的な操作 ポルシェ アドバンスド コックピット および ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)

項目	ヒント
アシスタントシステムの操作	アシスタント システムは、アシスト  のダッシュボードのタッチ ディスプレイで ON/OFF を切り替えることができます。アシスタント システムの事前設定は、アシスト  ▶ オプション  ▶ アシストシステム設定で行えます。
車両設定の作成	全般的な車両設定は、車両  ▶ 制御  ▶ 車両 (車両設定) または車両  ▶ 制御  ▶ 検索 (PCM タッチ ディスプレイおよびインストルメント クラスター設定) で行えます。
インストルメント クラスターの操作	インストルメント クラスターの左右に統合されているディスプレイは、マルチファンクション ステアリング ホイールのロータリー ノブを回して押して、表示されます。 ▶ 「インストルメント クラスター」の章 (37ページ) を参照してください。
マルチファンクション ステアリング ホイールの ◇ ボタンの使用	マルチファンクション ステアリング ホイールの ◇ ボタンに、様々な車両および情報機能 (ラジオ / メディア再生、ナビゲーションなど) を自由に割り当てることができます。 ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。
情報ウィジェットとホーム画面によるクイック アクセス	情報ウィジェットとホーム画面  を利用すると、最も重要な車両および情報機能にすばやくアクセスでき、しかも個別の設定ができます。
デバイス マネージャーを開く	接続はデバイス マネージャを使用して一元管理できます (例: 電話または Bluetooth® オーディオ プレーヤに接続する)。 ▶ フッターの  または  を選択してください (接続状態により異なります)。

項目	ヒント
ボイスコントロールの作動	ステアリング ホイール左側のレバーにある  ボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。 - 短く押す：PCMのボイスコントロールが有効になります。 - 長押し：Siri 音声認識が有効になります (Apple CarPlay と連動した場合のみ)
接続した 2 台の携帯電話を切り替える	携帯電話がすでに PCM に接続されている場合、2 番目の携帯電話を PCM に接続することもでき、ユーザーは 2 台の携帯電話を切り替えることができます。 ▶ ヘッダーの右上で、現在接続されている携帯電話を選択します。既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。▶ 希望する携帯電話を選択してください。

エアコン システム

項目	ヒント
上部ベントパネルのON/OFF	上部ベンチレーション パネルは、ダッシュボードのタッチ ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。 ▶ エアコン  ▶ エア  ▶ ベントパネル
空気の質に基づき外気供給を調整	上部ベンチレーション パネルは、ダッシュボードのタッチ ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。 ▶ エアコン  ▶ 快適  ▶ 自動内気循環

セントラル ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	ドアのロックおよびロック解除の設定を変更します。設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除できます。 ▶ 車両キーの  ボタンを 5 秒以内に 2 回押してください。 この設定は 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック で変更することができます。
足の動きでテール ゲートを開閉する	コンフォート アクセス装備車は、足動作でテール ゲートを操作することができます。 ▶ 「リヤリッド」の章 (260ページ) を参照してください。

トピック

以下のページでは各トピックが50音順で表示されています。

アダプティブクルーズコントロール (ACC)

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約 30 ~ 210km/h の範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブクルーズコントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。アダプティブクルーズコントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

▲ 警告

集中力の低下

ACC により快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、ACC が作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ACC の減速が不十分な場合は、直ちにフットブレーキをかけて車両を減速させてください。常に車両がコントロールできるか確認してください。

▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況

前走車との車間距離を適切に保ちながら、一定速度で走行できない場合、ACC を使用すると、事故を起こすおそれがあります。

- ▶ 交通混雑時や、道路工事区間、建物密集地、私道や野道、または住宅街では ACC を使用しないでください。
- ▶ 安全のため、路面状態や天候が悪い状況 (雪に覆われている、または滑りやすい路面、霧、石はね、豪雨、またはハイドロプレーニングなど) では ACC

を使用しないでください。

▲ 警告

アダプティブクルーズコントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

歩行者、自転車、動物、路上の障害物、対向車、および交差車両は検出されません。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 交通状況と車両周囲に常に注意を払ってください。

レーダー センサー



図 2：レーダー センサーの取り付け位置



インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダー センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

▲ 警告

レーダー センサーとカメラの視界の妨げ

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー センサーおよびカメラの視界が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出で

きなくなることがあります。

- ▶ このような状況下では ACC を使用しないでください。

▲ 注意

ACC の制限または使用不可

駐車時の衝突など、バンパー、ホイールハウジング、アンダーボディへの衝撃や損傷により、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

例外条件

▲ 警告

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のシステム制限

- ▶ ACC では次の例外を考慮に入れる必要があります：
 - 安全のため、路面状態や天候が悪い状況 (雪に覆われている、または滑りやすい路面、霧、石はね、豪雨、またはハイドロプレーニングなど) では ACC を使用しないでください。
 - 分岐車線、高速道路の出口、または道路工事区域を走行する場合は、ACC のスイッチを一時的に OFF にしてください。そうすることで、こうした状況で車両が設定速度まで加速できなくなります。
 - 足をアクセルペダルに置いている間は、ACC は自動的にブレーキを作動しません。アクセルに足を置くと、自動車速制御と自動車間距離制御が解除されます。
 - 停車中の車両 (渋滞の後方にいる車両など) に近づくと、ACC の作動は限定的なものになります。

- ACC は、人間、動物、横切る物や対向する物には反応しません。
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、氷はレーダー センサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメント クラスタに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の基本的な作動

前走車がないとき - 一般道路での運転

アダプティブクルーズコントロールはクルーズコントロールと同様に作動します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき - フォロー モード

アダプティブクルーズコントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブクルーズコントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) を再開することができます。

オーバーライド

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

アクセルペダルを踏み込んで車両が設定速度を上回ると、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が解除されます。

インストルメントクラスタに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセルペダルを放すと、アダプティブクルーズコントロールは車両の速度を設定された希望の速度に調整し、自動車間距離制御を行います。

ACC の作動状態に関するインフォメーション:

- ▷ 「アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON 時の作動モード」の章 (32 ページ) を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の操作



図3: コントロールレバー

R ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF の切り替え

S ドライバー アシスタンス システム間の切り替え

1 速度の設定 / 加速

2 設定速度を下げる

3 中断 (CANCEL)

4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

i インフォメーション

ブレーキまたはアクセルペダルを踏むことで、いつでも手動介入できます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の表示

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージ、警告は、インストルメントクラスタの「速度およびアシスト」ディスプレイの ACC メインメニューに表示されます。

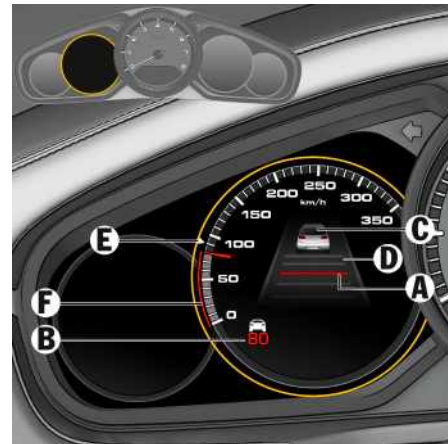


図4: 「速度 & アシスト機能」ディスプレイの ACC

A 前走車との設定車間距離

B ステータス表示と設定速度

C 検出された前走車

D 前走車との現在の車間距離

E 前走車の現在の速度

F ステータス表示と設定速度

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にすると、インストルメントクラスタの「速度およびアシスト」ディスプレイのステータスディスプレイ B が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ B が赤色になります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイBが灰色になります。



アダプティブクルーズコントロールはONになっており、希望する速度は保存されていません。



希望する速度は保存されており、前方に車両は検出されていません。



希望する速度は保存されており、前方に車両が検出されています。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON/OFF

アダプティブクルーズコントロール (ACC) スタンバイをONにする

✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) ON (ボタンR)。

1. コントロールレバーのボタンSを押してください。
ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールの左側のロータリーブッシュボタンを使用してACCを選択し、ボタンを押して確定します。
アダプティブクルーズコントロールを操作できます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) をOFFにする

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタンRを押してください。
インストルメントクラスターにACCがオフであることを示すメッセージが表示されます。
設定速度が削除されます。

車間距離が保存されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON時の作動モード

アダプティブクルーズコントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

アダプティブクルーズコントロールが速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータスディスプレイBが赤色になります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) スタンバイ

ブレーキペダルを踏むか、レバーを押し下げると(3の位置、CANCEL)、自動車速制御および自動車間距離制御が解除されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。ステータスディスプレイBが灰色になります。

▶ 「アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開」の章(34ページ)を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の速度超過

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。
インストルメントクラスターにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータスディスプレイBが灰色になります。
アクセルペダルを放した後、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールがONになっています。
- ✓ 前方に静止した物体は検出されていません。
例外: 静止物が車両として認識された場合

目標速度の設定

1. ステアリングホイールのレバーを前方に押してください。
現在の速度が設定速度として保存され、自動的に維持されます(約30～210 km/hの制御範囲内)。ステータスディスプレイBに赤色で表示されます。
赤色のバーFは車両の速度を示します。
2. アクセルペダルから足を放してください。
前走車が設定速度よりも遅く走行していることが検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

i インフォメーション

前方に静止物が検出されていて、レバーを前方(1の位置)に押すと、インストルメントクラスターに「ACC作動不可」のメッセージが表示されます。

目標速度を上げる

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方(1の位置)に短く押す(1 km/h単位)か、押し続けます(10 km/h単位)。
ステータスディスプレイBが新しく設定した目標速度を表示します。
赤色のバーFは車両の速度を示します。

減速

- ▶ ステアリングホイールのレバーをステアリングホイール方向(2の位置)に短く引く(1 km/h単位)か、引き続けます(10 km/h単位)。

ステータスディスプレイ **B** が新しく設定した目標速度を表示します。
赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

車間距離の設定

前走車との車間距離を 5 段階に設定できます。ステージ **3** を使用することをお勧めします。



図 5：車間距離の設定

i インフォメーション

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカー スイッチ **Z** を押すと、目標距離が変更されず、ドライバー アシスタンスシステムのメインメニューが表示されます。

i インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

- ▶ スイッチ **Z** を軽く押し上げてください。
設定距離を示す **A** から前走車 **C** までの、遠いほうの関連セグメントが表示されます。

車間距離を短くする

- ▶ スイッチ **Z** を下方向に短く押してください。
設定距離を示す **A** から前走車 **C** までの、近いほうの関連セグメントが表示されます。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントクラスターとステータスディスプレイ **B** に車両のシンボルマーク **C** が表示されます。

灰色のゾーン **D** が、前走車との現在の車間距離を示します (図 4)。

前走車 **C** までの距離が短ければ短いほど、車両は大きく表示されます。前走車 **C** までの距離が遠ければ遠いほど、車両は小さく表示されます。

シンボル	120 km/h での	走行に適した車間距離
------	-------------	------------



走行速度が高い
道路での走行

約 33 m (± 1 秒)



少し余裕のある
走行

約 43 m (± 1.4 秒)



前走車との車間
距離が 2 秒に
相当します

約 60 m (± 約 1.8 秒)



郊外路の走行

約 77 m (± 約 2.2 秒)



交通量が少ない
道路での走行

約 87 m (± 約 2.6 秒)

⚠ 警告

近すぎる車間距離

前方車両との車間距離が近すぎると、衝突する恐れがあります。

- ▶ 常に各国で規定されている距離を維持してください。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。

インストルメントクラスターのインジケーター ライト **HOLD** が点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。HOLD 機能に関するインフォメーション: 283 ページの「HOLD 機能: 停止制御」の章を参照してください。

i インフォメーション

交通状況によっては (例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

i インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動です。故障ではありません。

再発進

アダプティブクルーズコントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方 (4 の位置、再開) に押してください。
– または –
アクセルペダルを短く踏んでください。
車両が自動的に再発進します。
渋滞の場合、数秒以内に再自動発進します。

i インフォメーション

状況に応じて、アダプティブクルーズコントロールは渋滞の場合の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。
インストールメントクラスターのメッセージ ACC準備は、車両が発進可能であることをドライバーに知らせます。



警告

事故の危険

渋滞走行時に、自分の車両と前走車とのあいだに障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

i インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

自動車速制御および自動車間距離制御は、車両が停止中または走行中、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

- ▶ ステアリングホイールのクルーズコントロール操作レバーを上方 (4 の位置、RESUME) に押してください。
– または –
速度を設定してください。

アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開

CANCEL (自動車速制御と自動車間距離制御の中断)

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
– または –
ステアリングホイールのクルーズコントロール操作レバーを下方 (3 の位置、CANCEL) に押してください。
アダプティブクルーズコントロールの制御が中断されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータスディスプレイ B が赤色から灰色になります。

i インフォメーション

車両が停止している場合にのみ、レバーを使用して速度制御および距離制御をキャンセルできます。ACC も車両が停止中の場合にのみ作動できます。

RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)

- ▶ ステアリングホイールのクルーズコントロール操作レバーを上方 (4 の位置、RESUME) に短く押してください。

自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、設定速度まで加速します。
ステータスディスプレイ B が灰色から赤色になります。

i インフォメーション

クルーズコントロール操作レバーを 3 の位置 (- CANCEL) に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

ACC 警告メッセージ

アダプティブクルーズコントロール作動中(ACC active)のドライバーへの運転操作の要求

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、インストールメントクラスターに警告シンボルが表示されます。
アダプティブクルーズコントロール (ACC) 警告メッセージに関するインフォメーション:
▶ 「警告およびインフォメーションメッセージ」の章 (91 ページ) を参照してください。



警告

システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

この場合、アダプティブクルーズコントロールシステムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の例外

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が OFF になっているため、使用できない

- － イグニッションがOFFのとき
- － PSMがOFFのとき
- － 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトを着用していない
- － エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき
- － セレクトレーバーが **N**、**R**、および **P** の位置にあるとき
- － ゆるやかな上り坂や下り坂で停車したとき

レーダー センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダー センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー センサーが前走車を検出できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブクルーズコントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

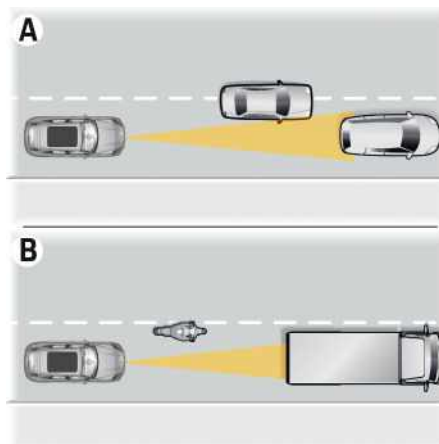


図 6：前方への割り込み、幅の狭い車両

A – 前走車の車線変更/前方への割り込み

車両が検出されるのは、自分の車線内に完全にとどまっている場合のみです。

B – 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

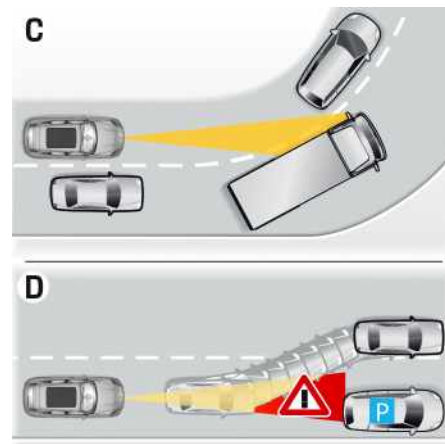


図 7：コーナリング中および停車中の車両

C – コーナーへの進入/脱出

前走車を検出できなかったり、遅すぎるタイミングで検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D – 停車中の車両

前走車が車線変更したときなどにレーダー センサーの監視エリアに突然現れる停止中の車両や障害物を、アダプティブクルーズコントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。



警告

停止車両の検出の制限

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダー センサーは、停止中の車両を限定的にしか検出できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

36



図 8 : オーバーハングの長い車両

E – オーバーハングの長い車両

車両後部 (木材運搬トラックなど) は正しく検出されません。



警告

前走車の後部が正しく検出されない

オーバーハングの長い車両が前方にいる場合、アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーはその車両の後部を検出できないか、正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速します。

インストルメント クラスター



図9：インストルメント クラスター

A – 速度 & アシスト機能ディスプレイ

外気温度、速度およびアシスタント システムに関する情報は、チューブ 1 と 2 に表示されています。

速度 & アシスト機能ディスプレイの設定に関する情報

▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

B – タコメーター

タコメーター スケールのレッド ゾーン開始地点は、エンジン許容最高回転数に対する警告です。

C – デジタル スピードメーター / 出力 & 駆動ディスプレイ

速度、セレクトレーバーの位置、締結ギヤおよび作動中走行モードに関する情報は、デジタル スピードメーターに表示されています。

D – 車両 & 情報ディスプレイ

車両ステータス、ドライバー アシストおよび日付と時刻に関する情報は、チューブ 4 と 5 に表示されています。

車両 & 情報ディスプレイの設定に関する情報

▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

E – パワー メーター

✓ E-Hybrid 車両

パワー メーターの 6 時の位置より左側に現在の電気駆動力が表示され、右側に現在の回生容量が表示されます。

あ

F – 水温計

知識

クーラント温度が過度に高温になると、エンジン損傷の原因になる可能性があります。
冷却水温度が異常に高くなる場合、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。警告灯が  が点灯、または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

車両の装備仕様により、冷却水温度は車両ディスプレイに表示されます。

バーが左部分にあるとき – エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき – 通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンを示すことがあります。

バーがレッドゾーンにあるとき – 作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラントレベルを点検してください。
 - ▶ 「クーラント (冷却水)」の章 (81ページ) を参照してください。

F – バッテリー充電状態

- ✓ E-Hybrid 車両

バッテリー充電状態および電動走行可能距離を表示します。

充電ポート ドア位置の表示



矢印は充電ポート ドアの付いている車両側面を示しています。

F – ブースト圧表示

車両の装備仕様により、ブースト圧は車両ディスプレイに表示されます。

G – 燃料計

知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合 (上り坂や下り坂の走行など)、表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、燃料警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
 - ▶ 「給油」の章 (88ページ) を参照してください。

フィルター フラップ位置の表示



矢印はフィルター フラップの付いている車両側面を示しています。

警告灯および表示灯

知識

故障は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。
次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が短く点灯しない。
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。

ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



ハイビームインジケーターステータス



ダイナミックハイビームインジケーターステータス



ロービームインジケーターステータス



リヤフォグライトインジケーターステータス



フォグライトインジケーターステータス



トレーラー方向指示器パイロットライト



ボルシェダイナミックライトシステム (PDLS) 警告灯
ライト警告灯



クーラント温度警告灯



エンジン制御システム警告灯



エンジン制御システム警告灯



ハイブリッド警告灯



ハイブリッド警告灯



距離警告警告灯

-  タイヤ空気圧警告灯
新たに取付けたホイールまたはタイヤ空気圧センサーの登録プロセス中、タイヤ空気圧の低下、タイヤ空気圧監視システム (TPM) の故障または一時的な不具合により、警告灯が点滅または点灯することがあります。
-  E サウンド警告灯
-  4 輪駆動警告灯
-  ポルシェ アクティブ セーフ (PAS) 警告灯
-  レーン チェンジ アシスト インジケータライト
-  エレクトリック パーキング ブレーキ警告灯
-  ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯
-  アンチロック ブレーキ システム (ABS) 警告灯
-  パワー ステアリング警告灯
-  センター警告灯
-  方向指示灯、左
-  方向指示器、右
-  エアバッグ警告灯
-  シート ベルト警告灯
-  ブレーキ警告灯
-  ブレーキ パッド警告灯
-  ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) 警告灯
-  ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) OFF 警告灯
-  ナイト ビュー アシスト インジケータライト
-  HOLD 機能インジケータライト

-  エミッション コントロール警告灯 (チェック エンジン)
汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの失火など) により警告灯が点滅または点灯することがあります。

エミッション コントロール (チェック エンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション コントロールシステムの不具合を解消してください。

インストルメント クラスタの操作



警告

運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメント クラスタは、イグニッションが ON の時のみ操作可能です。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

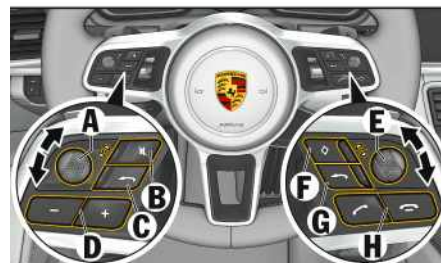


図 10 : マルチファンクション ステアリング ホイールでのインストルメント クラスタの操作

A - 「速度 & アシスト 1」ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール: ロータリー ノブ A を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択/入力: ロータリー ノブ A を押してください。

B - オーディオ ソースのミュート

- ▶ ミュート ボタン B を押してください。

C - 「速度 & アシスト 1」ディスプレイでの、1 つ前、または複数前のメニューへの移動

- ▶ [戻る] ボタン C を押してください。

D - 音量を上げる / 下げる

- ▶ 音量ボタン D を押してください。

E - 「車両 & 情報 2」ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール: ロータリー ノブ E を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択/入力: ロータリー ノブ E を押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

F - 保存した機能呼び出す

- ▶ ◇ ボタン F を押してください。ボタンは個別に割り当てることができます。
 - ▷ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

G - 「車両 & 情報 2」ディスプレイでの、1 つ前、または複数前のメニューへの移動

- ▶ [戻る] ボタン G を押してください。

H - 通話に応答する / 終了する / 拒否する

- ▶ 電話ボタン H を押してください。



インフォメーション

長いリストでエントリーを探す際、選択した文字で始まる項目までスキップするには、ロータリー ノブを上方向または下方向に素早く回してください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つ選択してください



選択されたオプション。



選択されていないオプション。

機能の作動/停止



機能が作動します。



機能が停止します。

インストルメント クラスタの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。
すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。例は、機能原理を分かりやすく説明し、メニュー構成を明確にするために記載されています。



図 11 : インストルメント クラスタの表示項目

チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
1	▶ 外気温度	外気温度を表示します。	—
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	—
2	▶ 走行距離および区間走行距離	オドメーター (積算距離計) およびトリップ メーターを表示します。トリップ メーターは、9,999 km または 6,213 マイルを超えた後、「0」に戻ります。 トリップ メーターをリセットします ▶ マルチファンクション ステアリング ホイールの左ロータリー ノブ A (図 10) を押し続けてください。 トリップ メーターが点滅します。3 回点滅した後、「0」に戻ります。	—
2	▶ アシスタンス スクリーン	アダプティブクルーズコントロールを調節および表示します。	▶ p. 30
		レーンチェンジアシストを表示します。	▶ p. 276
		レーンキープアシストを表示します。	▶ p. 273
		クルーズコントロールを表示します。	▶ p. 83
		スピードリミッターを表示します。	▶ p. 126

あ か さ た な は ま や ら わ A-Z	チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
			ボルシェ ヒル コントロールを表示します。	▷ p. 238
	2	▶ Eドライブ アシスト	電気駆動力の現在の分配 (緑色部分) を表示します。 内燃エンジンは、出力しきい値 E max に達すると始動します。	▷ p. 184
	2	▶ 制限速度	速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い、表示します。	▷ p. 43
	2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報 (メッセージを消すなど) を表示します。	▷ p. 179
	4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▷ p. 288
	4	▶ PDCC	PDCC を表示します。	–
	4	▶ 駆動配分	フロント アクスルとリヤ アクスル間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。	–
	4	▶ Sport Chrono	ストップウォッチで時間を測定します。	▷ p. 128
	4	▶ ブーストアシスト	加速に使用される電気駆動力の現在の分配を表示します。	▷ p. 184
	4	▶ エネルギーフロー	エネルギー フローを表示します。	▷ p. 184
	4/5	▶ E消費量	車両走行やコンフォート機能 (エアコンなど) による電力消費量およびその構成比を表示します。	▷ p. 184
	4/5	▶ 車両	車両情報を表示します (メッセージ、サービス インターバル、給油レベル)。	▷ p. 43
	4/5	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▷ p. 170
	4/5	▶ G-Force	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	–
	4/5	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリング システムを表示します。	▷ p. 152
	4/5	▶ マップ	地図画面を表示および調整します。	–

チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
4/5	▶ ナイトビューアシスト	熱画像検出機能付きのナイト ビュー アシストを表示します。	▶ p. 177
5	▶ 時刻と日付	時刻と日付を表示します。	—

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い作動させると、その制限速度を超えたときに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定し、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 制限速度 ▶ 制限1: または 制限2:

2. 任意の速度を選択してください。

- リセット: 制限速度をリセットします。
- 現在: 現在の速度を設定してください。
- 手動: 任意の速度値を設定してください。
- 有効: 制限速度を作動または解除します。

☒ 制限速度作動中

☐ 制限速度解除

車両情報の表示

さまざまな車両情報の表示

▶ 車両 ▶ ビュー

希望の車両情報ビューを選択してください。
ユーザ定義のビューを設定するには、次のようになります。

- ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

メッセージの表示

▶ 車両 ▶ 通知

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。
下部エリアに表示される警告シンボルマークは、未解決の重要な警告の数を示しています。

サービス インターバルの表示

▶ 車両 ▶ 点検

任意のサービス インターバルを選択してください。
次のサービス時期が表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

インテリア ライト

明るさの調節

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ライトと視界
▶ インテリアライト ▶ 明るさ

インテリア ライトの切り替え



図 12：インテリア ライトの操作

- A フロント インテリア ライト用ボタン
B 左フロントの読書灯用ボタン
C 右フロントの読書灯用ボタン
D リヤインテリア ライト用ボタン (装備によって異なります)

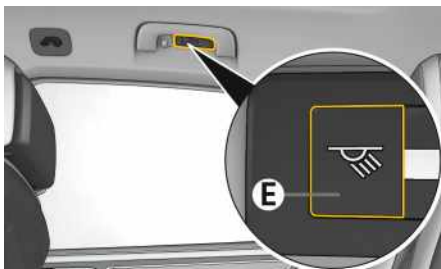


図 13：読書灯の操作

インテリア ライトの ON/OFF

インテリアライト

- ▶ ボタン A または D を押してください。

読書灯の切り替え

フロント読書灯

- ▶ ボタン B または C を押します。

リヤ読書灯

- ▶ 関連するドアの上のボタン E を押します。

輝度調節

- ▶ 所望の明るさが達成されるまで、少なくとも1秒以上関連するライトのボタンを押したままにします。

インテリア ライトの ON / OFF の自動切り替え

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ライトと視界
▶ インテリアライト ▶ ドアを開いている間

暗くなると、次のような場合にインテリア ライトが点灯します：

- 車両のロックを解除したり、ドアを開けたりした場合
- イグニッションをオフにして、運転者のシートベルト バックルを外した後。

次のような状況では、インテリア ライトが再びオフに戻ります。

- すべてのドアが閉じられた後
- イグニッションがオンになった直後
- 車両がロックされた直後
- ON にしてから約 10 分後 (自動)

インテリア ライトのオフ遅延時間は調整することができます。

- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。

アンビエント ライトの ON/OFF

アンビエント ライトの ON/OFF

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. ON を選択します。

アンビエント ライトの色の設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. カラーを選択してください。
3. 希望のライトの色を設定してください。

アンビエント ライトの明るさ調節

車内全体の明るさの設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. 明るさを選択してください。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

車内の各エリアの明るさの設定

1. 車両  ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. ルーフ、ドア、センタコンソール または フットウェルを選択してください。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ウィンドウ

ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。乗員がパワー ウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ コンフォート アクセス装備車の場合、危険な時は、直ちにドア ハンドルの近接センサーまたはキーのボタンを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイド ウィンドウを手動で閉じる

サイド ウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイド ウィンドウを手動で閉じるとこのウィンドウは最大の力で閉じられます。そのため、動くサイド ウィンドウと車両の固定部品間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイド ウィンドウを閉じる際には、人が挟まれたり、押しつぶされたりしないよう注意してください。



インフォメーション

サイド ウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイド ウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。

サイド ウィンドウの動作が約 10 秒以内にもう一度妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイド ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイド ウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションを ON にします。
- または -
- ✓ イグニッションを OFF にしてから 10 分以内。
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。



図 14 : 運転席ドアのパワー ウィンドウ スイッチ

- A パワー ウィンドウ、フロント、運転席側
- B パワー ウィンドウ、フロント、助手席側
- C パワー ウィンドウ、リア、運転席側
- D パワー ウィンドウ、リア、助手席側

ロッカー スイッチには 2 段階の作動位置があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

段階 1 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカー スイッチを 1 段階目の位置まで押すか、引いてください。スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

段階 2 - 自動操作

- ▶ ロッカー スイッチを 2 段階まで押すか、引いてください。ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図 15 : キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動しています。
 - ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。
- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーの車両ロック / ロック解除ボタンを押し続けてください。

すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが点滅します。

i インフォメーション

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドが上がっている場合、リヤ ウィンドウは開きません。

ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

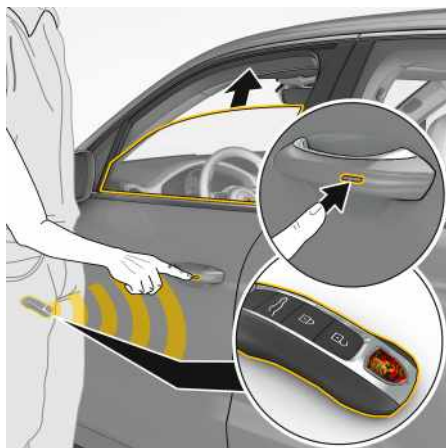


図 16: ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ポルシェ イージー エントリー搭載車両
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ 機能が作動しています。
 - ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

- ▶ 車両をロックする時に、ウィンドウが希望の位置に達するまでドア ハンドルの近接センサーを押し続けてください。
- すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが点滅します。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の手順を行ってください。

1. スイッチを 2 段階まで引いて、一度完全にウィンドウを閉じます。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカー スイッチを再度短く 2 段階まで引いてください。
3. スイッチを押して、ウィンドウを一度完全に開きます。

リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション



図 17: リヤでの操作を無効にする

運転席ドア、コントロール パネルのセーフティー ボタンを押すとリヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチと、リヤ センター コンソールのコントロール パネルの機能が無効になります。

チャイルド プロテクションの ON/OFF の切り替え

- ▶ セーフティー ボタンを押してください。
- ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- リヤ コントロール パネルで行われたシート設定は保持されます。
- リヤ コントロール パネルの機能が停止します。

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドの使用

i インフォメーション

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドは、リヤ サイド ウィンドウが閉まっている場合にのみ上げ下げできます。

ロールアップ式サンブラインドは自動的に正しい戻り位置に移動します。

チャイルド プロテクション機能が作動しているときは、リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを操作できるのは、運転席ドアのパワー ウィンドウ ボタンを使用した場合のみです。



図 18: 運転席ドアのパワー ウィンドウとロールアップ式サンブラインドのスイッチ

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを下げる

- ▶ 該当するウィンドウのロッカー スイッチを第 1 段階まで短く引きます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

ロールアップ式サンブラインドを完全に下げます。

か

リヤ サイド ウィンドウのロールアップ式サンブラインドの格納

- ▶ 該当するウィンドウのロッカー スイッチを第 1 段階まで短く押します。
ロールアップ式サンブラインドを完全に上げます。

さ

インフォメーション

た

ロールアップ式サンブラインドを下げた状態でリヤ サイド ウィンドウを開くと、リヤ サイド ウィンドウが開く前にサンブラインドが自動的に上がります。

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ウィンドウォッシャー

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。

下記の点を必ず守ってください：

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季: 水とウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください。
- 冬季: 水、不凍液、およびウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ クリーナーのみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック ヘッドライト レンズに適しているもの

ボルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液についてはボルシェ正規販売店にご相談ください。

ウォッシャー液が少ない場合、インストールメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

- ▶ 「テクニカル データ」の章（295ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアコン システム (2-/4- ゾーン エアコン)

概要説明 - エアコン

フロントコントロール パネル

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

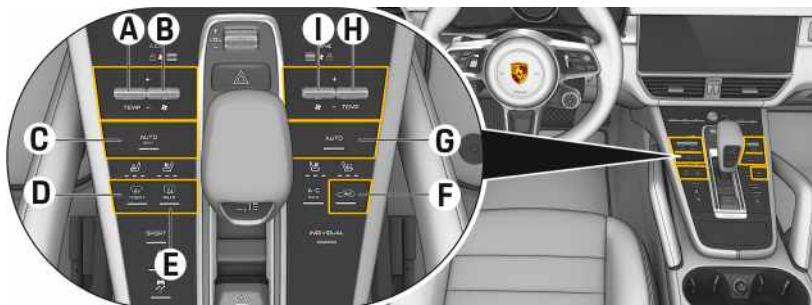


図 19：概要 - フロント エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
ボイス コントロールを使用してエアコンを動作させる	ボイス コントロールを開き、エアコン システムのグローバル ボイス コマンドを使用します。	▷ p. 217
オート モードを ON にする	左側はボタン C、右側はボタン G を押します。	▷ p. 52
温度の設定	左側はボタン A、右側はボタン H を押します。	▷ p. 52
オート モードで風量を設定する	エアコン ▶ 快適 ▶ 風量	▷ p. 54
足元の温度の設定 ¹	エアコン ▶ 快適 ▶ フットウェル	▷ p. 54
風量を設定する	左側はボタン B、右側はボタン I を押します。	▷ p. 53

1. 必要条件：4 ゾーン エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
送風口を調節する	エアコン  ▶ エア 	▷ p. 53
フロント ウィンドウ デフロスター	ボタン D を押してください。	▷ p. 55
リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする	ボタン E を押してください。	▷ p. 55
手動で内気循環モードを ON にする	ボタン F を押してください。	▷ p. 54

リヤコントロール パネル (4 ゾーン エアコン)

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 20 : 概要 - リヤ エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
オート モードを ON にする	左側はボタン C、右側はボタン D を押します。	▷ p. 52
温度の設定	左側はボタン A、右側はボタン E を押します。	▷ p. 52
風量を設定する	左側はボタン B、右側はボタン F を押します。	▷ p. 53
送風口を調節する	ヘッドレベルへの送風：ボタン  を押してください。 中央および左右のエア ベントからの送風：ボタン  を押してください。 左右足元への送風：ボタン  を押してください。	▷ p. 53

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

内部温度、日光、および空気品質などの様々な要素に依存して、空調装置は、自動モードで通気配分と気流を十分に自動的に制御します。

選択された適切な機能設定が手動で調節されるとすぐに、自動モードが解除されます。

エアコン システムは、リヤおよびセンター コンソールのボタン、またはダッシュボードのタッチ ディスプレイを使用して操作することができます。

空調装置は、窓が閉じた状態で最も有効に作動します。

車内に熱がこもった場合：

- ▶ 窓を開けて、内部に短い時間、風を入れてください。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これはシステムにより異なり、故障ではありません。蓄電池電圧が低すぎる場合、空調機能はまず制限され、次にOFFになります。

2ゾーン環境制御

温度、気流、通気配分、および環境制御のタイプは、左 および 右 の気候ゾーンに対してそれぞれ設定できます。

4ゾーン環境制御

温度、気流、通気配分、および環境制御のタイプは左 前、右前、左後 および 右後の気候ゾーンに対してそれぞれ設定できます。

エアコンの ON/OFF の切り替え

車内全体のエアコンの ON/OFF の切り替え

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ：

- ▶ エアコン  ▶ エア  ▶ OFF

リヤ ゾーンへの風量を少なくしたり、リヤ エアコン システムを OFF にしたりしても、フロント ゾーンの快適性は向上しません。

オート モードのスイッチをONにする

前部と後部のクライメント ゾーンは、独立してオートモードに切り替えることができます。

- ▶ 前部または後部コントロールパネルの適切なクライメント ゾーンに対応するボタン **AUTO** を押します。ボタン **AUTO** のインジケーター ライトが点灯します。風量および送風口が自動的に制御されます。

必要であればオート モードの制御を手動調節できます。適切な機能ボタンが再び押されるまで、またはボタン **AUTO** が押されるまで、手動設定が保持されます。

冷房機能のON/OFF

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

オート モードでは、冷房機能が常にONになります。

冷房出力は自動的に制御されます。

- ▶ エアコン  ▶ エア  ▶ A/C
冷房機能はON または OFF に切り替えることができます。

A/C MAX モード (最大冷房出力) の ON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン システムが最大出力で車内を冷却します。



図 21：A/C MAX モードの起動と解除

最大冷房出力を ON にする

- ▶ ボタン  を押してください。ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

最大冷房出力を OFF にする

- ▶ ボタン  を押してください。ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

温度の設定

温度は 16 °C ~ 29.5 °C の範囲に設定できます。推奨：22 °C。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内に設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

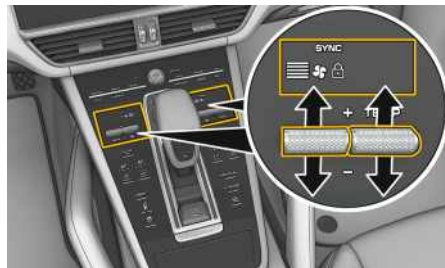


図 22：フロントの温度および風量の設定

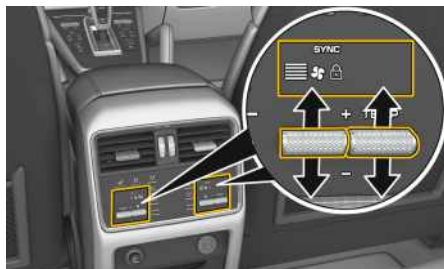


図 23 : リヤの温度および風量の設定 (4 ゾーン エアコン)

温度を上げる / 下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン **TEMP** を上方向または下方向に押してください。

選択した温度は、該当エアコン ゾーン用ボタンの上にあるディスプレイに表示されます。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示される場合は、エアコンの作動は最大の冷房 (LO) または暖房 (HI) になっています。このときオート モードは OFF になります。

風量を設定する

風量を上げる / 下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン を上方向または下方向に押してください。

設定した風量は、ボタン の上のバー ディスプレイに表示されます。バーの数が増えるほど、車内の風量が多いことを示します。

ボタン **AUTO** を押すと、オート モードに戻ります。

エアコン ディスプレイに **OFF** と表示されるところまですべての空調エリアの風量を下げると、外気導入による送風が停止し、エアコン システムが OFF になります。

リヤでの OFF モードをフロントから無効にする

4 ゾーン エアコンの場合、OFF モードは、ダッシュボードのタッチ ディスプレイを使って無効にできません。

- ▶ 「前部から後部のクライメートゾーンを設定」の章 (55ページ) を参照してください。

リヤでの OFF モードは、SYNC 機能では無効にできません。



警告

送風設定 OFF による視界の低下

風量を OFF にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を多くしたい場合、ボタン を上方向に押すか、またはオート モードを再度 ON にします。

エア ベントの調整

エア ベントは**手動**で開閉することができ、**ダッシュボード**、**フロント**および**リヤ センター コンソール**、および**ドア ピラー**にあります。送風方向も調節可能です。

知識

エア ベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話クレードルやプラグイン式のエア フレッシュナーなど、エア ベントには何も挟まないでください。

エア ベントの開閉

- ▶ エア ベントにぎざぎざがついた車輪を回転させてください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気の取り入れを可能にします

- ▶ ボンネットとフロント ウィンドウの間の外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰まりがないことを確認してください。

送風口の調節

フロントの送風口の調節

1. エアコン ▶ エア
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。



フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。



中央および左右エア ベントからの送風を開始します。



フットウェルへの送風を開始します。

リヤ送風口を手動で調整する

- ▶ 該当する空調エリアの送風口を選択してください。



ヘッド レベルへの送風を開始します。



中央およびドア ピラーのベントからの送風を開始します。



足元およびドア ピラーのベントからの送風を開始します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

アップパー換気パネルの調節



図 24: アップパー換気フィールド

ダッシュボード上にある換気パネルでも車内へ換気ができます。換気パネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。エアコン システムは送風量を自動的に調整します。

1. エアコン ▶ エア
2. ベントパネル を選択してください。

クライメートコントロールタイプの設定

気流は、自動モードのそれぞれのクライメートコントロールゾーンの 3 つのステージで調整できます。

1. エアコン ▶ 快適 ▶ 風量
2. 適切なクライメートゾーンに、希望するタイプのクライメートコントロールを選んでください。

エコ モードの ON/OFF の切り替え

エコ モードが ON に設定されているときは、エアコンシステムはエネルギーを効率的に節電しながら作動します。低燃費で作動するために、車内の快適性が低下してしまうこともあるかもしれません (車内が暖まるま

で、または冷えるまで少し時間がかかる場合もあります)。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

- ▶ エアコン ▶ 快適 ▶ A/C ECO

足元の温度の設定

フロント ゾーン の車内温度とは別に、足元の温度は個別に設定できます。

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ:

1. エアコン ▶ 快適 ▶ フットウェル
2. 該当する空調エリアでの希望する足元の温度を選択してください。

イオン発生機の ON / OFF の切り替え

✓ イオナイザー装備車。

イオン発生機は、大都市などエア クオリティが悪い地域で車内の空気の状態を向上させることができます。イオン発生機は無臭です。

- ▶ エアコン ▶ 快適 ▶ イオン

自動内気循環の ON/OFF の切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。約5℃以下の外部温度で、内気循環モードは窓が曇るのを防ぐために自動的に解除されます。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

- ▶ エアコン ▶ 快適 ▶ 自動内気循環

内気循環モードの ON/OFF を手動で操作する



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。新鮮な空気が供給されないため、ドライバーが疲労を感じて注意力が低下する可能性があります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。



図 25: 内気循環モードを ON/OFF にする

手動で内気循環モードを ON にする

- ▶ ボタン を押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。



インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約 5 分後に内気循環モードが停止します。

手動で内気循環モードを OFF にする

- ▶ ボタン を押します。
— または —
ボタン **AUTO** を押します。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

SYNC モード - 車両全体のエアコン設定を同期させる

ダッシュボードのタッチディスプレイで SYNC モードを ON/OFF

- ▶ エアコン ▶ エア ▶ SYNC

SYNC モードは ON または OFF に設定されています。SYNC モードが作動している時は、表示される他の空調エリアのエアコン設定が運転席の設定と同期されます。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

- ▶ ダッシュボードのタッチディスプレイで SYNC モードを ON にすると、車内が最も快適な状態に維持されます。

4 ゾーンクライメートコントロール リヤゾーンへの風量を少なくしたり、またはリヤ エアコン システムを OFF にすると、フロント ゾーンの快適性が損なわれます。

前部から後部のクライメートゾーンを設定

4ゾーン空調の場合には、後部のクライメートゾーンはダッシュボードのタッチディスプレイを使用して調整できます。

1. エアコン ▶ リア
2. 必要に応じて設定を調整します。

フロント ウィンドウ デフロスター



図 26：フロント ウィンドウ デフロスター

デフロスト モードを ON にする

- ▶ ボタン を押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
フロント ウィンドウおよびフロント サイドウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロント ウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロスター モードでは、リヤへのエアの供給が状態に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大にします。

4 ゾーン エアコン：エアコン用リヤ コントロール パネルが無効になります。

✓ フロント ウィンドウ ヒーター装備車

フロント ウィンドウ ヒーター装備車には、フロント ウィンドウに金属フィルムのストリップ、およびフロント ウィンドウ ワイパーの接触面にヒーターのワイヤーも装備されています。霜や曇りを防ぐために、フロント ウィンドウを温めることができます。なるべく早く凍結したフロント ウィンドウ ワイパーを解かします。

- ▶ ボタン を押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
フロント ウィンドウは温められました。

なるべく早くフロント ウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

フロント ウィンドウ ヒーターは最長 10 分後に自動停止し、それ以降はフロント ウィンドウが温められなくなります。デフロスター モードは作動し続け、ボタン 上のインジケーター ライトが点灯したままになります。

デフロスト モードを OFF にする

- ▶ ボタン を押します。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターの ON / OFF 切り替え



図 27：リヤ ウィンドウ / ドア ミラーのヒーター ボタン

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする

✓ エンジンを作動状態にする。

- ▶ ボタン を押します。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

外気温度によって、約 5 ~ 20 分後にリヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的に OFF になります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを OFF にする

- ▶ ボタン  を押します。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

エンジン残余熱の使用 - RESTモード



図 28 : RESTモードのオン/オフ

イグニッションを OFF にしてから最大 20 分間は、作動温度に達しているエンジンの余熱を利用して車内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションを OFF にする。
- ▶ 前面のコントロールパネルのボタン **AUTO REST** を押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
REST モードではエアコン システムの設定を変更できません。
- ▶ 前面のコントロールパネルのボタン **AUTO REST** を押して、機能を停止させます。
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

プレクール / ヒート タイマーおよびプレクーリング / ヒーティングの使用 (E-Hybrid)

- ✓ 高電圧バッテリーは十分に充電されています (最低 10%)。

✓ 燃料タンクの残量が少なくない。
プレクーリング / ヒーティングにより、風量、送風および温度が制御されます。個別に調節できます。また、車両では外気温度に従ってプレクーリング / ヒーティングが高度に制御され、最大限の快適さが提供されます。これは、プレクーリング / ヒーティングをプレクール / ヒート、キー、または PCM 機能プレクール / ヒート開始を使用して作動させたかどうかとは無関係です。
プレクーリング / ヒーティングで、次のエアコンが有効になります (装備により異なる):

- 車内
- シート
- ステアリング ホイール
- ドア ミラー
- リヤウィンドウ
- およびフロント ウィンドウ、

エンジン停止中。また、これは車両プラグが接続されているかどうかに関わりなく発生します。

- ▶ 「充電」の章 (147 ページ) を参照してください。

インフォメーション

気温が低いとドア ミラー、リヤウィンドウおよびフロントウィンドウ (装備により異なる) のヒーターは自動的に ON になり、ウィンドウおよびドア ミラーを解氷します。

インフォメーション

気温が低い場合には、プレクーリング / ヒーティングはバッテリーを温めるために使用されます。バッテリーが低温の場合、ファンを使用して車内が換気されない間に、車両はプレヒーティングを開始します。これにより電動による発進が向上します。

プレクーリング / ヒーティングを ON にする

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール / ヒート開始 を選択してください。

プレクーリング / ヒーティングを ON にすると、電動走行可能距離が減少します。
車両が走行可能状態で、停車している場合、プレクーリング / ヒーティングは 30 分後までに OFF になります。

プレクーリング / ヒーティングを OFF にする

1. 、エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール / ヒート停止 を選択してください。

プレクール / ヒート タイマーで起動されるプレクーリング / ヒーティングも終了します。

プレクール / ヒート タイマーによるプレクーリング / ヒーティングのプログラミングおよび作動

プレクール / プレヒート タイマーを使用して、車内を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます (プレクーリング / ヒーティング)。
タイマーは 1 回 (シングルタイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール / ヒート を選択してください。
3. 希望する出発時刻の曜日もしくは日付と時刻を設定し、タイマー入力を  有効にしてください。
4. 温度およびシートの作動を個別に設定します。

選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大 10 分後まで維持されます。イグニッションが ON の場合、風量、送風方向および温度を手動で調節することができます。

プレクール / ヒート タイマーの停止

1. エアコン  ▶ タイマー 
2. プレクール/ヒート を選択してください。
3.  オプションを選択解除してください。

不意の作動を防ぐために、この機能は 1 回の走行につき 2 回作動できます。

プレクーリング / ヒーティングを個別に設定する

エアコン ゾーンの設定

1. エアコン  ▶ タイマー  ▶ オプション  ▶ 拡張プレコンディショニング ▶ プレコンディショニング ゾーン
2. 希望のエアコン設定 ☒ を有効にします。

車両のシートは温められるか、換気されます (装備により異なる)。車両のシート設定は、外気温度により車両が自動的に制御します。

希望温度の設定

1. エアコン  ▶ タイマー  ▶ オプション  ▶ 拡張プレコンディショニング ▶ 温度
2. 希望する温度を設定します。
3. **確定** で設定を保存します。
プレクーリング / ヒーティング プロセス中、車両では車内温度が設定した希望通りの温度になるように制御されます。

クイック プレクーリング / ヒーティングの設定

1. エアコン  ▶ タイマー  ▶ オプション  ▶ 拡張プレコンディショニング ▶ 簡単エアコン予約
2. ☒ オプションを有効にします。
車両のロックを解除すると、5 分間のプレクーリング / ヒーティングが開始します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアサスペンションおよびレベルコントロールシステム付きボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM)

切り替え可能エアサスペンションおよびレベルコントロール付き PASM は、ショック アブソーバーとサスペンションをアクティブに調整するシステムであり、車高バランス システムでもあります。アジャスタブルサスペンション システムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピング レベルを選択し、エアサスペンションのスプリング レートを切り替えます。レベルコントロール システムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で 3 種類のシャーシ モードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

ノーマル モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定では非常にスポーティーなスプリング / ショック アブソーバー調整になります。「スポーツ プラス」モードでは、スプリングコントロールとダンパー コントロールは、妥協のないスポーティーな走行 (例: レース サーキットでの走行) 向けに最適化されます。車高も中レベルより約 18 mm 低く設定され、低レベルに切り替わります。マニュアル モードを選択することに加えて PASM も、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するために、スプリング レート設定とダンピング フォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

i インフォメーション

- 車両に荷物が載っている場合、車両の高さは自動的に保持されます。エンジン作動中にのみ個別レベルが設定できます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリング システムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

エアサスペンション装備車が数週間停止したままの場合、車高が低くなることがあります。エンジンを始動すると自動的に正常な車高に再調整されます。作動モードによっては、調整に数分かかることがあります。このとき、地上高が減少します。

シャーシ モードの設定



図 29: センター コンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にする。
2. ボタン  を繰り返し押します。
ボタンのインジケーター:

- 「ノーマル」(デフォルト設定) を選択した場合、インジケーター ライトは点灯しません。
- 「スポーツ」を選択すると、インジケーター ライトが 1 つ点灯します。
- 「スポーツ プラス」を選択すると、インジケーター ライトが 2 つ点灯します。

更に、選択したシャーシ モードはインストルメント クラスタに短時間表示されます。

i インフォメーション

シャーシ モードは PCM でも設定できます:

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャーシ

i インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシ モードは保存された状態のままになります。

i インフォメーション

車両が停止している場合、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

エアスプリングの高さの設定

エアスプリングの高さは PCM で設定できます。イグニッションをオフにした後でも、そのとき選択しているシャーシ モードと車両レベルがメモリーに保存されます。

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャーシ高

中間の高さ

中間の高さを、「ノーマル」と「スポーツ」シャーシ モードで標準として採用されています。「スポーツ プラス」

モードでは、PCM でドライブメニューから中間の高さを手動で選択できます。

テレーン レベル

テレーン レベルは、中間の高さと比べて地上高が約 55 mm 高く、最大の地上高での走行時に使用します。テレーン レベルは約 35 km/h 未満で走行している場合は手動で選択でき、それより速い場合は自動で解除されます。テレーン レベルはオフロード モードの「岩」で自動的に適用されます。

高レベル

高レベルは、中間の高さと比べて地上高が約 25 mm 高く、悪路での走行時に使用します。高レベルは約 80 km/h 未満で走行している場合は手動で選択でき、それより速い場合は自動で解除されます。高レベルはオフロード モード「砂」、「泥」、「砂利」で自動的に適用され、速度が 120 km/h で自動的に解除されます。

i インフォメーション

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリングシステムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

低レベル

低レベルは、中間の高さと比べて地上高が約 18 mm 低く、スポーツ走行時に使用します。低レベルは、オンロード モードでいつでも手動で選択できます。低レベルは「スポーツ プラス」シャーシ モードで自動的に適用されます。

i インフォメーション

ドアが開いた状態で車両が下降することはありません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

ドロップ フレーム機能

この機能はラゲッジ コンパートメントへの積載を容易にするものです。車両後部が約 66 mm 下がります。速度が約 5 km/h を超えると、車両は自動的に以前の設定レベルまで上がります。

知識

シャーシ部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。

車両がカーブからフレームを落としたまま発進すると、地上高が不十分などの理由で、車両の下周りが地面に接触することがあります。

- ▶ 発進する前には必ず中レベルに切り替えてください。

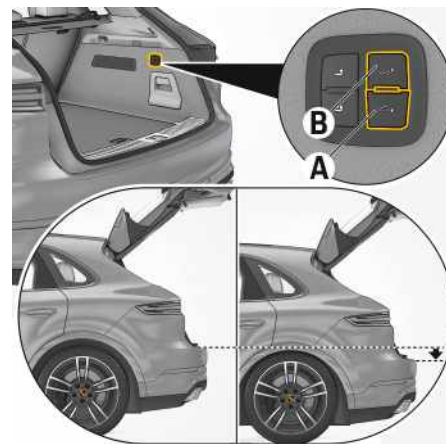


図 30：ラゲッジ コンパートメントのボタンによるローディング レベル機能の設定

ローディング レベル機能は、ラゲッジ コンパートメント進行方向右側のサイド トリム パネルの 2 つのボタン A および B を使用して設定できます。

選択されたモードにより、ボタンを押してから車両後部が上昇または降下するのに 1 ～ 2 秒かかることがあります。車両後部は選択するモードにより、様々な速度で上昇することがあります。

車両後部を下げる

- ✓ リヤ リッドが開いている。
- ▶ ボタン A を押し続けてください。
2 つのボタン A および B 間のライト インジケータが点灯します。
車両後部が下がります。

車両後部を上げる

- ✓ リヤ リッドが開いている。
- ▶ ボタン B を押し続けてください。
2 つのボタン A および B 間のライト インジケータが点灯します。

あ

車両後部が初期レベルに上げられ、ライト インジケータは消灯します。

か

インフォメーション

- ローディング レベル機能が作動しているときは、その他のレベル システムの調整はできません。
- 2つのボタン A および B 間のライト インジケータが点滅し続ける場合、ローディング レベル機能を作動させることはできません。例: コンプレッサー エアがない、バッテリー電圧が低すぎる、レベルリング システムに故障があるなど。

な

トレーラー車両けん引時のレベルリング システム

トレーラー車両けん引時、低レベルは利用できません。トレーラー車両けん引時、トレーン レベルおよび高レベルは 35 km/h 以下で走行している場合にのみ選択できます。

は

知識

トレーラー車両けん引時に車高レベルを調整すると、車両の最大ドローバー荷重を超えることがあります。

- 中間の高さでの突起部の重さを必ず確認します。

や

レベルリング システムを OFF にする



警告

タイヤ交換時のレベルリング システムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、怪我をしたりする恐れがあります。

リフティング プラットフォームまたはジャッキによるリフト アップを行う前に：

- 中間の高さを手で設定します。
- レベル システムを OFF にします。

A-Z

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オート レベルリング システムは必ず OFF にしてください (車両ジャッキ モード)。

車両のリフト アップに関する情報：

- 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章 (121ページ) を参照してください。

✓ 車両は停止している。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ シャーシ ▶ 車両ジャッキモード

これで車両をジャッキ アップできます。



インフォメーション

車速が約 7 km/h を超えると、レベルリング システムは自動的に ON になります。

警告シンボルへの対応

PASM 故障はインストルメント クラスタに表示されます。

エアバック システム

⚠ 危険

正しくないシート位置または正しく収納されていない荷物

エアバックは、乗員全員がシートベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ シートベルトを必ず着用します。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバックが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 効果的に保護できるようにするには、ドライバーや乗員からエアバックまで一定の距離が必要です。エアバックに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。
- ▶ ドアの内側 [エアバックが膨らむエリア] にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- ▶ シート上またはシートの前に重い荷物を載せて走行しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上には物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを収納しておいてください。
- ▶ 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバック システムの機能

エアバックは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

前方または横方向からの衝突時に、エアバックは頭部、骨盤および上半身を保護し、同時に衝突方向へのドライバーおよび乗員の動きを弱めます。

フロントエアバックは、運転席側のステアリングホイールパッド下部、助手席側のダッシュボード内、およびドライバーと乗員側の膝の位置に取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバック**はバックレストの側面に取り付けられています。リヤシートのサイドエアバック (車両装備による) はシートバックレストの側面に取り付けられています。

ヘッドエアバックはサイドルーフフレームにあります。

該当するエアバックは、衝突角度および衝突威力により起動します。

⚠ 危険

作動済みのエアバックを作動させることはできません。

エアバックは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバックは直ちに取替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 危険

エアバックの改造による不具合

手を加えたエアバックは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期しないタイミングで作動したりする恐れがあります。予期しないタイミングでエア

バックが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバックの配線や部品を改造しないでください。
- ▶ エアバックの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバック付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバックの部品を取り外さないでください。

故障の認識

エアバックシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバック警告灯  によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- － イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
または
- － イグニッションをONにしたときに警告灯が消灯しない
または
- － 走行中に警告灯が点灯する

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

助手席エアバッグを OFF にする

**危険**

助手席エアバッグを OFF
にする

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグのみを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、助手席エアバッグを再び ON にしてください。

**危険**

助手席エアバッグの故障
または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** 警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ 「助手席エアバッグの ON / OFF」の章（164 ページ）を参照してください。

エンジン オイル

エンジン オイル レベルの点検

運転スタイルや作動条件によっては、オイル消費量が最大0.8 リットル/1000 km になる場合もあります。オイルレベルを定期的に確認する必要があります(車両に燃料を補給するときなど)。

オイル レベル警告に対応する

オイルレベルが低過ぎる場合、インストルメント クラスタにシンボルが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

エンジン オイル レベルの測定と表示

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイルレベルがオイルレベル指示器の下限マークを下回る場合、エンジンが十分に作動しない可能性があります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

i インフォメーション

状況により、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します:

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車する。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1 分以上停止している。

▶ 車両 ▶ オイル レベル

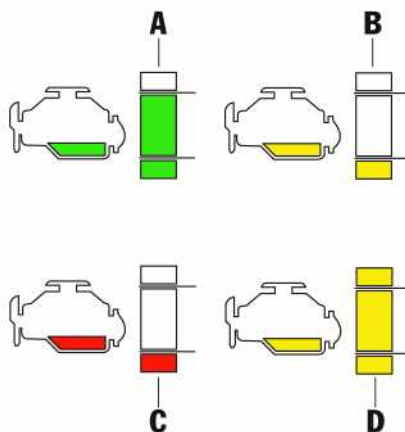


図 31: オイルレベルゲージ

- A オイルレベルは十分 - 上限に達している
- B オイルレベル下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 A の場合、オイルレベルは最高水準にあり、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 B で表示されている場合、オイルレベルが下限マークまで低下していることを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメント クラスタに表示されているエンジン オイルの量を補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。

最下部のセグメントが赤色 C で表示されている場合、オイルレベルが下限マークを下回っていることを示しています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメント クラスタに表示されている量のエンジン オイルを直ちに補充します。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。

最上部 D まで黄色で表示されている場合、エンジン オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン オイル - 国別の割り当て

グループ I

アンドラ、オーストラリア、アルバニア、アルゼンチン、ベルギー、ボスニアヘルツェゴビナ、ブラジル、ブルガリア、中国、ドイツ、デンマーク、エストニア、フェロー諸島、フランス領ギアナ、フィンランド、フランス、ギリシャ、英国、グリーンランド、グアドループ、香港、アイルランド、アイスランド、イスラエル、イタリア、インド、日本、カナダ、クロアチア、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、マルタ、マケドニア、マルティニーク(フランス領アンティル)、メキシコ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、オーストリア、ポーランド、ポルトガル、レユニオン、ルーマニア、ロシア、サンマリノ、スイス、スウェーデン、セルビア、スロバキア、スロベニア、スペイン、韓国、台湾、トルコ、チェコ共和国、米国、ハンガリー、パチカン、キプロス

グループ II

アブダビ、アルジェリア、アルメニア、バハマ、ブルネイ、コスタリカ、キュラソー、チリ、ドミニカ共和国、ドバイ、エクアドル、フランス領ポリネシア、グアテマラ、ガーナ、ホンジュラス、インドネシア、イラク、イラン、カタール、ケイマン諸島、ケニア、クウェート、コロンビア、ラオス、レバノン、モリシャス、マカオ、モロッコ、モンゴル、ミャンマー、

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

ニューカレドニア、オマーン、パキスタン、パナマ、ウヅアラビア、シンガポール、スリランカ、スワジラ
パラグアイ、ペルー、プエルトリコ、フィリピン、サンド、シリア、タンザニア、トリニダードトバゴ、ウ
ルグアイ、ベトナム、イエメン、ヨルダン、ジャマイカ

か

エンジン オイルの選択

ポルシェは、**Mobil 1** を推奨します。
承認されたエンジン オイルの名称を示すラベルがエンジン コンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。
ご不明な点や、現在の承認オイルを確認するには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

さ

認定品	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
	VW 502 00/505 00	VW 511 00	VW 504 00/507 00	VW 508 00/509 00
SAE 粘度等級	0W-40 または 5W-40/5W-50	0W-40/5W-40	5W-30/0W-30	0W-20

た

な

エンジン	粒子フィルター	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
------	---------	-------------	-------------	-------------	-------------

は

グループ I

ま

や

ら

わ

2.0 リットル R4 ターボ エンジン	可	－	－	－	X
	不可	－	－	－	X
2.9 リットル V6 ツインターボ エンジン	可	－	－	X	－
	不可	－	－	X	－
3.0 リットル V6 ターボ エンジン	可	－	－	－	X
	不可	－	－	－	X
4.0 リットル V8 ツインターボ エンジン	可	－	X	－	－
	不可	－	X	－	－

A-Z

エンジン	粒子フィルター	Porsche A40	Porsche C40	Porsche C30	Porsche C20
グループ II					
2.0 リットル R4 ターボ エンジン	可	—	—	—	X
	不可	X	—	—	—
2.9 リットル V6 ツインターボ エンジン	可	—	—	X	—
	不可	X	—	—	—
3.0 リットル V6 ターボ エンジン	可	—	—	—	X
	不可	X	—	—	—
4.0 リットル V8 ツインターボ エンジン	可	—	X	—	—
	不可	—	X	—	—

エンジン オイルについての正確な情報はポルシェ正規販売店から入手してください。エンジン オイルを補充する必要がある場合は、指定されているエンジン オイルを使用してください。

エンジン オイルの補充

⚠ 警告

エンジン コンパートメントブロワーまたはエンジン 付近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン コンパートメント ブロワーやドライブ ベルトなどのエンジン コンパートメントの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブロワーはボンネット下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、エンジン コンパートメント内の温度が監視され続けます。この間は、エンジン コンパートメント ブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすること

があります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワー、ドライブ ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

⚠ 警告

エンジン オイルの発火

エンジン オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然

発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
- ▶ エンジン オイルを補充する前にエンジンを冷却してください。

⚠ 警告

高温のエンジン部品

エンジン、エンジンに隣接する構成部分、およびエキゾースト システムは、エンジン運転中、非常に熱くな

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ります。
- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
 - ▶ エンジン ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
 - ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
 - ▶ エンジン オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジン オイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジン オイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッショ

- ン コントロール システムを損傷する恐れがあります。
- ▶ オイル レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
 - ▶ エンジン オイルを追加する際は、上限マークのところまでにしてください。オイル リザーバーが溢れた時は、できるだけ早く調整してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の点を常に遵守してください。

- ボルシェ社が認証したオイルのみを使用してください。定期点検時期 (サービス インターバル) を遵守してください。
- ボルシェ社が認証したオイルは、混ぜ合わせることはできません。
- オイル添加物を使用しないでください。

- エンジン オイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章 (25ページ) を参照してください。

1. インストルメント クラスターでエンジン オイル レベルを確認します。
2. オイル フィラー キャップをゆるめてください。
3. インストルメント クラスターに表示された量のエンジン オイルを補充してください。表示された補充量以上のエンジン オイルを補充しないでください。
4. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けてください。

エンジンの始動および停止

イグニッション ロック

キーはイグニッション ロック内のコントロールユニットに変更されました。ドライバーがキーを携帯するだけでよくなりました。



図 32 : イグニッション ロック / コントロール ユニット

- 0 初期位置
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動 / 作動スタンバイの確立 (E-Hybrid 車両)

0 - イグニッション OFF (初期位置)

イグニッション ロックが位置 0 のときは、エンジンとイグニッションは OFF になっています。

1 - イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストールメント クラスターの警告灯がランプ作動確認のために点灯します。

i インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。最初にコントロールユニットをイグニッション ロック位置 0 (初期位置) に回す必要があります。

2 - エンジン始動

コントロールユニットは、E-Hybrid 車両でエンジンが始動、または作動スタンバイが確立すると、自動的にポジション 2 からポジション 1 にリセットされます。

ステアリング ホイールのロックおよびロック解除

- ▶ 「警報システム」の章 (111ページ) を参照してください。

エンジンの始動

E-Hybrid 車両の始動に関するインフォメーション:

- ▶ 「ハイブリッド車両」の章 (184ページ) を参照してください。
- 1. フットブレーキを踏んでください。
- 2. セレクター レバーの P ボタンを押すか、作動モードの N を選択してください。
- 3. アクセルペダルは踏まないでください。
- 4. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 2 に一時的に回してください。

イグニッション ロック位置 2 にすると、クランクイン (エンジン始動) が自動的に始まり、エンジンが始動します。

- ▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。まずコントロールユニットをイグニッション ロック位置 0 (初期位置) に戻してください。停車したままエンジンを暖機しないでください。直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

車両が始動できない場合:

- ▶ 「キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動」の章 (80ページ) を参照してください。

エンジンの停止



警告

車両が動き出す危険

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック パーキング ブレーキをかけ、セレクター レバーの P ボタンを押してください。



警告

停止中のパワー ステアリングおよびブレーキ ブースター

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターは、エンジンが作動している状態でのみ操作可能です。エンジンが OFF になっている場合、ステアリングホイールまたはブレーキを回すために普段より大きな力が必要になります。

- ▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFF にしてください。

1. 停車してください。
 2. 制御装置をイグニッション ロック位置 0 に向けま
- ▶ 車両から離れる前に、セレクター レバーの P ボタンを押し、電氣的な駐車ブレーキを起動してください。

i インフォメーション

制御装置は取り外せません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オート スタート / ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するすべての条件が満たされるとオートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ボンネットが閉じている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ ティプトロニックS作動モードD、M、N、またはPが選択されている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または運転席ドアを閉じている。

エンジンの自動停止および自動始動

エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。
— または —
- ▶ 車両が停車中にセレクターレバーのPボタンを押してください。

i インフォメーション

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。エンジンはアクセルペダルを踏み、またはエンジンを始動する必要がありますときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

エンジンの始動

- ✓ 作動モードD、M、N、またはPが選択されている。
- ▶ フットブレーキを放してください(作動モードがPの位置にない場合)。
— または —
- ▶ アクセルペダルを踏み込んでください。
— または —
- ▶ ステアリングホイールを動かしてください。
— または —
- ▶ 作動モードRを選択してください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合もあります。場合により、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車時の作動

エンジンの自動停止時に降車する(運転席シートベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合)と、エンジンは自動的に始動しません。さらに、作動モードD、R、またはMになっている場合:

- エレクトリックパーキングブレーキがかかります。208ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- トランスミッションパーキングロックPに入れます。171ページの「トランスミッション」の章を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

作動モードD、R、またはMでパーキングブレーキを解除した場合、またはブレーキペダルを踏んだ状態で作動モードD、R、Mが選択されている場合には、エンジンが再始動します。

降車後30秒以内に以下の条件のうちの1つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。
— または —
- 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
— または —
- 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから 30 秒以内にオート スタート/ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めてシートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。
- ▶ 「エンジンの始動および停止」の章 (67ページ) を参照してください。
- ▶ 「シートベルト」の章 (119ページ) を参照してください。

オート スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート スタート/ストップ機能は使用できません：

- SPORT/SPORT PLUS モードが作動しているとき
- オフロード走行プログラムが ON の場合
- PSM が OFF、または SPORT モードのとき
- クリーピング時
- ボルシェ ヒル コントロール (PHC) 作動
- AC MAXモード (最大冷却出力) の作動中
- 「フロント ウィンドウ デフロスター」機能が作動している
- 標高が高いとき
- 車高を調整しているとき
- 連結されたトレーラー車両が検出されたとき (パイクレック コネクターまたはトレーラー コネクターが接続されていると検出されます) 他社製のトレーラーヒッチを車両に連結している場合はオート スタート/ストップ機能を手動で停止してください。

例えば次のような状況では、オート スタート/ストップ機能は一時的に制限されます：

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき

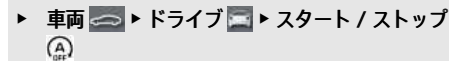
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂で停車したとき
- オート エンジン チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき

インフォメーション

オート ストップ後に次のような状況に陥ったときは、エンジンが自動的に再始動します。

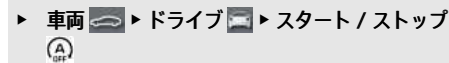
オート スタート/ストップ機能の ON/OFF を切り替える

OFF にする



エンジンのオート スタート/ストップ機能が停止します。

ON にする



停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オート スタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オート スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、インストルメントクラスターのインジケータライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンの自動停止後に再始動しない場合は、停車中にインストルメントクラスターのインジケータライトが黄色に点灯します。

オート スタート/ストップ システムは、次の状態を検出します：

- エンジンを自動停止するための条件の少なくとも1つが満たされていない。
- または –
- オート スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▶ 「エンジンを自動停止するための条件」の章 (68ページ) を参照してください。
- ▶ 「オート スタート/ストップ機能の例外」の章 (69ページ) を参照してください。

警告メッセージへの対応

故障したときは、オート スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オフロードドライビング プログラム

車両には未舗装の道の走行用の走行プログラムがいろいろ装備されています。装備仕様により、以下の走行システムおよびシャーシシステムは、現在選択中の走行プログラムに合わせて調整されます: エンジン、トランスミッション、PTM、PTV プラス、PASM、シャーシ高、PSM、PDCC。これは、各走行シナリオに最適な運転を可能にします。

以下のオフロード走行プログラムが利用できます。

砂利

例えば、砂利道や濡れたエリアでの走行に適しています。

泥

例えば、泥道やわだちでの走行に適しています。

砂

例えば、砂が深い場所での走行に適しています。

岩

例えば、岩場の悪路での走行に適しています。

走行プログラムの選択

1. 車両  ▶ オフロード  を選択してください。
2. タッチディスプレイで希望の走行プログラムを選択してください。
タッチディスプレイに選択した走行プログラムが表示されます。
オフロードはインストルメント クラスタに表示されます。

インフォメーション

イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは自動的に NORMAL オンロード走行プログラムに戻ります。

インフォメーション

いったん起動した走行プログラムは、走行状況の変化 (その後、車両が路面を走行した、より高速で走行したなど) が生じた場合でも起動されたままとなります。駆動力およびシャーシ コントロール システムは、変化した走行状況および速度に応じて調整されます。

警告メッセージへの対応

ギヤシフト システムに故障がある場合、インストルメント クラスタに警告が表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91 ページ) を参照してください。

チルティング インジケーター

✓ オフロード パッケージ装着車

水平位置に対する現在の車両の角度を PCM のオフロード メニューに表示できます。車両装備により、ヘッドアップディスプレイにも表示できます。角度は、縦および横のチルティング角に分けられていません。ステアリング角も表示されます。

インフォメーション

特定の速度を超えると、チルティング インジケーター ディスプレイが解除され、値 [---] が表示されます。



注意

ディスプレイの矛盾

チルティング インジケーターの正確さは現在の走行状況に左右され、実際の車両の角度とは異なったり、時

間に遅れが生じたりする場合があります。

- ▶ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。



警告

集中力の低下

走行状況および / または路面により、わずかな傾きでも車両が傾いたり滑ったりすることがあります。

- ▶ 走行状況および障害物を識別することは、最終的にドライバーの責任です。
- ▶ 十分注意して運転してください。

オフロード走行

このセクションでは、オフロード走行で発揮される特別な性能について説明します。この車両でオフロード走行する前に:

- ▶ このセクションを注意してお読みください。
- まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

警告

車両のコンポーネントには高度のストレスが発生します

オフロード走行中には、砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキなどのコンポーネント内に入り込むことがあります。これにより、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こし、事故や車両の損傷につながる可能性があります。

- ▶ 正規ボルシェ販売店で定期的な点検や保守、修理を行ってください。

知識

損傷する恐れがあります。SportDesign パッケージ装着車は、フロント、リヤ、サイドスカートに塗装が施されています。

- ▶ オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
- ▶ 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
- ▶ サイド スカートを足かけとして使用しないでください。

オフロード走行で注意すべき点

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、適切なオフロード走行プログラムを有効にしてください。

- ▶ 「オフロード ドライビング プログラム」の章（70ページ）を参照してください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、必要に応じてオフロード レベルまたはスペシャル オフロード レベルを作動させます。車高レベルを調整している間はブレーキを踏まないでください。
- ▶ 車高レベルは必ず平坦な場所で調整してください。
- ▶ 荷物をしっかり固定してください。
- ▶ 「荷物の積載」の章（251ページ）を参照してください。
- ▶ 路面状況が運転席から確認しづらい場合、障害物を前もって発見できるよう、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。
- ▶ 必ずエンジンを作動させて走行してください。パワー ステアリングはエンジン作動時にのみ使用することができます。
- ▶ ゆっくりと一定の速度で運転してください。
- ▶ 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
- ▶ 岩、穴、切り株、溝などの障害物に注意してください。
- ▶ 走行中には、ルーフ システムおよびサイド ウィンドウを必ず閉じます。
- ▶ マークされたルートや経路から外れないでください。
- ▶ 自然を大切にしてください。
- ▶ 進入禁止標識には必ず従ってください。

オフロード走行の準備

タイヤおよびリムの点検

- ▶ トレッドの深さが十分あるか、タイヤ空気圧は適正か点検してください。
- ▶ 損傷がないか点検し、トレッドに異物（石など）がある場合は取り除いてください。
- ▶ バルブ キャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。
- ▶ ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

オフロード走行後の車両点検

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

警告

車両の損傷

車両の損傷は、後に乗員や他の通行者を巻き込む事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

- ▶ 故障の疑いがある場合は正規ボルシェ販売店で点検してください。
- ▶ タイヤに損傷の兆候（亀裂、破れ、トレッド内への異物の挟まり）がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
- ▶ 損傷がある場合は正規ボルシェ販売店でお早めに修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両を点検する際は、以下の点をご確認ください:

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ オフロード走行プログラムを解除してください。
- ▶ ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
- ▶ フロントおよびリアのナンバー プレートを清掃してください。
- ▶ ウォーター ジェットでタイヤ トレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
- ▶ ウォーター ジェットでホイール、ホイールハウジング、車両下周りを洗浄してください。
- ▶ 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。
これらは車両火災の原因となる恐れがあります。
また、フューエル ライン、ブレーキ ホース、アクスル ジョイント ブーツ、ドライブ シャフトなどが損傷する原因になる場合があります。
- ▶ オフロード走行後にフロア部品全体、タイヤ、ボディ、ステアリング、シャーシ、エキゾースト システムが損傷していないか、必ず点検してください。
- ▶ めかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキ ディスク、ホイール、ブレーキ パッド、ホイール、アクスル ジョイントを点検して、清掃してください。
- ▶ オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイール バランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

上り坂でのオフロード走行



危険

危険な上り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 上り坂走行時には、方向転換しないでください。
- ▶ 勾配がきつく登れない場合は、必ずリバース ギヤに入れてバックしてください。
- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 上り坂走行時にニュートラル状態やクラッチを離している状態で車両を後退させないでください。
この状態でフット ブレーキのみを使用するのは非常に危険です。

急勾配を上る際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ 急坂路を上り下りする場合は、その前に適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。

上り坂でのトラクション増加

坂でトラクションを増加する際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 上り坂走行時にはアクセルペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる（スピンしない）ようにしてください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

下り坂でのオフロード走行



危険

危険な下り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 下り坂はフロント ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 下り坂をアイドリング状態で下りないでください。
- ▶ エンジン ブレーキを使用してください。
エンジン ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット ブレーキを軽く踏んでください。
- ▶ ボルシェ ヒル コントロール (PHC) を作動させてください。

急勾配を下る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
オフロード ABS が自動的に作動します。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。

i インフォメーション

オフロード ABS の特別制御メカニズムにより、フロント ホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。

隆起部分の走行

隆起を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 隆起部分にさしかかる前にアクセルペダルをゆるめて、慣性運動を利用して隆起を越えてください。隆起を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。

水たまりや浅瀬の走行



危険

車内への水の浸入

車内への浸水により生命の危機につながる危険な状態となることがあります。また車両の損傷にもつながります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。水の深さは、テクニカルデータに記載されている渡河能力を超えないようにしてください。
- ▶ 運転前にドアシルおよびラバーシールを清掃してください。
- ▶ 深く流れの速い場所には進入しないでください。

山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。

- ▶ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開けないでください。



警告

ブレーキ ディスクの水膜または汚れ

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。

- ▶ 塩水の中を走行するのは避けてください。

水たまりや浅瀬を渡るときは以下の点に注意してください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
 - ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
 - ▶ エアコンコンプレッサーを OFF にしてください。
 - ▶ ヘッドライトを OFF にしてください。
 - ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
 - ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- 水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかる

んでいるため、発進が困難になる場合があります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩行速度程度で進入してください。
- ▶ 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- ▶ 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリーが損傷する恐れがあります。
- ▶ 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を渡るときは方向転換しないでください。
- ▶ 渡り切れない場合はリバースギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。



インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、パワーステアリングポンプやオルタネーターが故障する恐れがあります。

水上走行後の車両点検

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。

- ▶ タイヤトレッドから泥を落としてください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行した後は「ブレーキ」を軽くかけて、ブレーキパッドを乾かしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

障害物の乗り越え

知識

障害物を乗り越える際に運転を誤ると、アンダーボディやシャーシを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロント ホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- ▶ リヤ ホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

障害物を越えて走行する際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

砂上走行

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に運転ににくい路面です。運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。

砂上を走行する際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。立ち往生することになります。
- ▶ 飛砂で覆われておらず深すぎない場合、そして地上高に余裕がある場合は、わだちに沿って走行してください。
- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、より容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

柔らかい砂道の傾斜を走行する場合：

- ▶ 高いエンジン回転数を得るため、必要に応じてオフロード走行プログラムを作動させ、マニュアルティプトロニック S モード **M** を使用してください。

車両がまだ停止する場合：

- ▶ ホイール スピンは避けてください。木の枝やマットなどを使用して、トラクションを確保し、脱出してください。

わだちでのオフロード走行

知識

深いわだちを走行すると、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 深すぎるわだちは走行しないでください。

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 片方のホイールが脇の草の上を通過するように走行すると、比較的安全にわだちを通過することができます。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

オンロードドライビング プログラム

装備によっては、舗装された道路の走行時に、全体的によりスポーティーに設定された多様な走行プログラムが提供されます。オフロード走行プログラムに関する情報:

- ▶ 「オフロードドライビングプログラム」の章 (70ページ) を参照してください。

NORMAL、SPORT、SPORT PLUS および INDIVIDUAL 走行プログラムの車両設定に関する情報:

- ▶ 「選択した走行プログラムの車両設定の概要」の章 (76ページ) を参照してください。

E-Hybrid 車両について、E-POWER、HYBRID AUTO、E-CHARGE および E-HOLD モードの走行モードと車両設定の選択に関する情報:

- ▶ 「モードスイッチでの走行プログラムの選択」の章 (185ページ) を参照してください。

以下の走行プログラムが利用できます:

ノーマル

日常での走行中、コントロールシステムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

スポーツ

日常での走行中、コントロールシステムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

パーソナル

ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスの走行プログラムの一部の設定を個別に組み合わせることができます。

パフォーマンス

レースサーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

走行プログラムの選択

i インフォメーション

作動準備が整うと、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

ダッシュボードのタッチディスプレイで走行プログラムを選択する

1. 車両  ▶ ドライブ  を選択してください。
2. タッチディスプレイで希望の走行プログラムを選択してください。

センターコンソールでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ非装備車

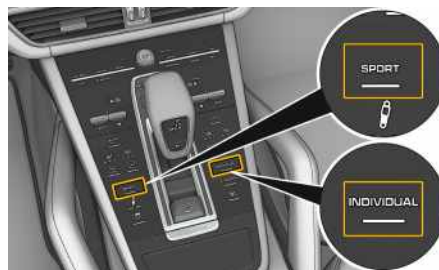


図 33: センターコンソールの走行プログラム ボタン

- ▶ **SPORT** ボタンまたは **INDIVIDUAL** ボタンを押してください。
走行プログラムが作動している場合、ボタンのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

モードスイッチでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車

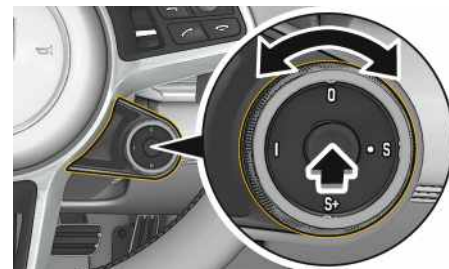


図 34: ステアリングホイールのモードスイッチ

- 0 ノーマル
 - S スポーツ
 - S+ スポーツ プラス
 - I 個別
- スイッチ中央 Sport Response ボタン

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望の走行プログラムを選択します。
選択した走行プログラムのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

INDIVIDUAL 走行モードの設定

個別走行プログラムでは、シャーシ、車両レベル、スポーツエキゾーストシステム、オートスタート/ストップ機能 (E-Hybrid 車両ではない) を、ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスの各走行プログラムに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを I 位置に戻すか **INDIVIDUAL** ボタンを使うか、タッチディスプレイの該当するボタンを使って再び呼び出すことができます。

あ

個別モードで設定を保存する

1. 車両  ▶ ドライブ  を選択します。
2. タッチディスプレイで希望の設定を選択してください。
3. 設定を保存するには、ヘッダーの  を選択してください。

Sport Response モードの使用

✓ スポーツ クロノ パッケージ 装備車



図 35 : Sport Response ディスプレイ タイマー

Sport Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションがタイマー コントロールで最大レスポンスに設定されます。

Sport Response モードの作動

- ▶ モード スイッチの SPORT Response ボタンを再度押してください。
「車両&情報」ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示しています。その

後、約 20 秒後、車両は前に選択していた走行プログラムに戻ります。

Sport Response モードの作動停止

- ✓ SPORT Response モードが作動していること
- ▶ モード スイッチの SPORT Response ボタンを再度押してください。
車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

選択した走行プログラムの車両設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行プログラム	NORMAL/HYBRID	スポーツ	スポーツ プラス
シフトダウン時のスロットル ブリップ	無効	作動	作動
車内のエンジン サウンド最適化	無効	作動	作動
バックファイアー	無効	作動	作動

わ

A-Z

走行プログラム	NORMAL/HYBRID	スポーツ	スポーツ プラス
パフォーマンス開始	作動不可	作動不可	有効化可能
オート スタート / ストップ	作動	無効	無効
スポーツ エキゾースト システム	OFF	ON	ON

NORMAL

日常での走行中、コントロール システムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

SPORT

日常での走行中、コントロール システムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

SPORT PLUS

レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

スポーツ エキゾースト システムの ON/OFF の切り替え

スポーツ エキゾースト システムは PCM で排気音最適化モードに切り替えることができます。

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ スポーツエキゾーストシステム

カップホルダー



注意

熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする場合があります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいになった容器をカップホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ 運転中はカップホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいになった容器をカップホルダーに置かないでください。

カップホルダーはフロント センター コンソール、リヤ アームレスト、およびドアに取り付けられています。

フロント カップホルダー



図 36：フロント アームレストのカップホルダー

リヤ カップホルダー



図 37：リヤのカップホルダー

キー

キーを使用する場合

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

ボタンを押すと、キーのボルシェ クレストが点灯します。走行中は、ボタンを押さなくてもクレストが点灯する場合があります。

走行中には、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため、キーのボルシェ クレストは、作動中でなくても点灯することがあります。キーへのデータ保存とキーからのデータ読み取りに関する詳細情報：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 以下の理由でリモコンが機能しない場合があります。
 - 送受信中に (ボルシェ イージー エントリー 装備車の場合は、キーと車両の間での無線通信中にも) 電波干渉が起きている可能性があります。キーを電源が入っている電子機器 (携帯電話、ノート パソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管しないよう注意してください。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。
 - 故障のためにリモコンに不具合が発生している場合。
 - キーの電池が消耗している場合。



図 38：キー

- A ドアのロックを解除する
- B ドアをロックする
- C テールゲートを開き、車両のロックを解除する

すべてのキーにエマージェンシー キーが一体化されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いにはご注意ください：特別な場合を除き、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残して離れることは決してしないでください。

エマージェンシー キーを使用する場合

エマージェンシー キーを取り出す



図 39：エマージェンシー キーを取り出す

- ▶ エマージェンシー キーを押して、ドライバーのキーから取り出してください。

エマージェンシー キーを元に戻す

- ▶ エマージェンシー キーを、音がして解放ボタンと噛み合うまで、ドライバ キーへ挿入します。

キーの電池交換



警告

リチウム ボタン セルを飲み込むことによる体内での化学火傷または死亡

キーにはリチウム ボタン セル (電池) が含まれています。

電池を飲み込むと、2 時間以内に体内で科学火傷を起こし、死亡する可能性があります。

- ▶ 取り外した電池や新しい電池に子供を近づけないでください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開いて電池を取り外す場合があります。
- ▶ 電池を飲み込んだり、身体の開口部に入れたりした場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

i インフォメーション

- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

キーの電池交換が必要になると、インストールメント クラスタにメッセージが表示されます。ボタンを押してもキーの Porsche Crest は点灯しなくなります。

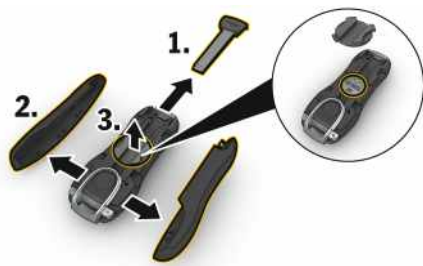


図 40 : 電池の交換

電池の交換 (CR 2032、3 V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. 左右のキー ハウジングを外します。
3. バッテリー カバーを反時計方向にゆるめて、取り外します。
4. 電池を交換します (電極の向きを確認)。
5. バッテリー カバーを再度取り付けて、時計回りにしっかりねじ込みます。
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キー ハウジングを下から押し上げ、所定の位置に取り付けます。
7. エマージェンシー キーを挿入します。

キーの電池が切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動



図 41 : カップホルダー内のキー

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーの電池が切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この状況で車両を始動するには下記に従います。

1. キーを左側のフロント カップホルダー内に置きます。キーの背面をリヤ方向に向けた状態で、キーをカップホルダーの壁面に立てかけます。
2. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
3. コントロールユニットを再度イグニッション ロック位置 2 まで回します。
 - ▶ 「エンジンの始動および停止」の章 (67 ページ) を参照してください。

スペア キーの注文と登録

車両のスペア キーは、ボルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合があります。

- ▶ いつでもスペア キーが使えるようにあらかじめ用意ください。
- ▶ スペア キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

車両用の新しいドライバー キーについて知るために：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両に属するすべてのドライバー キーについて再度学んでください。



インフォメーション

合計 8 個のドライバー キーについて学ぶことができます。



インフォメーション

- ▶ ドライバー キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェのパートナーに依頼し、車両のドライバーのキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ ドライバー キーの紛失や盗難保険会社に通知し、追加やスペア キーの製作を依頼してください。

クーラント (冷却水)

▲ 警告

エンジン コンパートメント
ブロワーおよびエンジン
付近の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブロワーやドライブ ベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブロワーはボンネット下に取り付けられています。エンジンのスイッチがOFF になった後も、エンジン コンパートメントの温度は監視され続けます。この間は、エンジン コンパートメント ブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを OFF にして、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワー、ドライブ ベルト、またはその他の可動部品に巻き込まれないよう十分に注意します。

▲ 警告

高温のエンジン部品およびクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント タンクには圧力がかかっています。クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然

吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やします。
- ▶ エンジン コンパートメントで作業する際は十分に注意します。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント リザーバーのキャップを開かないでください。水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

知識

警告シンボルが表示された後でも車両が動き続ける場合は、エンジン損傷の恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷やします。
- ▶ クーラント レベルが適正であるにもかかわらず警告が継続する場合は、運転を続けしないでください。
- ▶ 故障を修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37 °C までの凍結防止の働きがあります。クーラント レベルの定期的な点検はメンテナンスの一部です。

- ▶ ボルシェが認定した不凍液のみを使用します。ボルシェ社では、Glysantin® G40® (または: G12+ /VW TL 774 G に準拠した凍結防止) または

Glysantin® G65® (または: G12evo/VW TL 774 LJ に準拠した凍結防止) を推奨します。これらの凍結防止剤は、混ぜ合わせるすることができます。

E-ハイブリッド車の特徴について

E-ハイブリッド車には、手が届かないクーラント リザーバー タンクがついた 2 番目の冷却回路が存在します。そのクーラント レベルは点検する必要はありません。故障はインストルメント クラスターに表示されます。

この 2 番目のクーリング システムで故障が発生した場合:

- ▶ 絶対にクーラントを追加しないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クーラント レベルの点検と補充

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章 (25ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

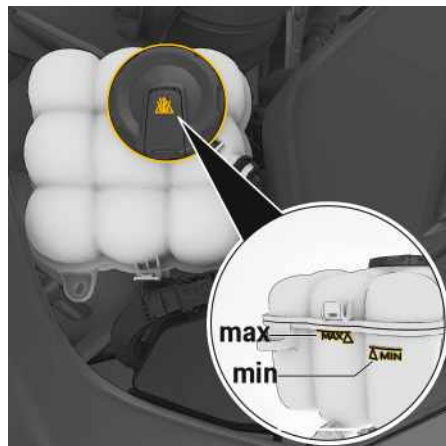


図 42：クーラント リザーバー

▷ 「インストールメント クラスタ」の章（37ページ）を参照してください。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する。

✓ エンジンが冷えていて、水温計が 60 °C 以下である。

1. クーラント レベルを読み取ってください。クーラント レベルは、常に **min** と **max** のマークの間であるものとします。
2. クーラント レベルが、**min** のマークの下の場合、クーラントを追加してください。
3. 慎重にクーラント リザーバー タンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
4. キャップを完全に取り外してください。
5. クーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。補充時に **max** のマークを超えないようにしてください。
6. リザーバー タンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. クーラントの減りが著しい場合は、クーリング システムに漏れが発生しています。クーリング シス

テムを点検して、クーラントの漏れの原因を直ちに修正してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減りが著しい場合は、クーリング システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、約30～240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

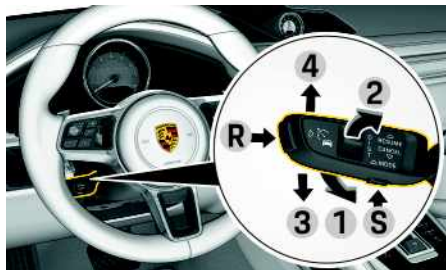


図43: コントロールレバー

- R ドライバーアシスタンスシステムのON/OFFの切り替え
 S ドライバーアシスタンスシステム間の切り替え
 1 速度の設定 / 加速
 2 設定速度を下げる
 3 クルーズコントロールの中断（キャンセル）
 4 クルーズコントロールの再開（RESUME）

i インフォメーション

アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）ではクルーズコントロールを使用しないでください。

ださい。

クルーズコントロールON（スタンバイ）

- ✓ クルーズコントロールはONです（ボタンR）。
- 1. コントロールレバーのボタンSを押してください。
 ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- 2. ステアリングホイールの左側のロータリーブッシュボタンを使用してCCを選択し、ボタンを押して確定します。
- ▶ 「インストルメントクラスターの操作」の章（39ページ）を参照してください。



ステータスディスプレイ
 インストルメントクラスターのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。速度は保存されていません。

速度の設定（維持）

1. アクセルペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリングホイールのレバーを前方1に押してください。



設定速度
 現在の設定速度は赤いクルーズコントロールアイコンの下に表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールのレバーを前方に押します1。
 短く押す = 1 km/h、押し続ける = 10 km/h。
- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリングホイール側のレバーを引きます2。

短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h
 新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

i インフォメーション

通常通りアクセルペダルの操作で加速することができます。保存された値は変更されません。アクセルペダルを戻すと、再開されます。

クルーズコントロールの中止 - キャンセル

クルーズコントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズコントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ レバーを下に押してください3。
 - または -
- ▶ ブレーキを踏みます
 - または -
- ▶ セレクターレバーを作業モードNの位置に動かします。
 - または -
- ▶ コントロールレバーのボタンSを押してください。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的に中断されます。

- 車両速度は一定の間、設定速度の上下に維持されます。
- ポルシェスタビリティマネージメント（PSM）が有効です。

クルーズコントロールの再開（RESUME）

- ▶ レバーを上を押してください4。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

クルーズコントロールは設定速度に加減速します。

か

クルーズコントロールを OFF にする

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタン R を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

さ

た



インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

けん引

i インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ けん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引についての通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック パーキング ブレーキやステアリング コラム ロックを解除するために外部電源の接続が必要ながあります。

けん引または押しがけによる始動

知識

けん引または押しがけによる始動は車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は **しない** てください。
- ▶ けん引時は 4 輪すべてが接地するようにするか、復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。テンション ストラップをけん引フックにかけないでください。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、まずバッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▶ 「バッテリー」の章（187ページ）を参照してください。

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（123ページ）を参照してください。

車両のけん引

警告

パワー アシスト機能を使用しないため、ステアリングを回す力およびブレーキを踏む力を強くする必要があります

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング アシスト機能およびブレーキ アシスト機能を利用することはできません。ブレーキおよびステアリング操作に、より力を入れる必要があります。

- ▶ 車両のけん引時には、十分に注意してください。

- ▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。
- ▶ けん引される車両は、ブレーキ ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング コラムがロックしないようにするため、イグニッション スイッチを ON にしてください。

車両のけん引

- ▶ 作動モード **N** を選択してください。
- ▶ 作動モード **N** を選択できない場合、またはトランスミッション パーキング ロック **P** が作動している場合：
 - ▶ 「トランスミッション パーキング ロックの緊急解除の実施」の章（85ページ）を参照してください。
- ▶ PAS を停止します。
 - ▶ 「ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)」の章（223ページ）を参照してください。
- ▶ けん引するときの速度は 50 km/h 以下にしてください。けん引距離は 50 km 以内にしてください。

車両を 50 km を越えてけん引する必要がある場合、または 50 km/h を超える速度でけん引する必要がある場合、あるいは車両が急な下り坂、急な上り坂にある場合には、

- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ▶ 「鉄道、船舶、積載車での車両の輸送」の章（87ページ）を参照してください。

トランスミッション パーキング ロックの緊急解除の実施

作動中の場合、トランスミッション パーキング ロックの緊急解除をけん引の前に実施してください。緊急解除は運転席側のフロア マット下にあります。

警告

車両は固定されていません

トランスミッション パーキング ロックの緊急解除を実施するときに、車両が動き出さないように固定されてはいないため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。

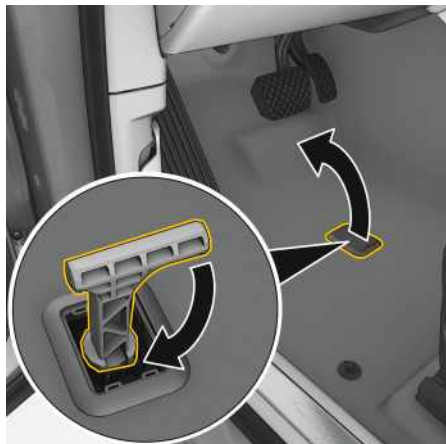


図 44: 運転席側のフットウェル。トランスミッション パーキング ロックの緊急解除の実施

トランスミッション パーキング ロックの緊急解除

1. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させるか、ブレーキ ペダルを押して、車両が不意に動き出さないように固定してください。
 - ▶ 「ブレーキ」の章（208ページ）を参照してください。
2. 適切な道具（ドライバードなど）を使用して、フットウェルのカバーを慎重にこじって取り外してください。
3. 車載工具のソケット レンチをリリース ロックに挿入してください。
 - ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（251ページ）を参照してください。
4. ソケット レンチを押して、確実にはまるまで時計回りに 90° 回してください。
5. ソケット レンチを挿入したままにしてください。

トランスミッション パーキング ロックの緊急解除後、インストルメント クラスタに作動モード **N** が表示されます。

トランスミッション パーキング ロックに再度入れます。

知識

トランスミッション パーキング ロックに再度入れるときに、損傷する恐れがあります。

- ▶ ソケット レンチを戻さないでください。

1. ソケット レンチを垂直に引き出してください。
2. カバーを再度挿入してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ 可能であればけん引バーを使用してください。けん引バーが使用できない場合にのみ、けん引ロープを使用してください。メーカーによりけん引ロープとして使用するために指定された伸縮性がある合成繊維のロープ、または伸縮性がある素材でできたロープを使用してください。
- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ 必ずけん引ロープまたはけん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ 車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。
- ▶ けん引するときは、最初にけん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。

- ▶ 「けん引フックの使用」の章（87ページ）を参照してください。

- ▶ トレーラー ヒッチにけん引ロープまたはけん引アイを取り付けしないでください。

けん引ロープを使用する

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って、元の方向に引き出してください。
- ▶ トレーラー車両を連結した状態でけん引しないでください。

けん引フックの使用



図 45：けん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（251ページ）を参照してください。
- 1. プラスチック カバーの上端をバンパー内に押し込んで、カバーを外してください。
- 2. プラスチック カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
- 3. けん引フック A を反時計方向いっぱいめにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A を外してください（時計回りに回転、逆ねじ）。
2. 開口部の上端にプラスチック カバーを差し込んでください。
3. プラスチック カバーをバンパーに押し込み、はまるまで下端を押してください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での車両の輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。テンション ストラップをけん引フックにかけないでください。
- ▶ 室内モニタリング システムと傾斜センサーを解除してください。
 - ▷ 「警報システム」の章（111ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

給油

一般情報



警告

給油時の火災の危険

燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり、爆発を起こしたりする可能性があります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、喫煙は禁止されています。



警告

燃料蒸発ガスの吸引および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

燃料によって硫黄含有量が高いものがあります。そのため、特定の運転状況下において、エンジン内の燃焼が不快な匂い（いわゆる「腐った卵の匂い」）を引き起こすことがあります。この特性に関してボルシェ社は責任を負いません。また、これは車両の不具合ではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「テクニカル データ」の章（295ページ）を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記で要求されている燃料のみを使用してください。
- ▶ エタノール含有燃料を使用しないでください。

i インフォメーション

燃料品質についての情報は、通常フューエル ポンプに表示されています。ガソリンスタンドの従業員も情報を提供することができます。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

エンジン	推奨燃料	代替燃料
3.0 L V6 ターボエンジン	最低 95 RON/ 85 MON	
その他のすべてのエンジン	最低 98 RON/ 88 MON	最低 95 RON/ 85 MON

この車両のエンジンは、エタノール含有量 10 %以下

の燃料の使用に適しています。エタノール含有燃料を使用すると、燃費が悪くなることがあります。

E5

E10

燃料品質についての情報は、通常フューエル ポンプに表示されています。ガソリンスタンドの従業員も情報を提供することができます。

i インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価が 91 RON/82.5 MON の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON 以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

低品質な燃料と添加剤の使用

知識

ボルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がボルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ボルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ部品番号：000 043 209 02

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービス インターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

燃料の給油

知識

E ハイブリッド車両：

燃料不足によってエンジンが停止した場合、車両が燃料残量を新たに検出するには、タンクに最低限の量の燃料を補充する必要があります。そうしない場合、エンジンを再始動できません。

- ▶ 燃料を 15 リットルまで再充填します。

知識

燃料が付着すると、デコラティブフィルムが損傷する恐れがあります。

- ▶ デコラティブフィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。



図 46：ボタン A：燃料タンク ベンチレーションの開始およびフィルター フラップの解除 (E-Hybrid 車両)

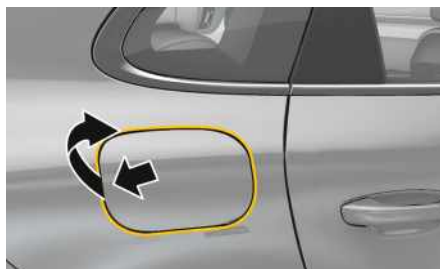


図 47：フィラー フラップを開く



図 48：タンクのキャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 車両のロックが解除されている。

- ▶ **E-Hybrid 車両：**燃料タンク ベンチレーションを開始するために、運転席ドアのボタン A を押してください。

燃料タンク ベンチレーション ステータスがインストルメント クラスタに表示されます。燃料タンク ベンチレーションが完了すると終了音が鳴り、フィルター フラップが解除されます。燃料タンク ベンチレーションが正常に完了されない場合、燃料タンク ベンチレーションを再び開始するために、ボタン A を再度押してください。

1. **E-Hybrid 車両：**解除されたフィルター フラップを完全に開いてください。

E-Hybrid ドライブ非装備車：フィルター フラップの後部を押して、フィルター フラップを開いてください。

この車両に使用できる燃料の種類については、フィルター フラップの裏のステッカーに明示されています。

2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. 取り外したキャップをホルダーにかけてください。
4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実にフィルターの奥まで差し込んでください。
5. 給油ノズルを操作して車両に給油してください。給油ノズルの自動停止後は、燃料の継ぎ足しは行わないでください。燃料が吹きこぼれ、周囲が高温の場合は火災が発生する恐れがあります。
6. 給油後はすぐにタンクのキャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ手ごたえがあるまで締めつけます。
7. フィラー フラップを閉じてフィルター フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

燃料タンクのタンク キャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

フィルター フラップの緊急解除



図 49：緊急時のフィルター フラップのロック解除

フィルター フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィルター フラップを開くことができます。

1. 右側ラゲッジ コンパートメントトリム パネルを慎重に取り外してください。
2. 赤色の緊急解除ボタンを引いてください。
フィルター フラップのロックが解除されます。

E-Hybrid 車両： 緊急解除後にタンクのキャップをゆるめる際、燃料気化ガスが漏れ出す恐れがあります。

警告およびインフォメーション メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、必ずこのマニュアルの該当する章を参照してください。

警告灯が表示されると、さらに音響信号が鳴ります。

すべての測定条件が揃っている場合、警告メッセージのみが表示されます - そのため、定期的に全フルード レベルを確認してください。

次の表は、主な警告メッセージとインフォメーション メッセージの抜粋です。

安全

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	エアバッグ システムエラー 要整備	エアバッグ システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	エアバッグ システムエラー 走行可能 要整備	エアバッグ システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	チャイルドロック エラー	リヤ ドア用チャイルド ロックが故障しています。 ▶ チャイルド ロックを OFF にしてから再度 ON にしてください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングロックを 動かしてください	ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	ステアリングが ロックされています 要整備	ステアリング ロックが作動しています。 ▶ ステアリング ホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリング アシスト故障 操舵力	パワー ステアリングは、故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		増大 継続走行可	▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	(i) 点灯	 ブレーキ液面低下 安全な場所に 停車してください	ブレーキ液面が低過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ			
た			
な			
は	(i) 点灯	 ブレーキ ブースター故障	パワー ステアリングは故障したか不都合がある状態です。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	(i) 点灯	 制動力配分 エラー 安全な場所に 停車してください	制動力配分が故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や	(ABS) 点灯	 ABS/PSM故障	ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら	(P) 点灯	 ブレーキパッド 摩耗 ブレーキパッドを交換 してください 走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ		 Pブレーキ サービスモード中	パーキング ブレーキがサービス モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		 P位置使用不可 車両が動き出す恐れ あり。電動Pブレーキを かけてください	トランスミッション パーキング ロック P 位置は使用できません。 ▶ 作動モード P を選択してください。 ▷ 「トランスミッション」の章（171ページ）を参照してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 レイン/ライト センサー故障 要整備	雨 / 光センサーが故障しています。 ▶ フロント ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅	 例: 左スタティックコー ナリング灯故障 スタティック コーナリングライト 点検	表示されたコーナリング ライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 ドライビングライト 制御エラー ステータス 一時 走行可能	ドライビング ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 例: 左リヤインジ ケーター故障 インジケーター 点検	表示されたライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ハイビームアシスト 使用不可 走行可能 ハイビームを手動で ONにしてください	ハイ ビーム アシストは一時的に使用できません。 ▶ ハイ ビームを手動で点灯してください。 エラーが継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ハイビームアシスト 使用不可 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	カメラの故障により、ハイ ビーム アシストは一時的に使用できません。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ヘッドライトビーム 調整エラー 走行可能	ヘッドライト レベリングが故障しています。 ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		 ワイパー故障 要整備	フロント ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
			1 つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「パンク」の章（190ページ）を参照してください。 ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（152ページ）を参照してください。
さ た な	 点灯	 タイヤを点検 してください	1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「パンク」の章（190ページ）を参照してください。
は	 点灯	 空気を充填して ください	1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「パンク」の章（190ページ）を参照してください。
ま	 点滅または点灯	 TPMSエラー 要整備	タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されていません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や ら	 点滅または点灯	 システムは短時間 利用できません ステータス 一時 走行可能	タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) に一時的なエラーがあります。 タイヤ空気圧は監視されていません。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	 点滅または点灯	 TPMS無効 システムは xx km/h を超えると登録します	タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。 このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。 ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
A-Z	 点滅または点灯	 タイヤ交換が 検出されました アップデート選択	タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▶ タイヤ設定を更新してください。 ▷ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 タイヤ空気圧が 低すぎます または コンフォート プレッシャー 減速してください	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▶ 速度を落としてください。 ▶ 次の機会にタイヤ空気圧を点検してください。
	 歩行者警告 使用不可 要整備	歩行者警告は一時的に使用できません。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 歩行者保護有効 フードを閉じてください 要整備	歩行者保護が起動しました。 ▶ ボンネットを閉じてください。 ▷ 「ボンネット」の章（240ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 歩行者保護 システムエラー 走行可能 要整備	歩行者保護システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		オイルレベルが最低値を下回りました。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ インストルメント クラスターのオイル測定を呼び出してください。 ▷ 「インストルメント クラスター」の章（37ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		オイルレベル超過 走行可能 要整備 オイルレベルが上限を超えています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		オイルレベル測定 エラー 走行可能 要整備 オイルレベル測定に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		オイルレベル低下 補充量の上限： xx L 最低オイルレベルに達しています。 ▶ オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。
		油圧低下 安全な場所に 停車してください 油圧が低すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント クラスターのオイル測定を呼び出してください。 ▷ 「インストルメント クラスター」の章（37ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		▶ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ オイル レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油圧測定故障 エラー 走行可能 要整備 油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油温 超過 負荷を軽減してください 油温が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ インストルメント クラスタのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 「インストルメント クラスタ」の章（37ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▶ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。
		油温表示 エラー 走行可能 要整備 油温ゲージが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
クーラントの温度表示が最高マーク		冷却水レベル低下 安全な場所に 停車してください クーラント レベルが低過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ クーラント レベルを点検してください。 ▶ 「クーラント (冷却水)」の章（81ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		水温計 エラー 水温計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	走行可能 要整備	
クーラントまたはエンジン オイルの温度表示が最高 マーク	 冷却水温度上昇 超過 エンジン冷却のため 停車してください	クーラント温度またはエンジン油温が高すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン オイルのレベルを点検してください。 ▶ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 ▶ 「クーラント (冷却水)」の章（81ページ）を参照してください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 クーラントポンプ 故障	クーラント ポンプが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅または点 灯	 エンジン出力減少 走行可能 要整備	エンジン出力が減少します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅または点 灯	 エンジン制御 故障 安全な場所に 停車してください	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	エンジン制御 故障 走行可能 要整備	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車両電気システム エラー 安全な場所に 停車してください	車両電気システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	電気利用のため 要エンジン作動 車両電気システムエラー 安全な場所に停車	車両電気システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両電気システム エラー または バッテリー低下 要整備	車両電気システムが故障しているか、バッテリーが低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	スタート/ストップ 故障	現在スタート / ストップ機能が利用できません。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	トランスミッション 故障 安全な場所に	トランスミッションが故障しています。 次に停車するまでは走行が可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		停車してください	運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▷ 「けん引」の章（85ページ）を参照してください。
さ た		トランスミッション 加熱 トランスミッション 冷却の為安全な 場所に停車してください	トランスミッション温度が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷却してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な は		トランスミッション 温度超過 負荷を軽減してください	トランスミッション温度が高過ぎます。 継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルの操作で車両を制御するのではなく、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
ま や		トランスミッション エラー リバースギヤが 使用できない 可能性があります	トランスミッションが故障しています。 リバースギヤが機能しない可能性があります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		整備通知 トランスミッション	トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ A-Z		xx 日以内に 点検してください	サービス インジケーター ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。 なお、「整備手帳」に掲載されているサービス インターバルを優先してください。
		エンジン出力減少	燃料タンクが空です。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	すぐに 給油してください	▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」の章（88ページ）を参照してください。
 点灯	 タンクキャップが 開いています タンクキャップを 閉めてください	タンク キャップが完全に閉じていません。 ▶ タンクキャップを正しい位置に取り付け、カチッと音がするまで回して閉めてください。 ▷ 「給油」の章（88ページ）を参照してください。
	 ドア開 または トランクリッド開	▶ 表示されたドアまたはテール ゲートを閉じてください。
 または 	キーが無い、または キーのエラー マークされた キーを保持します 保持 または キーの位置を 変更してください	キーの電池が消耗しています。 ▶ 車両を始動するには、左フロントのセンター コンソールの小物入れにキーを置きます。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。 または キーが故障 / 見つからない / 認識できません。 キーの位置が正しくありません。 ▶ 可能性がある干渉源のスイッチを OFF にしてください。 ▶ この操作を行うときは、キーを携行する必要があります。 － または － 車内でキーの位置を変更してください。
	 スポイラー故障 減速してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 または 	スポイラーエラー または スポイラー制御 故障 慎重に走行 してください

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング システム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
		シャーシシステム 故障 慎重に走行してください 取扱説明書を ご確認ください
		シャーシシステム 故障 要整備 慎重に走行 してください
		シャーシシステム 故障 安全な場所に 停車してください
		車高が 低すぎます 発進せず、運転可能に

シャーシが故障しています。
 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。
 継続走行可能です。
 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

シャーシが故障しています。
 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。
 継続走行可能です。
 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

シャーシが故障しています。
 ▶ 適切な場所に停車してください。
 ▶ 運転を続けしないでください。
 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

車高レベルが低過ぎます。
 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
なるまで待機		
	 車高が 高すぎます 慎重に走行 してください	車高レベルが高過ぎます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 PSM故障 要整備 慎重に走行 してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 ABS/PSM故障 慎重に走行 してください	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 PSM自動 作動	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が自動的に ON になりました。
	 PSMスポーツ 車両安定システム 制限中	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) スポーツが有効である場合、車両安定性システムは制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
	 駆動力分配 システムエラー 慎重に走行 してください	ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 駆動力分配 システム故障 または 駆動力分配	ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		システム過負荷 後輪のみ駆動 慎重に走行 してください	
さ		駆動力分配 システム温度限界 負荷を軽減して ください	ボルシェ トракシヨン マネージメント (PTM) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合: ▶ ボルシェ 正規販売店で故障を修理してください。 *
た			
な		リヤデフロク 過負荷 慎重に走行 してください	ボルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合: ▶ ボルシェ 正規販売店で故障を修理してください。 *
は		リヤデフロク 故障 または リヤデフロク 故障 慎重に走行 してください	ボルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) が故障したか、不完全な状態です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ 正規販売店で故障を修理してください。 *
ま			
や			
ら		リヤアクスル ステアリング故障 または リヤアクスル ステアリング故障 慎重に走行 してください	リヤ アクスル ステアリングが故障したか、不具合がある状態です。 継続走行可能です。 ▶ ボルシェ 正規販売店で故障を修理してください。 *
わ			
A-Z		Eローンチ 作動	ローンチ コントロールが有効です。 最大加速で発進します。 ▶ 「トランスミッション」の章（171ページ）を参照してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	カメラシステム 故障 要整備	車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	カメラシステム 使用不可 ステータス 一時 走行可能	アシスト システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	カメラシステム 制限 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	v システムエラー 走行可能 要整備	1 つまたは複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パークアシスト 警告音故障 または メーターパネル 警告音 故障 走行可能 要整備	警告音およびパーキング アシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	フロントパーク アシスト故障 または リヤパーク アシスト故障 走行可能 要整備	パーキング アシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		 PAS故障 要整備	Porsche Active Safe (PAS) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ た		 PAS制限 取扱説明書をお読みください	Porsche Active Safe (PAS) が制限されているか、故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な は		 PAS制限 センサーが汚れています。清掃してください	Porsche Active Safe (PAS) は、天候状態や車両のセンサーの汚れに影響を受けている可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま や		ACC使用不可 ドライバーの運転操作 が必要です	アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用できません。 ▶ 車両のコントロールを行ってください。
ら		ACC使用不可 ABS/PSM介入	アダプティブクルーズコントロール (ACC) は、ABS または PSM 作動中はご利用いただけません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
わ A-Z		ACC使用不可	アダプティブクルーズコントロール (ACC) でシステムエラーが発生しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ACC使用不可 ギヤをDまたはMに入れてください	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は、D または M 作動モードが選択されている場合のみ、利用可能です。 ▶ 作動モード (トランスミッション レンジ) DまたはMを選択してください。
	ACC使用不可 センサーが汚れています。清掃してください	悪天候またはセンサーの汚れにより、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が一時的に利用できなくなっています。 ▶ センサーを清掃してください。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	LCA使用不可 ステータス 一時走行可能	レーン チェンジ アシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。 ▶ ボタンを押してレーン チェンジ アシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章 (276ページ) を参照してください。
	LCA使用不可 センサーが汚れています。リヤ	レーン チェンジ アシスト (LCA) センサーがバイク ラック、ステッカー、汚れまたは氷結などにより覆われています。 ▶ センサーの故障を修理してください。 ▶ ボタンを押してレーン チェンジ アシスト (LCA) を作動させてください。 ▶ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章 (276ページ) を参照してください。
	ドライバーの運転操作	レーン キープ アシストでドライバーによるステアリング ホイールの操作が著しく少ない、またはまったくないことが検知されると、操作を行うようドライバーに何段階かの警告で促します。 レーン キープ アシストを起動する際は、次の点にご注意ください: ▶ ご自分で直接ステアリング操作をしてください。
	レーンキープアシスト使用不可 走行可能 要整備	レーン キープ アシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 レーンキープ アシスト制限 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	レーン キープ アシストは、天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 レーンキープ アシスト制限 ステータス 一時 走行可能	レーン キープ アシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ナイトビューアシスト 使用不可	ナイト ビュー アシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ナイトビュー アシスト 歩行者検知 使用不可	歩行者検知を使用できません。 歩行者および大きい野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

E-Hybrid 車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 ハイブリッド機能 使用不可 エレクトリカルシステム 加熱 走行を継続 しないでください	ハイブリッド機能を使用できません。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ハイブリッド システム故障 安全な場所に 停車して車両を	ハイブリッド システムを使用できません。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ハイブリッド システム故障 走行可能 要整備	ハイブリッド システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイブリッド冷却水 液面低下 安全な場所に 停車して車両を	クーラント レベルが下限未満です。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両エレクトリカル システム エラー 再始動不可 要整備	車両エレクトリカル システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	長期間エンジンを 作動させる必要があり ます 取扱説明書をお読みください	燃料がエンジン オイル内に溜まっています。このため、内燃エンジンをより長 時間作動させる必要があります。 ▶ E-CHARGE モードを作動させます。 ▶ 「E 充電モード」の章（186ページ）を参照してください。 ▶ メッセージが消えるまで中程度のエンジン回転数で運転してください。エ ンジン回転数を上げすぎないように、スロットル操作を控えめにしてくだ さい。該当する制限速度を遵守してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Eサウンド エラー 走行可能 要整備	E サウンドが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	eローンチ不可	e-Launch を使用できません。 車両の温度が高過ぎます。 ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。 または

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
あ か		高電圧バッテリーが十分に充電されていません。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。
	バッテリー放電 保護有効 充電状態： xx %	高電圧バッテリー放電保護が有効です。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。 長時間のアイドリング： ▷ 「車両のお手入れ」の章（139ページ）を参照してください。
さ た な	 燃料システム 走行可能 要整備	タンク システムの電動ロック解除が故障しています。 ▶ フィラー フラップの緊急解除を実施してください。 ▷ 「給油」の章（88ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、リヤリッド、およびボンネットの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内での動き（例えばウィンドウを壊して車内に侵入しようとしたとき）
- 傾斜センサー：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）
- 故障診断用ソケット
- トレーラー ヒッチ ソケット

これらの警報接点のいずれか 1 つでも作動すると、アラーム ホーンが約 25 秒間鳴り、ハザード ライトが約 300 秒間点滅します。

その後、5 秒間警報が中断され、再度警告音が作動します。この作動を最大 10 回繰り返します（国により異なる）。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが約 30 秒後に作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

i インフォメーション

ドア ロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから 15 秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ドア ロックを解除します。
- または -

- ▶ イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング システムおよび傾斜センサー*をOFFにする

車内に人や動物が残る場合、室内モニタリング システムおよび傾斜センサー、また車両をロックするときはSAFELOCK も一緒に解除することができます（国によって異なります）。

- ▶ 「セントラル ロッキング」の章（132 ページ）を参照してください。

警報システム機能表示

車両のロック状態は、ドアのインジケーター ライトの点滅速度で示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーター ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング システムと傾斜センサー*がOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケーター ライトが素早く点滅し、28 秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル ロッキング システムと警報システムの故障

車両をロックしたときにインジケーター ライトが素早く点滅し、28 秒間連続して点灯し、その後は通常の速さで点滅します。

盗難を防止するために

- 車両を離れる前に、常に：
- ▶ ウィンドウやパノラミック ルーフ システムを閉じ

ます。これはまた、内部監視システムにより誤警報を防止します。

- ▶ パーキング ロック P とエレクトリック パーキング ブレーキを起動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブ ボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 車両に貴重品、車両書類、電話、家の鍵を置き忘れないようにしてください。
- ▶ ドアとリヤリッドを閉じてください。
- ▶ ボンネットを閉じてください。
- ▶ 車両をロックしてください。

イモビライザー

すべてのドライバー キーには格納されたコードとトランスポンダ（電子部品）が含まれています。

イモビライザーを無効にしエンジンを始動するために、認識されるドライバー キーが必要とされます。

ステアリング コラムのロック解除およびロック（国によって異なります）

自動ステアリング コラムの解除

- ▶ 車両に乗り込み、運転席ドアを閉めてください（キーは車内に置いてください）。
- または -
- ▶ イグニッションをONにしてください。

自動ステアリング コラムのロック解除

- ▶ 運転席のドアを開けます（イグニッションOFFで）。
- または -
- ▶ 車両をロックしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

サンバイザー

サンバイザーの調節



図 50 : サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

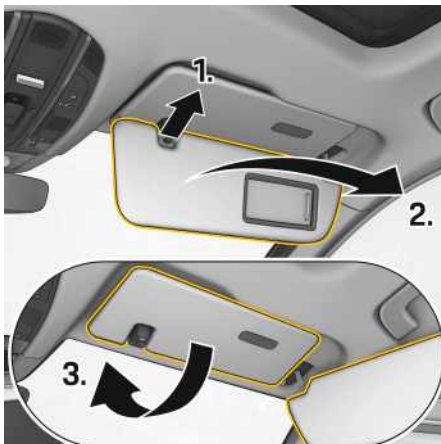


図 51 : 左右方向からの眩しい光を防ぐ

左右方向から眩しい光が入る場合：

1. サンバイザーを内側のブラケットから外してください。
2. サンバイザーをサイド ウィンドウ側に回転させてください。
3. 2 枚目のサンバイザーも回転させて下げることができます。



インフォメーション

サンバイザーを元の位置に戻すときは、先に 2 枚目のサンバイザーを戻す必要があります。2 枚目のサンバイザーを戻さなかった場合、サンバイザーは収納位置に戻りません。

バニティー ミラーを開く



注意

バニティー ミラーのカバーを開く

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はスライド カバーを閉じてください。



図 52 : バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのスライド カバーを開きます。バニティー ミラーのライトが点灯します。

シート

正しいシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転者にフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキペダルをいっばいに踏み込んだときに、脚が伸びきらず脚がペダル面にしっかり接している状態になる位置に調節してください。
3. ステアリングホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度と、ステアリングホイールの位置を肘が少し曲がる位置に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。



警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。

電動シートの調節機能は走行中は制限されます。



注意

シート調節

シートの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まる恐れがあります。

- ▶ 誰にも危険がないようにシートを調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

フロント シートの調節

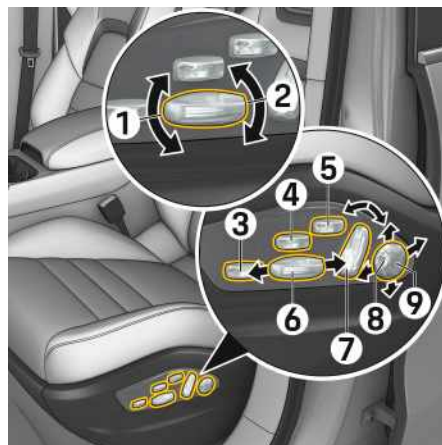


図 53：フロント シートの電動調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 座面のサイド サポートの調節
- 5 シート背もたれのサイド サポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 背もたれの角度調節
- 8 ランバー サポートの調節
- 9 マッサージ機能の ON/OFF

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

- ▶ 「パーソナル設定」の章（201ページ）を参照してください。

リヤ シートの前後調節

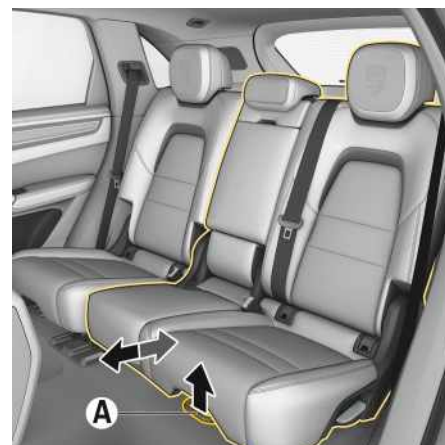


図 54：リヤシートの前後調節

- ▶ レバー A を引き上げながらシートを前後にスライドさせてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤ シート バックレストの角度調節

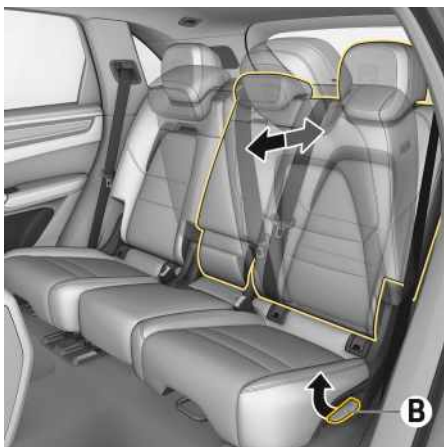


図 55: リヤ シート バックレストの角度調節

1. リヤ シートに座ってください。
2. レバー B を引き上げ、解除されたバックレストを前後に倒して調節してください。バックレストはレバーを放した位置で固定されます。バックレストの角度はいくつかの段階から選べます。

リヤ シートのバックレストを前方に折り畳む、垂直位置に戻す

リヤ シート バックレストは、ラゲッジ コンパートメントをより広く使用するため、個々に前方に倒すことができます。

知識

リヤシートの荷物により損傷する危険があります。

- ▶ バックレストを前方に倒す場合はシートに荷物を置かないでください。

i インフォメーション

左側と中央のリヤ シートのバックレストは、つながっています。このため左側のバックレストを前方に倒すと、中央のバックレストも一緒に倒れます。中央のバックレストは個別に前方に倒すことができます。

リヤ シートのバックレストを前方に倒す

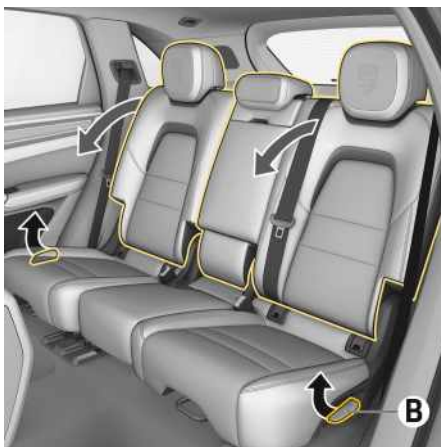


図 56: 外側リヤ シートのバックレストを前方に倒す

- ✓ リヤ シートは前後にスライドします。

1. ヘッドレストを押下げてください。
 - ▶ 「リヤ シートのヘッドレスト調節」の章 (115 ページ) を参照してください。
2. 解除レバー B を引き上げながらバックレストを前方に倒してください。バックレストを接続音がする位置まで下げてください。このとき必要に応じて、シートの後後位置を調節してください。

外側のシート バックレストを垂直位置に調節する



警告

シートのバックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我をする危険があります。

- ▶ シートのバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

1. 解除レバー B を引き上げながらバックレストを後方に倒してください。
2. シート ベルトを挟み込まないように注意してください。
3. カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。

中央のリヤ シートのバックレストを前方に折りたたむ

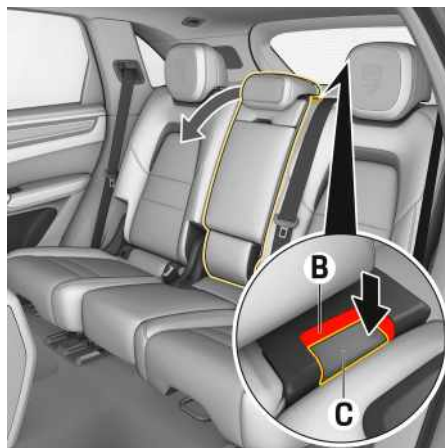


図 57: 中央のリヤ シートのバックレストを前方に折りたたむ

- ▶ 解除ボタン **C** を矢印の方向に押しながらバックレストを前方に倒してください。

センターリヤシートのバックレストの調節



警告

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しくラッチされていない場合、走行中に意図せず前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク **B** がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク **B** が見えなくなったことを確認してください。
- ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してもう一度固定してください。

- ▶ カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。
シートベルトを挟み込まないように注意してください。

フロントシートのヘッドレストの調節

フロントシートのヘッドレストは、高さや前後位置の調節が可能です。



図 58：フロントシートのヘッドレストの高さと前後位置の調節

- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

ヘッドレストを上げる

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

ヘッドレストを下げる

- ▶ ボタン **A** を押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

前方向

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

後ろ方向

- ▶ ボタン **A** を押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを後ろに押してください。

リヤシートのヘッドレスト調節

リヤシートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

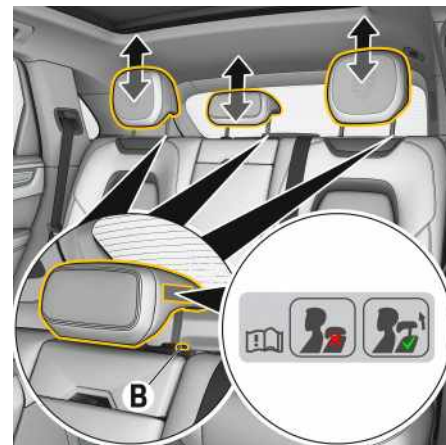


図 59：リヤシートのヘッドレストの高さ調節

- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ 安全表示に従って、ヘッドレストが常に正しく固定されていることを確認してください。

ヘッドレストを上げる

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

ヘッドレストを下げる

- ▶ ボタン **B** を押しながらご希望の設定になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方の視界を確保するために、リヤシート中央のヘッドレストは最も低い設定より下の格納位置まで動かすことができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

⚠ 警告

中央のリヤ シートのヘッドレスト位置

ヘッドレストが正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤ シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から動かし、上の設定に上げてください。

リヤ シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルド シートを正しく取り付けるために、リヤ シートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。

⚠ 警告

リヤ シートのヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない

ヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ リヤ シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

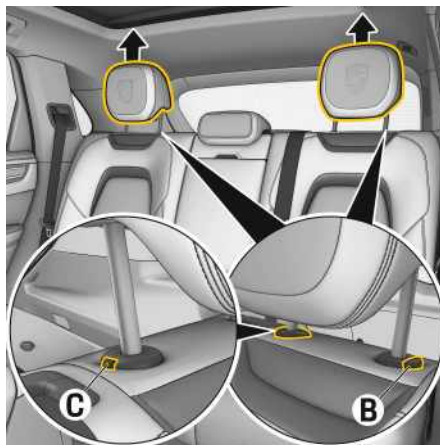


図 60：外側リヤ シートのヘッドレストを取り外す

外側リヤ シートのヘッドレストを取り外す

1. ヘッドレストをいっぱい押し上げてください。
2. 適切な道具（エマージェンシー キーなど）を開口部 C に差し込みます。
3. ボタン B を押しながら、ボタン B に噛み合うまでヘッドレストを持ち上げてください。
4. リヤ シート バックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
5. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。
6. 必要に応じてリヤ シートのバックレストを起こして固定してください。

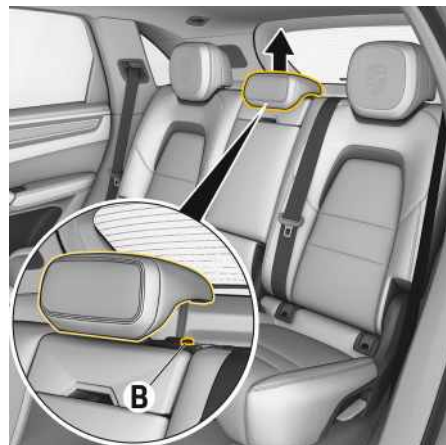


図 61：中央リヤ シートのヘッドレストの取り外し

中央リヤ シートのヘッドレストの取り外し

1. ボタン B を押しながら、ヘッドレストを完全に取り外してください。
2. ヘッドレストを車内の安全な場所に収納してください。

⚠ 警告

ヘッドレストの交換

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストが再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ ヘッドレストが誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

ヘッドレストの取り付け

1. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、カチッと音がするまで押し下げてください。
3. ボタン B を押しながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。
この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。
4. リヤシートのバックレストを起こして固定してください。

シートヒーター / シートベンチレーターの使用

シートヒーター / シートベンチレーターを ON / OFF にする



図 62: フロントシートヒーター / フロントシートベンチレーターの ON/OFF の切り替え

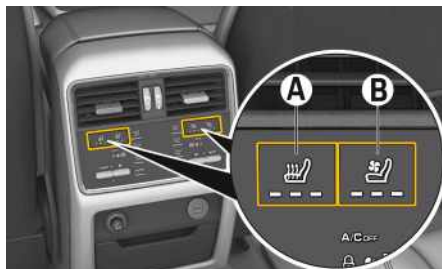


図 63: リヤシートヒーター / リヤシートベンチレーターの ON/OFF の切り替え

シートヒーター / シートベンチレーターを ON にする

- ✓ エンジンを作動状態にする。
- ▶ 必要に応じてボタン A (シートヒーター) またはボタン B (シートベンチレーター) を繰り返し押しします。
選択した設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

シートヒーター / シートベンチレーターを OFF にする

- ▶ インジケータライトがすべて消えるまで、必要に応じてボタン A (シートヒーター) またはボタン B (シートベンチレーター) を繰り返し押しします。

インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が低いときは、シートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーター / シートベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

シートヒーター / シートベンチレーターの設定

シートヒーターとシートベンチレーターについて、シートクッションとバックレストのバランスを設定することができます。

1. 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ シート設定 ▶ 運転席シートヒーター / 助手席ヒーター / 運転席送風 / 助手席エアシート
2. バランスを設定します。

イージーエントリー機能の使用

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

注意

運転席シート自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

知識

リヤシートが前に倒れていると、設定が呼び出された場合に破損する危険があります。

シートが後退して破損する可能性があります。

- ▶ リヤシートが前に倒れている場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

降車するとき

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

機能の作動

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能が作動している
- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
ステアリング ホイールは上方向に動きます。
運転席は後方へ動きます。

乗車するとき

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ:

機能の作動

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能が作動している
- ✓ 運転席およびステアリング ホイールは、イージーエントリー ポジションにあります。
- ▶ 運転席ドアを閉じ、イグニッションを ON にします。
運転席およびステアリング ホイールは、保存された位置に移動します。

インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、乗車時補助機能が中断します。

- ▶ ドライビング ポジションを手動で調節してください。

運転席からの助手席調整

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ:

1. 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ シート設定 ▶ 助手席シート位置 ▶ 助手席シートを調整
2. 運転席の制御装置を使って助手席シート位置を設定します (図 53)。

調整を終えるには:

- ▶ シート調整を完了する を選択します。

リヤでの操作を無効にする – チャイルド プロテクション



図 64: リヤでの操作を無効にする

運転席ドア、コントロール パネルのセーフティー ボタンを押すとリヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチと、リヤ センター コンソールのコントロール パネルの機能が無効になります。

チャイルド プロテクションの ON/OFF の切り替え

- ▶ セーフティー ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
リヤ コントロール パネルで行われたシート設定は保持されます。
リヤ コントロール パネルの機能が停止します。

シートベルト

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
 - ▶ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
 - ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服（ジャケットなど）は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
 - ▶ 硬い物または壊れやすい物（メガネ、ボールペン、携帯電話など）の上からシートベルトを締めないでください。
- 衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
 - ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

⚠ 危険

損傷したシートベルト

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを

確認してください。

- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
 - ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーは以下の状況で作動する場合があります：

- － 車両の前方および後方からの衝突時
- － 車両の側面からの衝突時
- － 車両が横転した場合

📁 インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

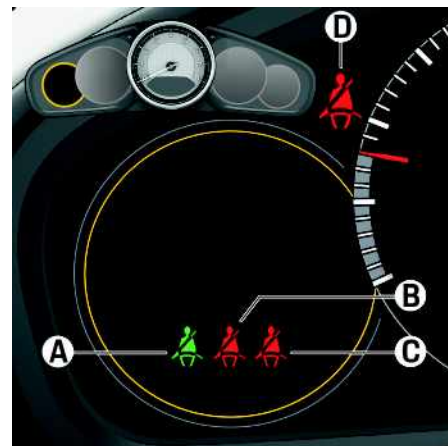


図 65: マルチファンクションディスプレイのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシートのシートベルトステータス表示
- B 中央リヤシートのシートベルトステータス表示
- C 右リヤシートのシートベルトステータス表示
- D 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

フロントシート

イグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターに赤色の警告シンボル D が点灯し、運転席側および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメントクラスターに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側（乗員が座っている場合）のシートベルトが着用されていない場合、インストルメントクラスターに赤色の警告シンボル D が点滅し、警告音が鳴ります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤシート

イグニッションを ON にすると、リヤシートのベルトステータス インジケータがインストルメント クラスタに表示されます。

ベルト ステータス インジケータは、発進後約 60 秒で消灯します (図 65)。

緑色のシンボル マーク  は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色の警告シンボル マーク  は、そのシートに座っている人がシートベルトを着用していないか、誰もそのシートに座っていないことを示します。シートベルトが着用されていないシートがあると、約 24 km/h の速度から警告音が鳴り、赤色の警告シンボル マーク  が約 60 秒間 インストルメント クラスタで点滅します。

シートベルトの調節

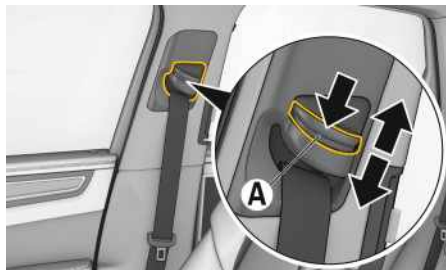


図 66：シートベルトの高さを調節する

フロントシートのシートベルト引き出し口は、高さを調節できます。

▶ シートベルトを着用したときに首にかかることのないように、肩の中央を通して上半身を斜めに横切るよう、ベルト引き出し口の高さを調節してください。

- a. 上げる - シートベルト引き出し口を押上げてください。

- b. 下げる - ロック ボタン A を押しながらシートベルト引き出し口を下げてください。

シートベルトを着用する

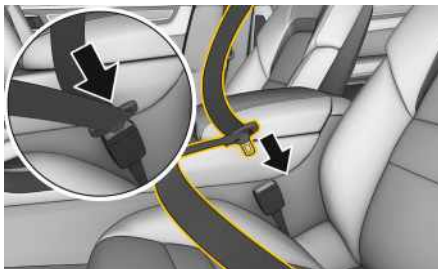


図 67：シートベルトを着用する

1. 正しい位置に座っていることを想定します。
▶ 「シート」の章 (113 ページ) を参照してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。
4. ベルト ラッチをシート内側の適切なシートベルトバックルに挿入し、カチッと音がするまではめ込みます。
5. シートベルトが引っかかりたり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引張ってください。
妊娠している女性の場合: 腰ベルトをできる限り

低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。

7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトが緩まないようにしてください。

i インフォメーション

次のような状況では、シートベルトがブロックされる場合があります:

- 車両が傾いている。
- シートベルトが突然引き出される。
- コーナリング、または上り坂で、加速または減速する時。

シートベルトの取り外し

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. シートベルトバックルの赤色のボタンを押してください。
3. シートベルトのラッチをシートベルト引き出し口に持って行きます。

ジャッキおよびリフティング プラットフォーム

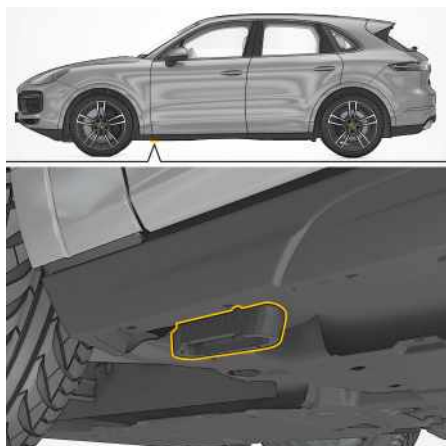


図 68：フロント側のリフティング プラットフォームとジャッキのジャッキ ポイント

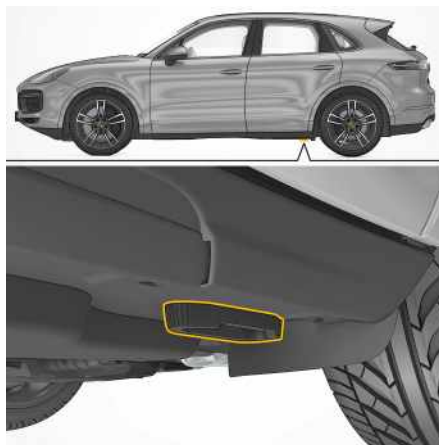


図 69：リヤ側のリフティング プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ ポイント



警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や

損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップしている時は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、エレクトリック パーキング ブレーキをかけ、かつトランスミッション パーキング ロック **P** を有効にします。

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章（152ページ）を参照してください。



警告 レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 手動でノーマル レベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリング システムを OFF にします。

- ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

車両が動き出さないように車両を固定する

- ✓ コラプシブル スペア ホイール装備車

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図 70: 輪止めの取り外し

1. 2つの輪止めAを取り外してください。
2. 折り畳まれている両方の輪止めAを起して固定してください。



図 71: 輪止めの配置

3. 取り外すタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを設置してください。

ジャッキによる車両のリフトアップ

i インフォメーション

ジャッキはスベア ホイール装備車にのみ付属します。

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジ コンパートメントの荷室フロア下に収納されています。

▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（251ページ）を参照してください。

✓ レベリング システム装備車の場合、車両ジャッキモードがONになります。

▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

✓ 車両が動き出さないように固定してください。

✓ 車両下部のジャッキ ポイントを清掃してください。

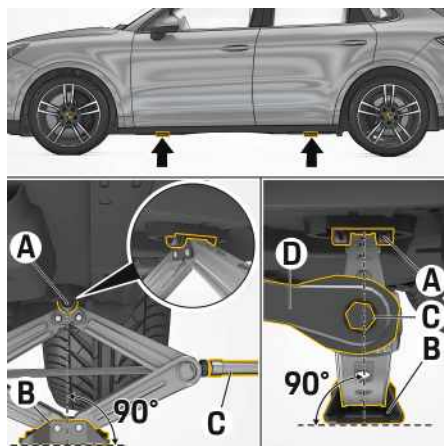


図 72: ジャッキの位置決め

1. ジャッキは、指定されたジャッキング ポイントに位置決めしてください。ジャッキは安定した場所に置いてください。
必要な場合、大きく滑りにくい支持具を併用してください。
2. ジャッキを固定し、工具セットの六角ソケットレンチCで回して、ジャッキのヘッドピースAが車両下側にある規定のジャッキアップ ポイントにはまるまで持ち上げます。
3. ヘッド ピースAが車両のジャッキアップ ポイントにはまり、ジャッキの基部Bが地面に水平に置かれるようにジャッキの位置を調整してください。ジャッキの基部Bは車両のジャッキ ポイントの下に垂直でなければなりません。
4. 車両を持ち上げるために、[工具セットの] ラチェットDの適切な側を六角ソケットレンチCに取り付けてください。取り外すタイヤが地面から離れるまでラチェットDを時計方向に前後に動かしてください。

下げる:

- ▶ ジャッキを下げるために、ラチェットDの反対側を六角ソケットレンチCに取り付けてください。車両を下げた後でジャッキを取り外してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

12 V リチウム バッテリーはバッテリーの充電状態が低い場合、車両電気系統から自動的に接続が切断されます。電気系統は一時的に解除されます。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源の接続を行った場合は、電気系統は自動的に作動します。12 V リチウム バッテリーは自動的に車両電気系統に再接続します。

他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。支援車側のバッテリーの容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べて小さすぎないよう確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 「バッテリー」の章 (187 ページ) を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによる始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



警告

不適切なジャンパー ケーブルおよび誤った手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動方法が正しくなかったりすると、短絡が発生する場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルメー

カーの注意事項を遵守します。

- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性のアクセサリ (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブル始動端子のみにしてください。



警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ 蒸発ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近付けないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

知識

完全放電したリチウム バッテリーにジャンパー ケーブルによる始動が実施されると、損傷を起こす恐れがあります。

▶ リチウム バッテリーの完全放電が疑いがある場合、ジャンパー ケーブルでエンジンを始動しないでください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



図 73 : ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

1. ボンネットを開いてください。
2. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを開いてください。
3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子に赤色のプラス ケーブルを接続してください。
4. 赤色のプラス ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
5. 黒色のマイナス ケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス ケーブルをアース ポイント に接続してください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを 15 秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、黒色のマイナス ケーブルを、まずアース ポイント から外し、次に支援車バッテリーのマイナス端子から外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

赤色のプラス ケーブルを、まず支援車バッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブル 接続用のプラス (+) 端子から外してください。

か

11.ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを閉じてください。

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ステアリングホイール

ステアリングホイールの調整



警告

走行中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にステアリングホイールを調節しないでください。

ステアリングホイールの手動調節



図 74：ステアリングホイールの調節レベルの固定

1. ロッキングレバーを下向きに回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および水平に移動させて、ステアリングホイールの位置を、背もたれと座席の位置の傾きに合わせて調節します。
3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、ロックレバーを元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールの電氣的調整



注意

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

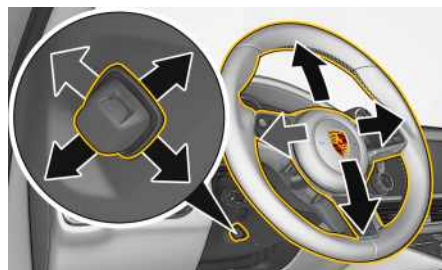


図 75：ステアリングホイールの調整スイッチ

- ▶ 所望位置に到達するまで、適切な方向にステアリングコラムの下のスイッチを動かしてください。

ステアリングホイール設定の保存

ステアリングホイール設定の保存と呼び出しに関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」の章（201ページ）を参照してください。

マルチファンクションハンドル付きのインストルメントクラスターの操作

インストルメントクラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 「インストルメントクラスターの操作」の章（39ページ）を参照してください。

ステアリングホイール ヒーターの ON/OFF

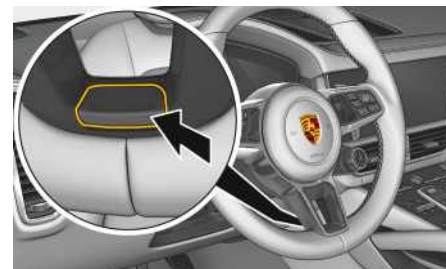


図 76：ステアリングホイール ヒーターボタン

- ✓ エンジンを作動状態にする
- ▶ メッセージがインストルメントクラスターに簡潔に現われるまで、（図 76）中央のステアリングホイールボタンを押します。

スピードリミッター

スピードリミッターは、保存されたそれぞれの速度を上回らないよう速さを維持するのに役立ちます。

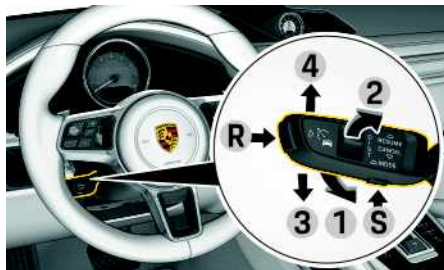


図 77: コントロールレバー

R ドライバーアシスタンスシステムのON/OFFの切り替え

S ドライバーアシスタンスシステム間の切り替え

1 最高速度の設定 / 増加

2 最高速度の低減

3 速度制限のキャンセル (キャンセル)

4 速度制限の再開 (再開)

スピードリミッタースタンバイをONにする

✓ スピードリミッターON [ボタンR]。

1. コントロールレバーのボタンSを押してください。

ドライバアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。

2. ステアリングホイールの左側のロータリープッシュボタンを使用して制限を選択し、ボタンを押して確定します。

スピードリミッターを操作できます。

▶ 「インストルメントクラスターの操作」の章 (39ページ) を参照してください。

最高速度を設定する、保存する、上げる

方法1

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に押しします (図 77) 1。
ここで、現在の走行速度が最高速度として保存され、自動的に維持されます。

方法2

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に押しします (図 77) 1。
短く押す = 1 km/h (1 mph) 単位、長く押す = 10 km/h (5 mph) 単位。
新しい最高速度がインストルメントクラスターに表示されます。

i インフォメーション

最高速度は、作動モード「作動準備」から、ステアリングホイールのコントロールレバーを使用して設定することもできます。

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に1回押しします (図 77) 1。
プリセットされた 30 km/h (20 mph) の最高速度がインストルメントクラスターに表示されます。

保存された最高速度を下げる

- ▶ ステアリングホイールのレバーを、ステアリングホイール (図 77) 2 に向かって引いてください。
短く引く = 1 km/h (1 mph) 単位、引き続ける = 10 km/h (5 mph) 単位。
新しい最高速度がインストルメントクラスターに表示されます。

スピードリミッターの中断 - キャンセル

- ▶ ステアリングホイールのレバーを下方に押してください (図 77) 3。

— または —

- ▶ コントロールレバーのボタンSを押してください。

中断前に保存された最高速度はメモリーに保存され、レバーを押して呼び出すことができます。

- ▶ 「保存された最高速度の再開 - 再開」の章 (126ページ) を参照してください。

キックダウンによるスピードリミッターの一時的な解除

キックダウンにより設定された最高速度を超えた場合 (追い越し中など)、警告音が鳴り、保存された最高速度とスピードリミッターのシンボルマークがインストルメントクラスターで赤色に点滅します。スピードリミッターは一時的に解除されます。車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピードリミッターが再度作動します。

下り坂の走行

スピードリミッターは下り坂走行中にブレーキ操作を開始します。トランスミッションは車両を減速させるためにシフトダウンを開始します。

保存された最高速度の再開 - 再開

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上 (図 77) 4 押してください。

スピードリミッターは保存された最高速度を設定します。

i インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみ、保存された最高速度を呼び出してください。

スピードリミッターの解除

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

自動

次のような状況では、スピードリミッターは自動的に中断されます：

- スピードリミッターの機能が損なわれるシステム故障が発生した場合。
- エアバッグが作動した場合。

i インフォメーション

システムエラーによりスピードリミッターが自動で解除された場合、アクセルペダルを離すか、**R** ボタンを押してシステムを OFF にしたときのみ完全に無効になります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スポーツ クロノ ストップウォッチ

Sport Chrono ストップウォッチでいつでも時間を測定できます。

サーキット タイムは、ダッシュボードおよびインストルメント クラスターのストップウォッチに表示されます。

次の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップ タイム
- オプション: その他の各種データ (車両位置や速度など)

記録中は以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップ タイムと最速ラップ タイムとの比較
- 基準ラップに対する完了したラップ回数
- 現在のラップ タイムが最新のラップ タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー レート。
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料で完了できるラップ回数
- 残りの記録時間
- オプション: 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗

ダッシュボードのストップウォッチ



図 78 : スポーツクロノ ストップウォッチ

アナログ ポインターは秒を表示します。デジタル表示は 1/100 秒 まで正確に示します。

デジタル ディスプレイおよびダッシュボードとインストルメント クラスターのタッチ ディスプレイのディスプレイには 99 時間、59 分と 59.99 秒まで表示できます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示とライトの設定

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

PCM のストップウォッチ



図 79 : PCM のストップウォッチ

- A** 燃料の残量および現在の燃費残量で走行可能なラップ回数などの記録情報。
- B** 走行距離またはラップ カウンター付きサークル ダイアグラム: 基準ラップと比較した走行距離。現在のラップ タイムが基準ラップより速い (緑色)、同一 (黄色)、または遅い (赤色) のいずれであるかを示すカラー レート。

計時の開始

- ▶ 車両 ▶ CHRONO ▶ 開始
- データの記録が開始されます。基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ 車両 ▶ CHRONO ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ 車両 ▶ CHRONO ▶ 続ける

ラップの停止 / 新しいラップの開始

1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されました。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 新しいラップ
ラップ カウンターの値が1 ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が許容範囲に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。

中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ スプリット
中間タイムは短時間表示され、保存されません。計時はバックグラウンドで続きます。

ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止されました。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ リセット
すべてのストップタイム表示は0 にリセットされ、走行記録は停止されます。

基準ラップの読み込み

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ ラップ読込

基準ラップの保存

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 表示 ▶ 評価 ▶ 希望の記録を選択してください ▶ ゴーストラップとして保存

基準ラップのリセット

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 基準ラップをリセット

記録の表示と編集および統計の記録

1 回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合

は、記録の中の初めのラップが基準ラップとして使用されます。最大で 10 時間の記録が可能です。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 表示 ▶ 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ オプション  ▶ Sport Chrono 評価が選択されています。
- ✓ SD カードが挿入されているか、USB データ バンクが接続されています。データ キャリアのデータが [SportChrono] フォルダに保存されています。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション 

Sport Chrono の設定

追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップ タイムとは別に、他の走行データ (速度など) を 1 秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 追加データの記録

許容距離差の設定

基準ラップの長さとは任意のラップの長さがどのくらい異なるかを示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 許容距離差

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一 (黄色マーク) と評価されたラップ間の最大のタイム差を示します。

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 評価の最大タイム差

最速ラップ (ゴースト カー) の車両位置の表示

▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション  ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 基準ラップを表示

インストルメント クラスターのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

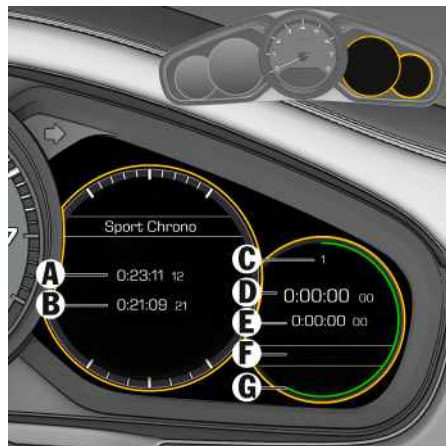


図 80：インストルメント クラスターのストップウォッチ

- A 最終のラップ タイム
- B 最速のラップ タイム
- C ラップ カウンター
- D 現在のラップ タイム / 一時中間ラップ
- E 基準ラップ タイムまたは最速ラップ タイム
- F オプションおよびコントロール コマンド (スタート、ストップなど)
- G サークル ダイアグラム：基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示します。現在のラップ タイムが基準ラップより速い (緑色)、同一 (黄色)、または遅い (赤色) のいずれであるかを示すカラー レート。

計時の開始

▶ Sport Chrono ▶ 開始

データの記録が開始されます。基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されました。

▶ Sport Chrono ▶ 停止

計時の継続

✓ 計時が停止されました。

▶ Sport Chrono ▶ 継続

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチ タイムはラップ タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されました。

▶ Sport Chrono ▶ ラップ

ラップ カウンター C が 1 ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ タイム B として保存されます。

中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

▶ Sport Chrono ▶ 中間タイム

中間タイム D は短時間表示され、保存されません。計時はバックグラウンドで継続します。サークル ダイアグラム G の数字は設定された中間タイムを示します。

ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止されました。

▶ Sport Chrono ▶ リセット

すべてのストップウォッチ タイム表示は 0 にリセットされます。

スモーカーズ パッケージ

灰皿の使用



警告

可燃物による火災

灰皿に紙類を入れると発火するおそれがあります。

▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

フロントの灰皿の使用



図 81：フロントの灰皿の使用

灰皿を開く

▶ 灰皿のリッドを素早く押してください。
リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿のリッドを素早く押してください。
2. 灰皿インサートのリッド部分を持って、取り外してください。
3. 灰皿を掃除した後は、元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

リヤの灰皿の使用



図 82：リヤの灰皿の使用

灰皿を開く

▶ ハンドルの取っ手部分を引いて、灰皿のリッドを開いてください。

灰皿を空にする

1. ハンドルの取っ手部分を引いて、灰皿のリッドを開いてください。
2. 進行方向にラッチを押してください。
3. 灰皿のインサートを握って取り外します。
4. 灰皿の中を掃除した後、灰皿インサートを押し込んでください。

シガレット ライターを使用する



警告

高温のシガレット ライター

シガレット ライターの光る端は、使用時非常に熱くなります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター エLEMENTまたはシガレット ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガレット ライターを持たないでください。

車両装備により、リヤ センター コンソールにシガレット ライターがあります。

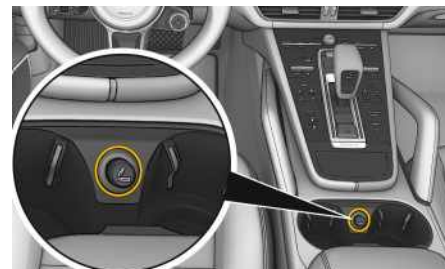


図 83：シガレット ライターを使用する

シガレット ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。

1. 作動ノブに押し込んでください。

ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。

2. シガレット ライターを取り外してください。

シガレット ライター ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

▶ 「電気ソケット」の章（176ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

セントラルロッキング

概要 – 車外からの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラル ロッキング システム」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 84 : キー

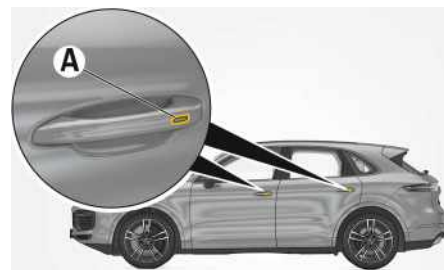


図 85 : ボルシェ イージー エントリー

希望する操作	操作方法	何が起きるか	操作場所
ロック解除	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを押します。 ボルシェ イージー エントリー装備車： ▶ ドア ハンドルをしっかりと握ってください。	ハザード ライトが 1 回点滅します。 ドアおよびリヤ リッドを開くことができます。	▷ p. 134
ロック	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを押します。 ボルシェ イージー エントリー装備車： ▶ ドア ハンドルのタッチ センサー A に触れてください。	ハザード ライトが 2 回点滅します。 ドアとリヤ リッドがロックされ、車内からドア ハンドルを引いてもドアを 開く ことは できません (セーフロック)。	▷ p. 134

希望する操作	操作方法	何が起こるか	操作場所
人 / 動物を車両に残してロックする ▶ セーフロックおよび室内モニタリングシステムを OFF にします。	キーを使用する： ▶ (約 2 秒以内に) キーの  ボタンを 2 回押します。 ポルシェ イージー エントリー 装備車： ▶ ドアハンドルにあるタッチ センサー A に 2 回触れてください (約 2 秒以内)。	ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。 ドアおよびリヤ リッドはロックされますが、ドア ハンドルを引くことにより、車内からドアを開けることができます。	▶ p. 134
警告システムの警告音を OFF にします。	▶ キーの  ボタンを押します。 – または – イグニッションを ON にする	警告音が OFF になります。	▶ p. 111

セントラル ロッキング システムの使用

インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

車両装備によっては、ドライバー キーを使用して、またはポルシェ コンフォート アクセス装備車ではキーを使用せずに、ドアのロックおよびロック解除ができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアとフィラー フラップのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを選択できます。

- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。

設定内容に関わりなく、すべてのドアをロック解除できます。

- ▶ 5 秒以内にキーの  ボタンを 2 回押します。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

ポルシェ イージー エントリー

ポルシェ コンフォート アクセス装備車は、キーを使用せずにロックおよびロック解除ができます。しかし、常に、ズボンのポケットなどに入れて、キーを携帯する必要があります。

ドア ハンドルの汚れがひどいと、イージー エントリー機能の作動が妨げられることがあります。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してポルシェ コンフォート アクセス機能を一時的に解除することができます。

キーを使用したコンフォート アクセスの解除

- ▶ ボタン  とボタン  を同時に押し、キーのインジケーター ライトが点灯するまで押し続けます。
 車両キーのインジケーター ライトの点灯により、車両キーで解除されたことを知らせます。

キーのボタンを押すとまたはコンフォート アクセス機能は自動的に起動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ コンフォート アクセスに悪影響を与える場合があります。

ドア ロックの解除

インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはリヤ リッドを 45 秒以内に開けなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。

インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。ハザード ライトも自動的に作動します。

キーによるドアのロック解除

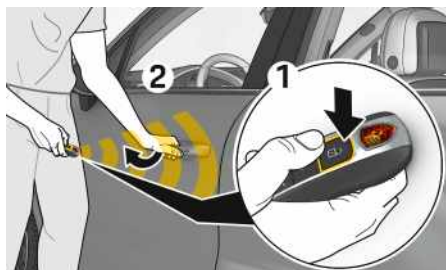


図 86: キーによるドアのロック解除

1. ボタン  を押します。
ハザード ライトが 1 回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
2. ドア ハンドルを引いてください。

ドア ハンドルのタッチ センサーによるドア ロックの解除



図 87: ポルシェ イージー エントリー装備車でのドアロック解除

- ✓ ポルシェ イージー エントリー搭載車両
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯している。
- ✓ キーを携帯して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができます。

1. ドア ハンドルをしっかりと握ってください。作業中、ドア ハンドル前部の近接センサーに触れないでください。
ハザード ライトが 1 回点滅します。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
2. ドア ハンドルを引いてください。

i インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は次第に OFF になります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車内からのドア ロックの解除

- ▶ ドア パネルのボタン  を押します。
— または —
インナー ドア ハンドルを引いてください。
すべてのドアとリヤ リッドのロックが解除されます。
インジケーター ライト A が消灯します。

i インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

車両の自動ロック解除

ドアを開けると車両のロックが自動解除されます。

ドアのロック

セーフロックの使用



警告

車外からのドア ロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ドアをロックすると、緊急時に救助者が車内に入ることが非常に難しくなります。

- ▶ ドアをロックする際、人や動物が車内にいないことを確認してください。

(国により仕様のこととなる) セーフロックは、室内モニタリング システムのコンポーネントで、ロックされた車両のドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンを無効にして、車内への不正侵入を難しくします。セーフロック作動中: ドア ハンドルを引いても車内からドアやテールゲートを開けられなくなります。人や動物を車内に残してロックする場合、車両のセーフロックを解除してください。

キーによるドアのロック

- ✓ 作動モード P を選択してください。
- ✓ すべてのドアを閉じてください。
- ▶  ボタンを 1 回押します。
ハザード ライトが 2 回点滅します。

ロックされた車両のセーフロックの解除

- ▶ 2 秒以内に  ボタンを 2 回押します。
ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトの点滅が終了します。

i インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は4回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にいないことを確認してください。

ドアハンドルのタッチセンサーによるドアのロック

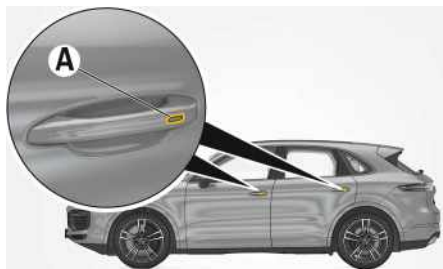


図 88 : ボルシェ コンフォート アクセスによるドアのロック

- ✓ ボルシェ イージー エントリー搭載車両
- ✓ 作動モード P を選択してください。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯している。
- ✓ すべてのドアを閉じてください。
- ▶ ドアハンドルのタッチセンサー A に触れてください。

ハザードライトが2回点滅します。
一時的にドアハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドアハンドルを引いてください。

ロックされた車両のセーフロックの解除

- ▶ ドアハンドルのタッチセンサー A に2秒以内に2回触れてください。
ハザードライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトの点滅が終了します。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

車内からのドアロック

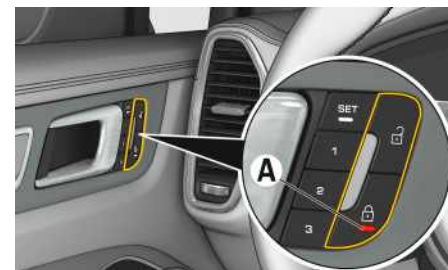


図 89 : ドアパネルのセントラルロックボタン

- ✓ ドアを閉じる
- ▶ ドアパネルのボタン A を押します。
すべてのドアとリヤリッドがロックされます。
フィラー フラップはロックされません。
インジケーター ライト A が点灯します。
インナー ドアハンドルを引くことによってのみ、車内からドアを開くことができます。

自動ロック (オート ロック)

- ✓ 機能が作動しています。
速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。
- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

チャイルド ロック機能の作動 / 解除

リヤドアは内側から開かないようにすることができます。
チャイルド ロックはリヤ ドアのロック部分に取り付けられています。

ソフト クローズ非装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除



図 90：右リヤドアのチャイルド ロック

作動

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックを約 45° 度反時計回りに回してください。左リヤ ドアのチャイルド ロックは約 45° 度時計回りに回してください。チャイルド ロックが作動すると、スロットが縦位置になります。リヤ ドアを内側から開くことはできません。

解除

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックを約 45° 度反時計回りに回してください。左リヤ ドアのチャイルド ロックは約 45° 度反時計回りに回してください。
 - ▷ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。
 リヤ ドアを内側から開くことができます。

ソフト クローズ装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除

チャイルド ロックはチャイルド プロテクションと連動して作動します。

- ▷ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション」の章（118ページ）を参照してください。

ドアを閉じる（ソフト クローズ機能装備車）

ソフト クローズ機能装備車には、4つすべてのドアにパワー クロー징ング メカニズムが装備されています。

⚠ 注意

パワー クロー징ング メカニズム

ドアが押されるかまたはロックに少し引かれる場合、ドアは自動的にロックされるまで完全に引かれます。

- ▶ ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
- ▶ パワー クロー징ング メカニズムの可動部品（ロックのロータリー ラッチ）の近くに物を置いたり、手足を近づけたりしないでください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

- ▶ ドアを軽く押す、または引いてロックしてください。ドアは自動的に引かれて閉まります。

緊急時の閉作動の中断

- ▶ インナー ドア ハンドルを引いてください
— または —
アウトター ドア ハンドルを引いてください

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック



図 91：緊急ロック解除 / 緊急ロック

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

緊急ドア ロック解除

- ▶ リヤ ウィンドウの右上にキーを置き、同時に  ボタンを押します。
- 車両のロックがまだ解除できない場合：
1. エマージェンシー キーを車両キーから取り外してください。
 - ▷ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。
 2. ドア ハンドルを引いたままにしてください。
 3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向く

ようにして、エマージェンシー キーを挿入してください。

- エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまで更にしっかりと回します。
- エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
- アラームシステムの作動を回避するため、15 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

i インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドアロック

i インフォメーション

ドアの緊急ロックは、エンジンが停止している場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。
- エマージェンシー キーを車両キーから取り外してください。
 - ▶ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。
 - ドアハンドルを引いたままにしてください。
 - ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシー キーを挿入してください。
 - ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最

初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまで更にしっかりと回します。

- エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
- ドアを閉じてください。
- 車両がロックされているか確認してください。

i インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムのすべてのファンクションロックは運転席ドアのロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロッキングシステムの故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ エントリー&ドライブ

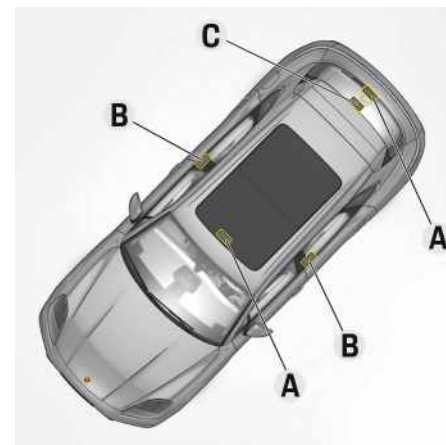


図 92：車両アンテナ

ポルシェ エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ エントリー&ドライブ装備車は、リモートコントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやトランク リッドをロック / ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナ A および車室外アンテナ B から約 22cm 以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を

近づけないでください。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナ A および車室外アンテナ B から約 22cm 以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。
- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

セントラル ロッキング システムが故障した場合のドアの緊急ロック

- ✓ 助手席ドアおよびリヤドアに対して、この手順を行ってください。



図 93：助手席ドアの緊急ロック

1. ドアを開けます。
2. エマージェンシー キーを車両キーから取り外してごください。
3. 保護プラグを取り外します。
4. エマージェンシー キーを使用して、キー スイッチを車両の外側方向に回してください。
5. 運転席ドアのドア ハンドルを引いて保持します。
6. ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまで更にしっかりと回します。
7. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
8. 保護プラグを再度挿入します。
9. ドアを閉じてください。
10. すべてのドアがロックしているか確認してください。

ドアはインナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意



警告

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後はブレーキを点検してください。
- ▶ そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。後続の車両に影響を与えないように注意してください。

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ボルシェ社は **Porsche Tequipment 製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。**

- ▶ カーケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください。
- ▶ 不要になった製品は、法規に従って適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店は状態報告書を用意し、車両のお手入れ水準を保証します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- － タイヤ
- － ロゴ、エンブレム、デコラティブ フィルム

- － 塗装面
- － オルタネーター
- － エンジン コンパートメント内の電装部品とコネクター
- － パーキング アシスタント センサー
- － アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の (レーダー) センサーおよび他のアシスタント システム
- － リバース カメラ
- － ワイパー ブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 清掃するときは、ノズルから 50cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせ使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいので、丸型ジェット ノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット ノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジン ルーム内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパーク プラグ シャフト、エア クリーナー ハウジング、エア フィルターなど) に向けてください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してくださ

い。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するため、次の点に注意してください：

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、遅くとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる洗車場でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

洗車機での洗車

知識

自動洗車機によっては、ボディ表面から突き出ているオプションの追加部品やパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

危険	以下の点をご確認ください。
洗車機で洗車中、フロントワイパーが不意に作動し始め、損傷する恐れがあります。	▶ フロントワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイドレールに十分な寸法があるか確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上の部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装の色褪せの原因となります。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

フロント ウィンドウ ワイパーの手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパーブレードが不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントガラスを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロントガラスを清掃してください。

ウィンドウの清掃

フロント側のウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。防腐剤の残留物により視界が悪くなる危険があります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ボルシェ推奨のインセクトリムーバーで取り除いてください。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステムのエリア内の追加の防錆剤またはアンダーコーティングは、運転時に過熱して発火す

る可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒート シールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェ正規販売店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ フィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブ フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品および表面、センサーおよびカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗剤を使用するとブ

ラスチック製の表面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック部品に直接水や室内用ウィンドウ クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ クルーズ コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、少量の食器用洗剤または室内用ウィンドウ クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチ センシティブ ボタンを有するセンターコンソールの洗浄には、マイクロ ファイバー布のみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ

警告

ブレーキ ディスクの洗浄剤の膜

洗浄剤 (ホイール洗浄剤など) がブレーキ ディスクにかけると、ブレーキ ディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ 洗浄剤がブレーキ ディスクにかからないように注意してください。
- ▶ 洗浄剤がブレーキ ディスクにかかった場合は、強力なウォーター ジェットでブレーキ ディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 後方の交通に注意しながら、ブレーキをかけてブレーキ ディスクを乾燥させます。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子 (ブレーキ ダストに含まれる黄銅や銅など) は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴 (ピッチング) が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ 腐食性がない軽合金製ホイール クリーナー (pH 値 4 から 10 の間) をご使用ください。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 「車両の洗浄」の章 (139ページ) を参照してください。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウシールの清掃

知識

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください:

- ▶ シールの汚れ (傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など) は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー ケア用品でアウター ドア シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取除いてください。

車両のクリーニングや手入れを正しく行うために、次の点に注意してください。

- ▶ すべてのタイプの革製品を定期的に清掃し、柔らかくて湿った白いウールの布または市販のマイクロファイバークロスを使用して細かい埃を取り除きます。
- ▶ 水分や濡れた汚れではない著しい汚れは、皮革用のクリーナーで取り除きます。容器に記載されている指示をご覧ください。ポルシェは、ポルシェ テクニクメントのカーケア用品をお勧めします。
- ▶ 皮革製品をきれいな状態に保つには、レザー ケア用品のみを使用します。

シート ベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シート ヒーターおよびシート ベンチレーターを OFF にします。
 - ✓ 直射日光が当たらないようにします。
1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を軽くたたいてください。表面に小さな穴を開けたメ

ッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。

2. シート カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート ヒーターおよびシート ベンチレーターを ON にしないでください。
3. 乾いた後、シート カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア マットの清掃

警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社は Porsche Tequipment 製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア カーベットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア マットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグ カバーのクリーニング

危険

不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに侵入する場合があります。正しく取り扱わないと、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故の際にエアバッグが作動しなくなる恐れがあります。

- ▶ 個々の部品（ステアリング ホイール カバー、ダッシュボード、フロント シート、ドア パネル、天井パネルなど）にかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグのエリアには、クリーナーや他の液体を使用しないでください。

ファブリック ライニングの清掃

ビラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック ライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara® のお手入れ

Alcantara® 製マイクロファイバー カバーの清掃には皮革ケア製品を使用しないでください。普段のお手入れには、柔らかいブラシでカバーを清掃するだけで十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を水または中性石鹸水で湿らせて、汚れをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、柔らかい布をぬるま湯または水で薄めた揮発油で湿らせて、外側から内側に軽くたたいて汚れを取り除きます。

マイクロファイバー カバー付きステアリング ホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でひどく汚れる可能性があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で濡らし、これでアウター ステアリング ホイール リムをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、フォーム メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張りフォーム クリーナーでアウター ステアリング ホイール リムを軽くこする / たたくことで清掃できます。

シート ベルトの清掃

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ シート ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シート ベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シート ベルトを染色および脱色しないでください。シート ベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

スクリーンおよびタッチディスプレイの洗浄

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうとスクリーンおよびタッチ ディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。

い。

- ▶ スクリーンおよびタッチ ディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけしないでください。水が入ると、電子部品は修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ スクリーンおよびタッチディスプレイは傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にスクリーンおよびタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に強い力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の長期保管

車両を長期保管する場合 ポルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 「けん引」の章（85ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▶ 「セントラルロッキング」の章（132ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両機能を調整できます。ここに記載されている車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両機能はイグニッションを OFF にしても保存されたままになります。

▶ 「パーソナル設定」の章（201ページ）を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作場所
ロック / ロック解除オプションを設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ロック	—
ライト、フロントワイパーおよびドア ミラーを調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ライトと視界	—
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置を調節する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ シート設定	—
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ p. 152
マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを割り当てる	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ステアリングホイールボタン	—
車両ジャッキモードの設定	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ シャーシ	—
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ サービス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	—
PCM 表示を調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 検索 ▶ PCM を表示	—
インストルメントクラスターディスプレイを変更する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 検索 ▶ インストルメントクラスターの表示	—
インストルメントクラスターのカスタマイズ表示を変更する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 検索 ▶ インストルメントクラスターの表示 ▶ 内容 ▶ カスタマイズ表示 車両情報の数多くの項目を、ドラッグ & ドロップで 4 つのデータフィールドに割り当てることができます。車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。	—
日付と時刻を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 日付と時刻	—
単位を設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 単位	—

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作場所
ボイス コントロール システムを設定する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ ボイスコントロール	—
言語の設定	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 言語(Language)	—
警告シグナルおよびパークアシストの音量を調整する	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 警告シグナル	—
工場設定にリセットする	▶ 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ 工場設定 工場設定にリセットすると、自分が設定したすべての設定が削除されます。	—

収納スペース

荷物の収納



警告

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 小物入れが開いた状態で重量物を運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両装備により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- グローブボックス
- フロントシートバックレスト後ろのマップポケット
- リヤグラブハンドルの衣類フック
- ラゲッジコンパートメントフロア下の小物入れ
- アームレストの小物入れ
- フロントおよびリヤドアパネルの小物入れとボトルホルダー
- センターコンソールの小物入れ
- フロントシート下の小物入れ

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
グローブボックスは自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。
グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。
- ▶ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。

アームレストの小物入れを動かすまたは開く

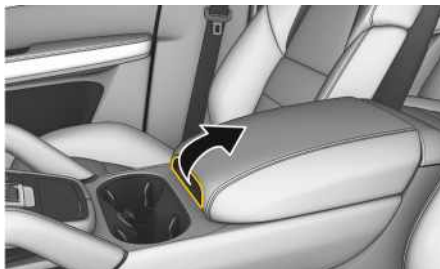


図 94：アームレストの小物入れ

アームレストを動かす

センターコンソールのアームレストは、フロントおよびリヤにも動かせます。

- ▶ 押したり引いたりしてアームレストを動かします。

小物入れを開く

- ✓ アームレストがリヤの位置にある
- ▶ ハンドルを引いて、アームレストを引き上げます。

充電

高電圧バッテリーの充電

最大電動走行周波数用:

- ▶ 車両を夜間駐車するときなどは、高電圧バッテリーを充電してください。



危険

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に適用可能な安全上の注意事項の非順守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 車両を開始する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電が終了した後に電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- ▶ ボルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。



危険

不適合または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブル

不適合なまたは損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因と

なります。

- ▶ プラグイン ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは、必ず専門家が行ってください。
- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに、車両充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブルリール、電源タップ、またはトラベル アダプターを使用しないでください。
- ▶ すべての電子部品に対し、改造や修理を行わないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグ接続は、水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- ▶ 充電ソケットの汚れや氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。



警告

固定されていない車両充電ケーブル

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない車両充電ケーブルは、ブレーキの際、進路変更時、または事故発生時に位置がずれて乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ いかなる場合も固定されていない状態で車両充電ケーブルを車両で輸送することはせず、常にラゲッジ コンパートメント内の充電バッグに保管します。
- ▶ 車両充電ケーブルは常にラゲッジ コンパートメントに入れて輸送してください。車室 [座席の上または前など] には絶対に置かないでください。



警告

エンジン コンパートメント ブロウまたはエンジン 付近の他の可動部品

作業中、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン コンパートメント ブロウやドライブ ベルトなどのエンジン コンパートメントの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブロウはフードに取り付けられています。充電プロセスの間、高電圧バッテリーとオンボード充電器を冷却するために、エンジン コンパートメント ブロウが作動する場合があります。

- ▶ この付近での作業は、エンジンが OFF になっている、充電が機能していない時に限ってください。作業中、身体の一部、衣服の一部、または装飾品がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロウ、ドライブベルト、その他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

高電圧バッテリーの充電に関する指示

- プラグイン ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して標準化された車両プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に準拠した充電プロセス)。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ポルシェでは、ポルシェ ユニバーサル チャージャー (AC) を充電ドックまたはベーシック ウォール マウントと共に使用することを推奨しています。ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。
- 保護なし車両充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化された) には対応していません。
- 充電プロセス中の車両の温度は、約 -20 °C から +40 °C の間でなければなりません。

車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

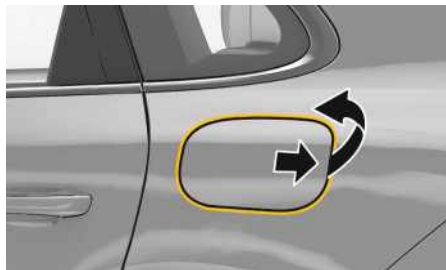


図 95: 充電ポートのドアを開く

- ✓ トランスミッション パーキング ロック **P** が作動している。
 - ✓ イグニッションが OFF になっている / コントロールユニットがイグニッション位置 **2** にない。
 - ✓ 車両のロックが解除されている。
 - ✓ 主電源装置に車両の充電ケーブルが接続されている。
1. ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。
 2. 充電ポートのドアの後部を押してドアを開けてください。

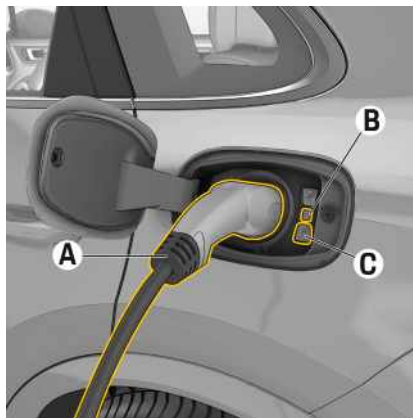


図 96: 車両プラグが挿入されています。

3. 車両プラグ **A** を充電ポートの奥まで差し込みます。
車両プラグがロックされ、充電プロセスが開始されます。インジケータライト **B** とボタン **C** のインジケータライトは、高電圧バッテリーの充電状態と車両プラグのロック状態を示します。
- ▷ 「車両充電ポートの充電表示およびロック ステータス表示」の章 (149ページ) を参照してください。

i インフォメーション

- 車両をロックする際に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグは引き続きロックされます。
- 充電開始後、イグニッションはオンにできます。
- 充電プロセス中にコントロールユニットをイグニッション ロック位置 **2** に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを取り外さない場合、約 20 秒後に充電が再開します。
- 充電タイマー機能を作動すると、充電プロセスの開始時間が制御され、車両プラグを差し込みロックされた後すぐに充電プロセスが開始しないようにすることも可能です。

充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. ドアをロック解除してください。
2. 車両充電ポートのボタン **C** を押してください。
車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、停止します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
4. 電源から車両充電ケーブルを切り離し、安全な場所に保管してください。
5. 充電ポートのドアを閉じてください。

i インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電プロセスが終了したら、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

車両充電ポートの充電表示および ロックステータス表示

インジケータライト **B** は高電圧バッテリーの充電状態を示し、ボタン **C** のインジケータライトは車両プラグのロックステータスを示します。

B	C	意味
OFF	OFF	車両プラグが差し込まれていないか、主電源への接続が確立されていません。 または 車両プラグ挿入中：車両はアイドル状態です。現在の接続と充電ステータスを検出するには、キーの  ボタンまたは  ボタンを押します。
OFF	点滅	車両プラグ挿入中でロックされていません (車両プラグの電圧が正しくない場合など)
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。主電源への接続が確立されています (タイマー充電など)。
 点滅	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。高電圧バッテリーは充電中です。点灯時間は現在の高電圧バッテリーの充電状態に応じます。

B	C	意味
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。充電プロセスが終了しました。
 点灯	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

充電プロセスが開始されていない場合：

- ▶ 車両プラグが正しく差し込まれていることを確認してください。
- ▶ ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。
- ▶ 車両プラグを取り外して、再度差し込んでください。

充電タイマー機能の使用

出発タイマー機能が作動しているとき、プログラミングされた出発時刻に高電圧バッテリーは完全に充電されます。事前にエアコンを作動させて、車内を適切な温度に調節しておく事ができます。高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクションディスプレイとインストールメント クラスターのバッテリー充電状態表示に表示されます。充電タイマーが作動中でも、このモードの場合、高圧バッテリーは常に約 10% の状態に充電されます。

出発タイマーの作動 / 解除

出発タイマーのプログラミングと作動は PCM によって行われます。各出発タイマーは 1 回開始 (シングルタイマー) するように設定することも、定期的に開始 (反復タイマー) するように設定することもできます。さらに、**追加プレクール/ヒート オプション**を選択すると、車室を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます (プレクーリング/ヒーティング)。

- ✓ 出発時刻が未来。
 - ✓ 車両プラグが挿入されている。
 - ✓ プレクール/ヒート タイマー：燃料タンクの残量に余裕がある。
- 一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

1. HYBRID ▶ タイマー

2. 希望の **出発タイマー** を選択します。

3. 希望する出発時刻の日数または日付と時刻を設定します。必要に応じ、**追加プレクール/ヒート オプション**を介してプレクール/ヒート タイマー (車内のプレクール/ヒート) を有効または無効にします。入力データを **タイマ オプション**で有効にします。
- ▶ 「プレクール/ヒート タイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用 (E-Hybrid)」の章 (56 ページ) を参照してください。

i インフォメーション

車内プレクーリング/ヒーティングは、イグニッションを OFF のままにして使用すると、最も効率的に動作します。充電タイマーの場合、プレクール/ヒートは車両プラグが挿入されている場合のみ作動します。

出発タイマーの停止

1. HYBRID ▶ タイマー

2. 希望の **出発タイマー** を選択します。

3. **タイマ オプション**を無効にします。



図 97: 充電タイマー機能

充電タイマーで充電の開始

- ✓ 出発タイマーのプログラミングと作動が PCM で行われている。
- ✓ 車両のロックが解除されている。
- ✓ 車両プラグが挿入されている。
- ✓ ブレークル / ヒート タイマー: 燃料タンクの残量に余裕がある。

ボタン A のインジケータ ライトが点灯します。充電タイマー機能は充電プロセスがいつ開始されるかを制御します。高電圧バッテリーは、プログラムされた出発時刻になるまで完全に充電されます。ブレークル / ヒート タイマーがプログラムされていると、高電圧バッテリーは完全に充電されていない場合があります。出発タイマーがプログラミングされていない場合、ボタンを押すと A ボタンのインジケータ ライトが 3 回点滅して、消灯します。

充電タイマーで充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入されている。

- ✓ 充電タイマー機能が作動している。
- ▶ ボタン A を押してください。
ボタン A のインジケータ ライトが消えます。
高電圧バッテリーの充電が直ちに開始されます。
高電圧バッテリーが充電されるまでの残り時間がインストルメント クラスタに表示されます。
充電タイマーで充電を再開するためには、もう一度 A ボタンを押します。

充電プロセスに必要な時間は、以下の要因によって異なります。

- 使用する電気ソケット (家庭用電気コンセントまたは工業用電気コンセント)。
- 国別の主電源電圧および電流。
- コントロール ユニットでの充電電流制限の設定。
- 主電源電圧のバラつき。
- 車両および充電装置の周囲温度。
- 高電圧バッテリーおよびコントロール ユニットの温度。
- 車内温度ブレーキリング / ヒーティングが作動。
- 車両プラグの通電容量。

物理的な充電ロスにより、主電源供給からのエネルギー量は高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギー量を上回ります。

国内用電気リカル アウトレット

接続標準	3.6 kW の充電時間	7.2 kW の充電時間
EU、ブラジル	約 6.2 時間	約 6.2 時間
米国	約 19.1 時間	約 19.1 時間

接続標準	3.6 kW の充電時間	7.2 kW の充電時間
日本	約 18 時間	約 18 時間
オーストラリア、デンマーク、イタリア、スイス、中国	約 8.1 時間	約 8.1 時間

工業用電気リカル アウトレット

接続標準	3.6 kW の充電時間	7.2 kW の充電時間
EU 230 V、16 A	約 4.0 時間	約 3.9 時間
EU 230 V、32 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
EU 230/400 V、16/32 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
米国 240 V、30 A	約 4.0 時間	約 2.8 時間
米国 240 V、50 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
米国 240 V、100 A (永久接続)	約 4.0 時間	約 2.4 時間
日本 200 V、16 A	約 4.4 時間	約 4.4 時間
日本	約 4.4 時間	約 2.7 時間

接続標準	3.6 kW の 充電時間	7.2 kW の 充電時間
200 V、30 A		
日本 200 V、80 A (永 久接続)	約 4.4 時間	約 2.6 時間
中国 220 V、30 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間

充電ポート ドアの緊急解除の実施

電動ロック解除機構が故障したときは、手で充電ポート ドアを開くことができます。

DVD チェンジャー非装備車:

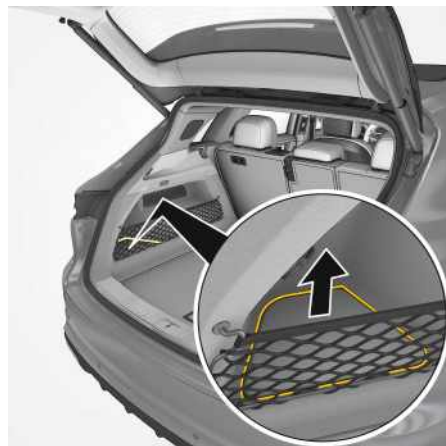


図 98: ラゲッジコンパートメントのヒューズボックス

- 適切な道具 (ドライバーなど) を使用して、ラゲッジコンパートメント内のヒューズボックスのカバーを慎重にこじって取り外します。

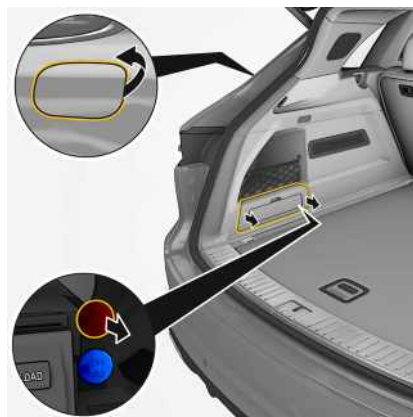


図 99: 充電ポート (DVD チェンジャー非装備車) の緊急解除の実施

- 赤色の緊急リリース ボタンを矢印の方向に引きまします。

DVD チェンジャー装備車

- 適切なもの (ドライバーなど) を使用して、DVD チェンジャー トリム パネルをこじって取り外します。



図 100: 車両プラグ (DVD チェンジャー装備車) の緊急解除の実施

- 赤色の緊急リリース ボタンを矢印の方向に引きまします。

充電ポート ドアのロック解除機構を確認するために:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両プラグの緊急解除の実施

故障などにより車両プラグが解除できない場合は、緊急解除を実行する必要があります。

- コントロールユニットをイグニッション ロック位置 2 に回してください。
車両プラグが自動的に解除され、充電が約 20 秒間中断されます。
- 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
約 20 秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。

積載荷重および速度の要件を満たす

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。
- ▶ 「テクニカル データ」の章（295ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤがオーバーヒートし、目に見えない損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても目に見えないタイヤの損傷は除去されません。
- ▶ 温かいタイヤから空気を決して抜かないでください。タイヤが温かい場合、タイヤ空気圧が上昇します。これにより、タイヤ空気圧が規定値下に低下する原因となる場合があります。



図 101：タイヤ空気圧プレート

規定の空気圧を維持してください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ タイヤが冷えているとき、最低 2 週間ごとにタイヤ空気圧を点検します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の表示。
- 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車時：規定空気圧との空気圧差の表示。

タイヤ空気圧警告灯  およびインストルメント クラスタの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じて、黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧警告が表示されるのは、約 10 秒間車両が停止し、かつイグニッションが OFF になっている場合、またはイグニッションを再度 ON にした場合です。イグニッションを ON にすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色のタイヤ空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ空気圧が適正であるにもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、タイヤ空気圧警告が表示される場合、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングは、自然に発生する圧力低下や異物による緩やかな圧力低下を警告します。タイヤ空気圧モニタリングは、突然生じるタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部効果によるパンクなど)。

警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故につながる場合があります。

- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント パネルに表示される場合：直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペア ホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置

を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ボルシェ正規販売店で点検を受けてください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

コンフォート プレッシュャーでの高速走行

コンフォート プレッシュャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメント パネルに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、TPM は正常に機能しません:

- タイヤ空気圧モニタリング システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング システム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

タイヤ空気圧の確認

個々のタイヤの空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両が約 10 分以上停止した後、イグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 [-.] が表示されます。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ 異なる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

圧力差を表示する



図 102 : 圧力差の例

- ✓ 車両は停止している。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 偏差

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。例: 右リヤ ホイールに対して -0.1 bar と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォート / 標準空気圧の設定はダッシュボードのタッチ ディスプレイで行えます:

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定」の章 (153 ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) の設定



警告

不適切な設定

極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールのタイヤ空気圧が以前の設定と一致しているとしても、タイヤ空気圧モニタリング メニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

圧力差を表示する

- ✓ 車両は停止している。

▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ空気圧

該当するホイールの規定空気圧と規定空気の圧力差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズに関する設定が表示されます。

例: 右リヤ ホイールに対して -0.1 bar (-1.5 psi) と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。
- タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが認定したタイヤとホイールのみを使用してください。

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

全負荷または部分積載の選択

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全負荷

- ☒ 全負荷
全負荷が選択されます。
- ☐ 全負荷
部分積載が選択されます。

- ▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

インフォメーション

全負荷が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。コンフォートプレッシャーを選択した場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧をモニタリングして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ コンフォートプレッシャー

- ☒ コンフォートプレッシャー
コンフォートプレッシャーが選択されます。
- ☐ コンフォートプレッシャー
標準プレッシャーが選択されます。
- ▶ コンフォートプレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、ホイール変更後、ホイールトランスミッターの交換後、またはタイヤ設定の更新後にタイヤの「登録」を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

このプロセス中、PCMに冷間時(20℃)の規定タイヤ空気圧が表示され、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメントクラスターのタイヤ空気圧警告灯 が点灯したままになります。

タイヤ空気圧の充填



注意
ホットプレッシャーホース

充填中にコンプレッサープレッシャーホースが高温になり、やけどの原因となる場合があります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

圧力計付きコンプレッサーは、荷室フロア下のラゲッジコンパートメントに収納されています。

- ▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. コンプレッサープレッシャーホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサープラグを車両の12Vソケットに接続してください。
—または—
コンプレッサーの電源クリップをジャンパーケーブル接続用の端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください：



図 103：ジャンパーケーブルの開始点

- a. ジャンパーケーブル接続用のプラス(+)端子カバーを開いてください。
- b. ジャンパーケーブル接続用のプラス(+)端子にコンプレッサーのプラスケーブル(赤)を接続してください。
- c. ジャンパーケーブル接続用のマイナス(-)端

子にコンプレッサーのマイナス ケーブル(黒)を接続してください。

3. コンプレッサーをONにしてください。
タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば
タイヤ空気圧を調整してください。もう 1 回タイ
ヤ空気圧を点検してください。
5. コンプレッサーをOFFにしてください。
6. コンプレッサー プレッシュャー ホースを外してくだ
さい。

タイヤ表記の読み取り



図 104 : タイヤ表記 (例)

- A タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤ構造記号
- D リム径 (インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/hまで
V	240 km/hまで
W	240 km/hまで

Y 300 km/hまで

(Y) 300 km/hまで (Y記号タイヤの場合)
タイヤのロード インデックス (最大積
載容量) の 85 % までを積載した状態で
300km/h以上の速度で走行することが
可能です (300km/h以上で走行する場
合はタイヤ メーカーの確認が必要で
す)。

タイヤの損傷の検出



警告

見えないタイヤ損傷とリ
ム フランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストす
る恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れが
あります。

- ▶ 定期的なタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、
異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨
れなどがなければ確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだ
け直角に通過してください。傾斜が大きく縁が
尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつ
かったり乗り上げたりしないように注意してくだ
さい。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側)
は、専門家による点検を受けてください。ボル
シェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規
販売店のご利用をお勧めいたします。十分なト
レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新
の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確か
な整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでくださ
い。タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふ
さぐことは、最寄りの修理工場まで走行するため
の応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のため
にタイヤを交換してください：

- － タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性がある
とき
- － タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所が
ある場合など、それらが原因でタイヤが過熱した
り、異常な負荷がかかった可能性があるとき

タイヤおよびリムの交換

- ▶ タイヤを交換する場合は、イグニッションを OFF
にします。



警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できませ
ん。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行
してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性
能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 同一型式の同一仕様番号 (「N0」、「N1」など) のタ
イヤのみを装着してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の承認状況
についてボルシェ正規販売店にお問い合わせくだ
さい。
- ▶ ボルシェがテストを行い承認したタイヤのみを使
用してください。
- ▶ 同一アクスルのトレッド溝の深さの差が 30 % を超
えないようにしてください。
- ▶ 中古タイヤは、履歴が判明している場合にのみ使
用してください。
- ▶ プロファイルの深さの違いによって車両のハンド
リング特性に不要な影響が出ないように、必ず 1
つのアクスルの両側のタイヤを同時に交換してく
ださい。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施して
ください。ボルシェ正規販売店にご相談くださ
い。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたしま

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のタイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- ▶ ホイールが車両の TPM システムと互換性があることを確認してください。適切なホイールや車両の TPM システムの詳細は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤを交換する場合、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を確認します。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両の公式登録書類またはこのマニュアルの「テクニカル データ」の章を参照してください。

i インフォメーション

新しいタイヤを 1 つのアクスルのみに取り付ける場合、前後のアクスルのトレッド溝の深さの相違により、以前の慣れた運転挙動が大きく変化する可能性があります。新しいタイヤをリヤ アクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情

報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

ウインター タイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバーストする恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示、または雪の結晶のマークがあるタイヤに限り (国により異なる)、最高許容速度がこの車両の最高速度に満たないウインター タイヤであっても装着できます。各国の法律を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目につく場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。

- ▶ 寒い季節が始まる前の適切な時期に、ウインタータイヤを取り付けてください。
- ▶ ボルシェがテストを行い承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の承認状況についてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。



インフォメーション

このようなタイヤを気温が低いときに使用し続けると、ドライ / ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中に振動に伴うノイズが発生することがあります。

サマー タイヤの走行性能は、気温が 7 °C を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ボルシェ社では気温が 7 °C を下回る時期にはウインター タイヤの使用を推奨しています。

さらに外気温度が -15 °C を下回り極端に低くなると、サマー タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤ アクスルにのみ取り付けることができ、「テクニカル データ」に記載があり、スノーチェーン使用可能とマークされているタイヤ / ホイールの組み合わせのみを使用できます。

- ▶ スノーチェーンとホイールハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ボルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを取り付ける前に、ホイールに付着している氷や雪を十分に取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に調べてください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア インジケーターを備えています。ウェア インジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6mm になると現れます。

安全のため、ウェア インジケーターが現れる前にタイヤを交換してください。ウインター タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入し、タイヤトレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温度 -15 °C 未満の場所にサマー タイヤを保管したり、サマー タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の 4 つの数字が 3016 の場合、そのタイヤは 2016 年の 30 番目の週に製造されたことを示します。

ホイールのバランス調整

安全のために、サマー タイヤは春に、M+S タイヤは冬に入る前に、認証を受けたポルシェ正規販売店でホイール バランスの調整を受けてください。

- ▶ 有資格者がいるワークショップにご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換



警告

車両の下側の作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキ アップやホイール交換時に、車内に人がいないことを確認してください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップ ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面 (上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など) に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイール ボルト レンチ、取付補助工具など) は車両の標準装備ではありません。

- ▶ 必要な工具についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤとホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、これらのマーキングに従って取り付けを行います。

- ▶ 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。
- ▶ 車両の公式登録書類またはこのマニュアルの「テクニカル データ」の章を参照してください。

ホイール取り付け面の手入れ

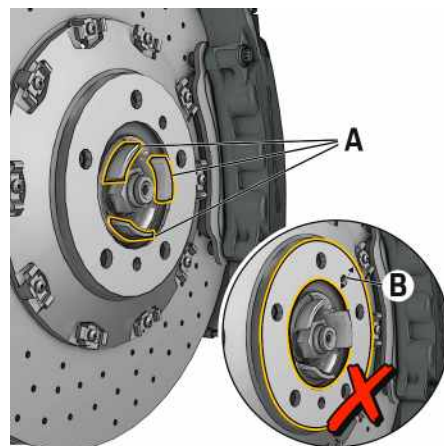


図 105 : ホイール取り付け面

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 **B** およびホイール ハブ自体にグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ **A** の領域にのみグリースを塗布します。これらの領域にグリースの Optimoly® TA を非常に薄く塗ります。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他のグリースやペーストを使用しないでください。

ホイール ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイール ボルト、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。
- ▶ インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイール ボルトの使用



図 106 : 盗難防止ホイール ボルト アダプター

盗難防止ホイール ボルトのアダプターは、ツール キットにあります。

- ▶ 盗難防止機能のあるホイール ボルトをゆるめて締めるには、ホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間にアダプターを入れる必要があります。
- ▶ アダプターの位置を決めるときは、アダプターがホイール ボルトの歯に完全にかみ合うようにしてください。

ホイール交換

車両の準備

1. トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. イグニッションを OFF にします。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 交換するホイールのホイール ボルトまたはホイール ナットをわずかにゆるめます。

警告

レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 手でノーマル レベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリング システムを OFF にします。

- ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。

- ▶ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（121ページ）を参照してください。

7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換



図 107 : PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます



図 108 : PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

1. PCCB 非装備車: ホイール ボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます。
– または –
1. PCCB 装備車: ホイール ボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます。

知識

ホイール交換を正しく行わないと、特に ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ 装備車の場合、ブレーキ ディスクを損傷する恐れがあります。

- ▶ タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
▷ 「ホイール ボルトのお手入れ」の章（158 ページ）を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
▷ 「ホイール取り付け面の手入れ」の章（157 ページ）を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール

ル ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。

7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを 160 Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定は更新されました。
▷ 「タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) の設定」の章（153 ページ）を参照してください。

チャイルドシート

⚠ 危険

チャイルドシート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルドシートを使用した場合、またはチャイルドシートを車両に正しく取り付けしていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ボルシェ社が推奨するチャイルドシートのみを使用してください。これらのチャイルドシートシステムは、ボルシェ車両の内部および適正なお子様の重量分類に適合するように、検査および調整されます。他のシステムは検査されていないため、傷害の危険性を高める可能性があります。
- ▶ チャイルドシートシステムが助手席に設置される場合、助手席のエアバッグのスイッチを切りま

す。

ボルシェ社では、ボルシェテクニク製品製のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章（162ページ）を参照してください。

⚠ 危険

チャイルドシートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗り込んでいる場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があり

ます。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグを OFF にする必要があるか、必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

- ▶ 「助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要」の章（163ページ）を参照してください。
- ▶ 「助手席エアバッグの ON / OFF」の章（164ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルドシートを取り付けるときは、常にシートヒーターのスイッチを OFF にしてください。
- ▶ 前向きに着座するタイプのチャイルドシートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ 「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章（116ページ）を参照してください。



図 109: エアバッグ警告ラベル

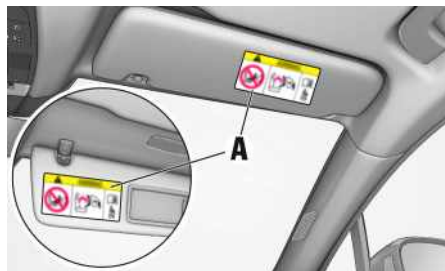


図 110: サンバイザーのエアバッグ警告ステッカー

- ▶ エアバッグの警告ステッカーまたは危険信号を、取り外したり、傷つけたり、(A) 不明瞭な表現に変更したりしないでください。

チャイルドシートの正しい使用

- 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。
 - ▶ 「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章（160ページ）を参照してください。
- チャイルドシートの正しい取り付け位置で使用してください。
 - ▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章（162ページ）を参照してください。
- チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。
 - ▶ 「チャイルドシートの取り付け」の章（164ページ）を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、適切な取り付け位置も確認してください。
- ▶ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章（162ページ）を参照してください。

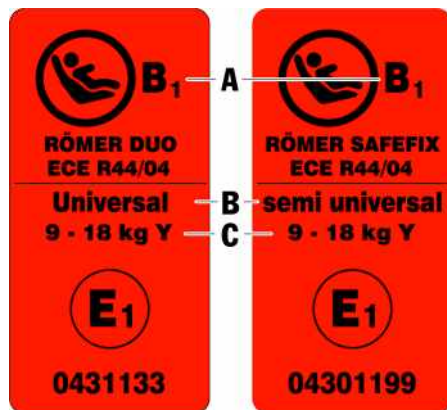


図 111：チャイルドシートシステムのECE ラベルの例

- A サイズ分類
B 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
C 体重グループ

▶ 準汎用(セミユニバーサル)認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

グループ 0、0+のお子様：13 kg まで
(i-Size システム、ISOFIX システム、およびシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ Iのお子様：9 ～ 18 kg
(i-Size システム、ISOFIX システム、またはシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートも使用することができます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ IIのお子様：15 ～ 25 kg
(シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

グループ IIIのお子様：22 ～ 36 kg
(シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限り、リヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A ISO/F3: 前向き、フルサイズチャイルドシート
B ISO/F2: 前向き、小型サイズチャイルドシート
B1 ISO/F2X: 前向き、小型サイズチャイルドシート
C ISO/R3: 後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
D ISO/R2: 後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
E ISO/R1: 後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート

- F ISO/L1: 左向きチャイルドシート(ベビーキャリア)
G ISO/L2: 右向きチャイルドシート(ベビーキャリア)

バックレスト装備または非装備のブースターシート

ISO/B2: 前向きチャイルドシート(バックレスト装備または非装備のブースターシート)、減少幅 440 mm

ISO/B3: 前向きチャイルドシート(バックレスト装備または非装備のブースターシート)、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重グループ	サイズ分類	チャイルドシート
グループ 0: 0 から 10 kg	F	ISO/L1
	G	ISO/L2
	E	ISO/R1
グループ 0+: 0 から 13 kg	C	ISO/R3
	D	ISO/R2
	E	ISO/R1
グループ I: 9 から 18 kg i-Size チャイルドシート ¹	A	ISO/F3
	B	ISO/F2
	B1	ISO/F2X
	C	ISO/R3

1. 国によって異なります

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

体重グループ	サイズ分類	チャイルドシート
	D	ISO/R2

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

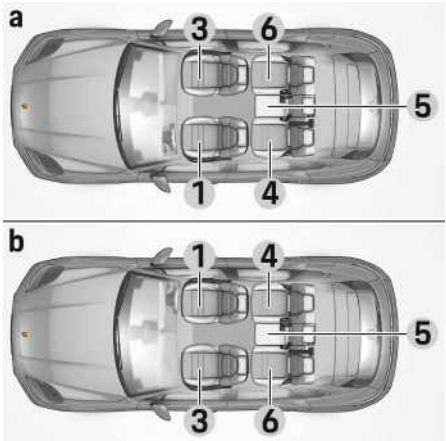


図 112 : チャイルドシート取り付けのためのシート番号

- a 左ハンドル車
- b 右ハンドル車

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	4 および 6	3、4、5 および 6	4 および 6

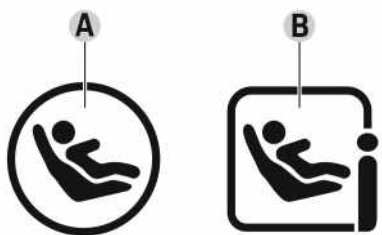


図 113 : ISOFIX および i-Size のシンボル

- A ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なります)
- B i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なります)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート固定用の標準化されたリテーニングラグです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のリテーニングラグに取り付けられます。

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ¹	4 ²	5 ³	6 ²
シートベルトによる固定	不可	可	可	可	可
ISOFIX の取り付け位置	不可	可 ⁴	可	不可	可
i-Size の取り付け位置	不可	不可	可	不可	可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R3	R2X/R3	R2 ⁵	R2X/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F3	F2X/F3	F2X ⁵	F2X/F3
適切なチャイルドシートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースターシート) [B2/B3]	不可	B3	B3	B3	B3
不可: シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けには適していません。					

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U)、または準汎用 (L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

- X: シートは、このグループのチャイルドシートには適していません。
- U / L: このグループへの使用が認可され、大人用のシートベルトで固定されている、「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミユニバーサル)」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートが適しています。

1. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認します。
2. この取り付け位置は、サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付けに適しています。
3. この取り付け位置は、サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付けに適していません。
4. 国別仕様により異なる
5. シートベルトによる固定

あ
か
さ
た
な
は
ま

グループ	助手席エアバッグを ON にする	助手席エアバッグを OFF にする
グループ 0: 0 から 10 kg	X	U / L
グループ 0+: 0 から 13 kg	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg 後ろ向き	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg 前向き	U / L	U / L
グループ II: 15 から 25 kg	U / L	U / L
グループ III: 22 から 36 kg	U / L	U / L

チャイルド シートの取り付け

ベビー キャリア

サイズ カテゴリー F および G のフラット タイプのチャイルド シート [ベビー キャリアなど] は、どのシートにも使用できません。

ポルシェ社では、ポルシェ テクニップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします (例: Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

助手席エアバッグの ON / OFF

 危険 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルド シートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。

や
ら
わ
A-Z

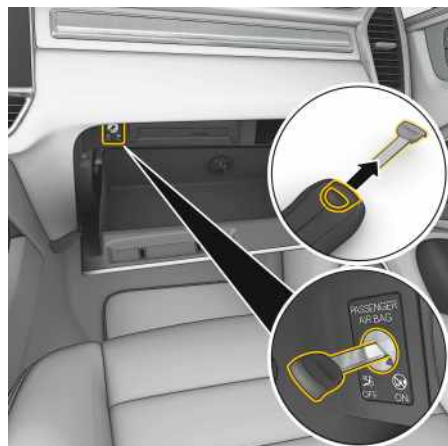


図 114：助手席エアバッグを OFF にする

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- 1. グローブボックスを開いてください。
- 2. エマージェンシー キーを車両キーから取り外してください。
 - ▶ 「キー」の章（79ページ）を参照してください。

知識

キー スイッチおよびエアバッグ システムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシー キーは必ず、キー スイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。キー スイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときのみ、ON または OFF に切り替えてください。

3. エマージェンシー キーをキー スイッチにいっぱいまで押し込んでください。
4. エマージェンシー キーを回し、助手席エアバッグをオフ（スイッチ位置OFF）またはオン（スイッチ位置ON）にしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー スイッチにエマージェンシー キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー キーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシー キーを助手席エアバッグ スイッチに挿入したまま走行しないでください。

5. エマージェンシー キーをキー スイッチから抜き取ってください。
6. グローブボックスを閉じてください。

PASSENGER AIR BAG OFF/ONインジケーター



図 115：助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター

助手席エアバッグ OFF/ON インジケーターはオーバーヘッド コンソールにあります。

OFF 点灯 ON 点灯 ライト作動点検

イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために **PASSENGER AIR BAG OFF/ON** インジケーターが約 5 秒点灯します。

OFF 点灯 助手席エアバッグを OFF にする

助手席側のエアバッグを OFF にすると、イグニッション スイッチが ON のときやエンジンが作動しているときは **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが継続的に点灯します。

ON 点灯 助手席エアバッグ スイッチ ON

助手席エアバッグを ON にすると、イグニッション スイッチが ON のときは **PASSENGER AIR BAG ON** インジケーターが点灯し、約 1 分後に消灯します

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルド シートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルト付きチャイルド シートの取り付け

リヤシートの車両シートベルト付きチャイルド シートの取り付け

1. 助手席とチャイルド シート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▶ 「フロントシートの調節」の章（113ページ）を参照してください。
- 3. チャイルドシートバックレストのベルトガイドを、車両Bピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
- 4. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

リヤシートの車両シートベルト付きチャイルドシートの取り付け

1. リヤシートのバックレストの角度を調整し、リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。
 2. シートベルトで固定するチャイルドシートすべておよび Group II/III チャイルドシートの場合は、リヤシートベンチを中央位置に調整します。
 3. チャイルドシートをセンターリヤシートに固定するとき、リヤシートベンチの前後位置を選択してフロントシートとセンターコンソールの間が快適な距離になるようにします。必要であればリヤシートユニットの前後位置を調整します。
- ▶ ブースターシートにバックレストがない場合は、ブースターシートとリヤシートバックレストが接触しているかを確認します。

I サイズまたは ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け

- ▶ 「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章（160ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルドシートの助手席への取り付け

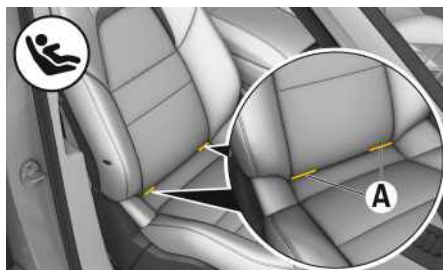


図 116: 助手席の ISOFIX アンカーシステム (国によって異なります)

ISOFIX チャイルドシートアンカーポイントのリテーニングラグ A は助手席のバックレストとシート表面の間にあります (国によって異なります)。

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグを **OFF** にしてください。
オーバーヘッドコンソールの **PASSENGER AIR BAG OFF** 警告灯が点灯します。
2. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
3. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
▶ 「フロントシートの調節」の章（113ページ）を参照してください。
4. チャイルドシートバックレストのベルトガイドを、車両Bピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
5. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
6. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。
7. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

チャイルドシートのリヤシートへの取り付け

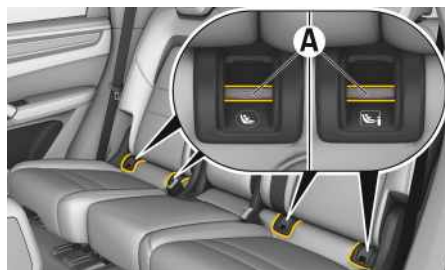


図 117: リヤシートの I サイズまたは ISOFIX アンカーシステム (国によって異なります)

チャイルドシートの I サイズまたは ISOFIX アンカーシステムのリテーニングラグ A はシート表面のマーキング部分にあります。

1. リヤシートを最後部位置に調整します。
 2. リヤシートのバックレストの角度を調整し、リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。
 3. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
▶ 「助手席エアバッグの ON / OFF」の章（164ページ）を参照してください。
 4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。
- 回転しないように、チャイルドシートをサポートレッグまたはトップテザーでさらに固定します。

サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け

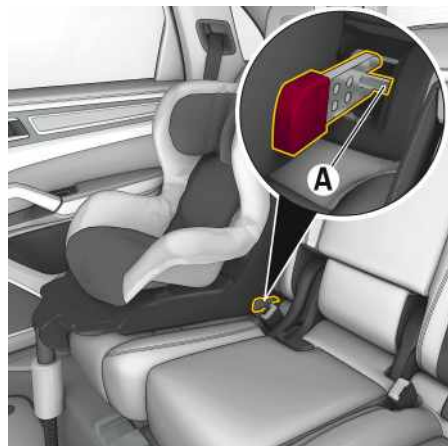


図 118 : サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け

1. ISOFIX または I サイズ アンカー付きチャイルドシートをリテーニング ラグ A で正しく取り付けます。
 ▶ 「I サイズまたは ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け」の章（166ページ）を参照してください。
2. チャイルド シート メーカーの指示に従って、サポート レッグを位置決めします。
3. チャイルド シートがリヤシートに対して面に取り付けられているようにします。

トップテザー付きチャイルド シートの取り付け

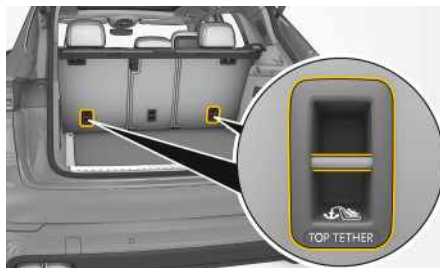


図 119 : トップテザーのアンカー ポイント

- ▶ トップテザー付きチャイルド シートを使用する際は、トップテザーはリヤシート バックレストの後ろのアンカー ポイントに取り付けてください。

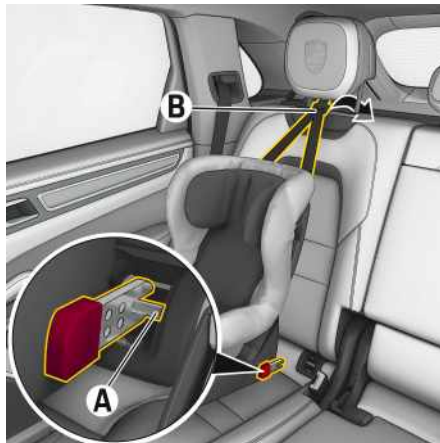


図 120 : トップテザー付きチャイルド シートの取り付け

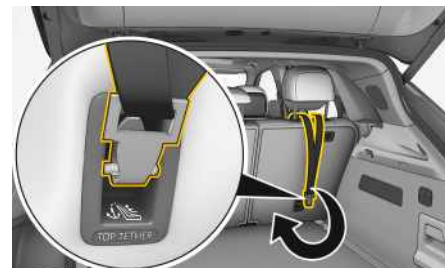


図 121 : I サイズまたは ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの固定

1. ISOFIX または I サイズ アンカー付きチャイルドシートをリテーニング ラグ A で正しく取り付けます。
 ▶ 「I サイズまたは ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け」の章（166ページ）を参照してください。
2. トップテザー B をヘッドレストに通してください。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。
 ▶ 「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章（116ページ）を参照してください。
3. トップテザー B をバックレスト後部のアンカー ポイントに固定し、トップテザーを締め付けます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

テスト スタンドでの点検

テスト スタンドでの点検



警告

有毒な排気ガスの吸い込み

有毒な排気ガスの吸い込みにより重傷または致命傷を負う危険があります。

排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。この場合、車両ジャッキは適していません。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

パフォーマンス テスト

ポルシェ社ではローラー タイプ テスト スタンドでのパフォーマンス テストを承認していません。

ブレーキ テストの実施

- ▶ ブレーキ テストには、ローラー タイプ テスト スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

- 測定速度: 7.5km/h 以下
- 測定時間: 20 秒以内

エレクトリック パーキング ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキ テスト スタンドでエレクトリック パーキング ブレーキをテストするときは、**イグニッションのみを ON にし、セレクトー レバーをニュートラル (トランスミッション ロック作動) にしなければなりません。**

車両が自動的にブレーキ テスト モードに切り替わり、エレクトリック パーキング ブレーキのテストが可能になります。 インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。

デバイス マネージャー

デバイスマネージャーを開く

デバイス マネージャーは利用可能なデバイスとその接続ステータスの概要を提供します。

- ▶ フッターの  または  を選択してください (接続状態により異なります)。

接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

- 緑色のシンボル: データ接続が有効
- 白色のシンボル: 接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない: 接続不可能

選択できる機能:

-  **電話:** Bluetooth® 経由で接続された電話。288ページの「携帯電話」の章を参照してください。
-  **ミュージック:** Bluetooth® を介して接続された外部 Bluetooth® メディア ソース。244ページの「メディア」の章を参照してください。
-  **データ:** アクセス ポイント経由でデータ接続が確立されている。226ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
-  **アプリ:** WiFi 経由で接続されたアプリ。アプリに関する詳細情報: www.porsche.com/connect にアクセスしてください。
-  **リンク:** Apple CarPlay へのアクセスが許可された USB ポート経由で接続された iPhone。281ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

Bluetooth® 経由で新しいデバイスをペアリング

1. フッターの  または  を選択してください (接続ステータスにより異なります) ▶ **新しいデバイスを検索**。
2. リストからデバイスを選択します。
6 桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM とデバイスに表示されます。
3. PCM およびデバイスに Bluetooth® コードが表示されます。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。必要に応じて外部 SIMカードの PINを PCM に入力します。
携帯電話が正常に接続されたら、デバイス概要に表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230ページ) を参照してください。

デバイス マネージャーの設定

- ▶ ヘッダーの  または  (接続状況により異なる) ▶ オプション  を選択してください。

- **電話:** 288ページの「携帯電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth:**
 - Bluetoothの ON/OFF の切り替え。
 - PCM の Bluetooth 名を適合させる。
- **WiFi:**
 - WiFiを起動/WiFiを停止
 - PCMホットスポットを設定: PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (携帯電話など) を WiFi 経由

で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。

- **接続されたWiFiデバイス:** 登録済みのすべての WiFi デバイスのリスト。
- **データ接続:**
 - データ接続の ON/OFF の切り替え。
 - データ接続の共有: WiFi デバイス用のデータ接続を可能にします。
- **PCMホットスポット:** PCM WiFi ホットスポットの作動と停止。
- **ペアリングされたデバイスを削除**

ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

タッチディスプレイおよびインストルメントクラスターには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータが表示できます。タッチスクリーンと計器クラスターの動作の詳細については：

- ▶ 「インストルメントクラスターの操作」の章 (39ページ) を参照してください。
- ▶ 「タッチディスプレイの操作」の章 (233ページ) を参照してください。

インストルメントクラスターのドライビングデータ表示

「車両&情報」内の運転データの表示

1. トリップメニューを選択します。
2. リストから表示項目を選択します。

ドライビングデータをリセットする

1. トリップ▶リセット
2. リストから表示項目を選択します。

ダッシュボードのタッチディスプレイのドライビングデータ表示

ドライビングデータを表示する

1. 車両  ▶ トリップ 
2. 必要なディスプレイにスクロールします。

個人設定走行

1. 車両  ▶ トリップ  ▶ オプション  ▶ 走行をカスタマイズする
2. 多種多様な運転データをドラッグ&ドロップを用いて4つのフィールドに割り当てることができます。特定の運転データを複数の項目に割り当てることはできません。

ドライビングデータをリセットする

- ▶ 車両  ▶ トリップ  ▶  ▶ トリップデータをリセットする

トランスミッション

ポルシェ ティプトロニック S での走行

ティプトロニック S はオートマチック モードとマニュアル シフト モードを備えた 8 段変速オートマチック トランスミッションです。

オートマチック シフト モード (作動モード D) ではギヤが自動的にシフトされます。ステアリング ホイールのシフト パドルを操作することにより、一時的にオートマチック シフト モードからマニュアル シフト モードに切り替えることができます。

マニュアル シフト モード (作動モード M) では、セレクター レバーまたはステアリング ホイール上にあるシフト パドルの操作でギヤを変更できます。

D モードと M モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのシフトモードでも、ステアリング ホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。

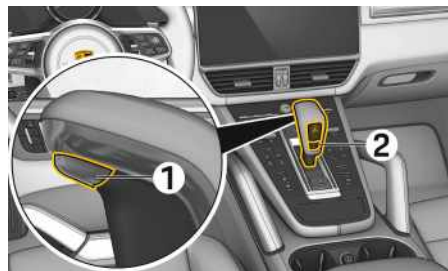


図 122 : 作動モードの変更

- 1 リリース ボタン
- 2 トランスミッション パーキング ロック (P ボタン)

作動モードの変更

イグニッションが OFF の場合、作動モード P が有効となり、セレクター レバーはシフト ゲート内で自由に動かさず。

作動モードはセレクター レバーのリリース ボタン (1) を押した場合にのみ変更できます。作動モード P または N から切り替える時には、リリース ボタンに加え、ブレーキ ペダルを踏んでください。作動モード D から作動モード M にのみ切り替えが可能です。作動モード P に切り替えるには、セレクター レバーの P ボタン (2) を押すか、イグニッションを OFF にします。各操作の後、セレクター レバーは元の中央位置に戻り、選択されている作動モードがインストルメント パネルに表示されます。

- ▶ 「作動モードと締結ギヤのインジケータを読む」の章 (172 ページ) を参照してください。

リリース ボタン

セレクター レバー上のリリース ボタン (1) は、誤ってギヤが変更されないようにするための機構です。モード変更の前には必ずこのボタンを押します。

P ボタン

セレクター レバーの P ボタン (2) は、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。イグニッションが OFF のとき、D、M または R 作動モードでトランスミッション パーキング ロックが自動的にがかかります。

i インフォメーション

車両から離れる (運転席シートベルトが着用されていない、運転席のドアが開いている、ブレーキペダルを踏んでいない) ときは、D、M または R 作動モードでもトランスミッション パーキング ロックがかかります。

運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない状態でも、エレクトリック パーキング ブレーキを手動で解除し、必要に応じて任意の作動モード D、M または R に切り替えると、車両を移動させることができます。この場合、パーキング ブレーキは解除され、任意の作動モード D、M または R が選択された状態のままになり、トランスミッション パーキング ロックは自動的に作動しません。

- ▶ 「エンジンの始動および停止」の章 (67 ページ) を参照してください。

エンジンの始動

エンジンは、ブレーキペダルが踏まれており、モード P または N が作動中の場合に限り始動できます。

E-Hybrid 車両の始動に関する情報：

- ▶ 「ハイブリッド車両」の章 (184 ページ) を参照してください。

車両の発進

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード (D、M または R) は、エンジンがアイドル状態、ブレーキペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。
- ▶ ギヤが入ると車両はゆっくりと動き出すため、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

- ▶ 「HOLD 機能：停止制御」の章 (283 ページ) を参照してください。

車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクトアーレバーを作動モード **D** のままにし、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏んで停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキをかけ、作動モード **P** を有効にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルは控えめに使ってください!
- ▶ 狭い場所での駐車時や操舵時は、フットブレーキを慎重に使用し速度をコントロールしてください。

作動モードと締結ギヤのインジケータを読み取る



図 123: インstrument パネルのモードと締結ギヤインジケータ

エンジン作動中に、作動モードと締結ギヤが表示されます。
ブレーキをかけていない状態で意にセレクトアーレバーが **P** または **N** 位置から異なるモードに動いてしまった場合、このモードは点滅し、駆動力がカットされます。

- ▶ 発進するには、ブレーキをかけ、セレクトアーレバーを再び **P** または **N** から希望のモードに動かしてください。

インstrument パネル内での作動モード **R** または **D** の点滅

駆動力が伝達されません。

原因;

- フットブレーキを踏まずにセレクトアーレバーが切り替えられた。

- 最高許容速度以上で、または進行方向と反対にセレクトアーレバーを **R** または **D** にシフトした。

対策:

- ▶ フットブレーキを踏んでから、再び作動モードを **N** から希望するモードに切り替えます。

作動モード

P - パーキング ロック

- ▶ 車両が停止してからのみ、**P** ボタンを使ってパーキングロックをかけてください。作動モード **P** が点滅している場合、パーキングロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。もう一度 **P** ボタンを押すか、イグニッションを **OFF** にしてください。

R - リバース ギヤ

- ▶ セレクトアーレバーの選択は、車両が停止しブレーキをかけてからにしてください。

N - ニュートラル

たとえば、洗車機を使用するときなどは、作動モード **N** を必ず選択してください。

- ▶ 発進するために希望する走行作動モード (**D**、**M** または **R**) は、エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ選択してください。

D - オートマチック シフト モード

- ▶ 「通常」の走行時には、作動モード **D** を使用してください。アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤが自動的に切り替わります。

i インフォメーション

ステアリング ホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチック シフト モード **D** からマニュアル シフト モード **M** に切り替えることができます。

例：

- － カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
 - － 下り坂でエンジン ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
 - － 急加速のためにシフトダウンしたいとき
- マニュアル セレクション モードが維持されます：
- － オーバーラン時
 - － 車両が交差点などで停車したとき
- マニュアル シフト モードが再び終了します：
- － オーバーラン時以外は、自動的に約 6 秒後

M - マニュアル シフト モード



図 124：セレクター レバーのマニュアル選択モード

ステアリング ホイールのギヤシフト パドルまたはセレクター レバーの操作により、ドライバーは 8 速前進ギヤを快適かつ安全に選択することができます。

- ▶ セレクター レバーを **D** から **M** の位置に押ししてください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

M から **D** にシフトする場合は、現在のドライビング スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図 125：シフト パドル付きステアリング ホイール

セレクター レバーまたは右「+」ギヤシフト パドルでのシフトアップ

- ▶ セレクター レバーまたは右側シフト パドルを手前に引いてください。

セレクター レバーまたは左「-」ギヤシフト パドルでのシフトダウン

- ✓ ACC またはクルーズ コントロール モードが有効でない。
- ▶ セレクター レバーを前方に押ししてください。または左側シフト パドルを手前に引いてください。

低燃費走行のためのシフトアップ プロンプト

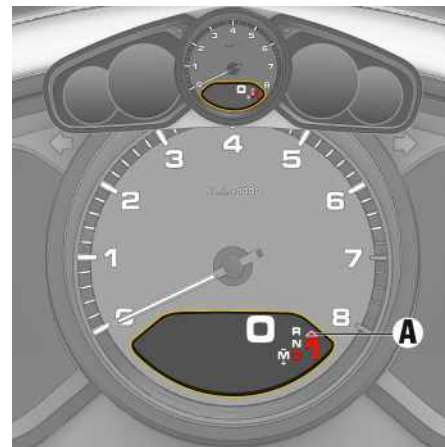


図 126：シフトアップ インジケーター A

燃費重視の運転を促すシフトアップ インジケーター **A** は、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み方に応じて、シフトアップ インジケーターが点灯し、1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップ インジケーターが点灯したときは、1 段高いギヤにシフトアップしてください。

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能は、作動モードを **D** および **M** にすると有効になります。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル ペダルを素早くいっぱい踏み込んで [キックダウン] ください。

車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ か さ た な は ま や ら わ A-Z

情性走行モードで走行する

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne GTS、Cayenne GTS Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé。

情性走行モードでは、締結しているギヤが自動的に解除され、それによってエンジンのブレーキ効果が回避されます。車両はアイドル回転数で走行します。

ドライバーは、手動の情性走行モードを開始できます。

ドライバーは自動情性走行モードを要求することができます。このモードはシステムによって自動的に開始されます。

自動情性走行モードの要求

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé。
- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ 通常走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード D が選択されている。
- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが作動していない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が無効になっている。
- ✓ 車両が作動温度に達している。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
- ✓ 市街地外での走行。
- ✓ 他のアシスタンス システムからのデータにより、情性走行モードが可能 (国によって異なる。例: 前方の車両までの距離、マップ データに基づく今後の道路ルート)。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。システムは走行データを評価し、適切な走行状況で自動的に情性走行モードを開始します。

グライダー モードを手動で開始する

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne GTS、Cayenne GTS Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé
- ✓ 通常走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード D が選択されている。
- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが作動していない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が無効になっている。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
- ✓ オートスタート/ストップ機能が作動している (Cayenne のみ、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé)。
- 1. アクセルペダルから足を完全に離してください。
- 2. ギヤシフトパドルまたはセレクターレバーを使用して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップします。情性走行モードが開始されます。

情性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルを踏みます。
- または -
- ▶ シフトパドルまたはセレクターレバーを使用してギヤを切り替えます。エンジンが締結され、情性走行モードが終了します。

パフォーマンス スタートを使用した発進

パフォーマンス スタート機能は、停車状態から最大加速を達成します。



警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってパフォーマンス スタートを使用してください。
- ▶ 他の通行者を危険にさらす状況ではパフォーマンス スタートを使用しないでください。



インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
- ✓ スポーツ プラス モードがONになっている。
- 1. 左足でブレーキペダルを確実に踏んでください。
- 2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。
エンジン回転数は自動的に横ばい状態になります。インストールメント パネルに表示されるメッセージは、パフォーマンス スタート機能が作動していることを示します。
- 3. 数秒以内にブレーキを解除します。

E ローンチを使用した発進

- ✓ E-Hybrid 車両
e-Launch 機能で、停車状態から電気のみを使用して最大加速度で発進することができます。
- ✓ 高電圧バッテリーが可能な限り完全に充電されている。

1. E パワー モードを起動します。
2. 左足でブレーキ ペダルを踏みます。
3. 有効な E ローンチ機能に関するメッセージがインストルメント パネルに表示されるまでアクセルペダルを踏み込み、そのポイントで停止します。
4. 数秒以内にブレーキを解除します。

インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

電気ソケット

⚠ 危険

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。

ソケットの不適切な使用は、回路をショートさせる場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 液体がソケットに入らないようにしてください。ソケットに液体が入った場合は、使用する前にソケット内が完全に乾燥し、液体が残っていないことを確認してください。
- ▶ アダプターまたは延長ケーブルを使用しないでください。アダプターまたは延長ケーブルを使用すると、100V ソケットのチャイルド プロテクション機能が無効になり、通電されます。

知識

接続した機器が損傷する恐れがあります。

- ▶ 100V ソケット用に設計された機器のみを接続してください。
- ▶ ソケットに接続した機器の消費電力が150Wを超えないようにしてください。
- ▶ 蛍光灯を含むライト類を接続しないでください。

i インフォメーション

接続した機器が加熱する恐れがあります。これにより過電流保護回路が起動することが妨害される場合があります。

- ▶ 機器の電源を外し、約10秒後に再度接続してください。

車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- グローブ ボックスの下側
- フロント センター コンソール
- 進行方向左側のラゲッジ コンパートメントのサイド トリム パネル

充電アダプターの接続

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターにより、プラグ ソケットが損傷を受ける可能性があります。

i インフォメーション

- ソケットはイグニッションが OFF の状態でも使えます。アクセサリが ON になっていると、バッテリーは放電します。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションは再度 ON にしてください。
- プラグ ソケットの最大電流値は、20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、プラグ ソケット 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

A



B



図 127：12V プラグ ソケットおよびシガー ライター用の充電アダプター

A: 使用可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離 **X** が約 16 mm 未満です。

B: 使用不可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離 **X** が約 16 mm 以上です。

ナイト ビュー アシスト



図 128 : ナイト ビュー アシストのサーマルイメージ

ポルシェのナイト ビュー アシストには、以下の機能が
ついています:

- サーマルイメージの表示
- 歩行者と動物の警告

ナイト ビュー アシストのサーマル イメージング カメ
ラは車両フロント部にあり、周囲のサーマル イメージ
を表示します。画像は、インストルメント クラスターの
車両および情報ディスプレイに表示することができま
す。このシステムは、ヘッドライトが照らす範囲外
ににいる人や動物を検出でき、カメラ画像の中でそれら
を強調表示します。

サーマル イメージング カメラは、熱放射の帯域のみを
感知します。そのため、このカメラの画像は人間の目
に知覚できる映像とはかなり異なる場合があります。
ナイト ビュー アシストは、周囲がかなり暗く、温度が
28 °C 未満の場合に人と動物を検出します。

衝突が起こりそうな状況、または走行中に人に危険な
ほど接近して通り過ぎる状況で、システムの制限の限

界内で警告します。この場合、システムはドライバー
に視覚および聴覚で警告します。カメラ画像では、人
が赤でマークされて表示されます。ポルシェ ダイナ
ミック ライト システム プラス装備車両では、危険に
さらされている人を点滅表示し、認識しやすいよう
にしています。

郊外で動物との衝突が起こりそうになる前にも、シス
テムの限界内で警告します。この場合、システムはド
ライバーに視覚および聴覚で警告します。カメラ画像
では、動物が赤でマークされて表示され、ドライバー
が危険物の位置を認識するのをサポートします。



警告

集中力の低下およびナイト
ビュー アシストにより
障害物が検出されない

ナイト ビュー アシストはサポート システムであり、
あらゆる状況下で衝突が差し迫っている状況を警告す
るものではありません。事故を起こす恐れがあります!
適時ブレーキをかけることおよび状況に適した車両の
ライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってくだ
さい。



注意

ナイト ビュー アシストの
制限または使用不可

例えば、駐車場の段差などでバンパーへの衝撃や損傷
があると、カメラが作動することがあります。これ
は、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ
正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分な
トレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最
新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確
かな整備をお約束します。

歩行者警告



図 129 : インストルメント クラスターの歩行者警告

システムが、歩行者との衝突の危険を検知した場合、
スピードが約 250 km/h の範囲内であれば、警告音お
よびインストルメント クラスターの適切な警告表示で
ドライバーにお知らせします。歩行者が走行車線内で
立ちまわっている場合、もしくは走行車線内へ移動し
ている場合に警告が発せられます。ポルシェ ダイナ
ミック ライト システム プラス装備車両では、危険に
さらされている人を点滅表示し、検知しやすいよう
にしています。この警告が発せられた場合でも、歩行者
を避けるために進路を変え、急ブレーキをかけて衝突
を回避する必要があるかもしれません。交通状況とド
ライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なるこ
とがあります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

動物警告



図 130 : インストルメント クラスターの動物警告

動物警告は、大きい野生動物（市街地外にいる鹿など）によって引き起こされる危険に反応します。走行予定の車線内に動物がいたり、危険を及ぼすほど接近したときに動物警告が発せられます。動物警告は市街地では自動で無効になり、リードにつながれた犬などによって警告が誤作動するのを防止します。

ナイトビューアシストの ON/OFF 切り替え

▶ アシスト  ▶ ナイトビューアシスト

衝突警告および画像調整の設定

衝突警告のタイミングおよびナイトビューアシストのイメージパラメーターはPCMで設定できます。

▶ アシスト  ▶  ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ ナイトビューアシスト

ナイトビューアシスト ステータス ディスプレイ

シンボル	インストルメント クラスター	意味
	速度&アシスト機能ディスプレイ	ナイトビューアシストはバックグラウンドで作動します。
	車両&情報ディスプレイ	カメラ画像が表示されている場合、車外の状況（外気温度や明るさ）が原因でシステムはヒトや動物を確実に検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。

i インフォメーション

- ▶ 車両の前側のナイトビューアシストのサーマルイメージングカメラは、定期的に清掃してください。

ナイトビューアシスト カメラの清掃

フロントウィンドウウォッシャーシステムを繰り返し操作すると、ナイトビューアシストカメラが自動的に清掃されます。

- ▶ 「リヤワイパーの操作」の章（214ページ）を参照してください。

ナビゲーション

概要説明 – ナビゲーション

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章 (230 ページ) を参照してください。

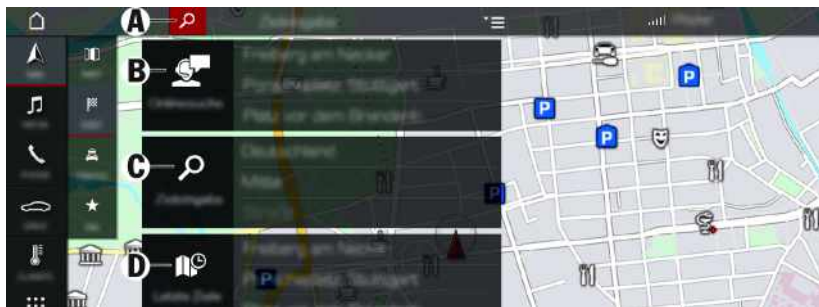


図 131 : 目的地の検索 / 入力

希望する操作	操作方法	操作場所
目的地を検索する	▶ ヘッダーで ナビ ▶ を選択してください (A を参照)。 – または – - ナビ ▶ 目的地 ▶ オンライン検索¹	–
コンシェルジュ サービスを選択する	▶ ナビ ▶ ポルシェ コンシェルジュ (B を参照) ▶ ポルシェ コンシェルジュ サービスに連	▶ p. 180
目的地の住所を入力	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 目的地入力 (C を参照)	–
目的地履歴を選択	▶ ナビ ▶ 目的地 / お気に入り ▶ 目的地履歴 (D を参照) / 保存した 目的地	–
施設情報を入力	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 施設情報	–
GPS 座標を入力	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ オプション ▶ GPS 座標を入力	–

1. 必要条件: データ接続を確立していること。

2. 必要条件: データ接続が確立されていること。

あ	希望する操作	操作方法	操作場所
か	ルート案内の開始 / 終了	▶ ナビ ▶ 目的地の入力 ▶ ルート案内を開始 または停止 を選択してください。	-
さ	保存した目的地を選択	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 保存した目的地	-
た	連絡先から目的地を選択	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 連絡先	-
な	マップビューを開く	▶ ナビ ▶ マップ	-
は	ルート オプションを表示 (代替ルート)	▶ ナビ ▶ マップ ▶ オプション ▶ ルートオプション	-
ま	交通情報を表示	▶ ナビ ▶ VICS	▷ p. 182
や	オンライン ナビゲーションの有効化	▶ ナビ ▶ オプション ▶ ナビゲーション設定 ▶ オンラインナビゲーションサービス ▶ オンラインナビゲーション	-
ら	ポルシェ コネクト アプリを使用する (例: オンライン マップ アップデート)	✓ データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスが起動中です。ポルシェ コネクト に関する詳細は下記から入手できます ▷ www.porsche.com/connect	▷ p. 226
わ	ETC を表示	▶ 車両 ▶ ETC	▷ p. 182



警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが有効な道路交通法と反する場合、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常にオフロードの状態に注意してください。

ポルシェ コンシェルジュの開始

コンシェルジュは、ナビゲーションデータを使用したドライバーのパーソナル アシスタントです。

- ✓ SIM カード経由でデータ接続が正常に確立されました。

- ✓ 携帯電話は PCM に Bluetooth® 経由で接続されました。

1. を選択します。ナビ ▶ 目的地 ▶ ポルシェ コンシェルジュ ▶ ポルシェ コンシェルジュ サービスに接続。
コンシェルジュ エージェントが呼び出されます。
2. 目的地をリクエストします。
3. コンシェルジュが通話を終了した後に、ナビゲーション データが PCM に送信されます。そのため、先に通話を終了しないでください。
4. POI または個々の目的地を選択し、 を選択します。

i インフォメーション

- 現在位置やナビゲーション目的地の地理的位置などのボルシェ コンシェルジュ データを使用している場合は、車両識別データおよび言語設定がコンシェルジュ コンタクト センターに転送されます。
- ボルシェ コンシェルジュへの通話ごとに最大5つの目的地のナビゲーション データを PCM に送信できます。

地図からの目的地入力

1. ナビ ▶ マップ を選択してください。
2. 地図上で目的地をタッチして長押ししてください。
3. を選択して、ルート案内を開始します。

ツアーを計画する (経由地の入力)

ツアーは1つの目的地、および1つ以上最大8までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および開始

1. ナビ ▶ 目的地を入力する ▶ ルート案内を開始 .
2. オプション ▶ ルートを編集 ▶ 新しい経由地 .
3. 経由地を入力または選択します。
4. 経由地として追加 ▶ ツアー開始。

ツアーを保存する

- ✓ ツアーが開始しました。

- ▶ オプション ▶ ルートを編集 ▶ オプション ▶ ツアーを保存

ツアーの呼び出し

- ✓ ツアーが保存されました。

1. ナビ ▶ お気に入り ▶ 保存した 目的地
2. 保存されたツアー ▶ 希望するツアーを選択してください。

i インフォメーション

経由地は後で変更することができます。変更するには、ナビ ▶ 目的地 ▶ オプション ▶ ルートを編集を選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動させてください (ドラッグ & ドロップ)。

スマート ルート

同一のルートが2度走行された場合に、スマート ルートは自動的に作成されます。

スマート ルートを作動させます

1. ナビ ▶ オプション ▶ ナビゲーション設定
2. スマートルートで、スマートルート機能を作動させます。
 のシンボルは地図の右下に表示されます。

スマート ルートへのアクセス

- ✓ スマート ルートが作動している。

1. ナビ ▶ マップ
2. 地図の右下から を選択します。
3. 候補のリストから希望のスマート ルートを選択してください。
4. 開始 を選択します。

i インフォメーション

- 最大3つの目的地が作成され、各目的地のために最大3つのルートを利用できます。候補のルートは同一のルートが利用される頻度順に応じてリストされています。
- 利用可能なスマート ルートの交通状況は、現在の車両位置に基づいて表示されます。
- PCM は、そのルートを走行する日が平日なのか週末なのかを判断します。記録されたスマート ルートは、週末か週中かのいずれかで適切な時にのみ表示されます。
- スマートルートを開くと、案内中のルート案内を停止します。

i インフォメーション

一度保存されたスマート ルートは、機能を無効に設定した後もナビ ▶ マップ ▶ オプション ▶ ナビゲーション設定 ▶ スマートルートで削除しない限りは、保存された状態のままになります。

地図コンテンツの設定

1. ナビ ▶ マップ ▶ (ヘッダー部)
 2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による):
- 3Dマップ: 3D マップ ビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- **オートズーム**: 地図のオートズーム機能の有効または無効を切り替えます。
- **Google Earth**: 地図のサテライトビューの表示 / 非表示を切り替えます。
- **天気¹⁾**: 地図の天気情報の表示 / 非表示を切り替えます。
- **施設情報を表示**: 地図上の施設情報の表示または非表示を切り替えます。
- **コンパス**: 地図上のコンパスの表示または非表示を切り替えます。
- **E走行可能距離**: 残りの電動走行可能距離の表示または非表示を切り替えます。

交通情報の表示

地図上に交通情報を表示²⁾

地図上で、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます:

- **斜線区間**: 交通渋滞の長さを示します。
- **色付き警告シンボル**: 選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**: 選択したルート上にはない交通渋滞。

VICS/ITS スポット交通情報のリストの表示

1. ナビ ▶ VICS

VICS  アイコンに表示されている数字は、選択したルート上の交通情報通知の件数を示しています。

2. 交通情報通知 を選択します。

交通渋滞の回避

ルート案内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ルートオプション ▶ ダイナミックリルート/交通情報通知を参照 を有効にします。

交通案内は、ラジオ放送局またはオンライン コンテンツ プロバイダーから発信されます。従いまして、この情報の完全性および正確性に関してポルシェでは責任を負いかねます。

マップ ビューおよびナビゲーション情報をインストール クラスターに表示する

インストールメント クラスターの操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「インストールメント クラスターの操作」の章 (39ページ) を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストールメント クラスターの車両 & 情報ディスプレイにあるマップ ビューを選択します。
2. マルチファンクション ステアリング ホイールから希望のオプションを選択してください:
 - **ズーム手動**: 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
 - **自動ズーム**: このとき地図の縮尺は自動調節されます。
 - **3Dマップ**: 立体地図を表示します。
 - **ノースアップ**: 地図は常に北向きになります。
 - **マップ情報**: インストールメント クラスターの車両 & 情報ディスプレイにあるマップ ビューが選択され

ていない場合は、ナビゲーション使用時に地図が自動的に表示されます。

- **矢印情報**: ナビゲーション インストールメント クラスターの速度 & アシスト機能ディスプレイのメニューが**選択されていない**場合は、ナビゲーション使用時にメニューが自動的に表示されます。

ナビゲーション情報をインストールメント クラスターに表示する

- ▶ インストールメント クラスターの速度 & アシスト機能ディスプレイにあるナビゲーションメニューを選択します。
- ▶ 「インストールメント クラスターの概要」の章 (37ページ) を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

- ▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ナビゲーション設定 ▶ ご希望の設定を選択してください:

道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用



図 132: グローブボックス内のETCカードリーダー

1. 必要条件: データ接続を確立していること。ポルシェ コネクト サービスが起動中です。
2. 必要条件: データ接続を確立していること。ポルシェ コネクトサービスが起動中です。

ETC カードの挿入および取り出し

1. 有効な ETC カードをカードリーダーにロックされるまで差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 ボタンを押してください。

カードの紛失またはカードのエラーを示す  は、ヘッダーに表示されます。

ETC 設定

- ✓ ETC カードが挿入されている

▶ 車両  ▶ ETC ▶ 支払い方法

- 通行料通知
- 料金案内音声
- ETCカード抜き忘れ警告

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ハイブリッド車両

警告ラベル

ハイブリッドシステムの構成部品には、構成部品や高電圧部に触れないよう警告する警告ラベルが貼付されています。



- ▶ いかなる場合も、警告ステッカーまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ いかなる場合も、警告ステッカーが貼付されているハイブリッドシステム構成部品のカバーを除去しないでください。

図のキー



誤った操作により感電する恐れがあります。



危険なエレクトリカル電圧の警告。



危険!



ハイブリッドシステム構成部品および取扱説明書の指示に従います。

ハイブリッド作動モード

車両はパラレル プラグイン ハイブリッド ドライブにより、以下のハイブリッド作動モードで走行することが可能になります：

- － モーター ジェネレーターによる走行。
- － 内燃エンジンの駆動により走行します (内燃エンジンはモーター ジェネレーターを介して並行して高電圧バッテリーを充電します)。
- － モーター ジェネレーターおよび内燃エンジンによる走行。モーター ジェネレーターは車両を駆動させるために内燃エンジンも支援します (ブースト)。
- － 再生による走行 (エネルギー回生)：モーター ジェネレーターは、たとえばブレーキ作動中、内燃エンジン作動時に車両がオーバーランしているとき、あるいは下り坂走行中に自動的に、高電圧バッテリーを充電します。

電力による走行の作動条件

i インフォメーション

エンジン オイル内に燃料が溜まるのを防ぐため、時には、内燃エンジンを作動させた状態でより長い距離を走行してください。

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている。
 - ✓ エンジン湯音が約 0 °C 以上。
 - ✓ 高電圧バッテリーが適温 (低すぎること高すぎることもない)。
 - ✓ モーター ジェネレーターの温度が高すぎない。
 - ✓ ボンネットが閉じている。
- これらの条件が満たされていない場合、インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。

車両の始動

- ✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていません。

1. フットブレーキを踏んでください。
2. セレクター レバーの P ボタンを押すか、作動モードの N を選択してください。
3. アクセルペダルは踏まないでください。
4. コントロール ユニットをイグニッション ロック位置 2 に一時的に回してください。
インストルメント クラスタに READY と表示されます。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

車両プラグが車両充電ポートに挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

- ▶ 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

降車時の作動

エンジンの自動停止時に降車する (運転席シート ベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合) と、エンジンは自動的に始動しません。さらに、作動モード D、R、または M になっている場合：

- － エレクトリック パーキング ブレーキがかかりません。
- － トランスミッション パーキング ロック P に入れません。

運転席ドアが開き、運転席シート ベルトが外れた状態でも、エレクトリック パーキング ブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキング ブレーキは解除され、トランスミッション レンジは選択された位置のままになります。降車後 30 秒以内に下記のいずれかに該当すると、自動エンジン始動が再び可能になります。

- ブレーキペダルが踏まれ、運転席ドアが閉められるか、運転席シートベルトが着用された場合。
- または -
- 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -
- パーキングブレーキが手動解除され、車両の作動モードが **D**、**R** または **M** である。
- または -
- ブレーキペダルが踏まれており、走行プログラムが変更されている。
- または -
- 車両が 2 km/h を超える速度で動いている状態でブレーキが踏まれた場合。

上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

▶ 「車両の始動」の章（184ページ）を参照してください。

降車後の車両の反応は、運転席シートベルトが適切に使用されているかどうかに応じて異なります。

▶ 「シートベルト」の章（119ページ）を参照してください。

i インフォメーション

状況により、内燃エンジンを自動始動することができますように、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示される場合があります。

エネルギーフローを表示する

ハイブリッドエネルギーフローディスプレイは、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ホイール間のエネルギーの流れを示します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ:

▶ **HYBRID** ▶ **E-フロー**

インストルメントクラスター:

▶ 「インストルメントクラスター」の章（37ページ）を参照してください。

インストルメントクラスターのパワーメーター

現在の電気駆動力はパワーメーターの 6 時方向の左側に表示され、現在の再生容量は 6 時方向の右側に表示されます。

▶ 「インストルメントクラスター」の章（37ページ）を参照してください。

PCM でゼロエミッションを表示

ハイブリッドゼロエミッションディスプレイは、内燃エンジンなしで車両が何時間走行したかをパーセントで示します。

▶ **HYBRID** ▶ **統計**

Eドライブアシストをインストルメントクラスターに表示する

Eドライブアシストは電気駆動力を計測する補助として使用されます。

緑色部分はアクセルペダルの可動域を表します。アクセルペダルを強く踏み込むほど、より多くの電力が利用可能になります。内燃エンジンはパワー限界値 **E max** で ON になります。利用可能なパワー限界値は選択された走行プログラムによって異なります。

スケール中央の情報は、おおよその電動走行可能距離を表します。上下の矢印は、現在の走行スタイルおよび現在選択された負荷で表示された走行可能距離に達することができるかどうかを表します。

E燃費をインストルメントクラスターに表示する

E燃費は、車両始動以降における瞬間消費量または累計消費量として平均電気消費量を表示します。さら

に、リングは車両走行およびコンフォート機能の配分率（エアコンなど）の面で燃費値がどのように構成されているかを表示します。

ブーストアシストをインストルメントクラスターに表示する

ブーストアシストは、加速に使用された電気車両走行の割合（%）を示します。

不十分なブーストが利用可能な場合、スケールは灰色です。最大に達するまでブーストの充電中、スケール全体が白色になります。

モードスイッチでの走行プログラムの選択

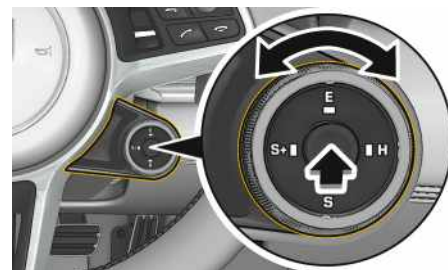


図 133: ステアリングホイールのモードスイッチ

E E パワー;
H ハイブリッド (Hybrid Auto、E-Hold、E-Charge)
S SPORT
S+ SPORT PLUS
スイッチ中央 Sport Response ボタン

▶ モードスイッチを左または右に回して、希望の走行プログラムを選択します。選択した走行プログラムのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

インフォメーション

関連走行プログラムは、PCM 内でも下記の手順で選択できます。

▶ HYBRID  ▶ モード 

インフォメーション

ハイブリッド車両では、通常、各走行プログラムはセンター コンソール内の **INDIVIDUAL** ボタンを使って選択します。

E-POWER 走行プログラム

E-POWER 走行プログラムは、**初期設定で有効**になっている機能で、電力だけでの走行を可能にします。この走行プログラムの作動に必要な条件が満たされている場合、イグニッションを OFF にすると、選択された走行プログラムが自動的に E-POWER 走行プログラムに戻ります。

電気だけで走行可能な距離は、運転の仕方、天候および大量のエネルギーを消費する負荷の使用により変化します。

電力消費量に配慮した運転を心掛け、大量のエネルギーを消費する負荷の使用を控えると、電気だけで走行可能な距離が伸びます。

インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

E-POWER 走行プログラムの作動に必要な条件が満たされていない(高電圧バッテリーが十分充電されていないなど)場合、E-POWER 走行プログラムを有効化する

とメッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

E-POWER 走行プログラムのステータス表示

電力のみの走行が可能か、インストルメント クラスタ上の出力 & 駆動ゲージ内に表示されます。

 E-POWER 走行プログラムを使用できます。

ハイブリッド走行プログラム

ハイブリッド走行プログラムでは、HYBRID AUTO、E-HOLD、および E-CHARGE の 3 つの作動モードを選択できます：

HYBRID AUTO モード

HYBRID AUTO モードは、スイッチが H の位置で**作動**するようデフォルトで設定されています。ナビゲーション システムおよび現在の速度から得たルート固有データを考慮に入れて、最も効率的な車両の走行を予測します。HYBRID AUTO モードは、高電圧バッテリーの充電が E-POWER 走行プログラムで走行するには低すぎる場合、自動的に作動します。

E-HOLD モード

E-HOLD モードは、例えば、現在使用可能な高電圧バッテリーの充電が意図的に維持されるようにして、後で車両が電動モーターのみで走行できるようにします。ブースティングおよび制限された電動モーター走行は、この走行プログラムでも可能ですが、充電状態が変動することがあります。

E-HOLD モードの作動

▶ HYBRID  ▶ モード  ▶ E-HOLD

E 充電モード

E 充電モードでは、走行しながら高電圧バッテリーを充電できます。このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に

特に役に立ちます。高電圧バッテリーは、例えば高速道路を走行しているときに充電でき、そうすることにより、市街地ではバッテリーの電力だけを使用して走行できます。

E 充電モードの作動

✓ 高電圧バッテリーが完全に充電されて **いない** 場合

▶ HYBRID  ▶ モード  ▶ E-CHARGE

オンロードおよびオフロード走行プログラム

オンロードおよびオフロード走行プログラムの車両設定に関する追加情報

- ▶ 「オンロードドライビングプログラム」の章 (75ページ) を参照してください。
- ▶ 「オフロードドライビングプログラム」の章 (70ページ) を参照してください。

SPORT 走行プログラム

SPORT 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションがスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

SPORT PLUS 走行プログラム

SPORT PLUS 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションが最もスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーは、より頻繁に長い時間ブーストできるように、なるべく早く完全に充電されます。

オフロードドライビングプログラム

オフロード走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

バッテリー

この車両には12V リチウム バッテリー (LiFePO₄) が装備されており、通常の鉛バッテリーとは特性が異なります。



警告

感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。車両エレクトロニカルシステムへの作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ 蒸発ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近付けないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

知識

短絡、火災、オルタネーター、エレクトリックコントロールユニット、および構成部品を損傷する危険があ

ります。

- ▶ エレクトロニカルシステムの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトロニカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

12V リチウム バッテリーは助手席シートの前の車両下回りの個別のカバー下にあります。

12V リチウム バッテリーはバッテリーの充電状態が低い場合、車両電気系統から自動的に接続が切断されます。電気系統は一時的に解除されます。バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパーケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源の接続を行った場合は、電気系統は自動的に作動します。12V リチウム バッテリーは自動的に車両電気系統に再接続します。

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章 (123ページ) を参照してください。
- ▶ 「バッテリーの充電」の章 (188ページ) を参照してください。
- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。

バッテリー取り扱い上の注意



説明を読んでください



保護眼鏡を必ず着用してください。



爆発の危険があります。



火気、火花、裸火を近づけたり、そばで



喫煙したりすることは絶対に避けてください。

電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

酸による火傷の危険があります。
電解液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。

応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

お子様を絶対に近づけたりしないでください。

廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

メンテナンス作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウム バッテリーの交換には、ボルシェ社指定のリチウム バッテリーのみを使用してください。他のリチウム バッテリーまたは鉛バッテリーの使用は、電気系統の全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。必ずボルシェ正規販売店でバッテリーの交換を行ってください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

バッテリーのお手入れ

希望する操作	その操作方法
バッテリー上がりを防ぐには	▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。 ▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。
冬季の走行に備えて	▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーの充電	▶ 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 ▶ 「バッテリーの充電」の章（188ページ）を参照してください。
車両を保管するとき	▶ 車両を車庫やワークショップに長期間保管する場合、車両のドア、フラップ、リッドを確実に閉じてください。 ▶ イグニッションをOFFにしてください。

i インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電またはリチウム バッテリーに適した CC/CV または pure CV 充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェ社では、Porsche Tequipment の充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。

バッテリーの充電

⚠ 注意

損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使うと、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。また、車両が相当の損傷を受けたり、火災が起きたりする恐れがあります。

- ▶ ブースターを使用しないでください。
- ▶ 内蔵型電子保護回路付きの LiFePO₄ バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- ▶ 以下の最大値を絶対に超えないでください。
 - 最大充電電圧：14.8 V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
 - 最大充電電流：90 A
- ▶ ご不明な点がある場合は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

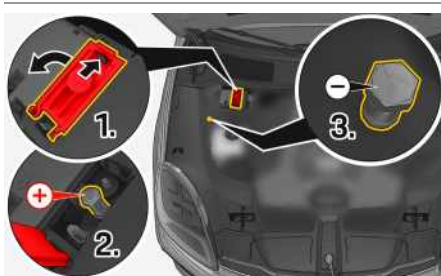


図 134: バッテリーの充電

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書を順守してください。
- ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。

1. ボンネットを開いてください。
 2. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを開いてください。
 3. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子にバッテリーの赤色のプラス ケーブルを接続してください。
 4. 充電器の黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 – に接続してください。
 5. 充電器の電源をONにしてください。
 6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
 7. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを閉じてください。
- 適切な充電器についてのお問い合わせは：
- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

バッテリーの交換

⚠ 警告

不適合なリチウム バッテリーによる火災の恐れ

車両電気系統の著しい不具合に加えて、不適合なリチウム バッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります (充電中など)。

- ▶ ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウム バッテリーの交換には、ボルシェ社指定のリチウム バッテリーのみを使用してください。他のリチウム バッテリーまたは鉛バッテリーの使用は、電気系統の全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- ▶ 必ずボルシェ正規販売店でバッテリーの交換を行ってください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- す。
 - ▶ リチウム バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
-

電源遮断

一時的に電源が遮断された後に、一部の装置を再初期化する必要があります。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存してください。
 - ▶ 「ウィンドウ」の章（46ページ）を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムにホイールとタイヤを登録してください。
 - ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

パンク

モデルと車両装備によっては、車両にはタイヤ シーラント キット (Tire Mobility System - TMS) またはコラプシブル スペア ホイールが付属しています。

タイヤ空気圧モニタリングの警告 メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (152ページ) を参照してください。

安全な駐車

1. 走行車線からできるだけ遠くに車両を停止します。車両を滑り止めのしてある固い平面に駐車する必要があります。
 2. ハザード ライトを ON にします。
 3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
 4. トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。
 5. フロント ホイールをまっすぐにします。
 6. すべての乗員に車両を降りてもらいます。降車時には交通状況に注意してください。
 7. 適切な距離に停止表示板を設置します。
 8. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
- ▶ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章 (121ページ) を参照してください。

損傷したタイヤの補修



警告

密閉されたタイヤは事故の原因となります

タイヤ シーラントで密閉された損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、圧力を失ったりバーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場で走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合や、空気圧が低いタイヤや収縮したタイヤで走行した場合、絶対にタイヤ シーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤ シーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 未満の場合は走行を中止してください。
- ▶ 密閉されたタイヤはできるだけ早く修理工場で交換してください。タイヤ シーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤは交換してください。
- ▶ タイヤ シーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全と操作の指示を読み、それに従ってください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤ シーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

シーラント ボトルとコンプレッサーはラゲッジ コンパートメント内にあります。

- ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章 (251ページ) を参照してください。

タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS) の充填



警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返しの露出は、刺激、アレルギー反応、または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤ シーラントを取り扱う際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤ シーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤ シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

▲ 注意

タイヤシーラントが付着したとき：

タイヤシーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、大量の水で口をゆすぎ、さらに大量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

▲ 警告

タイヤの空気圧が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも一緒に交換します。

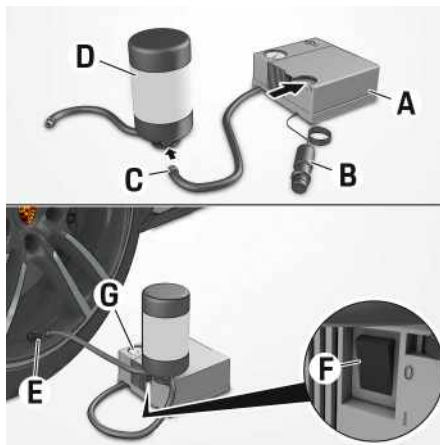


図 135：タイヤシーラントの注入

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. シーラントボトル、付属の「最大 80 km/h」ステッカーおよびコンプレッサーをラゲッジコンパートメントから取り出してください。
▶ 「ラゲッジコンパートメント」の章（251 ページ）を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けます。

タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS) の充填とタイヤ空気の充填

- ▶ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。
- ▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. プラグ B とプレッシャーホース C をコンプレッサー A から引き抜いてください。
 2. プレッシャーホース C をシーラントボトルフランジ D にねじ込みます。
 3. シーラントボトル D を、下に向けたフランジと共にコンプレッサーの取っ手に配置してください。
 4. 損傷したタイヤのタイヤバルブ E からバルブキャップを取り外してください。
 5. シーラントボトル D の充填ホースをタイヤバルブ E にねじ込んでください。
 6. コンプレッサーを車両の 12 V ソケットにプラグ B を介して接続し、イグニッションを ON にし、コンプレッサーをスイッチ F を介して作動させてください。タイヤに 2.0 bar (29 psi) と 2.5 bar (36 psi) の間で空気を入れて、空気圧計 G からタイヤ空気圧を確認してください。コンプレッサーを OFF にしてください。タイヤ空気圧が 6 分以内にこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けないでください。
 7. 充填ホースをタイヤバルブ E から外し、バルブキャップを再度取り付けてください。
- 装備仕様により、付属のコンプレッサーは端子クランプを介してジャンパーケーブルの開始点に必ず接続し、車両の 12 V ソケットに接続することはできません。必ず下記の手順に従ってください：



図 136：ジャンパーケーブルの開始点

1. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
2. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子にコンプレッサーのプラス ケーブル (赤) を接続してください。
3. ジャンパー ケーブル接続用のマイナス (-) 端子にコンプレッサーのマイナス ケーブル (黒) を接続してください。

空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 以下の場合は、運転を中止してください。
- ▶ 「テクニカル データ」の章 (295 ページ) を参照してください。

タイヤ交換

- ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (152 ページ) を参照してください。

ホイールを交換した後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) の設定」の章 (153 ページ) を参照してください。

コラプシブル スペア ホイールの使用



警告

車両操縦性の変化

コラプシブル スペア ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ コラプシブル スペア ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。

安全のため、トレッドの溝にスリップサイン (深さ 1.6 mm) が **現れる前に** タイヤを交換してください。

- ▶ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。

スペア ホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。

- ▶ 他車用のコラプシブル スペア ホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のコラプシブル スペア ホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のコラプシブル スペア ホイールを使用しないでください。



図 137 : ラゲッジ コンパートメント内のコラプシブル スペア ホイール

装備に応じて、コラプシブル スペア ホイールはラゲッジ コンパートメント内の、荷室フロア下またはスペシャル バッグ内にあります。

1. 荷室フロア下のコラプシブル スペア ホール装備車: スクリューを矢印の方向にゆるめて外し、コラプシブル スペア ホイールを取り出してください。
2. 空気を充填する前に、コラプシブル スペア ホイールを取り付けてください。車両をジャッキ アップしたままにしてください。
 - ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (152 ページ) を参照してください。
3. タイヤに空気を入れてください。
 - ▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (152 ページ) を参照してください。

コラプシブル スペア ホイールを使用した後は:

- ▶ コラプシブル スペア ホイールを収縮させます。そのために、コラプシブル スペア ホイールのバルブ キャップをゆるめてください。

タイヤは元の形状に戻るのに数時間かかります。元の形状に戻ってからでないと、荷室フロア下のコラプシブル スペア ホイールまたはバッグ内に収納できません。

コラプシブル スペア ホイールが故障している場合:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パークアシスト

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。



警告

センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内で、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。けがや損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。



注意

不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。そのため、けがや損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

システム制限

システムは以下の物体を検出できません。

- 音を吸収する物体 (例：冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音を反射する物体 (例：ガラス面や平らな塗装面など)。
- 非常に細い物体 (例：細い支柱など)。
- その他の超音波を発する機器 (例：他車のエアブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

機能

ドライバーが駐車操作をしているとき、パークアシストが車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。視覚的パークアシスト パーキング エイドはダッシュボードのタッチ ディスプレイに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

距離の測定



図 138 : 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ バンパーの超音波センサー A が障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。

警告音量は、ダッシュボード内のタッチ ディスプレイで調節できます。

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

パークアシストの作動

自動作動 (約 15 km/h の速度まで)

- ✓ イグニッションを ON にしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ✓ リバース (後退) ギヤに入れる
- または -
- ✓ 前方の距離が約 80 cm 以下です。
- または -
- ✓ 車両が後退していることを検出している。

手動での作動

▶ アシスト  ▶ パークアシスト

ダッシュボードのタッチ ディスプレイの表示

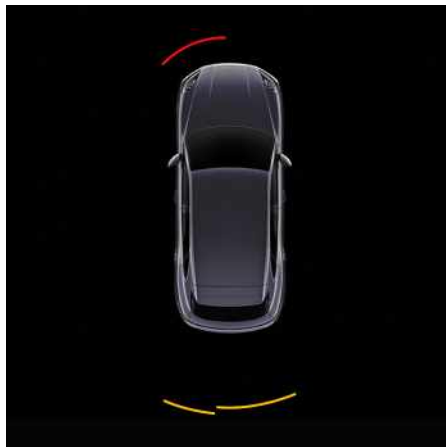


図 139 : パークアシストのカラー コーディング

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
白色	車両の経路にない障害物との距離	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

i インフォメーション

パークアシストがトレーラーを検出した場合、後方の距離情報は表示されません。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関する情報
▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230ページ) を参照してください。

パークアシストの停止

自動停止

- ▶ 作動モード P を選択してください。

手動での停止



図 140 : パークアシストを無効にする

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン A を押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

ダッシュボードのタッチ ディスプレイには、何も表示されません。ダッシュボードのタッチ ディスプレイの表示を手動で再起動することはできません。

パークアシストの設定

▶ アシスト  ▶  ▶ アシスト システム設定 ▶ パークアシスト

リバース カメラ



警告

ゆがんで映ることによる
怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバース カメラ画像は車両の後方全体を映してはいません。

- ▶ 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

機能

リバース カメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。
リバース カメラ画像はダッシュボードのタッチ ディスプレイに表示されます。

リバース カメラの作動

自動

- ✓ イグニッションが ON になっており、作動モード R が選択されています。
- または -
- ✓ 車両が後退していることを検出している。

手動

▶ アシスト  ▶ パークアシスト

リバース カメラの自動停止

- ✓ 速度が 15 km/h を超過した場合。
- または -
- ✓ 作動モード P が選択されています。

リバース カメラの清掃

リヤ ウィンドウの清掃時、リバース カメラは自動的に清掃されます。

- ▶ 「リヤ ウィンドウの清掃」の章（214 ページ）を参照してください。

サ라운드 ビュー (RTV)

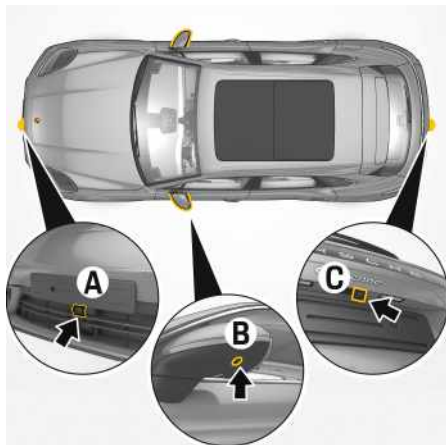


図 141 : サ라운드 ビュー カメラの位置

- A フロント エプロン センターのカメラ
- B 両方のドア ミラーのカメラ
- C テールゲートのナンバー プレート ライトの間にあるカメラ



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。スクリーン ウィンドウの多くは、車両周囲全体を映してはいません。

- ▶ 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

機能

サ라운드 ビューは車両を上方から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。サ라운드 ビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー ライトのスイッチが ON になります。

Surround View (サ라운드 ビュー) を有効にする

自動

- ✓ パークアシストがアクティブになっている。

手動

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン  を押してください。
- または -

- ▶ アシスト  ▶ パークアシスト

該当するシンボルマーク (リヤなど) またはオーバーヘッド コンソールのサ라운드 ビュー ボタン  を使用して、ビューを選択します。有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル	表示
	駐車時 (タップしてフロント ビューとリヤ ビューを切り替え)
	パノラマ (タップしてフロント ビューとリヤ ビューを切り替え)
	サイド
	トレーラー (装備仕様により異なる)

i インフォメーション

カメラ画像に加え、フロントおよびリヤカメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。これらのガイドラインは、現在の位置のステアリングホイールで車両が進むことのできる方向を示しています。前輪の位置が変わると、ガイドラインも変わります。

サ라운드 ビューを無効にする

- ▶ パークアシストを無効にします。

アクティブ パーキング サポート



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。このシステムはドラ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

イバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

知識

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、車両のタイヤとリムが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▷ 「一般的な安全に関する指示」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▷ 「リバース カメラ」の章（194ページ）を参照してください。
 - ▷ 「サラウンド ビュー (RTV)」の章（195ページ）を参照してください。

i インフォメーション

駐車アシスタンス システムの使用に関する国固有の法律を遵守してください。

システム制限

下記の場合、システムは使用できません。

- トレーラーをけん引している場合。
- 「オフロード」走行プログラム実行中の場合。
- シャシー設定が「ハイ レベル」の場合。
- 上り勾配が 10 % 超の場合。
- 急カーブの場合。

下記の限られた範囲で、システムを使用できます。

- オフロード、舗装されていない道路、緩い砂利、傾斜した路面、またはわだちなどの通常と異なる路面の場合。
- ステアリング ホイールにアクセサリが取り付けられている場合。
- 悪天候の場合（雨、雪または氷）

システムは下記を検出できません。

- 低い物体、細い物体、または突き出ている物体（トレーラー ヒッチ、駐車しているトレーラーのドローバー、チェーン バリア、ボール、フェンスなど）。
- 検出領域より上にある物体（駐車車両のバンパー、半開きのガレージ ドア、地面に接していない物体など）。
- 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体（布など）。
- 立体駐車場の支柱や柱によって生じる好ましくない状況（検出エリア、輪郭、表面構造の組み合わせ）。
- 崖および堤防。
- 検出領域にすばやく移動してくる物体（他の通行者など）。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▷ 「システム制限」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▷ 「リバース カメラ」の章（194ページ）を参照してください。
 - ▷ 「サラウンド ビュー (RTV)」の章（195ページ）を参照してください。

機能

システムは、適切な駐車スペースの検索を支援します。システムは、駐車および発進の場合に必要なステアリングの動き、加速、およびブレーキの制御を想定しています。システムは、センサーを使用して車両の

周囲を監視します。障害物が検出されると、システムがブレーキ介入を実行します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索は以下の場合に機能します。

- 前進している場合。
- 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
- 道路に並行する駐車スペースで、速度が最大 45 km/h の場合。
- 道路に直角な駐車スペースで、速度が最大 20 km/h の場合。
- 駐車している 2 台の車両の間の駐車スペース。

駐車場

駐車機能の作動条件：

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車または後退駐車する場合。
- 道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。ただし、車両の前部が既に駐車スペースに入っている場合。

発進

発進機能は、車両よりも約 50 cm 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

駐車スペース検索の開始



図 142：アクティブ パーキング サポート、駐車スペース検索

A 駐車または発進を選択

B 駐車方向を選択

1.  をタップします。
– または –
アシスト  ▶ パークアシスト ▶  検索
2. 駐車している車両をゆっくり通過します。
3. PCM の指示に従います。
4. 駐車する側を変更するには、対応する方向指示器 (左 / 右) を作動させます。
– または –
PCM の該当するボタン (A (図 142)) をタッチします。
駐車スペースの検索は、最初は運転している車線側でアクティブになります。
駐車スペースが見つかったら、PCM にオレンジ色で表示されます。駐車する方向が複数ある場合、これらも表示されます。
5. 目的の駐車スペースに到達したら、車両を停止します。
6. PCM 内の車両の前にオレンジの矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。
7. 駐車スペースを選択するには、PCM に表示される目的の駐車方向の駐車スペースのシンボル (B (図 142)) をタップします。

駐車スペース検索の中止

- ▶  ボタンをタップします。

車速が駐車スペース検索で許可されている最大値を超えた場合、または R 作動モードが選択された場合、検索は自動的に中止されます。

駐車操作の開始

- ✓ 停車している。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ 駐車スペースが PCM で選択されている。

1. ステアリングホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. センターコンソールの  ボタンを押し続けます。
3. ブレーキペダルから足をゆるめます。
駐車操作が開始されます。
4. 交通状況と車両の周囲を確認します。
5. 障害物が現れたらすぐに駐車操作を中断します (センターコンソールの  ボタンを解除するなど)。
▶ 「駐車操作の中止」の章 (197ページ) を参照してください。
6. PCM の指示に従います。
車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
作動モード P が自動的に作動し、パーキングブレーキがかかります。
7. 車両のコントロールを行ってください。

発進手順の開始

- ✓ エンジンがかかっている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。

1.  をタップします。
– または –
アシスト  ▶ パークアシスト ▶ 
2. ステアリングホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
3. 発進する方向を選択するには、対応する方向指示器 (左 / 右) を作動させます。
– または –
PCM の該当するボタン (A (図 142)) をタッチします。
4. センターコンソールの  ボタンを押し続けます。
5. ブレーキペダルから足をゆるめます。

- 発進手順が開始します。
6. 交通状況と車両の周囲を確認します。
 7. 障害物が現れたらすぐに駐車操作を中断します (センターコンソールの  ボタンを解除するなど)。
▶ 「駐車操作の中止」の章 (197ページ) を参照してください。
 8. PCM の指示に従います。
車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は駐車スペースから十分離れた場所まで走行します。
 9. 車両のコントロールを行ってください。

駐車操作の中止

一時的に駐車を中止する場合：

- ▶ センターコンソールの  ボタンを解除します。
– または –
▶ ブレーキペダルを踏み、車両を停止させます。
ドアを開けると駐車操作は自動的に中止されます。その後、駐車操作を続行できます。

以下の操作を行うと駐車操作は終了します。

- ▶ ステアリングをコントロールする。
– または –
▶ 作動モードを変更する。
– または –
▶ パーキングブレーキを作動させる。
– または –
▶ アクセルペダルを踏み込んでください。
駐車操作を再度開始する必要があります。この場合、発進するときにエンジンを OFF にしてから再び ON にします。

操作アシスト



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールしてブレーキをかけてください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▶ 「一般的な安全に関する指示」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▶ 「リバースカメラ」の章（194ページ）を参照してください。
 - ▶ 「サ라운드ビュー(RTV)」の章（195ページ）を参照してください。
 - ▶ 「アクティブパーキングサポート」の章（195ページ）を参照してください。

システム制限

- トレーラーけん引時、システムは利用できません。
- リヤリッドが開いている場合、システムは利用できません。
- システムが走行経路内の障害物を検出するためには、障害物は高さが約 10 cm 以上で、静止している必要があります。
- アクティブパーキングサポートを使用している間、システムは利用できません。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください。

- ▶ 「システム制限」の章（193ページ）を参照してください。
- ▶ 「リバースカメラ」の章（194ページ）を参照してください。
- ▶ 「サ라운드ビュー(RTV)」の章（195ページ）を参照してください。

機能

- ✓ 操作アシストが作動している。
- ✓ 操作アシストが利用可能である[画面の  シンボルの下に赤色のバーが表示されている]。
- ✓ 作動モード R を選択している。
- ✓ 車両が最高速度 10 km/h で走行している。

操作アシストは、センサーを使用して車両の後方および側面のエリアを監視します。静止した障害物があると、断続的な警告音と PCM 上の視覚的な表示によって通知します。衝突が差し迫っている場合、システムは自動的にブレーキをかけ、車両を停止させます。

- ▶ PCM の指示に従います。

操作アシストによる自動ブレーキ後：

- ▶ ブレーキペダルまたはアクセルペダルを軽く踏んで、車両のコントロールを行います。車両の停止状態は**維持されません**。操作アシストは一時的に停止されますが、作動したままです。

操作アシストの作動および停止

- ▶ アシスト  ▶ 操作アシスト
操作アシストは有効または無効になります。

操作アシストを一時的に無効にする

- ▶ リバースカメラのタッチディスプレイにある  ボタンをタップします。
メニューで有効にした操作アシストオプションは、現在の操作状況に対して無効になります。

後退速度が 10 km/h を超えるか、進行方向が変更されると、操作アシストが再び有効になります。

リヤクロストラフィックアラート (RCTA)



警告

不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物または車両が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▶ 「一般的な安全に関する指示」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▶ 「リバースカメラ」の章（194ページ）を参照してください。
 - ▶ 「サ라운드ビュー(RTV)」の章（195ページ）を参照してください。
 - ▶ 「アクティブパーキングサポート」の章（195ページ）を参照してください。



警告

検出されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

- － 車両が後方に大きく突き出ている車両の隣に駐車している。
- － 交差車両が非常に速い速度で接近してくる。
- － リヤバンパーが汚れている。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▷ 「システム制限」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▷ 「リバースカメラ」の章（194ページ）を参照してください。
 - ▷ 「サウンドビュー (RTV)」の章（195ページ）を参照してください。

作動原理

リヤクロストラフィックアラート (RCTA) は、車両の後方を監視し、ドライバーが車両を後退させているときに車両の後ろを横切る通行者（乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など）について警告します。



図 143: リヤクロストラフィックアラート表示

- ✓ リヤリッドが閉じている。
- ✓ リヤクロストラフィックアラートがONになっている。
- ✓ ボルシェスタビリティマネジメント (PSM) がONになっている。
- ✓ 作動モード R を選択している。
- ✓ 車両速度が約 15 km/h 未満。

PCM にリヤクロストラフィックアラートが視覚的に表示されます。後退ギヤに入れると、PCM に矢印が表示され、交差車両が近づいていることをドライバーに警告します。警告シンボルは、潜在的に危険な状況を示します。警告音も鳴ります。ドライバーが表示音による警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するためにシステムは短い振動による警告を実行します。

リヤクロストラフィックアラートの ON / OFF の切り替え

リヤクロストラフィックアラートは、PCM で ON / OFF を切り替えることができます。

▶ アシスト ▶ リヤクロストラフィックアラート

機能が作動中であることを示すアニメーションが表示されます。設定はイグニッションを OFF にしても保存されます。選択した設定は、該当するドライバープロフィールにより自動的にキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定」の章（201ページ）を参照してください。

降車警告 (EW)

⚠ 警告

不注意な降車

システムによって向上した快適性がドライバーの安全を危険にさらすことがあってはなりません。車両の乗員は、降車の際に障害物に十分な注意を払う責任があります。このシステムは、車両の乗員の注意力に代わるものではありません。

- ▶ 降車の際には、後ろから車両が近づいていないことを確認してください。

⚠ 警告

検出されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。

システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

- － 車両が非常にゆっくりまたは非常に速く接近する場合。
- － 近くに駐車している車両やリヤバンパーの汚れによってセンサーの範囲が制限されることがあります。
- － システムの電源は、車両が OFF になった後、約 3 分でシャットダウンします。ドアパネルのインジケータ B が点灯します。他の警告は出ません。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください。
 - ▷ 「システム制限」の章（193ページ）を参照してください。
 - ▷ 「サウンドビュー (RTV)」の章（195ページ）を参照してください。

作動原理

降車警告 (EW) は、後方から近づく、または死角にいる通行者（乗用車、オートバイ、自転車など）について、停車している車両の乗員に警告します。

ドアを開くとき、またはドアが既に開いているときは、車両の関連する側のドアミラーとドアパネルのインジケータが点灯し、道路利用者が近づいていることを示します。

危険と判断されるほど通行者が近づいている場合に車両の乗員がドアを開こうとすると、ドアは一時的に開かなくなります。車両の関連する側のドアミラーのイ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

インジケータ A および関連するドアのドア パネルのインジケータ B が短時間点滅します。
ドアが既に開いている状態で危険と判断された通行者が近づいてくる場合、車両の関連する側のドア ミラーのインジケータ A および関連するドアのドア パネルのインジケータ B が、危険が通過するまで点灯します。

ディスプレイの要素

危険な状況が検出され、ドアを開くと危険な場合には、すぐにドア ミラーとドア パネルの両方に内蔵された警告インジケータが点灯します。

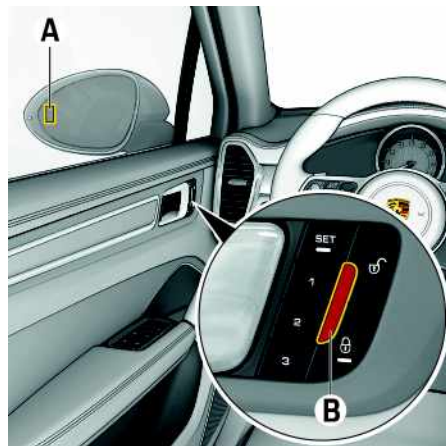


図 144 : 降車警告インジケータ要素

- A ドア ミラーの警告インジケータ
- B ドア パネルのインジケータ

降車警告の作動および停止

セントラル ディスプレイで降車警告の作動 / 停止を切り替えることができます。

機能が作動中であることを示すアニメーションが表示されます。ドア パネルのインジケータ要素 B が短時間点灯します。

設定は車両を OFF にしても保存されます。

以前に選択した設定は、選択したアカウントに自動的に保存され、使用しているキーにペアリングされます。

- ▶ 「パーソナル設定」の章（201ページ）を参照してください。

パーソナル設定

パーソナル設定の保存と呼び出し

特定の設定は車両に保存でき、呼び出すことができます。

イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は自動的に PCM のドライバー プロファイルに保存されます。キーを使用して車両をロック解除すると、またはドライバー プロファイルが変更されると、設定が自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する際、各自で別個にドライバー プロファイルと鍵を使用すると良いです。

さらに、人間工学に基づいた設定を運転席と助手席のドアのメモリー ボタンで 3 件まで手動で保存でき、呼び出すことができます [装備によって異なります]。

コンフォート設定の機能:

人間工学、エアコン、ライト、視界、アシスタンスシステム、インストールメント クラスターおよびインフォテインメントの設定。

人間工学に基づいた設定の機能:

シート、ドア ミラーおよびステアリング ホイールの設定。



注意

シート、ドア ミラー、およびステアリング ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ メモリー ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。

コンフォート設定の保存と呼び出し

コンフォート設定の保存

- ▶ イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は自動的に PCM のドライバー プロファイルに保存されます。

コンフォート設定の呼び出し

- ▶ ドアをロック解除してください。
ドライバー プロファイル設定が呼び出されます。
- または -
✓ 車両は停止している。
- ▶ PCM を使用してドライバー プロファイルを変更します。

設定のロードが中断された場合:

- ▶ PCM より、ドライバーを有効にするを選択します。

ドライバー プロファイルの管理

最大 6 つのドライバー プロファイルと 1 つのゲスト プロファイルを作成、管理できます。

初めて PCM を開始する場合、セッティングウィザードが表示され、PCM 設定の重要なステップを案内します。最初のドライバー プロファイルを正しく作成するため完全にセッティングウィザードを起動することを推奨します。

イグニッションが ON にしてすぐ後のみインストールメントクラスターを経由して、またイグニッションが ON のときはいつでも PCM 経由で、作成したドライバー プロファイルを切り替えることができます。キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは常にアクティブなプロファイルに自動的に割り当てられます。

ドライバー プロファイルの管理

▶ 設定 ▶ ドライバー

- ドライバーを変更する
- ドライバーを追加する

- ドライバーを編集する
- ドライバーを削除する [ドライバー編集のメニュー項目から]
- ドライバーを有効にする
- 個人設定を有効にする
- 自動保存を無効にする

人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し

メモリー ボタンへの人間工学に基づいた設定の保存



図 145: 運転席ドア メモリー ボタン

1. SET ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
2. 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を 10 秒以内に押してください。
設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、SET ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

メモリー ボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を押し続けてください。
- または -

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

- ✓ イグニッションを OFF にする。
- ✓ 運転席 / 助手席のドアが開いていること。
- ▶ 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を短く押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ヒューズ

⚠ 警告

短絡

車両の電気システムでの作業により、短絡が発生する場合があります。回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ 電気システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

⚠ 警告

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェによって認証されたアクセサリのみを使用してください。認証されたアクセサリについての情報は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

点検およびヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ヒューズボックスは、左フロント フットウェル、ダッシュボード端部およびラゲッジ コンパートメント内にあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな場所にあります。これらのヒューズボック

スの作業は、ボルシェ正規販売店でのみ実施してください。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズ定格

カラー	電流
薄茶色	5 A
茶色	7.5 A
赤色	10 A
青色	15 A
黄色	20 A
白色 / 透明	25 A
緑色	30 A
青緑色	35 A
橙色	40 A

点検およびヒューズの交換

割り当てられていないヒューズ スロットは、以下の概要にリストされません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. 該当するヒューズボックス カバーを開きます。以下の個別のヒューズボックスの説明を参照してください。必要な工具はすべて、ラゲッジ コンパートメントの工具セット内に保管されています。

- ▶ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（251 ページ）を参照してください。

3. 必要に応じ、マイナス ドライバーを使用してヒューズ上の紫色のプラスチック ストリップを取り外します。
4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズ リムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交替ヒューズは、それが置き換えているものと同じ定格電流を有しなければなりません。
6. 紫のプラスチック片を元の位置にはめてください。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ダッシュボードのヒューズ ボックスを開く



図 146：ダッシュボードのヒューズ ボックス

必要なツール：

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- (工具セットの) マイナス ドライバー
- (ヒューズ ボックス カバーの) プラスチック製 ヒューズ リムーバー
- ▶ マイナス ドライバーを使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

No.	荷物
2	ETC 料金システム カード リーダー
3	センター コンソールスイッチ モジュール、インストルメント パネル、レベリング システム コントロール ユニット、ドライバー アシスタンス システム用ボタン
4	ヘッドアップディスプレイ
5	USB 接続
6	リヤセンター コンソールのオペレーター コントロール ユニット
7	電子ステアリング コラム ロック
8	センター ディスプレイ
9	インストルメント クラスタ
10	マルチメディア システム用オペレーター コントロール ユニット
11	ライト スイッチ
12	ステアリング コラム スイッチ
14	PCM
15	電子ステアリング コラム ロック
16	ステアリング ホイールヒーター スイッチ

フットウェルのヒューズ ボックスを開く

左ハンドル車

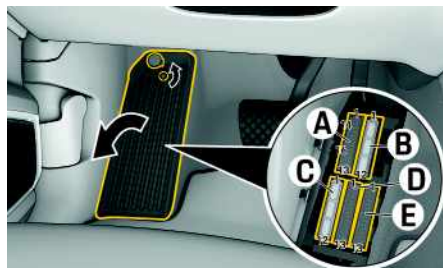


図 147: 左フロント フットウェル (左ハンドル車) のヒューズ ボックス

必要なツール:

- (工具セットの) マイナス ドライバー
- (工具セットの) トルクス ドライバー
- (ヒューズ ボックスの) プラスチック製ヒューズ リムーバー

1. マイナス ドライバーを使用して、ファスニング スクリューのカバーを取り外します。
2. トルクス ドライバーを使用してフットレスト上部のネジをゆるめ、シート方向に折りたたんで取り外します。

右ハンドル車

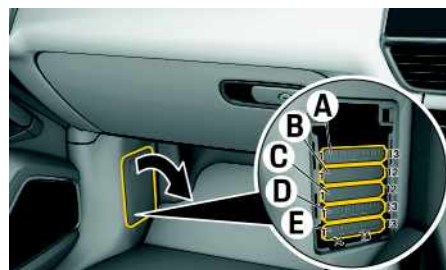


図 148: 左フロント フットウェル (右ハンドル車) のヒューズ ボックス

必要なツール:

- (ヒューズ ボックスの) プラスチック製ヒューズ リムーバー
- ▶ 穴に指を入れて、カバーを引き外します。

A 列

No.	負荷
2	MAF センサー、クランクケース ヒーター、クーラント ランオン ポンプ
3	ラジエーター シャッター
4	エキゾースト フラップ、ヒーターバックアップ ポンプ、 漏れ診断 燃料タンク
5	ブレーキ ライト センサー
6	エンジン バルブ
7	酸素センサー
8	エンジン マウント、温度制御バルブ

No.	負荷
9	モーター リレー
10	温度オイル レベル センダー
11	ラジエーター シャッター、アクセル
12	エンジン パルプ
13	ラジエーター ファン
14	インジェクター
15	酸素センサー
16	フューエル ポンプ

B 列

No.	負荷
1	イグニッション コイル
2	モーター リレー
5	エンジン マウント
6	左フロント リバーシブル シートベルト プリテンショナー
7	ダッシュボード
8	右フロント リバーシブル シートベルト プリテンショナー
9	フロント ヒーター ファン
10	ドライバー アシスタンス コントロール

No.	負荷
11	温度制御コントロールユニット - E-Hybrid、スターター
12	4WD

C 列

No.	負荷
1	フロント シート ヒーター
2	左フロント ドア コントロールユニット
3	ソケット供給
4	ルーフ システム
5	補助ライト、左
6	左リヤドア コントロールユニット
7	フロント ワイパー
8	右リヤドア コントロールユニット
9	補助ライト、右
10	ヘッドライト / フロントガラス ウォッシャー システム
11	エアコン コントロールユニット
12	クラッチ アクチュエーター - E-Hybrid

D 列

No.	負荷
1	DIA_15 (自動減光機能付きミラー、エアコン コントロール パネル、シート ベンチレーター、故障診断用ソケットの A/C プレッシュャー センサー)
2	パーキング センサー / コントロールユニット
3	サウンド システム (E-Hybrid)、エキゾースト システム、構造伝達ノイズ コントロール、エンジン サウンド オルタネーター
4	トランスミッション パルプ
5	スターター リレー、端子 15 のパワー エレクトロニクス用供給
7	E-Hybrid のペダル モジュール
8	ナイト ビュー アシスト、イオナイザー、eAWS、ガレージ ドア オープナー
9	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)、レーザー スキャナー
10	4WD、ディファレンシャル ロック
11	アシスタンス システム カメラ
12	シート ベンチレーター
15	右ヘッドライト
16	左ヘッドライト

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

E 列

No.	負荷
1	警報システム
4	トランスミッション シフト メカニズム
5	ホーン
6	パーキング ブレーキ スイッチ
7	ゲートウェイ コントロール ユニット
8	オーバーヘッド コンソール
9	緊急電話モジュール、トレーラー ヒッチ
10	エアバッグ コントロール ユニット
11	ESC、ABS コントロール ユニット
12	故障診断用ソケット、ライト / レイン センサー
13	エアコン システム
14	右フロント ドア コントロール ユニット
15	エアコン コンプレッサー
16	スマート アクチュエーター (E-Hybrid)

ラゲッジ コンパートメントのヒューズ ボックスを開く

✓ DVD チェンジャー非装備車

DVD チェンジャー装備車

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なト

レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

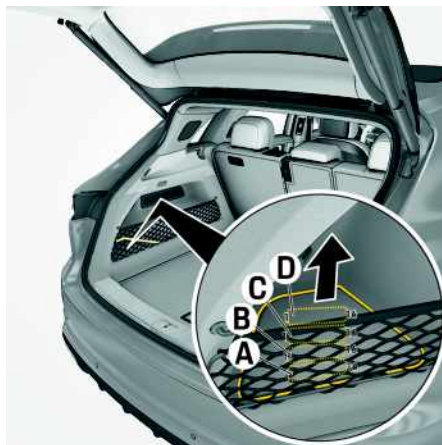


図 149 : ラゲッジ コンパートメントのヒューズ ボックス

必要なツール:

- [工具セットの] マイナス ドライバー
- [ダッシュボードまたはフットウェル内のヒューズボックスの] プラスチック製ヒューズ リムーバー
- ▶ マイナス ドライバーを使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

A 列

No.	負荷
1	HV PTC、温度制御バルブ / センサー、ラジエーター シャッター (E-Hybrid)
5	エア サスペンション

No.	負荷
6	トランスミッション コントロール ユニット
7	リヤ ロールアップ式サンブラインド、クロー징ング エイド、KESSY、フィラー フラップ
8	リヤ シート ヒーター (E-Hybrid を除く)
10	トレーラー ヒッチ
11	テールゲート コントロール ユニット
12	リヤ ブロア レギュレーター

B 列

No.	負荷
1	左テール ライト
3	SCR ヒーター、リヤ スポイラー
4	リヤ エアコン コントロール パネル
5	トレーラー ヒッチ (コントロール ユニット)
6	トレーラー ヒッチ (ピボット モーター)
7	トレーラー ヒッチ (充電、電動ロック解除)
9	トレーラー ヒッチ (ソケット)
10	ディファレンシャル ロック
12	SCR ヒーター (E-Hybrid を除く)

C 列

No.	負荷
1	アシスタンス システム コントロール ユニット
2	携帯電話のカップリング アンテナ / ブースター
4	レーン チェンジ アシスト
5	エンターテインメント システム
6	タイヤ空気圧モニタリング
8	補助ヒーターの無線受信機
9	DVD ドライブ
10	TV チューナー、RTM、VTS
11	ルーフ アンテナ (パークアシスト)
12	ガレージ ドア オープナー コントロール ユニット
13	サラウンド ビュー (RTV)
14	右テール ライト
16	サブウーファー

D 列

No.	負荷
1	eAWS
2	高電圧バッテリー
3	高電圧バッテリー ウォーター ポンプ
4	パワー エレクトロニクス - E-Hybrid
5	ブレーキ ブースター - E-Hybrid
6	シート ファン
8	エアコン コンプレッサー - E-Hybrid
9	48 V システム
10	高電圧バッテリー
11	充電器 - E-Hybrid
14	温度制御ウォーター ポンプ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両を固定するのに使用します。



図 150: エレクトリック パーキング ブレーキを作動させる

パーキング ブレーキを作動させる

- ▶ スイッチ (P) を引いてください。
スイッチのインジケータ ライト (P) とブレーキ警告灯 (P) が点灯します。

警告灯およびインジケータ ライトに関するインフォメーション:

- ▶ 「インストルメント クラスター」の章 (37ページ) を参照してください。

パーキング ブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- 1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
- 2. スイッチ (P) を押してください。
ブレーキ警告灯 (P) が消灯します。

パーキング ブレーキの自動解除

- ✓ エンジン始動状態 / 車両走行可能状態 (E-Hybrid 車両)。
- ✓ 運転席ドアを閉じている。

- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または作動モード D、R または M が選択されている。

パーキング ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。エレクトリック パーキング ブレーキはドライバーが発進操作を検出し、パーキング ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキング ブレーキが自動解除されません。インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯 (P) およびスイッチのインジケータ ライト (P) が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。

パーキング ブレーキの自動ロック

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ 作動モード D、R、または M が選択されている。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ✓ 運転席シートベルトが外れている。

電動パーキング ブレーキが自動的に入ります。

スイッチ (P) のインジケータ ライトとインストルメント クラスターのブレーキ警告灯 (P) が点灯します。警告灯およびインジケータ ライトに関するインフォメーション:

- ▶ 「インストルメント クラスター」の章 (37ページ) を参照してください。



インフォメーション

エレクトリック パーキング ブレーキの自動ロックが手動解除によって中断された場合、この機能はドアを再度開いた後、または運転席シートベルトが再び外された後にのみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を作動させる



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック パーキング ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ スイッチ (P) を引き続けてください。
ブレーキ警告灯 (P) およびスイッチのインジケータ ライト (P) が点滅します。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を解除するには、スイッチ (P) を放してください。

警告シンボルへの対応

停止車両でエレクトリック パーキング ブレーキを完全に作動させることができない場合、スイッチのインジケータ ライト (P) およびブレーキ警告灯 (P) が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。

フットブレーキ



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなった

りすることがあります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの停止

ブレーキ ブースターは、エンジンが作動している間のみ作動準備状態になります。このため、エンジンが OFF の場合、またはブレーキ ブースターが故障している場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、決してけん引しないでください。
- ▶ 「けん引」の章（85ページ）を参照してください。

▲ 警告

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。いつでも後続の車両に影響を与えないように注意してください。

▲ 警告

ブレーキ性能の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。車両を長期にわたり駐車した場合、ブレーキ ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 急な斜面でブレーキ システムの負担を減らすために、適切なタイミングで1 段低いギヤにシフトすることを忘れないでください（エンジン ブレーキ効果）。坂道でのエンジン ブレーキ効果が十分でない場合は、間隔を置いてフットブレーキを使用してください。継続的にブレーキをかけるとブレーキの過熱を引き起こし、ブレーキ効果が損なわれます。ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関するインフォメーション：
 - ▶ 「ブレーキ液」の章（211ページ）を参照してください。

ブレーキ パッドとブレーキ ディスク

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。高性能ブレーキ システムは、すべての速度域および温度下で最大の制動効果が得られるように設計されています。特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度など）によってブレーキ音が発生することがあります。

警告シンボルへの対応

ブレーキ パッドの摩耗限界に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（91ページ）を参照してください。
- ▶ 直ちにブレーキ パッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)

高性能ブレーキ システムは、すべての速度域および温度下で最大の制動効果が得られるように設計されています。

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクなどのブレーキ システム関連部品の摩耗は、ユーザーの運転スタイルや使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB)

この車両の高性能ブレーキ システムは、摩擦面の摩耗と腐食から最適な保護効果が得られるように設計されています。ブレーキ ディスクやブレーキ パッドなどのブレーキ システムの関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方によって大きく左右されるため、必ずしも実際の走行距離には依存しません。ここに記載されている利点に加えて、ブレーキ ディスク摩擦面の革新的なハード コーティングにより、ディスクは独特な外見

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

で、標準的なブレーキ ディスクとは比較のしようがありません。ブレーキ ディスクがハード コーディングされているため、PSCB の慣らし期間をより長く見積もる必要があります。その間、技術的には問題のない摩擦音が発生する可能性があります。通常の交通状況において車両が一般的な方法で運転されている場合、数千キロ走行した後に、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。サーキット走行や過激な運転スタイルにより、摩耗やひびは増え、光るシルバーの摩擦面が暗くなります。これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、さらに数千キロ走行すると部分的に減少します。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ液

- ▶ 「エンジン コンパートメント フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。

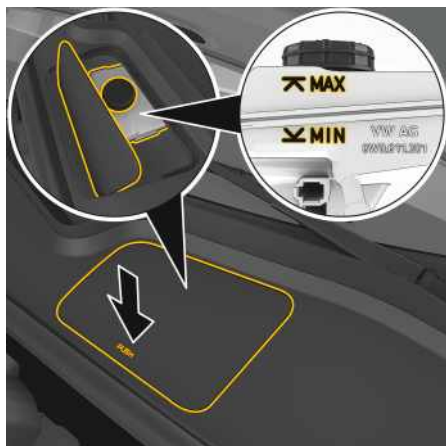


図 151: ブレーキフルード コンテナ

ブレーキ液タンクはエンジン コンパートメント内の個別のカバー下にあります。

- ▶ カバーの前方を押して開いてください (PUSH マーク)。

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストール クラスターに警告灯 (①) および警告メッセージが表示されます。警告灯が点灯して、ペダルの可動域が大きくなる場合も、ブレーキシステムの故障を示す可能性があります。

- ▶ 安全なところで、すぐに停止して、運転を止めてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフ

が、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（91ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください。フルード液量は常に MIN マークと MAX の間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキフルードレベルが MIN マーキングを下回る場合、補充ブレーキフルードを足します。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ 「ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上」の章（5ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

フロント ワイパー

概要 - フロント ワイパー

この概要説明は、「フロント ワイパー」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 152 : フロント ワイパー操作レバー

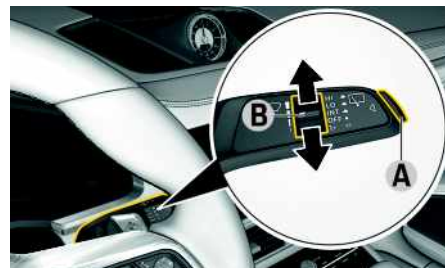


図 153 : リアワイパー用のボタン (A) およびレインセンサー感度用のスイッチ (B)

希望する操作	その操作方法は？	参照先
フロント ワイパー自動作動 (レイン センサー作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置にしてください。	▷ p. 213
レイン センサー感度の設定	▶ 操作レバー B を上方向 (作動回数が増える) または下方向 (作動回数が減る) に押ししてください。	▷ p. 213
フロント ワイパー作動	▶ 低速: 操作レバーを 2 の位置にしてください。 ▶ 高速: 操作レバーを 3 の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ: 操作レバーを 4 の位置に押ししてください [4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります]。	▷ p. 213
フロント ワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーをステアリングホイール方向 5 に引いて、保持してください。	▷ p. 213
リアワイパー (間欠作動)	▶ ボタン A を押ししてください。	▷ p. 214
リアワイパー (ワンタッチ)	▶ ボタン A を短く 2 回続けて押しってください。	▷ p. 214
フロント ワイパー サービス ポジション アイスまたはサン シールドの装着とワイパー ブレードの交換	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー操作レバーを下方向 4 に 1 回押しってください。フロント ワイパーが上方に約 90 度移動します。	▷ p. 214



警告

ワイパーの不意な作動

レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウで水分が検出されるとフロント ウィンドウ ワイパーが自動的に作動します。

- ▶ 必ずフロント ウィンドウ ワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

知識

ボンネット、フロント ウィンドウ、およびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はフロント ウィンドウ ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ [レイン センサー機能により] 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ワイパーを OFF にしてください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。
- ▶ エンジン コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ワイパーを OFF (ワイパー レバーを 0 の位置) にしてください。衝突の恐れがあります。ワイパー アームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパー システムを一時的に ON にしてから OFF に切り替えてください。

フロント ワイパーの操作



図 154 : フロント ウィンドウ ワイパー レバー

0 - フロント ワイパー OFF

フロント ワイパーおよびイグニッションが OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレスト ポジションから少し持ち上がりま

1 - レイン センサー作動、フロント ワイパー

- ▶ ワイパー レバーを最初の戻り止めまで上方向に動かします。

2 - ゆっくりワイプする

- ▶ ワイパー レバーを 2 番目の戻り止めまで上方向に動かします。

3 - 速くワイプする

- ▶ ワイパー レバーを 3 番目の戻り止めまで上方向に動かします。

4 - フロント ワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー レバーを下方向に短く押します。フロント ワイパーがワイプ サイクルを 1 回実施します。
- ▶ ワイパー レバーを下方向に長押しします。フロント ワイパーが高速でワイプします。

5 - フロント ワイパーおよびウォッシャー システム

- ▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールに向かって引きます。レバーを手前に引いている間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャー システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。



インフォメーション

噴出する水の量は走行速度およびワイパー レバーの作動時間に応じて異なります。



インフォメーション

- ▶ フロント ウィンドウが非常に汚れている場合、洗浄を繰り返します。
 - ▶ 昆虫の死骸など頑固な汚れは定期的に除去する必要があります。
- フロント ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。



インフォメーション

10 回洗う度に、ナイト ビュー アシスト カメラが一緒に清掃されます。

レイン センサー作動の調節

レイン センサーが作動すると、フロント ウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔を自動調節します。

フロント ワイパーを ON にしている [ワイパー レバーが 2 の位置] ときに速度が約 4 km/h 以下になると、レイン センサーは自動的に作動します。速度が約 12 km/h を超えると、ワイパーの動きが設定した速さに復帰します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

- イグニッションを ON にしたとき、ワイパー レバーがすでに 1 の位置にあった場合、速度が 4 km/h を超えるまでレイン センサーは作動しません。
- イグニッションを ON にしたときに、すでにワイパー レバーが 2 または 3 の位置にある場合、フロント ワイパーはワイパー レバーを操作しなければ作動しません。

レイン センサー感度の手動調節

感度を高くする

- スイッチ B を上方向に押してください。フロント ワイパーが 1 回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

感度を低くする

- スイッチ B を下方向に押してください。

リヤ ワイパーの操作



図 155 : リヤ ワイパー用のボタン A

リヤ ワイパーの間欠作動を ON にする

- ボタン A を押してください。

リヤ ワイパーの間欠作動を OFF にする

- ボタン A を押してください。

i インフォメーション

リヤ ワイパー間隔は、走行速度によって調整されます。

リバース機能を ON にする

PCM では、雨天時やフロント ワイパー作動中にギヤをリバースにいれると一連のワイブ作動が自動的に実行されるようにリヤ ワイパーを設定できます。

▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両設定 ▶ ライトと視界

リヤ ウィンドウの清掃



図 156 : リヤ ウィンドウの清掃

- ワイパー レバーを前方に押してください (図 156)。
ワイパー操作レバーを前方に押している間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。操作レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

i インフォメーション

リヤ ウィンドウの清掃時に、リバース カメラが同時に清掃されます。

ワイパー ブレード

知識

ワイパー アームが誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻ると、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかり保持してください。

知識

気温が低いとワイパー ブレードが凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィット コーティングが損傷することがあります。

- ▶ 洗浄機のノズルをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

ワイパー ブレードの交換

ワイパーブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

▲ 注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

適切に交換しない場合、正しく取り付けられていないワイパー ブレードが走行時にゆるむ可能性があります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に装着する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に取り付けられていることを確認します。

i インフォメーション

この作業は、必要であればボルシェ正規販売店にご依頼ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

フロントワイパー ブレードの交換**ワイパーの展開**

✓ イグニッションを OFF にします。

1. ワイパー レバーを下方向に 1 回押してください (位置 4)。

フロントワイパーが上方に約 90° 移動します。

2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

✓ イグニッションを ON にします。

- ▶ ワイパー レバーを下方向に約 1 秒間押してください (位置 4)。

フロントワイパーが通常位置に戻ります。

リヤワイパー ブレードの交換**知識**

車両またはワイパー アームを損傷する恐れがあります。

リヤウィンドウのワイパー アームはウィンドウから完全に上げることはできません。

- ▶ ワイパー アームをウィンドウから最大 15° の範囲で持ち上げます。

ワイパー ブレードの取り外し

1. ワイパー アームを少し上げてください。
2. ワイパー ブレードをつかみ、人差し指でマウント A の位置で少し押し上げます。
3. マウント A からワイパー ブレードを持ち上げます。

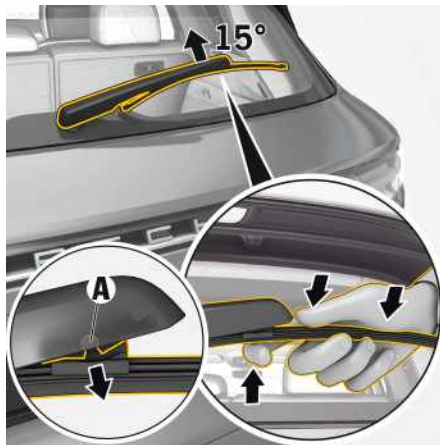


図 157 : リヤワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードの取り付け

- ▶ 新品のワイパー ブレードを、マウント A にしっかりとまるまで押し込んでください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、インストールメント クラスターの補助ディスプレイです。これは、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく情報を読むことができます。

知識

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドアップディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

インフォメーション

ヘッドアップディスプレイに表示された情報のドライバー ビューは、以下の要因に影響されます。

- 特定の偏光フィルター付きサングラス。
- 濡れた路面。
- 望ましくない照明条件。
- ガラス カバー上の荷物。
- ▶ ヘッドアップディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

ヘッドアップディスプレイの有効化 / 無効化および設定

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ ディスプレイ ▶ ヘッドアップディスプレイ

ボイス コントロール



警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変わることがあります。これにより、特定の状況で電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- ▶ タッチ ディスプレイを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

数多くのナビゲーション、メディア、電話、アプリの機能およびエアコン設定を、ボイス コマンドで起動することができます。車両機能は、ボイス コマンドでは操作できません。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

オンボードおよびオンライン音声認識機能¹は、ボイス コントロール システムでシームレスにリンクされています。

ボイス コントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

操作に関する情報 ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM):

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230ページ) を参照してください。

ボイス コントロールの呼び出し

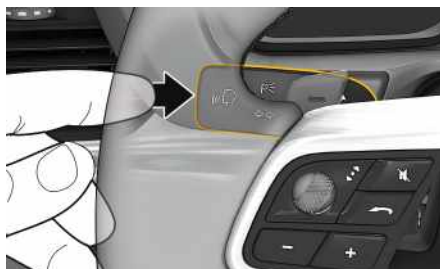


図 158 : レバーのボイス コントロール ボタン

ボイス コントロールの起動

- ✓ イグニッションを ON にします。
- ✓ 通話していない。
- ✓ パーキング エイドを使用していない。

1. レバーの  ボタンを短く押します。

起動音が鳴り、ボイス コントロールのマーク  が PCM に表示されます。

2. ボイス コマンドを発話してください。

ボイス コントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ レバーの  ボタンを押します。
終了音が鳴ります。



インフォメーション

会話は「マイク」アイコン  をタップすると一時停止し、再度タップすると再び開始します。

ボイスコントロール ボタンのその他の機能

レバーの  ボタンを使って、アプリに応じた様々な機能を有効にできます。

- 短く押すと、実行中の案内の次のパートにスキップします。
- 短く押すと、現在の会話を中断します。
- 長押しすると、Siri ボイス コントロール システムが起動されます。

- ▶ 「Siri 音声認識機能を使用する Apple CarPlay の操作」の章 (281ページ) を参照してください。



インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが起動していると、ボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイス コントロール システムで ポルシェ コネク ト サービスを使用する

- ✓ データ接続が正常に確立されました。
- ▶ 「ポルシェ コネク ト」の章 (226ページ) を参照してください。
- ナビゲーション目的地、ポータル POI、および他の施設情報カテゴリーを入力するためのオンライン検索機能を ポルシェ コネク ト から読み込んでください。

1. 必要条件: データ接続を確立していること。

ボイス コントロールを用いたコミュニケーション時の注意

- ボイス コントロールを使用する際は、以下の点に注意してください。
- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
 - 長い間を置かずに、むらなくボイス コマンドを強調してください。
 - ボイス コントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
 - ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフなどを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
 - ハンズフリー マイクはドライバー側に向いているため、ボイス コマンドを発するのはドライバーだけにしてください。

ボイス コントロールの調節

1. 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ ボイスコントロール
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- ショートダイアログ: 音声応答には短いアナウンスが伴います。
- ヘルプテキスト: 発話可能なコマンドが表示されま

ボイス コマンドの発話

- 3 種類のボイス コマンドがあります:
- グローバル ボイス コマンド は、いつでも使用することができます。例えば、ナビ  メインメニューが表示されていて、ボイス コマンドのラジオ放送局 XY と発話すると、その放送局が呼び出されます。
 - 一般の有効なボイス コマンドは、会話中にいつでも発話することが可能です。
 - 新規入力
 - 修正: 例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合 (0711 911 など)、このボイス コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
 - 一時停止: ボイス コントロールを一時停止します (メッセージを口述するときなど)。ボイス コントロールは、最大 5 分間一時停止できま

- す。この時間が経過すると、会話は自動的に終了します。
- ヘルプ: 使用可能なボイス コマンドの入力支援が表示されます。
 - キャンセル
 - 対話関連ボイス コマンドは、PCM との会話が始まるとすぐに必要になります。例えば、行 1、次のページ、前のページ、はい、いいえです。

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

- ▶ PCM でリストを前 / 後にスクロールするには、次のページ / 前のページと発話してください。
 - または -
- タッチ ディスプレイまたはロータリー プッシュ ボタンでリスト内を移動します。

リスト項目の発話

- ダッシュボードのタッチ ディスプレイに表示されるリスト項目は、行番号で選択できます。
- ▶ ボイス コマンドで行 1 と発話します。

ラジオのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	通知
受信範囲を切り替える	(設定 / ON にする) チューナー (例) FM/AM	
放送局を選択	放送局を選択	現在受信可能な放送局のみを発話できます。
現在受信可能な放送局を選局する	(選局) 放送局例: 放送局 XY	現在受信可能な放送局のみを発話できます。
周波数を入力	周波数 例: 91.1 FM (選択)	周波数を直接選択すると、受信範囲が変更する可能性があります。

メディアのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	通知
メディア ソースを変更	再生 (例) SD カード / USB / Bluetooth	
アーティスト / アルバム / トラック / ジャンルを選択する	再生 (アーティスト) (例) アラン テーラー 再生 (アルバム) (例) Songs for the road 再生 (トラック) (例) Let the music flow 再生 (ジャンル) (例) ロック	有効なメディア ソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話することができます。
現在の音楽トラックに似た音楽を再生する	類似の音楽を再生	

電話のグローバル ボイス コマンド

✓ 電話が PCM に接続されている。

▷ 「携帯電話」の章 (288ページ) を参照してください。

希望する操作	その操作方法は?	通知
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	選択番号を入力する / 番号 例: 0711 911 12345	次のステップでは、システムが電話番号を尋ねます。 / 入力した番号に対して発信します。
電話 ボイスメール	電話 ボイスメール	
連絡先に発信する	連絡先に発信する / 電話帳を表示	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
保存されている連絡先に電話する	電話例: 山田 (プライベート / 仕事 / 一般)	連絡先が 1 つ以上の場合、このコマンドにより会話が始まります。名、姓、またはその両方を発話することができます。特定の電話番号を選択することも可能です。
通話履歴の呼び出し	通話履歴 / 不在着信 / 着信 / 発信番号	ボイス コマンドは、項目を選択または項目に電話をかけることができるグローバル通話履歴を表示します。
E メール / SMS を読む	E メール / SMS を読み上げる	✓ 接続されている携帯電話は機能に対応しています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ナビゲーションのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	通知
新しい目的地を入力する	ルート案内 (例) 東京都千代田区霞が関 1-3-2/住所を入力 / 新 しい目的地を入力	「ルート案内」と一文で言うか一言ずつ言うことで、ナ ビゲーションを使用することができます。
コンシェルジュ サービスを開始する	コンシェルジュ サービス	
最終目的地を選択してください	目的地履歴 / 保存した目的地	
目的地として自宅 / 職場を選択する	自宅へ帰る / 職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションを開始します。
目的地または施設情報を検索する	(POI) の検索 例: Porsche Service	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することがで きます (例: 検索 施設情報 空港)。 ¹
都道府県 / 市区町村を選択する	都道府県 / 市区町村を入力	
レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリ ン スタンドを検索する	次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリン スタンド	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始 / 終了する	ルート案内を開始 / 終了する	
燃料残量の決定	走行可能距離 / 残りの距離 / タンク情報	
交通情報を呼び出す	交通情報	✓ ルート案内を開始している。
到着時間を要求する	到着予想時刻は / 到着時刻	✓ ルート案内を開始している。

1. オンライン接続ボイス データ パッケージが契約済みで、データ接続が利用可能な場合、検索は併行してオンラインでも実施されます。これによって検索結果が変わることがあり、会話に
少々遅れが生じる原因となる場合があります。

エアコンのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	通知
温度の設定	エアコンを 19 度 (例) に設定	
温度を上げる / 下げる	温度を2 度 (例) 上げる	
シート ヒーターを使用します	シート ヒーターを ON にする シート ヒーターをレベル 1 (例) に設定する	

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

PASM システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル ダンパー システムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピング フォースを制御します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で 3 種類のシャーシ モードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

ノーマル モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなダンパー コントロールになります。「スポーツ プラス」モードでは、ダンパー コントロールは妥協のないスポーティーな走行 (例: レース サーキットでの走行) に最適化されます。マニュアル モードを選択することに加えて PASM も、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するためにダンピング フォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

シャーシ モードの設定



図 159 : センター コンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にする
2. ボタン  を繰り返し押します。
ボタンのインジケーター：
 - 「ノーマル」(デフォルト設定) を選択した場合、インジケーター ライトは点灯しません。
 - 「スポーツ」を選択すると、インジケータ ライトが 1 つ点灯します。
 - 「スポーツ プラス」を選択すると、インジケータ ライトが 2 つ点灯します。

更に、選択したシャーシ モードはインストルメント クラスタに短時間表示されます。

インフォメーション

シャーシ モードは PCM でも設定できます:

▶ 車両  ▶ ドライブ  ▶ シャーシ

インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシ モードは保存された状態のままになります。

警告シンボルへの対応

PASM 故障はインストルメント クラスタに表示されます。

ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)

危険な状況ではボルシェ アクティブ セーフ機能は、乗員および他の通行者を保護するためにシステム制限内で必要な措置を講じます。

ボルシェ アクティブ セーフ (PAS) には、次の機能が搭載されています。1:

- 警告および緊急ブレーキ機能
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)
- 距離警告 (装備仕様により異なる)

フロントガラス手前にあるカメラは、車両前面を監視します。都市部や郊外の手前速度範囲で別の車両、および歩行者や自転車と前方で衝突が起こりそうになる場合、システムの限界内でそれを検出します。システムはドライバーに、視覚、音響、そして必要な場合にブレーキ振動により警告します。状況によっては、衝突速度を低減するか衝突を回避するため、必要に応じてシステムはドライバーのブレーキ操作をサポートしたり、部分的または完全な減速を開始したりします。

車両装備により、その他のボルシェ アクティブ セーフ機能を取り付けることができます。

- 乗員の予防的保護機能と併せて、フロントのシートベルトは可逆的に張力調整ができ、装置のパージョンによっては車内で事前調整が行われることもあります。
- PSM など異なる車両システムを連携することにより、システムは例えばドライバーが緊急ブレーキをかけた場合などに乗員の予防的保護措置を作動します。

ボルシェ アクティブ セーフ (PAS) に関する例外的な状況

次のような状況では、PAS は制限されるか使用できません:

- シートベルトが着用されていない場合。

- 後退時。
- ブレーキ ライトが故障している場合。
- ボルシェ スタビリティ マネージメント、またはエアバッグコントロールユニットに故障が発生した場合。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっている場合 (PSM OFF)。
- 選択するオフロード モードにより、作動時間および機能が適応または解除された場合。
- ボルシェ ヒル コントロール (PHC) が操作可能またはアクティブに制御する場合、PAS は利用できません。
- イグニッションを ON にした後、最大 10 秒間、インジケーター ライト  が点灯します。

PAS の ON/OFF

▶ アシスト ▶ Porsche Active Safe

ボルシェ アクティブ セーフ (PAS) が OFF または使用不可の場合、 がインストルメント クラスタに表示されます。

イグニッションを再度 ON にすると、解除されたシステムがまた起動します。

知識

- ▶ PAS の不必要な介入を防ぐため、公道外で運転する場合や、車両運搬車、電車、船などに積載する場合は PAS を OFF にしてください。
- ▶ Porsche Active Safe 保護措置すべてが作動するわけではなく、検出された危険によります。
- ▶ 前走車との車間距離や速度など車両のハンドリングに関しては特に、必ず国別の法規に則り走行してください。ドライバーは常に各国の法規を遵守

する責任があります。

- ▶ 車両をけん引する際は PAS の作動解除をする必要があります。

警告およびブレーキ機能

システムの限界内で、PAS は衝突しそうな場合警告を発し、状況に応じたブレーキ操作を開始することが可能です。速度が約 5 km/h を超えるとシステムは有効になります。

速度が約 5 km/h から 85 km/h までは歩行者に反応できます。速度が約 10 km/h から 250 km/h までは車両に反応できます。

タイミング良く検知すれば、システムは危険な状況を察知し適切に対応することができます。

以下のような危険な状況に陥る恐れがあります。

- 前走車が急停止する場合。
- 車両が、かなり低速で動いている車両または進行方向に停止中の車両に近づいている場合。
- 歩行者または自転車が行車線内で立ち止まっている、または走行車線内へ移動している場合。

検知できない場合、ボルシェ アクティブ セーフは反応しません。

衝突警告



図 160 : インストルメント クラスターの衝突警告

PAS が、衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメント クラスターに該当するシンボルを表示してドライバーに警告します。歩行者または自転車については、速度が 85 km/h まで、車両については 250 km/h までドライバーに警告します。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なり、設定することができます。

衝突の警告のタイミングの設定

- ▶ アシスト ▶ ▶ アシスト システム設定 ▶ Porsche Active Safe

衝突警告が OFF の場合、イグニッションを再度 ON すると、標準設定で再び作動します。

緊急警告

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、一瞬ブレーキをかけるという形の緊急警告で高まっている衝突の危険をドライバーに警告します。さらに、警告音が鳴り、インストルメント クラスターに該当するシンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91 ページ) を参照してください。

この警告が発生した場合、ドライバーが歩行者を避けるか急ブレーキをかけることで、衝突を回避することができるかもしれません。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なります。同時に、車両は発生するかもしれない緊急ブレーキのために備えます。

自動ブレーキ

ドライバーが緊急警告に反応しない場合、システムの性能範囲内で PAS は徐々にブレーキを強めていき、自動で車両を停止させることができます。¹⁾

衝突しそうな状況でドライバーのブレーキ操作が十分でないとボルシェ アクティブセーフが判断した場合、状況に合わせてブレーキ圧を増加することができます。さらに、警告音が鳴り、インストルメント クラスターに該当するシンボルが表示されます。衝突しそうな状況で減速することにより、事故の被害を軽減することができます。



警告

PAS システム制限と情報

PAS は、物理的な限界を超えることはできません。PAS はサポート システムであり、すべての状況下で衝突を防げるものではありません。ドライバーには、常

にブレーキを適時かける責任があります。

- ▶ センサーやカメラは、事故につながる危険があるすべての車両、歩行者、自転車を常に検知できるわけではありません。
- ▶ 走行安全性は向上しますが、事故につながる危険がある無謀な運転は避けてください。
- ▶ ドライバーには常に車速や車両、歩行者、自転車との車間距離を安全に操作する責任があり、視界、天候、交通状況に合わせて操作する必要があります。
- 複雑な走行状況では、PAS が不適切な警告を発したり、不必要なブレーキをかけたりする可能性があります。
- PAS は、動物、交差車両、対向車、およびポール、フェンス、列車などの障害物には反応しません。
- PAS は、カーブでは制限されたり使用できなくなったりする可能性があります。
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、降雪、霧、氷によって、カメラまたはセンサーの動作が低下する場合があります。結果として衝突リスクの検出も低下する場合があります。



注意

PAS 検出性能が正常に機能しない場合

損傷したフロント ウィンドウは PAS の機能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

1. すべての国別仕様で使用可能ではありません。

知識

- PAS による自動ブレーキは、ドライバーがブレーキを強くかけたり、加速をしたり、回避操作をしたり、または PAS を停止すると中止されます。
- 必要に応じて、自動ブレーキにより車両を減速させ停止させることができます。車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっと効き続けるわけではありません - ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。
- 予期しないタイミングで PAS がブレーキを作動させる可能性があることに注意してください。それで、損傷や怪我を防ぐため、荷物は必ず固定してください。
- トレーラーモードでは、車両とトレーラーの組み合わせのブレーキ操作、自動ブレーキ中に変更されたマスおよび変更されたブレーキ操作および抑制操作は、通常と異なる場合があります。
- PSM 機能が制限されていたり、無効 (PSM OFF) だったりする場合、PAS は OFF になっています。

乗員の予防的保護機能

シートベルトシステムの最適化

ドライブ開始から、フロントのシートベルトが徐々に締め、乗員にとって最適な位置になるように調整されます。ドライブスピードが約 30 km/h に達するか、シートベルトを再度締めるとこの機能が作動します。

シートベルトと車内のプレコンディショニング

事故につながりそうな状況が検知されると、PAS は衝突が起きる前に、予防的保護機能の効果上げるためいろいろな措置を開始できます。そのため、状況に合わせてフロントのシートベルトの可逆的な張力調整が

行われたり、ウィンドウを開いて (装置によっては) サンルーフが閉じられたり、フロントシートの両側のボルスターが膨らまされたりします。

乗員の予防的保護措置は、システムの制限内で、運転速度約 30 km/h 以上でドライバーが緊急ブレーキをかけた場合、または車両の自動ブレーキ機能が作動したときに発動します。衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シートベルト張力は再び解除されます。



警告

乗員の予防的保護機能の限界

PAS が開始した事前調整措置は、自動安全システムの機能をサポートしますが、物理的な限界を超えることはできません。

- 以下の点を遵守してください。
- 繰り返しの作動により (安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。この場合、シートベルトを外して再度着用するか PAS を無効にします。
- PAS 介入後に事故が発生した場合、リバーシブルシートベルトプリテンショナーが破損することがあります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- リバーシブルベルトテンショナーが故障した場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっている場合 (PSM OFF)、PAS の予防的乗員保護機能は解除されます。

距離警告

Porsche Active Safe が、前方車両との車間距離が近すぎるために危険を検知した場合、車両の速度が約 65 ~ 250 km/h の範囲であればインストルメントクラスターに シンボルが表示され、ドライバーに警告します。¹

- 「警告およびインフォメーションメッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。

距離警告の設定

- アシスト ▶ ▶ アシスト システムの設定 ▶ Porsche Active Safe

1. すべての国別仕様で使用可能ではありません。

ボルシェ コネクト

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、いろいろなオプションが利用できます。ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

国によって、内蔵 SIM カード、外部 SIM カード、または外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータス ラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章 (230 ページ) を参照してください。
- ▶ 「デバイス マネージャー」の章 (169 ページ) を参照してください。

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する (国によってはご利用いただけません)

- ✓ SIM カード リーダーが空の状態である。
- ✓ PCM 電話が ON です。(設定  ▶ ボルシェ コネクト ▶ PCM 電話を ON にする)

データ接続は、イグニッションを ON にするとすぐに確立されます。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- PCM 電話が ON です。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。
- ▶ 必要であれば、PCM を再起動します。

データ パッケージを表示する

- ▶ アプリ  ▶ データパッケージ

マーケットによっては、契約済みのデータ パッケージに関する情報が表示されます。

外部 SIM カード経由でデータ接続を確立する

知識

SIM カード アダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れて、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

- ▶ SIM カード アダプターは使用しないでください。

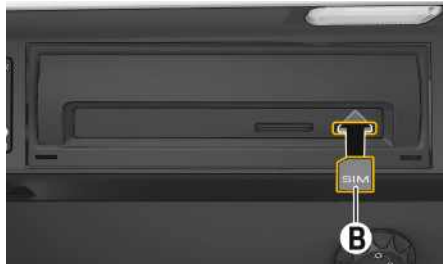


図 161 : 外部 SIM カードをグローブ ボックス内に挿入

- ✓ PCM 電話が ON です。(設定  ▶ ボルシェ コネクト ▶ 電話機能を ON にする)

1. SIM カード B を挿入します (ミニ SIM、寸法 : 25 x 15 mm)。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。データ接続が確立されます。
2. SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押し当てて引き出します。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- PCM 電話が ON です。
- SIM カードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている
- SIM カードが損傷していない、および適切に動作している
- APN 設定 (インターネット アクセス) が正常である APN 設定はネットワーク オペレーターに連絡して点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。
- ▶ 必要に応じて PCM を再起動してください。

PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) の起動

PCM ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

- ✓ 内蔵 SIM カードまたは外部 SIM により、データ接続が正常に確立されました。
- ✓ 内蔵 SIM カード経由のデータ接続 (国によってはご利用いただけません) : 関連するデータ プランが契約されました。

1.  または  ヘッダーの (接続状況により異なる) ▶ オプション  ▶ PCM ホットスポット を選択します。
WiFi アクセス データ PCM (機器名および WiFi パスワード) が表示されます。
2. PCM の WiFi アクセス データをデバイスの WiFi 設定に入力してください。
PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

ボルシェ コネクト の利用

ボルシェ コネクト サービスを使用するためにデータ接続が必要です。

ボルシェ コネクト チャプターを参照します。

▶ 226ページ以降

i インフォメーション

ボルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ボルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connectをご覧ください。

ボルシェ コネクト サービスの起動

ボルシェ コネクト サービスを初めてご利用になる場合、まず起動させる必要があります。

▶ ボルシェ コネクト サービスは、下記から起動してください www.porsche.com/connect から。

ナビゲーション システムおよびボイスコントロール システムのサービスを使用する

- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル施設情報やその他の施設情報カテゴリーをロードする場合のオンライン検索。
- 追加の地図画面。
- リアルタイムの交通情報 では、インターネット経由で、事故、道路工事、渋滞情報やその他の事象に関する情報を配信します。
- 音声入力でメッセージとオンライン言語検索を行います。

「アプリ」メニューのサービスを利用する

- ▶ アプリ  を選択してください。利用可能なサービスが表示されます。

ボルシェ コネクト ユーザー (ボルシェ ID) を PCM にログインする

ボルシェ ID はペアリング コードを使用して PCM とリンクされています。My Porsche からパーソナル設定を取得するために、一部のコネクト サービスを使用するためにこれが必要となります。

1. アプリ  ▶ オプション  ▶ ボルシェID設定 ▶ ボルシェIDを管理
2. My Porsche からサービスを正常に起動した後に表示されるペアリング コードを入力します。

ボルシェ コネクト ユーザー (ボルシェ ID) を PCM で管理する

✓ ボルシェ コネクト のユーザーが作成され登録されている。

- ▶ アプリ  ▶ オプション  ▶ ボルシェID設定 ▶ ご希望のアクションを選択してください:

- 新しいボルシェIDをリンクさせる
- 削除
- ボルシェID設定
- ログアウト: 現在ログイン中のユーザーはログアウトしました。

サービス概要を表示

- ▶ アプリ  ▶ オプション  ▶ サービス概要
- 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

ボルシェ アプリの利用

▶ 「アプリ」の章 (227ページ) を参照してください。

i インフォメーション

- ボルシェ コネクト サービス (カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く) はサービス パッケージおよび国により期間は異なりますが、3 カ月以上の無料利用期間を提供しております。 無料利用期間についての詳細なインフォメーション、およびそれ以降の費用とお住まいの国で利用可能な各サービスについてのインフォメーションは www.porsche.com/connect またはボルシェ正規販売店から入手できます。
- 国により、ボルシェ コネクト サービスは内蔵 SIM、またはデータ対応の外部 SIM カードによりご利用になれます。 外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。 定額データ プランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

ボルシェ コネクト の設定変更

- ▶ 設定  ▶ ボルシェ コネクト ▶ 任意の設定を選択してください。

アプリ

国によって、さまざまなアプリが車両で利用可能です (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。



警告

運転中のアプリ設定変更
および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意が与えられる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリの操作および設定は、必ず車両を完全に停止してから行ってください。

ボルシェ コネクト アプリ

このアプリは、車両と携帯電話のネットワークを提供します。

車両の情報を携帯電話経由で読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した車両設定を実行することが可能になります。個人的に設定した POI (施設情報) や目的地を携帯電話の住所録やカレンダー入力から PCM に転送することができます。車両位置をアプリから呼び出すことができます。アプリの個人エリアに情報が保存されており、設定をすることができます。

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 携帯電話で WiFi 機能が有効になっている。
- ✓ PCM で WiFi 機能が有効になっている。

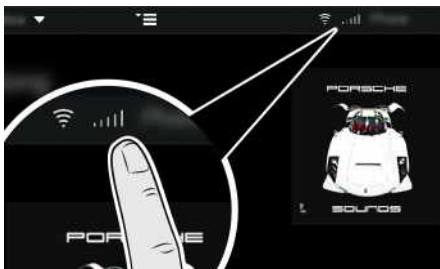


図 162: デバイス マネージャーを開く

1. PCM の WiFi アクセス データを表示し、携帯電話と PCM 間の WiFi 接続を確立します。
 - a. ヘッダー内で、下記の順に選択します または (接続ステータスにより異なる) ▶ オプション ▶ 車両ホットスポット ホットスポット名および PCM のパスワードが表示されます。
 - b. PCM の WiFi アクセス データを携帯電話の WiFi 設定に入力します。

2. アプリ を選択してください。
アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

車両とアプリケーション間の通信の停止 (プライベートモード)

プライベート モードが有効な間は、車両とアプリおよび My Porsche 間の通信が無効になります。車両固有の情報は送信されません。このため、アプリまたは My Porsche の使用中には車両設定を実施できなくなります。

- ▶ 設定 ▶ Porsche Connect ▶ プライベートモード ▶ プライベートモードを起動/プライベートモードを停止

車両の契約が有効でない場合、Porsche Connect メニュー項目はグレー表示されます。プライベート モードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

- ▶ 車両を使用するすべての人に、プライベートモード機能が解除される可能性があることを伝えてください。



インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。アプリを使用すると、モバイル通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービス プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

Porsche Offroad Precision App¹

一部の国で利用可能なアプリを使用して、無線 LAN (-WiFi) 経由で車両に接続できます。このアプリにより、携帯電話上で走行データの表示、保存、分析ができます。アプリを使用するには、SIM カード / データ接続が必ず必要なわけではありません。

PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コネクト」の章 (226 ページ) を参照してください。

インストールおよびアプリの機能に関する詳細情報は、アプリ内 またはボルシェ正規販売店から入手できます。

1. 名前と機能の変更は保護されています

**危険****車両コントロールの喪失**

不適切な運転スタイルや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビング スキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリは公道ではない道路でのみ使用してください。

**インフォメーション**

アプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

ポルシェ「Good to know」アプリ¹

このアプリは、車両 (MY 2013 以降) の詳細情報を提供します。Porsche の詳しい情報を知ることができます。インストール後、お客様の所有する Porsche モデルを選択し、該当するコンテンツ パッケージをダウンロードしてください。

アプリには以下の機能が含まれています。

- すべての車両の詳細を含む説明書
- 車両の機能についてのビデオ説明
- Porsche Car Connect に関する情報
- インタラクティブ グラフィックス
- 車両の実用的なヒント
- 車両のエクステリアおよびインテリアの図
- キーワードによる検索機能 (索引検索)
- ポルシェ正規販売店検索

1. 名前と機能の変更は保護されています

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)

概要説明 – PCM

この概要説明は、本項に記載された情報に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

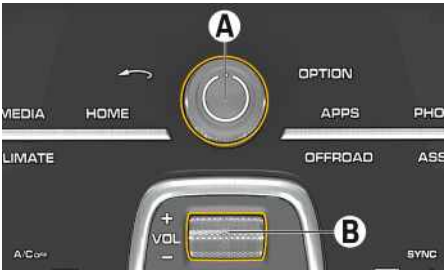


図 163 : PCM ロータリー プッシュ ボタンおよびボリューム スイッチ



図 164 : タッチ ディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作場所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ B を押してください。	–
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ B を長押ししてください。	–
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ B を回してください。 ミュート: ボリューム スイッチ B を短く押してください。	–
メイン メニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メニュー エリア C およびインタラクション エリア E を使用します。	▷ p. 232
検索機能およびオプション、ディスプレイ接続、ステータス シンボル、戻る機能を使用する	▶ ステータス エリア D を使用します。	▷ p. 232
ホーム画面を開く	▶ ステータス エリア D  を選択します。	▷ p. 234

希望する操作	操作方法	操作場所
情報ウィジェットを開いて使用する	▶ 全てのメニュー中の情報ウィジェット F を開いて 使用します。	▷ p. 235
ホーム画面 / 情報ウィジェットを設定する	▶  ▶ オプション  ▶ ホームを設定/インフォ ウィジェットを設定する	▷ p. 234
セット アップ ウィザードを呼び出す	初めて PCM を開始する場合、セットアップウィザードが表示され、PCM 設定の重要なステップを案内します。 ▶ 設定  ▶ セットアップウィザード	–
システムおよび車両設定を変更する	▶ 車両  ▶ 制御 	▷ p. 144

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ

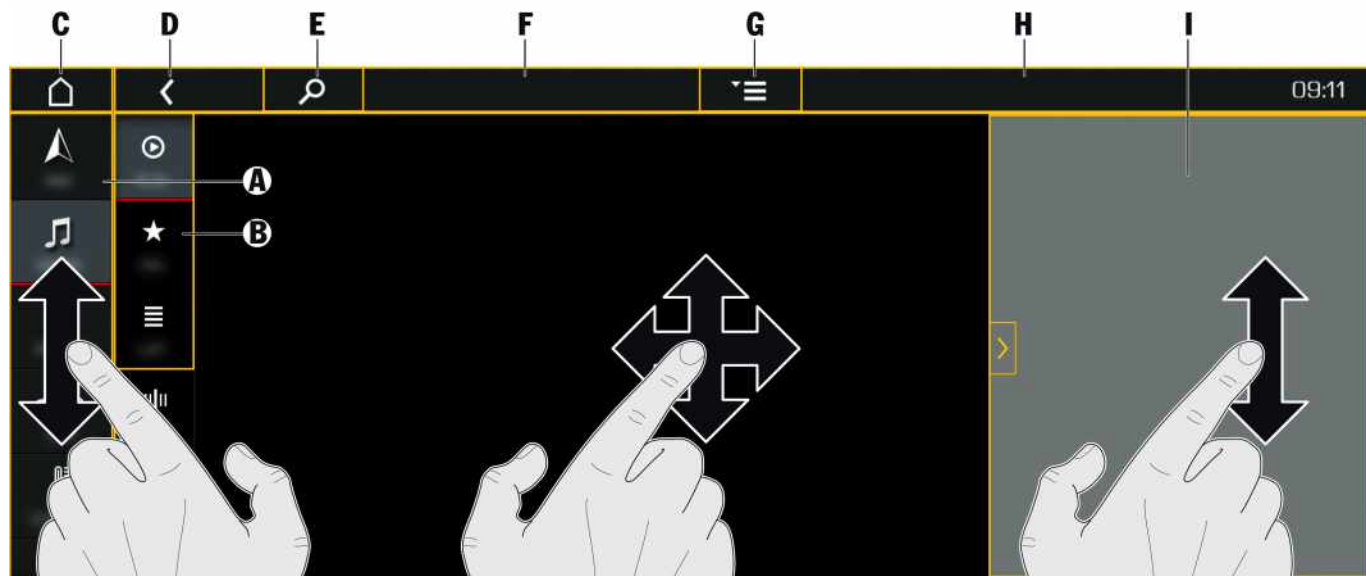


図 165 : ダッシュボードのタッチ ディスプレイ コントロール

A - メイン メニュー

B - サブメニュー

設定によっては、サブメニューは非表示になっており、操作者の手がタッチディスプレイに近づくと、メインメニューが表示されます。

- ▶ 「車両設定」の章（144ページ）を参照してください。

C - ホーム画面

工場出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。

さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。合計6つのレイアウトを設定できます。

D - 戻る

E - コンテキスト依存検索

F - クイック選択付きのヘッダー

例えば、選択したメディアソースが表示されます。タップすると、クイック選択が開きます。

G-各メニュー項目のオプションおよびショートオプション (最も重要な設定)

H- 接続およびステータス シンボル

各種の機能および温度や時間などが表示されます。タップすると、クイック選択が開きます。

I- 情報ウィジェット

◀ を開くと、新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。上下にスワイプすると、情報ウィジェットが変わります。さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。合計 3 つのレイアウトを設定できます。

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) はセントラル コントロール ユニットです。バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。



警告

運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

タッチ ディスプレイの操作

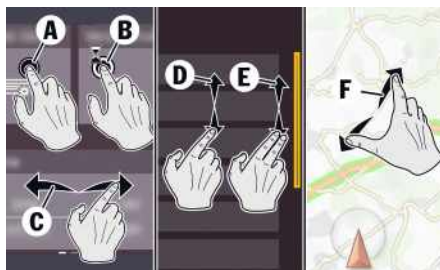


図 166: タッチ ディスプレイの操作

A- タッチ (選択):

タッチス ディスプレイを指で素早くタップします。
例: 機能を選択したり、チェックボックスを有効 / 無効にしたりします。

B- 長押し

タッチ ディスプレイを指で長くタッチしてください。
例: メディア メイン メニューでお気に入りとして放送局を保存します。

C- 左右にスワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例: お気に入りを左右にスクロールします。

D- 上下にスワイプ (スクロールとスイッチ)

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例: リスト内を手動で検索したり、情報ウィジェットを切り替えたりします。

E- 上下にスワイプ (スイッチ)

タッチスクリーンを 2 本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーション メイン メニューの地図が傾きます。

F- ズーム

2 本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めます。タッチ ディスプレイを 2 回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

ロータリー プッシュ ボタンの操作



図 167: ロータリー プッシュ ボタンの操作

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー プッシュ ボタンを押してください。

メニューを開く

メイン メニューを開く

- ▶ センター コンソール (例: **NAV**) またはタッチ ディスプレイ (例: ナビ) のボタンを押してください。

サブメニューの呼び出し

- ▶ タッチ ディスプレイでメニュー項目を選択します (例: マップ)。

各メニュー項目の設定を開く

✓ 希望のメニューが選択されました。

- ▶ オプションを選択します。

該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

時刻または温度ディスプレイの設定

- ▶ ヘッドラインの時刻 **9:11** または温度を選択して、ディスプレイを調節します。

PCM およびディスプレイの明るさを調節するには:

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

テキストおよび文字の入力

ナビゲーション目的地や検索用語の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合はすぐに、入力フィールドが表示されます。

PCM でキーボード言語を設定できます。



図 168 : タッチディスプレイ キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える
- C キーボードの表示/非表示
- D 手書き入力 (タッチディスプレイを使用してアルファベットや文字を入力する)
- E キーボードの調整 (国別仕様による)
- F スペースを挿入する
- G 入力を確定する
- H 入力データを削除する
- I 結果リスト
- J 音声入力 (国別仕様による)

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります:

キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択してください。
タッチ ディスプレイ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリー プッシュ ボタンを使用した入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタン (図 167) を回してください。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされた文字または記号を決定してください。
3. ボタン を使用して、文字入力フィールドから結果リストへとジャンプします。
4. ボタン を使用して、入力フィールドから結果リストへとジャンプします。

フリー フォーム ライティングによる入力

フリー フォーム ライティングでは、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図 169 : 手書き入力

1. を選択して入力フィールドを開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを入力するには、左から右に指でスワイプします。
4. エントリーを削除するには、右から左に指でスワイプします。

ボイス コントロールによる入力

ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

- ▶ 「ボイス コントロール」の章 (217ページ) を参照してください。

ホーム画面および情報ウィジェット

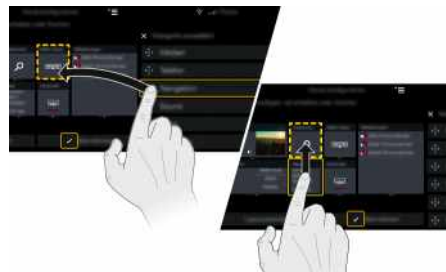


図 170 : ホーム画面の設定

ホーム画面の設定

1. ▶ オプション ▶ ホームを設定する
2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ アンド

ドロップで、左側にあるレイアウト上の任意のタイルを選択したまま、ドラッグしてください。

3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。

4. 左側のレイアウトからタイルを取り除くには、ドラッグアンドドロップで削除したいタイルを上方向にドラッグするか、別のタイルと入れ替えてください。

ホーム画面のレイアウトを設定するには、「レイアウトを切り替える」を選択します。

インフォメーション

タイルは、他の任意のタイルにドラッグアンドドロップで移動させることもできます。

ホーム画面からのタイルの削除

▶ ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする

情報ウィジェットの設定

1. ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する

2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグアンドドロップで必要なタイルを左側にあるレイアウト上のいずれかのタイルに選択したままドラッグしてください。

3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。

4. 左側のレイアウトからタイルを取り除くには、ドラッグアンドドロップで削除したいタイルを上方向にドラッグするか、別のタイルと入れ替えてください。

情報ウィジェットのレイアウトを設定するには、「レイアウトを切り替える」を選択します。

インフォメーション

タイルは、他の任意のタイルにドラッグアンドドロップで移動させることもできます。

情報ウィジェットからのタイルの削除

▶ ▶ オプション ▶ インフォウィジェットを設定する ▶ オプション ▶ 削除モードを有効にする

PCM でマニュアルを開く

✓ 車両は停止している。

▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 取扱説明書

各種ドライブおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報（アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど）が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルやアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的に CD/DVD が再生できなくなる場合があります。CD/DVD および走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。

- PCM は、コピー プロテクト機能付きの CD/DVD または規格に準拠していない CD/DVD を再生できない場合があります。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ:

▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（303ページ）を参照してください。

ポート

グローブボックスおよびアームレスト内のポートの使用

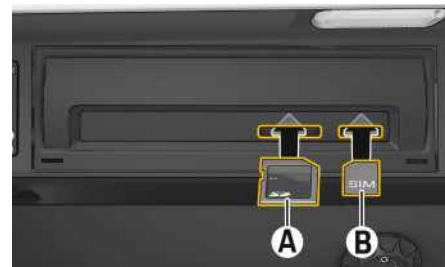


図 171 : グローブボックス内のポート



図 172 : アームレスト内のインターフェース

- A SD カード / SD カード リーダー
- B SIM カード / SIM カード リーダー
- C USB インターフェース (タイプ C)

SD カードを挿入する

知識

SD カードを正しく使用しない場合、ボルシェ コミュニケーション マネージメント を損傷する恐れがあります。

SD カード アダプターを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カードリーダーに詰まる恐れがあります。

- ▶ SD カード アダプターは使用しないでください。

1. SD カード **A** のラベル面を上にして、SD カードリーダーにロックされるまで差し込みます。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択します。

SD カードを取り出す

- ▶ 挿入されている SD カード **A** を押して、SD カードを取り出します。

SIM カードの挿入および取り出し

- ▶ 車載の取扱説明書で「ボルシェ コネクト」の章を参照してください。

USB を介した外部機器の接続

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェース (タイプ C) **C** に接続します。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択します。
4. 外部機器および PCM の音量を必要に応じて調節してください。

リヤコントロールパネルには、追加の USB インターフェース (タイプ C) があります。

ラゲッジ コンパートメント内の DVD チェンジャーの使用

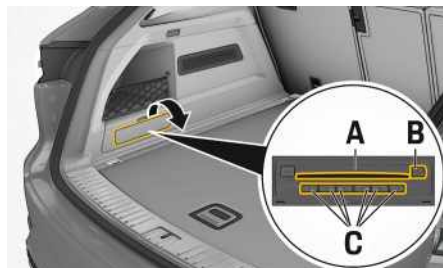


図 173 : DVDチェンジャー

- A CD/DVDスロット
- B CD/DVDロード ボタン
- C CD/DVDポジション ボタン

⚠ 注意

怪我をする恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。DVD チェンジャーは、クラス 1 レーザー製品です。

- ▶ ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。

CD/DVD の挿入およびロード

知識

CD/DVD を正しく使用しないと、DVDチェンジャーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径 12 cm の丸型で標準の CD/DVD のみを使用します。
- ▶ CD/DVDは、端にのみ触れてください。書き込みがされていない面には触れないでください。
- ▶ CD/DVDは清潔に保ち、必要に応じて拭いてください。
- ▶ CD/DVDには何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVDを変形させないでください。
- ▶ CD/DVDをドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1. CD/DVD ロード ボタン **B** を押します。CD/DVD のロードの準備ができた、CD/DVD スロット **A** のインジケーター ライトが緑色に点滅します。CD/DVD チェンジャーの準備ができていない場合、CD/DVD スロット **A** のインジケーター ライトは赤色に点灯します。
2. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまで CD/DVD スロット **A** に挿入してください。

CD/DVDが自動的に最初のポジションにロードされます。該当するポジション ボタン **C** のインジケーター ライトが点滅します。

— または —

CD/DVD を特定のポジションにロードするには、該当するポジション ボタン **C** を押し、CD/DVD を CD/DVD スロット **A** に押し込んでください。

CD/DVDを取り出す

1. ボタン  を押してください。
2. 取り出したいCD/DVDのボタンを押してください。
3. CD/DVD を取り出します。
4. すべての CD/DVD を取り出すには、ボタン  を約 3 秒間押し続けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェ ヒル コントロール (PHC)

ボルシェ ヒル コントロール (PHC) は、(急な坂道、冬場の山道など) 下り坂を前進または後退でゆっくり走行する際にドライバーを支援するアシスタンス システムです。システムは 4 つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABS は作動を継続し、ホイールのロックを防ぎます。

警告

ブレーキの効きの低下

通常のブレーキと同様にブレーキ性能はすべりやすい路面状況 (凍結路やぬかるみなど) では制限され、事故につながる場合があります。

- ▶ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

ボルシェ ヒル コントロール (PHC) の使用

PHC の選択とスタンバイの確立

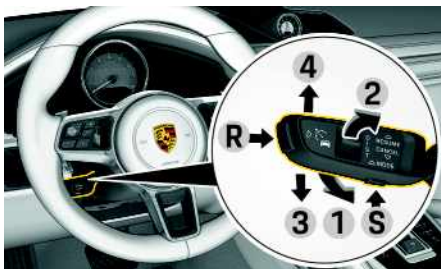


図 174: ドライバー アシスタンス システムのコントロール レバー

- R ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF の切り替え
- S ドライバー アシスタンス システム間の切り替え
- 1 スタンバイの設定 / 速度の上昇
- 2 減速する
- 3 PHC 操作の中断 (キャンセル)
- 4 PHC 操作の再開 (再開) / スタンバイの復元

- ✓ ドライバー アシスタント システムのレバーが ON になります (ボタン R)。

1. ボタン S を押します。
ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスタに表示されます。
2. ステアリング ホイールの左側のロータリー プッシュ ボタンを使用して PHC を選択し、ボタンを押して確定します。
ボルシェ ヒル コントロール (PHC) が選択されます。



PHC が選択されています
インストルメント クラスタのグレーのアイコンは PHC が選択されていることを示します。

- ▶ コントロール レバーを前方に押してください (図 77) 1。
ボルシェ ヒル コントロール (PHC) を操作できます。



PHC スタンバイ
インストルメント クラスタの白色のアイコンは使用可能状態を示します。PHC の作動条件が満たされました。速度は保存されていません。

PHC 操作の作動

- ✓ ボルシェ ヒル コントロール (PHC) を操作できます。
- ✓ 車両は、約 0 km/h 以上および約 30 km/h 以下の速度で走行しています。
- ✓ 坂道の勾配率は約 7% 以上でなければなりません。



PHC コントロール作動
インストルメント クラスタの赤色のアイコンは、コントロールが作動していることを示します。速度が保存されています。

インフォメーション

坂道の勾配率が約 7% 未満の場合、作動状態のシステムはもう一度作動スタンバイ状態になります。

速度の変更

- ✓ PHC が作動しています。
- ▶ ブレーキまたはアクセルペダルを踏んでください。
- または -
- ▶ コントロール レバーを前方に押すか (加速) (図 77) 1、後方に引いてください (減速) (図 77) 2。

PHC を OFF にする

- ▶ クルーズ コントロール 操作レバーのボタン R を押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボンネット

ボンネットの開閉

ボンネットを開く

知識

ボンネットを開くときワイパーが起きていると、ボンネットやワイパーが損傷するおそれがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていることを確認してください。
- ▶ エンジンコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントワイパーを OFF (ワイパーレバーを 0 の位置) にしてください。衝突の恐れがあります。ワイパーアームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的に ON にしてから OFF に切り替えてください。

- ▶ 「フロントワイパー」の章 (212ページ) を参照してください。



図 175 : ボンネットの解除

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリースレバーを引いてください。



図 176 : ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリースレバーを押します。
4. ボンネットを完全に開きます。

ボンネットを閉じる

⚠ 注意

重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用して 2 箇所のロック部をロックできます。

- ▶ ボンネットの可動部品 (ヒンジ) の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。

1. 半分開いた状態のボンネットが 2 箇所のロック部にはまるようにしてください。必要に応じて、2 箇所のロック部を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。
2. ボンネットが両方のロック部に確実にハマっており、リリースレバー (図 175) が初期位置に戻っているが確認します。
- ▶ ボンネットが正しく閉じられていない場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再び開き、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。必要に応じて、ロック周囲を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

歩行者保護

フロントバンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。次に、ボンネットが開き、衝撃を低減します。

⚠ 注意

歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護装置が起動した場合、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

作動した後に、ボンネットを再度押して閉じることはできません。歩行者保護部品を取り替える必要があります。

1. 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
2. 歩行者保護システムをすぐに取り替えてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護システムの故障

故障の場合には、警告メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ミラー

▲ 警告

ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面のミラーには車両や物体が実際より小さく、また実際より遠くにあるように映ります。走行状況および事故を正しく評価できない場合があります。

- ▶ 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- ▶ 距離を判断する際にはルーム ミラーも使用してください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドア ミラーを格納してください。
- ▶ 電動ドア ミラーの格納 / 復帰を手動で動かさないでください。

ドア ミラーの使用



図 177: ドア ミラー コントロール パネル

- A 運転席側のドア ミラーの選択
- B 助手席側のドア ミラーの選択
- C ドア ミラーの調節
- D ドア ミラーの格納および復帰

ドア ミラーの調節



図 178: 外部 ミラーの調節

- ✓ イグニッションを ON または
 - ✓ OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大 10 分以内）。
1. ボタン A または B を押して、希望するドア ミラーを選択します。
選択したボタンのインジケータ ライトが点灯します。
 2. 調節ボタン C を操作して、外部 ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア ミラーの格納および復帰

車内からのドア ミラーの格納/展開

- ✓ 最高速度が約 50 km/h。
- ▶ ボタン D を押してください [(図 177)]。

- ▶ ドア ミラーが格納または復帰します。
- ▶ ドア ミラーの格納または復帰を手動で行わないでください。

ドア ミラーの自動格納および復帰

ロック時にドア ミラーを格納する

- ▶ キーのボタンを少なくとも 2 秒間押し続けるか、運転席ドア ハンドルの近接センサー (装備による) に少なくとも 2 秒間触れ続けてください。
- ▶ ドア ミラーが格納されます。

ドア ミラーの自動格納

- ✓ 機能が作動していること。
- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。
- ▶ 車両をロックしてください。
- ▶ ドア ミラーが格納されます。

ドア ミラーの自動復帰

- ▶ ドアをロック解除してください。
- ▶ ドア ミラーが復帰します。

i インフォメーション

手動でドア ミラーを格納した場合はドア ロックを解除した後、自動的に元の位置には復帰しません。

駐車時の助手席ドア ミラー下向き自動切り替え

メモリー パッケージ装備車では、リバース (後退) ギヤを選択すると、助手席側ドア ミラーが少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

ドア ミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- ✓ 機能が作動していること。

- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。

ミラー ガラスを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
運転席外部 ミラーを調節するためのボタン A のインジケーター ライトが点灯します。
 2. 助手席ドア ミラーを調節するためのボタン B を押してください。
- 助手席のミラー ガラスが下向きになります。

ミラー ガラスの下向き角度の個別調整

- ▶ ボタン C を操作して、ドア ミラー ガラスの角度を希望の位置に調節してください。

ドア ミラーを通常位置に戻す

車両速度が 15 km/h 以上に達すると、ドア ミラーが通常的位置に戻ります。

手動で助手席のドア ミラーを通常位置に戻す:

- ▶ 運転席ドア ミラーのボタン A を押してください。

ドア ミラー設定の保存

ドア ミラー設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」の章 (201 ページ) を参照してください。

自動防眩機能の使用

明るい光がルーム ミラーに当たるとすぐに、ルーム ミラーおよびドア ミラーはそれぞれ自動的に暗い位置に変わります。

リバース ギヤに入れた場合、または ルーム ライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。

同様に、ルーム ミラーに、またはフロント ウィンドウを通してフロント ライト センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

- ▶ ルーム ミラーの前のフロント ガラス、またはリア ウィンドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバーの上に物を置いたまま運搬しないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメントに荷物を安全に格納して、ラゲッジ コンパートメントのふたを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

メディア

概要説明 - メディア

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230ページ) を参照してください。

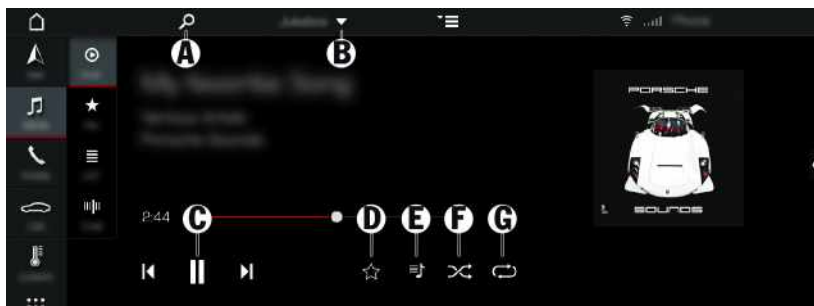


図 179 : メディアを再生する

希望する操作	操作方法	操作場所
メディア ソースを読み込む	– CD/DVD を挿入してください。 – SD カードを挿入してください。 – USB を介して外部機器を接続します。 – Bluetooth® を介して外部機器を接続します。	▶ p. 235 ▶ p. 288
放送局 / トラック / アルバムを検索する (検索結果は現在選択されているメディア ソースに関連したものです)	▶ メディア ▶ メディアの検索を行う (A を参照) ▶ 希望の放送局 / トラックを入力してください。	–
メディア ソース / 受信範囲を選択する	▶ SOURCE ボタン ▶ メディア ソースを選択してください (例: FM)。 – または – メディア ▶ 再生 ▶ メディア ソースを呼び出してください (B を参照) ▶ メディア ソースを選択してください (例: FM)。	–
音楽を再生 / 一時停止する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または (C を参照) を選択してください。	–
次 / 前回の放送局 / トラックを再生する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択してください。	–

希望する操作	操作方法	操作場所
放送局 / トラック / アルバムをお気に入りとして保存する	▶ メディア  ▶ ☆ (D を参照)	▶ p. 245
放送局 / トラックのリストを表示する	▶ メディア  ▶ リスト  選択したメディアソースに応じて、プレイリストやアーティストなどのサブフォルダーを利用できます。	—
周波数帯または番号を入力して選局する	▶ メディア  ▶ チューン  ▶  または  を選択してください。	—

メディアを再生する

利用できるラジオおよびメディア ソース

ラジオは、FM および AM の周波数帯をサポートしています。

装備によっては、次のメディアソースが利用できません。CD/DVD チェンジャー、SD カード、USB または Bluetooth® 経由の外部機器、オンライン メディア サービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ:

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章 (303 ページ) を参照してください。

メディア再生中の他の機能

- ✓ メディア  ▶ 再生  が選択されています。概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です:
- 現在の再生リストを表示する:  (E (図 179) を参照)
- ランダム再生を有効にする:  (F (図 179) を参照)
- 曲を繰り返し再生する:  (G (図 179) を参照)
- 類似の音楽を提案する: **Play More Like This**

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. メディア  ▶ お気に入り ☆
2. 最近再生したものから希望する放送局 / 曲を選択し、ドラッグ & ドロップでお気に入りエリアに移動させます。

お気に入りの整理

1. メディア  ▶ お気に入り ☆
2. 希望する放送局 / 曲を押して、希望する場所に移動させます (ドラッグ & ドロップ)。

お気に入りの削除

1. メディア  ▶ お気に入り ☆
2. 希望する放送局 / 曲を選択し、ドラッグ & ドロップでお気に入りエリアから上に移動させます。
— または —
アイコン ☆ メディア  ▶ 再生  / リスト  を選択して、お気に入りエリアから以前設定したお気に入りを削除します (利用可能な場合)。

メディア設定の変更

- ▶ メディア  ▶ オプション  ▶ 希望の設定を選択します。

ライト

ライトの概要

この概要説明は詳細を網羅した情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 180 : ライト コントロール パネル

希望する操作	その操作方法は？	参照先
自動ヘッドライトのスイッチをONにする	▶ ボタン AUTO を押してください。 オートマチックヘッドライトとボルシェダイナミックライトシステム(PDLS/PDLS Plus)がONになります。	▷ p. 247
駐車灯のスイッチをONにする	▶ ボタン OFF を押してください。 ライセンスライト、インストルメントライト、およびサイドライトがONになります。	—
前照灯のスイッチをONにする	✓ イグニッションをONにしてください。 ▶ ボタン OFF を押してください。 ロービームがONになります。オートマチックヘッドライト、デイトタイムドライビングライトおよびボルシェダイナミックライトシステム(PDLS/PDLS Plus)がOFFになります。	—
後部のフォグライトのスイッチをONにする	▶ ボタン OFF を押してください。	—
外部ライトを完全にOFFにする	▶ ボタン OFF を約2秒押してください。 ボタン AUTO のインジケータライトが消灯します。すべてのエクステリアライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには消灯したままです。	▷ p. 247

オートマチック ヘッドライト/エクステリア ライトのONとOFFを切り替える



警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトが点灯していない状態で走行すると、視界が大幅に悪くなり、他の通行者からも車両が見えていない恐れがあります。

- ▶ オートマチック ヘッドライトを慎重に監視し、必要に応じてロー ビーム ヘッドライトを手動で ON にします。
- ▶ 特定の国では、ロー ビーム ヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

自動ヘッドライトのスイッチをONにする

- ▶ ボタン  **AUTO** を押してください。
オートマチック ヘッドライトが ON になります。
以下のいずれかの状況で前照灯のスイッチは自動的に ON になります:

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

前照灯のスイッチがONの場合、インストルメント クラスタ上の表示灯  がつきます。

インフォメーション

オートマチック ヘッドライトは、霧を感じません。

- ▶ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリア ライトを完全にOFFにします

- ▶ ボタン  を約2秒押してください。
ボタン  **AUTO** のインジケーター ライトが消灯します。

自動ライトのスイッチは、以下の状況(国による)で再び入れられます:

- 10km/hの速度から
- エクステリア ライトのスイッチを切った後に、100m以上の距離を走行した場合

雨天時の機能

継続的なワイパー操作が検出される場合、前照灯のスイッチは自動的に入れられます。ワイパーが休止した場合、前照灯はOFFに切り替えられます。

インフォメーション

気温と湿度により、車両のエクステリア ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行することで、この曇りは取れます。

オートマチック カミング ホーム ライトの調整

- ✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

暗闇での視界が改善され、車両からの乗り降りができるように、以下のライトのスイッチは一定期間ONのままです。

- デイタイム ドライビング ライト*
- 折り畳まれた外部ミラーのドア車内灯
- 前部と後部のサイド マーカー ライト
- ライセンス ライト

ウェルカム ホーム機能 (遅延消灯)

車両がロックされている場合、遅延消灯の間、ライトのスイッチをONのままにします。

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両がロックされていない場合、設定された遅延消灯の間、車両周辺の領域が照らされます。以下の場合は、ライトが消灯します:

- イグニッションがONになっている。
- オートマチック ヘッドライトのスイッチOFF

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。

ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)

- ✓ PDLS を含む LED ヘッドライト。
- ✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

スタティック コーナリング ライト

最大 130 km/h の速度で、ステアリングホイールを回すと、スタティック コーナリング ライトのスイッチが ON になります。

ダイナミック コーナリング ライト

速度が約 5 km/h を超えている場合、車両の速度やステアリングホイールの回転角に応じて、進行方向を照らすロー ビームまたはハイ ビーム ヘッドライトの向きが変わり、道路がよりはっきり見えるように照射されます。

状況に応じたライト配光

国別仕様によっては、状況に応じたライト制御によりロー ビームおよびハイ ビーム ヘッドライトの配光を、市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応します。

悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でフォグ ライトが点灯している場合、ロー ビームの配光特性が変化します。このときドライビング ライトは、眩しさを抑えるように照射

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

- ✓ PDLS Plusを組み込んだ LED マトリックス ヘッドライト。
- ✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっています。

PDLS Plus も PDLS 機能に含まれます。

- ▶ 「ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)」の章 (247ページ) を参照してください。

ジャンクション ライト*

ナビゲーション データが交差点と合流点を検出して、ライト配光を修正し、これらを照らします。

ダイナミック ハイ ビーム

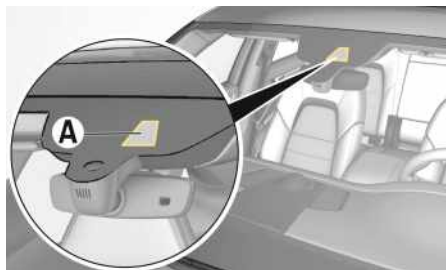


図 181 : フロントガラス カメラ

ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ A により光源や他の通行者を検出することができます。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントを有効または無効にすることができます。車両の前方周囲のビームは低く、残りは高いままです。これにより

他の通行者が眩惑することなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。

ダイナミック ハイ ビームは、ナビゲーション データに応じて 30 km/h から 60 km/h の間で点灯します。カメラが街路灯を検出すると、ハイ ビームもロー ビームに切り替わります。

警告

ダイナミック ハイ ビームを作動させて運転している際の集中力低下

ダイナミック ハイ ビームを使用している場合でも、運転中にライトの状態、視界および交通状況などに応じて手動でハイ ビームを調整することはドライバーの責務です。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。以下の状況では、手動の操作が必要となります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時。
- 自動車専用道路など、対向車が一部確認しづらい道路。
- 自転車など、暗い照明の通行者がいる場合。
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道。
- 照明の暗い市街地。
- 標識などの強い反射が発生する場合。
- カメラ部分のフロント ウィンドウが曇っている、汚れている、氷で覆われている、あるいはステッカーで塞がれている場合。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイ ビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。



インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：

- ▶ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシング ライト

- ✓ 対向車なし。
 - ✓ 前走車あり。
 - ▶ 運転中に追い越す場合、方向指示灯を作動させてください。
- 前走者の横のエリアが明るく照らされます。走行する道が見やすくなります。
- 方向指示灯が解除された場合または対向車が検出されると、パッシングライトは再び自動で消灯します。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
 - ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。
- 走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようになります。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミック ハイ ビームが ON になっている。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって (特にハイ ビームを使用して運転する際) ドライバーが眩惑する場合があります。

標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントを適切に調整します。反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

オートマチック ヘッドライト校正

- ✓ 車両の直ぐ近くに障害物はありません。
- ✓ 壁など照射対象表面の前方に、可能な限り真っ直ぐな位置に車両を置きます (距離 > 5 m)。
- ✓ 基準ラップ中の停止時に郊外道路ライトは作動しています。

状況が適切だと、自動ヘッドライト校正は自動的に開始します (アンビエント ライト、照射対象の表面が適切)。ヘッドライトの LED セグメントは校正中、右から左へ繰り返して自動的に作動および停止し、カメラ A により検出されます。

校正はヘッドライト アライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

方向指示灯/ハイ ビーム レバーの操作

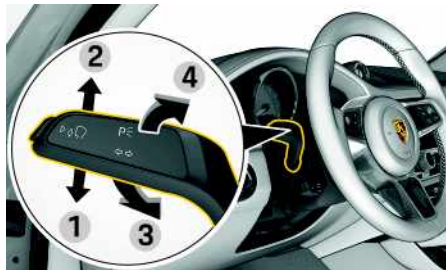


図 182 : 方向指示灯、ハイビーム、およびヘッドライト自動点滅器の操作

- 1 方向指示灯/左駐車灯
- 2 方向指示灯/右駐車灯
- 3 ハイビーム/動的ハイビーム
- 4 ヘッドライト パッシング

方向指示灯の操作

- ▶ 圧点 1 または 2 を越し、操作レバーを押します。ハンドルを回すとき、手動または自動で操作レ

バーがホームポジションに戻されるまで、方向指示灯はアクティブなままです。

コンフォート方向指示器

- ▶ 圧点 1 または 2 に操作レバーを再度押します。方向指示灯が 3 回点滅します。
- ▶ コンフォート方向指示を中断するためには、反対方向に操作レバーを押します。

ハイビーム ヘッドライトの ON と OFF の切り替え

- ✓ PDLs Plus が装備されていない車両
– または –
LED マトリックスハイビームアシスト 非アクティブに調整

ON にする

- ▶ 圧点 3 に操作レバーを再度押します
表示灯 がつきます。

OFF にする

- ▶ 圧点 4 に操作レバーを再度押します。
表示灯 が消えます。

ダイナミック ハイ ビームの作動/停止

- ✓ PDLs Plus 装備車。
- ✓ オートマチック ヘッドライトが点灯しています。
- ✓ LED マトリックスハイビームアシスト-調整が作動。
- ▶ 「車両設定」の章 (144 ページ) を参照してください。

作動:

- ▶ 操作レバーを 3 段階目まで 1 回動かしてください。

インジケーター ライト が点灯します。他の車両の位置やスピードなど様々な要素に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントの ON/OFF を切り替えることができます。ハイビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター ライト が点灯します。

停止する

- ▶ 操作レバーを 4 段階目まで 1 回動かしてください。
インジケーター ライト が点灯している場合のみ、ダイナミック ハイ ビームを解除できます。ダイナミック ハイ ビームの条件が満たされなかった場合、ハイビームヘッドライトは手動操作で点灯および消灯できます。

手動で点灯する

- ▶ 操作レバーを 3 段階目まで 2 回動かしてください。
インジケーター ライト が点灯します。

手動で消灯する

- ▶ 操作レバーを 4 段階目まで 1 回動かしてください。
インジケーター ライト が消灯します。

ヘッドライト パッシングを作用する

- ▶ 圧点 4 に操作レバーを再度短く押します。
表示灯 が短くつきます。

パーキング ライトの ON/OFF の切り替え

- ✓ イグニッションを OFF にする。
- ▶ 操作レバーを上方向 2 または下方向 1 に押すと右または左側のパーキング ライトが点灯します。パーキング ライトが点灯している場合は、イグニッションを OFF にしてドアを開くとインストールメント クラスタにメッセージが表示されます。

ハザード ライトのON/OFF



図 183: ハザード ライトのON/OFF

ハザード ライトのON/OFF

- ▶ センター コンソールのボタンを押してください。すべての方向指示灯とボタンがフラッシュします。

非常ブレーキ後のハザード警告ライトの解除

約 70km/h 以上での走行中、停車するまで急ブレーキをかけるとハザード ライトが自動的に作動します。ブレーキをかけるとブレーキライトが点滅します。

- ▶ センター コンソールのボタンを押して、ハザード ライトを停止させてください。車両が再び移動し始めると、危険警告灯が解除されます。

事故後のハザード ライト

衝突時、エアバッグが作動するとハザード ライトが自動的に作動します。

海外モードの起動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光特性を調節する必要があります。これによりロー ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

ライト配光の適応は、通常はナビゲーション データに基づいて自動的に行われます。

変換後は、点火スイッチが入るたびに、メッセージがインストルメント クラスタに表示されます。

変換が自動的に起こらない場合:

- ▶ 「車両設定」の章 (144ページ) を参照してください。
- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

室内灯と共に車両照明にも、発光ダイオードと長命LEDが装備されています。LEDは個別に交換できません。

ランプの取り外しと取り付けは少々労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとランプの交換または修理は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライト エリアにカバー (ストーン ガードやフィルムなど) を装着しないでください。

インフォメーション

マトリックス ビームを備えたLEDヘッドライトを特色とする車両で、前照灯の設定をチェックするためには、ボンネットを開けなければなりません。

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置を使用しているボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ コンパートメント

荷物の積載



危険

有毒な排気ガスの吸い込み

リヤ リッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤ リッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤ リッドを開いた状態で走行しないでください。



警告

車両に荷物が載っている時の車両操縦性の変化

車両に載せた荷物に応じて、車両操縦性は変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。



警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定されていない、または不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れが

あります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ コンパートメントで輸送して、車内(座席の上または前など)には絶対に入れないでください。
- ▶ 可能であれば、シート バックレストで荷物を支えます。バックレストを常に固定します。
- ▶ バックレストが直立して固定されている場合にのみ重量物を輸送します。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重量物はフロアからできるだけ遠くに置き、その後ろに軽量物を置きます。
- ▶ バックレストの上端より上には荷物を載せないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバー上に荷物を置いて走行しないでください。
- ▶ リヤ シートが空いている場合、シート ベルトでバックレストをさらに固定することができます。このために外側のシート ベルトを横切らせて、反対側のそれぞれのベルト バックルにはめます。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中は小物入れカバーを必ず閉じます。



警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。

知識

リヤ ウィンドウおよびサイド ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤ ウィンドウおよびサイド ウィンドウの損傷に注意してください。

ラゲッジ コンパートメント フロアの最大許容荷重は 200 kg です。荷重は、ロードスペース全体に均等に配分する必要があります。

タイダウンベルトによる荷物の固定

- ▶ 荷物を固定するためにゴムのベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップが尖った端部を通らないようにしてください。
- ▶ 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ▶ ベルトを手動でのみ締め付けてください。追加のテンション工具(ラチェット)を使用しないでください。
- ▶ タイダウン装置の使用方法的指示や情報に従ってください。

E ハイブリッド車両:

- ▶ 荷室フロアの下には何も収納しないでください。工場で取り付けられた物(充電装置など)には適用されません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

停止表示板と応急処置セットの取り外し (国別仕様による)

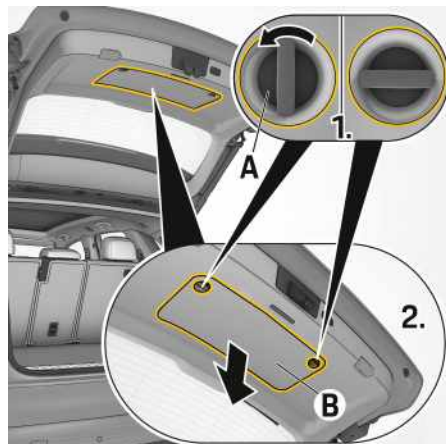


図 184: リヤ リッドのツイスト ロックを開ける

✓ リヤ リッドが開いている。

1. ツイスト ロック A を反時計回りに回します。
2. カバー B を慎重に開きます。



図 185: 応急処置セットと停止表示板の取り外し (国別仕様による)

3. 停止表示板と応急処置セットを取り外します (国別仕様による)。

ラゲッジ コンパートメント フロアの開閉



図 186: ラゲッジ コンパートメント フロアを開く

ラゲッジ コンパートメント フロアを開く

1. ハンドルの後ろを下に押した後、前部を持ち上げてください。
2. サポートを外し、取っ手に差し込んでください。

ラゲッジ コンパートメント フロアを閉じる

1. 取っ手からサポートを取り外し、ラゲッジ コンパートメント フロアに取り付けてください。
2. ラゲッジ コンパートメント フロアを持ち上げ、閉じます。

車載工具の取り外し

車載工具はラゲッジ コンパートメントの床下に収納されています。

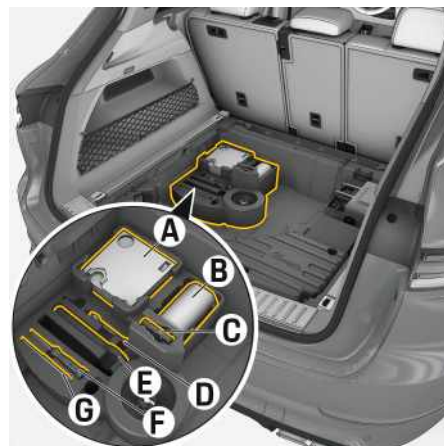


図 187: 車載工具 (コラプシブル スペア ホイールを除く) の取り外し

- A コンプレッサー
- B タイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS)
- C 緊急リリース レンチ
- D レンチ
- E けん引フック
- F ドライバー
- G ドライバー ブレード

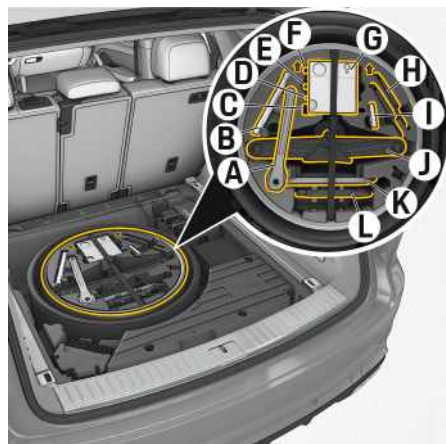


図 188 : 車載工具 (コラapsible スペア ホイールを含む) の取り外し

- A ラチェット
- B エクステンション
- C ドライバー
- D ドライバー ブレード
- E レンチ
- F アッセンブリー ピン
- G コンプレッサー
- H ウェッジ
- I 緊急リリース レンチ
- J ジャッキ
- K レンチ
- L けん引フック

- ▶ 再取り付けする場合、車載工具ケースの黄色い矢印が進行方向を向いていることを確認してください。

i インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

コンプレッサーとタイヤ シーラントの取り外し (Tire Mobility System – TMS)

コンプレッサーとタイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS) はラゲッジ コンパートメントの床下にあります。

タイヤ空気充填に関するインフォメーション:
▶ 「タイヤおよびホイール」の章 (152ページ) を参照してください。

タイヤの補修に関するインフォメーション:
▶ 「パンク」の章 (190ページ) を参照してください。

ラゲッジ コンパートメント カバーの使用



警告

ラゲッジ コンパートメント カバー上の荷物

ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、荷物が車内に滑り出て乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバーの上に荷物を置かないでください。

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル
ラゲッジ コンパートメント カバーは、左右のサイドウォールのホルダーに固定された取り外し可能な装備です。必要に応じて (清掃する場合など) 取り外して、車両の後ろから車外に取り出すことができます。

✓ Cayenne Coupé
ラゲッジ コンパートメント カバーは、左右のサイドウォールのホルダーに固定された取り外し可能な装備です。必要な場合、開いているリヤリッドから外し、取り外すことができます (清掃時など)。

ラゲッジ コンパートメント カバーの引き出し / 格納

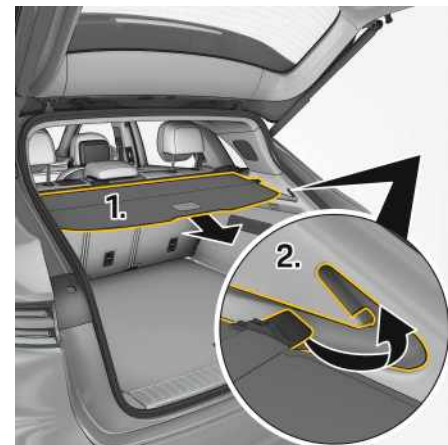


図 189 : ラゲッジ コンパートメント カバーの引き出し / 取り付け

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル

ラゲッジ コンパートメント カバーの引き出し

- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバー 1 を引き出し、左右のサイドウォールにあるガイド 2 に差し込んでください。

ラゲッジ コンパートメント カバーの格納

- ▶ ラゲッジ コンパートメント カバーをサイドウォールのガイドから外し、カバーをリトラクターローラーに慎重に巻き取らせてください。

ラゲッジ コンパートメント カバーの取り外し ラゲッジ コンパートメント カバーのロック解除 / 取り外し

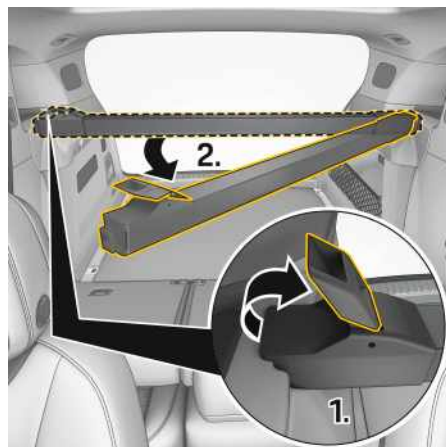


図 190 : ラゲッジ コンパートメント カバーの取り外し

- ✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル
 - ✓ ラゲッジ コンパートメント カバーが格納されています。
 - ✓ リヤ シート バックレストは前に倒れています。
1. 車両の後ろからリリース ハンドルを引き上げます。
 2. ラゲッジ コンパートメント カバーを車両右側のホルダーから上方に取り外してください。
 3. リヤ シェード ホルダーを車両左側のホルダーから上方向に取り外し、ラゲッジ コンパートメント内に降ろします。

ラゲッジ コンパートメント カバーの取り外し

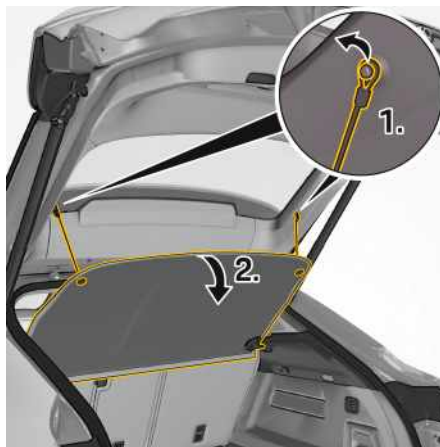


図 191 : ラゲッジ コンパートメント カバーの取り外し

✓ Cayenne Coupé

1. 両側のリテーニング ストラップを外します。
2. ラゲッジ コンパートメント カバーをサイド レッジに置きます。

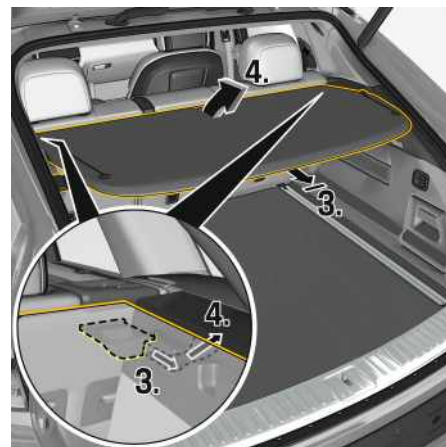


図 192 : ラゲッジ コンパートメント カバーの取り外し

3. ラゲッジ コンパートメント カバーをキャッチから矢印の方向に引き出します。
4. ラゲッジ コンパートメント カバーをマウントから取り外します。

ラゲッジ コンパートメント カバーの取り付け

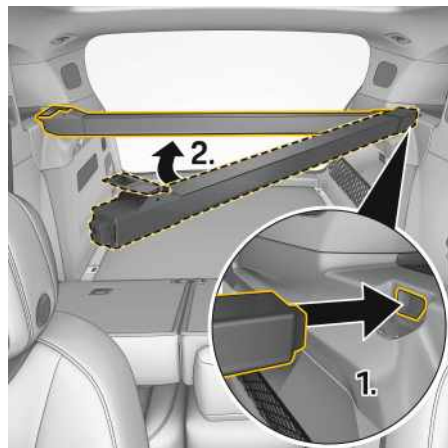


図 193: ラゲッジ コンパートメント カバーの取り付け

- ✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル
- ✓ リヤ シート バックレストが前に倒れている。
- 1. 後ろからラゲッジ コンパートメント カバーを車両左側のホルダーに差し込んでください。
- 2. ラゲッジ コンパートメント カバーをリリース ハンドルの位置で握って、車両右側のホルダーに上から押し込んでください。
- 3. リリース ハンドルがしっかりはまるまで押し込んでください。
- 4. リヤ シートのバックレストを垂直位置に戻してください。

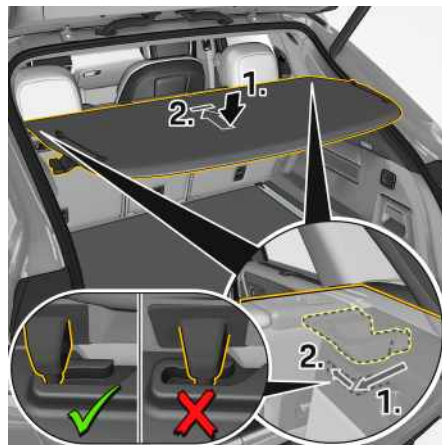


図 194: ラゲッジ コンパートメント カバーの挿入

✓ Cayenne Coupé

1. ラゲッジ コンパートメント カバーをマウントに上から挿入します。
2. 左右のピンがフロント ポジションにはまるまで、ラゲッジ コンパートメント カバーを矢印の方向に押し込みます。

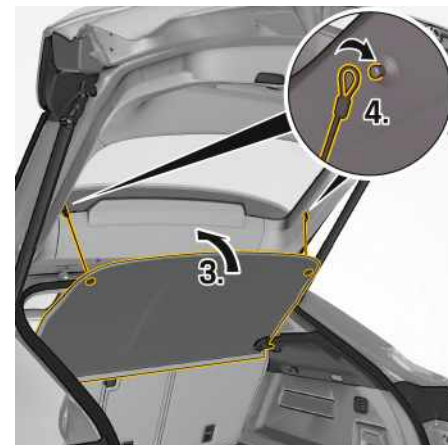


図 195: ラゲッジ コンパートメント カバーの取り付け

3. ラゲッジ コンパートメント カバーを持ち上げます。
4. 両側のリテーニング ストラップを取り付けます。

スキー バッグの使用

スキー板やスノー ボードなどを車室内に損傷することなく、安全に運搬することができます。

知識

荷物の鋭い端（スノー ボードなど）によってスキー バッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スノーボードやスキー板をスキーバッグに収納する

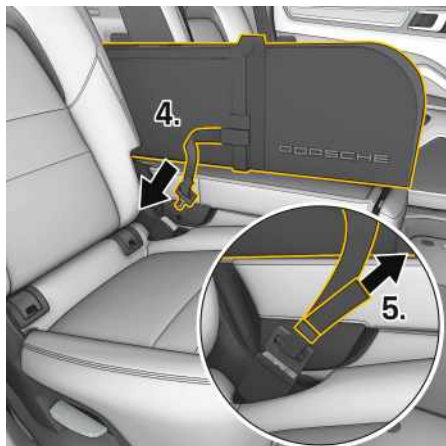


図 196: スキーバッグの使用

スキーバッグはトランク ルーム内の所定のギア バッグの中に収納されています。

1. スノーボードやスキー板の端部にプロテクターを取り付けてください。
2. スノーボードやスキー板をスキーバッグに入れて、バッグを閉じてください。スキーは後端を前方にしてスキーバッグの中に入れておく必要があります。スキーバッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキー板を締め付けストラップで締め付けてください。スキー ピンディングはこのストラップの後方になければなりません。
4. リヤシート間のバスルー設備を倒します。
5. テンションストラップのラッチをシートベルトバックルに差し込みます。
6. テンションストラップを締めます。

タイダウン リングの使用



図 197: タイダウン リングの使用

タイダウンストラップを4つのリングに留めて、荷物は移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

インフォメーション

タイダウン リングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。重量物を支えることはできません。

カーゴ マネージメントの使用

カーゴ マネージメント システムはラゲッジ コンパートメントに荷物を固定するために使用するシステムです。

テレスコピック バーの差し込みと調整



図 198: テレスコピック バーの使用

1. エンドエレメントのボタン B を押し、マウントレールの開口部 A に差し込んでください。
2. 固定位置でボタンを押して、荷物側に押し、動かさないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

ストラップ リールを差し込み、調整する



図 199 : ストラップ リールの使用

1. エンド エLEMENT のボタン **B** を押し、マウント レールの開口部 **A** に差し込んでください。同時に、ストラップ リールを希望の長さまで引いてください。
2. 固定位置でボタンを押して、荷物側に押し、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. ELEMENT を押して、ELEMENT が所定の位置にロックされていることを確認してください。

リバーシブル マット

濡れた荷物または重い荷物を輸送するときリバーシブル マットの上面に埃や傷が付くのを防ぐため、ラゲッジコンパートメントのリバーシブル マットの底面は滑り止め加工が施されています。

ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの使用

ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットは車内に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

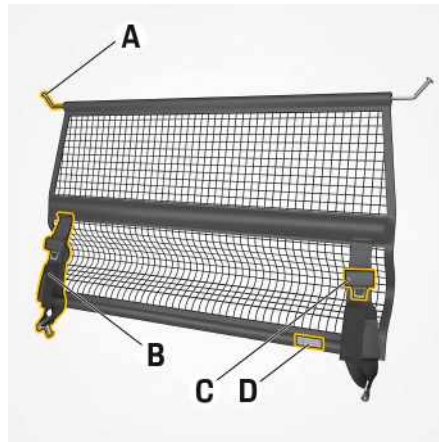


図 200 : ラゲッジコンパートメント パーテーション ネット

- A** ルーフ アンカー
B フロント タイダウン ベルト着用
C タイダウン ベルト ルースナー

インフォメーション

車内のラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り外し/取り付け

- ▶ タイダウン ベルト ルースナー **C** が走行方向と反対に向いていることを確認してください。

リヤのラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り付け

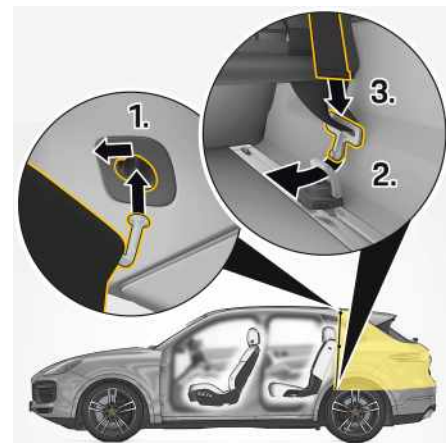


図 201 : リヤのラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り付け

- ✓ リヤシート バックレストは前に倒れています。
1. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットを天井の左右のリヤ固定リングにはめ込んでください。ルーフ アンカーが小さなリングにはまっていることを確認してください。
 2. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットを下部フック **B** を使用して、荷室フロア左右のタイダウン リングにはめ込んでください。
 3. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットをベルト ストラップを使用して張ってください。ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットが垂直に張られていることを確認してください。
 4. リヤシートのバックレストを垂直位置に戻してください。

Cayenne Coupé：ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットのクロス バーで衝突を回避します。

フロントのラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り付け

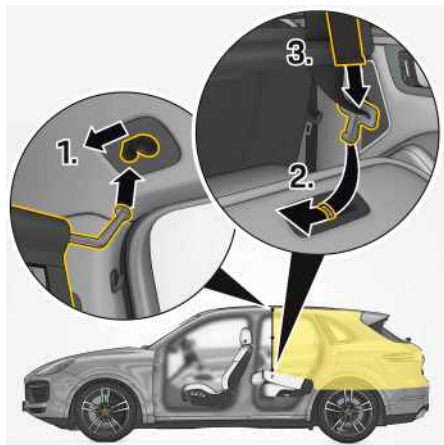


図 202：フロントのラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り付け

✓ リヤ シート バックレストは前に倒れています。

1. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの天井の左右のフロント固定リングにはめ込んでください。
ルーフ アンカーが小さなリングにはまっていることを確認してください。
2. ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネットを下部フック B を使用して、バックレスト左右のタイダウン リングにはめ込んでください。
3. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットをベルト ストラップを使用して張ってください。
ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットが垂直に張られていることを確認してください。

ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットの取り外し

1. タイダウン ベルト ルースナー C を使用してベルト ストラップをゆるめます。
2. ラゲッジコンパートメント パーテーション ネットを上部固定リングと下部フックから外します。

リヤ スпойラー

✓ Cayenne Coupé



警告

エアロダイナミクスの変化

リヤ スпойラーの故障に関するインストルメント パネルの警告メッセージは、高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれることを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ 修理工場で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リヤ スпойラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

オート モード

リヤ スпойラーの自動展開および格納には、様々な条件が関係します。

リヤ スпойラーの自動展開は、約 56 mph (90 km/h) で作動します。

リヤ スпойラーの自動格納は、約 37 mph (60 km/h) で作動します。

リヤ スпойラー コントロールに不具合がある場合、インストルメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

サービス ポジション



注意

リヤ スпойラーの展開および格納

停車中にリヤ スпойラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間

に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤ スпойラーが可動する範囲に人がいないことを確認してください。

知識

リヤ スпойラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤ スпойラーを持って車両を押さないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、リヤ スпойラーを格納してください。

リヤ スпойラーは、手動洗浄のために PCM を介して手動で展開および格納することができます。

リヤ スпойラーの展開

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ イグニッション ON。

1. 車両  ▶ ドライブ  ▶ スポイラーを選択してください。

2. スイッチスポイラーを押してください。
スポイラーが展開しています。スポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

- ▶ 洗浄後、リヤ スпойラーを格納してください。

リヤ スпойラーの格納

1. 車両  ▶ ドライブ  ▶ スポイラーを選択してください。

2. リヤ スпойラーが完全に格納されるまでスポイラーを押し続けてください。
リヤ スпойラーはオート モードに切り替わりません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤリッド

リヤリッドの開閉



危険

有毒な排気ガスの吸い込み

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。



警告

オートマチック リヤリッドの不用意な開閉

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、怪我をする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は停車中のみにしてください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、作動範囲内に人や動物がいないことを確認してから行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。

知識

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤリッドがガレージの天井や突き出た荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください (ルーフトランスポート システムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジ コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

ボタンでリヤリッドを車外から開く



図 203：リヤリッドのロック解除ボタン

- ✓ ロック解除された車両 (Porsche コンフォート アクセス非装備車)。
- または –
- ✓ キーを携帯している (Porsche コンフォート アクセス装備車)
- ▶ ボタンを押してください。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

キーでリヤリッドを開く

- ✓ イグニッションが OFF になっている

- ▶ キーの ボタンを押してください。
設定によっては、車両のロックが解除されます。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

足動作でリヤリッドを開く



注意

リヤリッドの不用意な作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開くため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCM で機能を解除します。
- または –
- ▶ ボルシェ コンフォート アクセスを解除します。



図 204：足動作コントロール

- ✓ コンフォート アクセス装備車。
 - ✓ 機能が作動している。
 - ✓ イグニッションが OFF です。
 - ✓ キーを携帯します。
1. 車両の後方中央に立ってください。
 2. 足を車両後方に向けて前後に一回の動作で動かします。
リヤリッドは、設定した高さまで開きます。
セントラル ディスプレイでこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ ロック

i インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できないかもしれません：

- － 悪天候 (雨、雪または凍結)。
- － バンパーが汚れている場合。
- － 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

運転席ドアのボタンを操作してリヤ リッドを開きます。



図 205：運転席ドアのリヤリッド ボタン

- ▶ 運転席ドアのボタン A を押してください。
リヤ リッドは、設定した高さまで開きます。

リヤ リッドを開く高さの設定

リヤ リッドを開く高さは個別に設定できます。

レベル コントロール 装備車は、必ず車両が最も高い状態にある時にリヤ リッドの高さを調整してください。

- ▶ 「エア サスペンションおよびレベルコントロール システム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章 (58 ページ) を参照してください。

1. 車両の後方に立ってリヤ リッドを開いてください。
2. 開作動を中断するには、リヤ リッドのトリム パネル内またはキーのボタン  を押します。
3. リヤ リッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤ リッドのトリム パネルのボタン A (図 206) を約 3 秒間押し続けてください。
設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

リヤ リッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤ リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた後すぐに不意に下がると、パワー メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤ リッドの動きが止まってから約 1 秒が経過すると、自動停止が無効になります。

リヤ リッドの閉操作

運転席ドアのボタンを操作してリヤ リッドを閉じる

- ✓ イグニッションを ON にする
- ▶ リヤ リッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン A を押し続けてください。
警告音が鳴り、リヤ リッドが閉じます。

リヤ リッドのトリム パネルのボタンを操作してリヤ リッドを閉じる

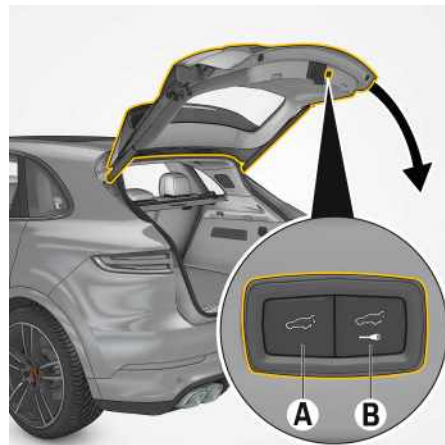


図 206：リヤ リッドのトリム パネルのボタン

- A リヤ リッドの閉操作
 - B リヤ リッドの閉操作と車両のロック (ボルシェ コンフォート アクセス)
- ▶ リヤ リッドのトリム パネルのボタン A を押してください。
リヤ リッドが閉じます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作し、リヤリッドを閉じてロックする

i インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スベアキーを使用しないとロック解除できません。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内がないことを確認してください。

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス。
 - ✓ キーを携帯する
 - ▶ リヤリッドのトリムパネルのボタン B を押してください。
- リヤリッドが閉じて、車両がロックされます。

リヤリッド閉作動中の障害物の検出

リヤリッドを閉じることが障害物により妨げられると、作動は中断されます。

警告音が鳴り、リヤリッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉作動を中断します：

- ▶ キーの  ボタン。
- または –
- 運転席ドアの  ボタン。
- または –
- リヤリッドのトリムパネル内のボタン A または B。
- または –

リヤリッドのリリースボタン。

– または –

足で動作をします。

- ▶ ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

テールゲートの緊急時解放

リヤリッドドライブの不具合

車両バッテリー電圧が低すぎる場合、自動機能が作動しません。リヤリッドを開くボタンが押されている場合、リヤリッドロックが解除され、警告音が短く 3 回鳴ります。ここで、リヤリッドを手動で開けることができます。

- ▶ 車両バッテリーを充電します。

– または –

故障により自動開閉機能が作動しない場合、

- ▶ テールゲートを手でゆっくり開閉します。

過剰負荷保護

リヤリッドドライブの過剰負荷が検出された場合、短い警告音が鳴ります。自動リヤリッド操作は約 30 秒間利用できません。

リヤリッドの緊急ロック解除の実行

(キーのバッテリー切れなどにより) キーでテールゲートを解放できない場合、

1. エマージェンシーキーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。
 2. 警報システムが作動しないよう、15 秒以内 (国により異なります) にイグニッションを ON にします。
 3. 運転席ドアの  ボタンを押します。
- リヤリッドのロックが解除されます。
4. 運転席ドアの  ボタンを押します。
 - または –
 - キーの  ボタンを押します。
 - または –

テールゲートのリリースボタンを押します。

– または –

リヤリッドの下端を掴み、手で開けます。

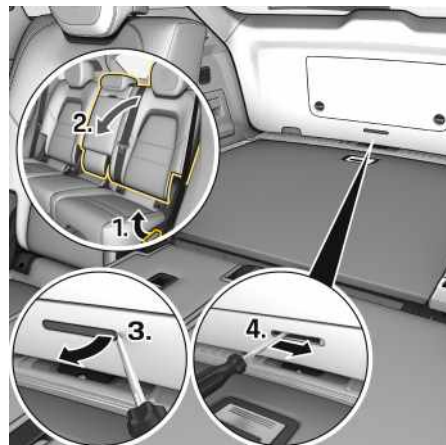


図 207: リヤリッドの緊急ロック解除の実行

(車両のバッテリー上がりなどにより) 依然としてテールゲートを開けない場合には、下記の緊急解除手順を実施する必要があります。

1. リヤシートバックレストを折りたたみます。
2. 折りたたまれたリヤシート上のラゲッジコンパートメントに入ります。
3. Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル：テールゲートの内側で、緊急解除用カバーを適切なツール (スクリュードライバなど) で取り外します。
- または –
- Cayenne Coupé：リヤリッドの内側で、スクリュードライバなど

の適切なツールを使用して緊急解除用カバーの切り欠きを突き通します。

4. リヤリッド解除用ロックをツール(スクレュードライバーなど)で矢印の方向に回します。
リヤリッドのロックが解除される音がします。
5. ここで、リヤリッドを手で開けることができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ルーフ システム

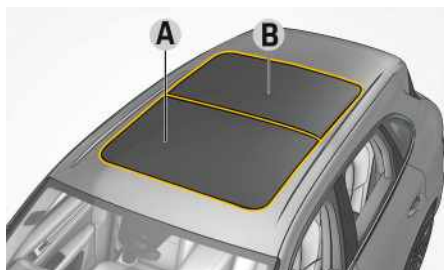


図 208: パノラミック ルーフ

- A スライディング/チルトガラス
B 固定式ガラス

ルーフ エLEMENT A は車両の前後方向に移動できます。チルト アップすることも可能です。
ルーフ エLEMENT B は固定されたガラス エLEMENT です。

ルーフ システムの開閉



警告

ルーフ システムを緊急に閉じる

ルーフ システムを緊急に閉じる場合、閉じる力が必要に応じて徐々に増加します。

- 誰もけがをしたり、挟まれたり、押しつぶされたりしないように注意してください。

インフォメーション

チルト位置でルーフ システムを開ける際、サン ブラインドは自動的に約 10 cm 開き、手動で全閉できません。

- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- または -
- ✓ イグニッションを OFF にしてから 10 分以内

- ✓ 運転席/助手席ドアをまだ開いていない



図 209: ルーフ システムの開閉

スイッチには 2 段階の作動位置があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

走行速度によっては、風の音がすることがあります。

1 段階目 - 手動操作

- 希望の位置に達するまで、スイッチを 1 段階目の位置まで該当する方向へ押すか、または引いてください。
スイッチを離すとプロセスが停止します。

2 段階目 - 自動操作

- 2 段階目まで該当する方向へスイッチを完全に押し下り引いたりしてください。
ルーフ システムが自動的に風切り音を最小限に抑える位置まで開 / 閉じます。
- ルーフ システムを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

ルーフ システムを完全に開く

ワンタッチ モードで、ルーフ システムは風切り音を最小限に抑える位置まで開きます (コンフォート ポジション)。ルーフ システムを完全に開くために:

- スイッチを開く方向にもう一度押してください。
ルーフ システムがいったいまで開きます。
- 走行速度によっては、風の音がすることがあります。

挟み込み防止機能が繰り返し作動した後の閉操作

閉作動が障害物に妨げられた場合、ルーフ システムは力を入れれば閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. ルーフ システムが閉じた位置に停止するまで、閉じる方向にスイッチを繰り返し押すか、押したままにします。

キーによるルーフ システムの開閉

ルーフ システムを開く

- 希望の位置に達するまでキーの ボタンを押し続けます。

ルーフ システムを閉じる

- 希望の位置に達するまでキーの ボタンを押し続けます。
すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが点滅します。

ドア ハンドルの近接センサーでルーフ システムを閉じる

- ✓ ポルシェ イージー エントリー
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯している。
- 希望の位置に達するまでドア ハンドルの近接センサーに触れます。
すべてのウィンドウとルーフ システムが閉じると、ハザード ライトが点滅します。

サン ブラインドの開閉操作



図 210 : サンブラインドの開閉

スイッチには 2 段階の作動位置があります。この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

1 段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、スイッチを 1 段階目の位置まで押すか、または引いてください。
スイッチを離すとプロセスが停止します。

2 段階目 - 自動操作

- ▶ 2 段階目までスイッチを押したり引いたりしてください。
サンブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- ▶ サン ブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

ルーフ システムとサンシェードの閉鎖

- ルーフ システムを閉じる間にサン ブラインドを閉じる場合 (ワンタッチ操作)、ルーフ システムが終端位置に達した後サン ブラインドが終端位置まで閉じます。
- サン ブラインドを閉じる間にルーフ システムを閉じる場合 (ワンタッチ操作)、サン ブラインドを閉じる動作が中断します。ルーフ システムが終端位置に達した後サン ブラインドが終端位置まで閉じます。

ルーフ システムおよびサン ブラインドの終端位置の保存



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフ システムおよびサン ブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

ルーフ システムの停止位置の保存

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- ✓ ルーフ システムを閉じてください。
- ▶ オーバーヘッド コンソールの (図 209) を下向きに、押したままにします。
約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
この閉作動と保存のプロセスは最大 45 秒で完了します。

サンシェード停止位置の保存

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- ✓ サンブラインドを閉じる。
- ▶ スイッチ (図 210) を押し続けてください。
約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
この閉作動と保存のプロセスは最大 45 秒で完了します。

サンシェードの清掃



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフ システムおよびサン ブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ✓ 車両は停止している。
- ✓ イグニッションを ON にしてください。
- 1. ルーフ システムを完全に開放する。
- 2. ロールアップ サンシェードを可能な限り閉じてください。
- 3. サン ブラインド スイッチ (図 210) を押してください。
サンブラインドが 10 秒後に閉じ始めます。
- 4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
- 5. 汚れを取り除きます。

清掃機能を終了します。

- ▶ 走行しはじめると、
- または -
ルーフ システムを操作します。
- または -
サンブロードを操作します。

ルーフ ドライブが故障している場合にルーフ システムを閉じる

ルーフ システムを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ルーフ スポイラー

✓ 展開式ルーフ スポイラー装備車

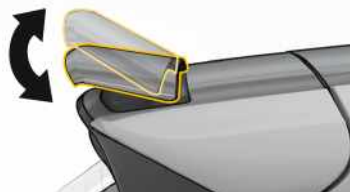


図 211 : ルーフ スポイラー

ルーフ スポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

オート モード

ルーフ スポイラーの自動展開および格納には、走行速度またパノラミック ルーフが開いているかなど、様々な条件が関係します。

自動コントロール システムが故障した場合、インストルメント クラスタにルーフ スポイラーの故障に関する警告メッセージが表示されます。

▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。



警告

エアロダイナミクスの変化

ルーフ スポイラーの故障に関するインストルメント クラスタの警告メッセージは、高速走行時にリア アクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれことを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ 修理工場で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新

の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル モード

イグニッションが ON の場合、ルーフ スポイラーは、ダッシュボード内のタッチ ディスプレイを使用して、手動で展開および格納することができます。

手動で展開

- ▶ 車両 ▶ ドライブ ▶ スポイラーを選択します。
- 現在のスポイラー位置は、車両モデルに表示されます。



インフォメーション

選択したスポイラー位置は、個別モードに保存できます。

手動で格納

1. 車両 ▶ ドライブ を選択します。
2. 現在のスピードが 15 km/h 未満の場合: ルーフ スポイラーが完全に格納されるまでスポイラー ボタンを押し続けてください。
– または –
現在のスピードが 15 km/h を超えている場合: スポイラー ボタンを短く押してください。
ルーフ スポイラーはオート モードに切り替わります。



注意

ルーフ スポイラーの格納および展開

停車中にルーフ スポイラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の

間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ ルーフ スポイラーが可動する範囲に人がいないことを確認してください。

知識

ルーフ スポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ ルーフ スポイラーを持って車両を押さないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ スポイラーを格納してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ルーフ トランスポート システム

ルーフに載せて荷物を運ぶ



警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムまたは積載器具

固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー / スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフ トランスポート システムや積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニング スクリューを再度締め付けます。



警告

車両操縦性の変化

ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 走行スタイルを積荷に合わせてください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 荷物を積載せずにルーフ トランスポート システムを装着するときは、180 km/h 以上の速度で走行しないでください。



警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくないと、走行中に荷物がルーフ トランスポート システムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を積む際には、荷物がシステムから横にはみ出さないようにしてください。荷物の幅が絶対に車両の幅を超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフ トランスポート システム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に均等に分散されるようにしてください。

知識

ルーフ トランスポート システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ トランスポート システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ トランスポート システムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。



インフォメーション

- ▶ ルーフ トランスポート システムを装着すると、燃料消費や騒音が増えるため、未使用時には車両から取り外してください。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ トランスポート システムや他の補助アタッチメント [スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど] を使用してください。

- ▶ ボルシェがテストを行い承認したルーフ トランスポート システムのみを使用してください。市販のルーフラックシステムは使用できません。

ルーフ トランスポート システムの詳細については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフ トランスポート システムの取り付け

- ✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル



図 212 : ルーフ トランスポート システムの構成部品

- A フロント キャリア バー (ロング)
- B リヤ キャリア バー (ショート)
- C カバー トリム
- D キー

- ✓ キャリア バーのサポートおよびキャリア バーのサポート表面部分のルーフ レールが清掃されている。
- 1. キーを使用して反時計回りにカバーのロックを解除します。

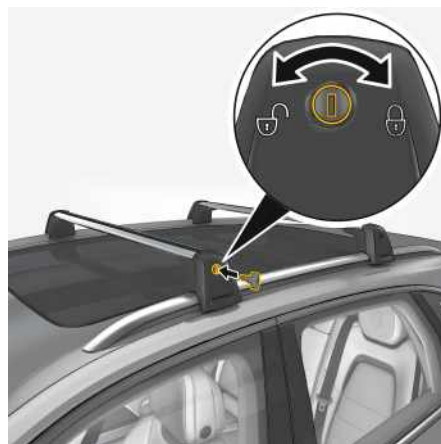


図 213 : カバーのロック解除

- 2. カバーが完全にかみ合うまで 2 段階引き上げます。
- カバーに負担がかかっていないことを確認してください。

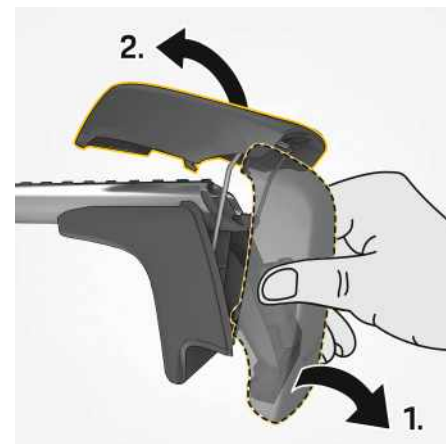


図 214 : カバーを持ち上げる

- 3. ファスニング スクリューを引き出し、反時計方向に止まるまで回します。



図 215 : ファスニング スクリューを取り外して、反時計方向に回します。

4. ステッカーに基づきフロント キャリア バーとリヤ キャリア バーを識別し、ルーフ レールの上に慎重に置きます。
ステッカーが走行方向の左側にあることを確認してください。
5. 穴 B のマークが付いた箇所にキャリア バー用 ロック ピン A を取り付けます。



図 216 : キャリアをルーフに取り付ける

6. キャリア バーがルーフ レールに正しく固定されていることを確認してください。
7. ファスニング スクリューを時計回りに対角交互順に軽く締め付けてください。まだ完全には締め付けしないでください。
ロック ピンおよびキャリア バーが固定され動かないことを確認してください。
8. ファスニング スクリューを時計回りに対角交互順にカチッと音がするまで締め付けてから、押し込みます。
9. カバーを閉じ、キーを使用して時計回りにロックします。

i インフォメーション

- ▶ 短時間走行した後に固定金具を締め直し、定期的な再点検してください。
- ▶ 悪路ではスクリューの接続を頻繁に確認する必要があります。取り付け部品のゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

ルーフ トランスポート システムの取り付け

✓ Cayenne Coupé

初めての取り付け

- ▶ ルーフ トランスポート システムの初めての取り付けは、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

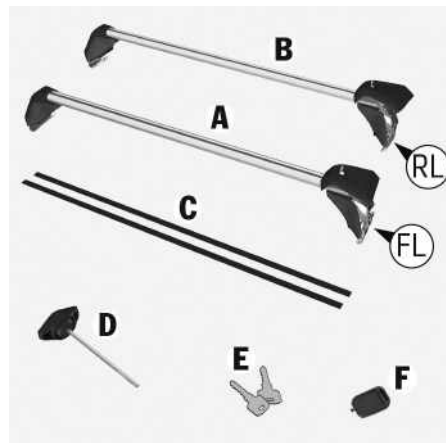


図 217 : ルーフ トランスポート システムの構成部品

- A フロント キャリア バー (ロング)
側面ごとにロック ピン 2 個 (FL/FR)
- B リヤ キャリア バー (ショート)
側面ごとにロック ピン 2 個 (RL/RR)
- C カバー トリム
- D トルク レンチ
- E キー
- F ルーフ キャッチ用の取り外しツール

- ✓ キャリア バーのサポート部分のルーフとドアおよびキャリア バーのサポートの塗装面を清掃します。



図 218: ルーフ キャッチの取り外し

1. 取り外し用ツールを使用してすべてのルーフ キャッチを引き出します。

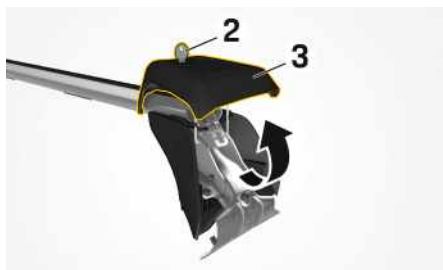


図 219: カバー フラップのロックおよび持ち上げ

2. カバー フラップをキーでロック解除します。
3. 固定された音がするまで、カバー フラップを起こします。



図 220: キャリア サポートでファスニング ブラケットを固定します。

4. トルク レンチを使用してファスニング スクリューを反時計方向にゆるめますが、完全には取り外しません。

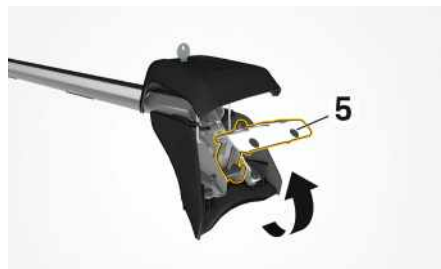


図 221: ファスニング ブラケットを上方向に回転させ、キャリア サポートに固定します。

5. ファスニング ブラケットを上方向に回転させ、キャリア サポートに固定します。
6. 車両のドアを開けます。

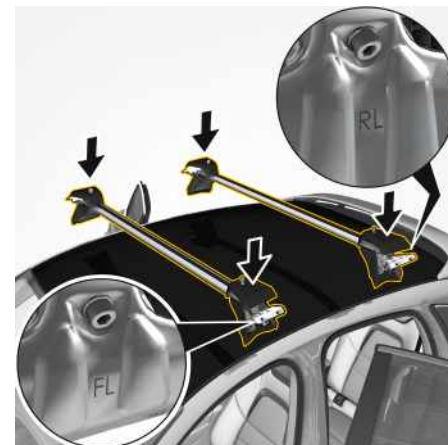


図 222: キャリアをルーフに取り付ける

7. 位置マークが車両の正しい側に来るように、キャリアをルーフに慎重に置きます。
FL 左フロント / FR 右フロント / RL 左リア / RR 右リア。

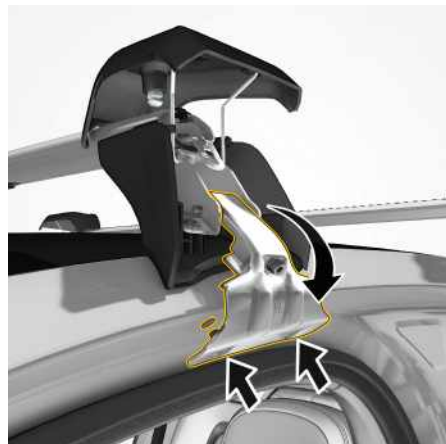


図 223 : ファスニング ブラケットを取り外し、ロック ピンを挿入します。

8. アングル ブラケットを外して、ロック ピンをルーフ フレームの内側の該当する穴に挿入してください。
9. ファスニング ブラケットを上方向に押してください。力をかけずにファスニング ブラケットを上方向に押すことができない場合、キャリアを再調整してください。
10. 両方のキャリアのサポート底部のファスニング スクリューを軽く締め付けます。まだ完全には締め付けしないでください。ロック ピンおよびキャリアが固定され、動かないことを確認します。
11. トルク レンチを使用して、ファスニング スクリューを反時計回りに約 3,5~4,5 Nm のトルクで締め付けます。
12. カバーを閉じ、キーを時計回りに回します。最後に、必要に応じてカバー トリムを挿入します。

i インフォメーション

- ▶ 短時間走行した後に固定金具を締め直し、定期的に再点検してください。
- ▶ 悪路ではスクリーウの接続を頻繁に確認する必要があります。取り付け部品のゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

アクセサリ取り付け

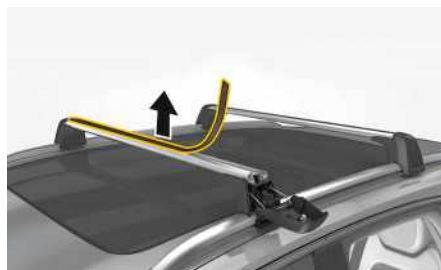


図 224 : 適切なサイズへのカバー トリムの切断と挿入

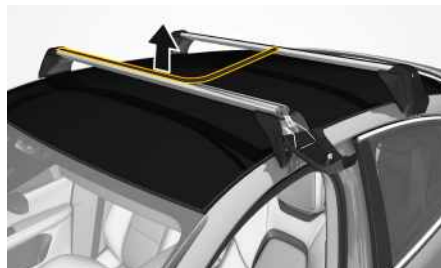


図 225 : マウント部品の取り付け (Cayenne Coupé)

- ✓ カバーが開いています。

1. T 溝からカバー トリムを取り外します。
2. 提供されたT-溝に実装部品を取り付けます。
3. カバーを閉じ、キーを使用して時計回りにロックします。
4. 必ずフィッティングと固定実装部品に関連するインストール手順をお読みください。

レーンキープアシスト

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムは、その制限内で、車両が走行車線に留まるようにドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは、たとえレーンキープアシストが作動中であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。ドライバーは常にステアリングホイールを保持していなければなりません。
- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。
- ▶ インストルメントクラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けしないでください。



警告

ステアリング介入がない、またはほとんどない

急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。同様に、ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が低減されるか、または行われないこ

とがあります。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握っていただきます。
- ▶ 交通状況と車両の周囲を必ず確認してください。
- ▶ インストルメントクラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。



警告

ステアリング介入による補正が不十分

トラックのわだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両が走行車線に保つには不十分な場合があります。

- ▶ そのような状況では、積極的なステアリング操作によりアシストしてください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは必ず両手で保持してください。



インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

システム制限



警告

物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両が車線内に維持できなかったり、機能ステータスが作動中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります! 以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候(霧、雪、または豪雨など)
- 道路状態が悪い状況(路面状態、道路のくぼみ、汚れた路面を含む)
- 道路工事区間
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い郊外の道での走行
- ▶ これらの状況ではシステムを使用しないでください。



警告

カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷など、さまざまな要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された場合にのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動したり、発動しなかった

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

りする場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 常に進行方向に気を配り、車線から目を離さないでください。
- ▶ カメラ レンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラ レンズを覆わないでください。
- ▶ カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

システムは限られた範囲で使用できます

次の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行しています。
- 走行車線の車線区分線が検出されません。(雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトまたは前走車が近いなどの場合)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーン キープ アシストが起動できません。
- カーブの半径が小さすぎます。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎます。
- 車線区分線が車両に近すぎます。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われています。
- 方向指示灯が作動中です。
- システムにより、ドライバーがステアリング ホイールを握っていないことが検出されました。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (91ページ) を参照してください。

作動原理



図 226: フロント ウィンドウ カメラ

レーン キープ アシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。このため、システムはフロント カメラ (A) を使用し、白線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された白線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。ドライバーはいつでもこのステアリング介入を無効にできます。

方向指示灯を使用せずに車両が白線を横切の場合、システムは警告音を発することによってドライバーに警告することができます。このためには、セントラルディスプレイで警告音を有効にする必要があります。車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告や補正ステアリングは行われません。この場合、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h～250 km/h の速度範囲で作動します。

レーン チェンジ アシスト 装備車

車両がレーン チェンジ アシストを装備している場合、危険な状況の可能性がある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行ってドライバーに警告します。該当する方向に方向指示灯を出す場合も、ステアリング介入が行われま

す。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (有効である場合)。

- ▶ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章 (276 ページ) を参照してください。

ステアリングが操作されない場合の挙動

レーン キープ アシストが ON で有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合 (ステアリング ホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメント クラスタに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

各操作部



図 227: コントロール レバー

- R ドライバー アシスタンスシステムの ON/OFF の切り替え
- S ドライバー アシスタンス システム間の切り替え

ディスプレイの要素



図 228 : 「速度 & アシスト」ディスプレイ

- A レーンキープアシストの表示
B 車線区分線の表示
C ステータス表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車

アシスト メイン メニューの「速度 & アシスト機能」ディスプレイには、車線区分線 B とステータス ディスプレイ C が表示されます。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータス ディスプレイ C にのみ表示されます。

システム状態の読み取り

表には、レーンキープアシストのシステム状態およびインストルメント クラスターのディスプレイが表示されます。

レーンキープアシストの表示	ステータス表示	意味
表示なし	表示なし	レーンキープアシストが OFF です。
		レーンキープアシストは ON ですが停止中です。
		レーンキープアシストは ON で両側作動しています。
		車線区分線は片側のみ検出されます。
		レーンキープアシストが有効で右側に警告がある場合、ドライバーは車線を逸脱しています。

レーンキープアシストの ON および OFF の切り替え

レーンキープアシストの ON/OFF は PCM 内で切り替えることができます。

- コントロール レバーの R ボタンを押します。
ドライバー アシスタンス システムが ON になります。
- コントロール レバーの S ボタンを押します。

利用可能なドライバー アシスタンス システムがインストルメント クラスターに表示されます。

- ステアリング ホイールの左側のロータリー プッシュ ボタンを使用してレーンキープアシストを選択し、ボタンを押して確定します。

— または —

PCM でのレーンキープアシストの選択：

▶ 、アシスト ▶ レーンキープアシスト ▶

レーンキープアシストが作動しているときにステアリング介入による補正が行われると、インストルメントクラスターで対応する車線が赤くマークされます。さらに、車両が車線区分線を超えると警告音が鳴ります。

警告音の設定

▶ アシスト ▶ ▶ アシスト システム設定 ▶ レーンキープアシスト

警告音は別個に ON/OFF を切り替えることができます。警告シグナル音量も 3 段階で選択できます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

レーンチェンジアシスト (LCA)

レーンチェンジアシストは、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーの一体化されている警告インジケーターが直ちに点灯します。

運転速度がレーンチェンジアシストが作動する範囲未満の場合は、分岐点で補助リヤターンアシストも車両後方をモニターしてドライバーをサポートします。リヤターンアシストは常に自動で作動して、レーンチェンジアシストと連携します。



図 229: ドアミラーの警告インジケーター A

レーンチェンジアシストの ON/OFF の切り替え

車線変更補助は PCM で ON/OFF を切り替えることができます。

▶ アシスト ▶ レーンチェンジアシスト

レーンチェンジアシストが作動中は、 シンボルがインストルメントクラスターに表示されます。

⚠ 警告

集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は、急カーブ、頂上手前、および悪天候時（雨、雪、氷、多量の水しぶき）では低下する場合があります。車両を正しく検出できなかったり、全く検出できなかったりすることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告

車両が検出されない

次のような状況では、システムはタイミングよく車両を検知できない場合があります。

- レーダーセンサーの視界は、悪天候時（雨、雪、氷、多量の水しぶき）、急カーブ、頂上手前では低下する場合があります。
- レーンチェンジアシストは、速度が約 15 km/h 以上の場合のみ、接近する車両または死角エリアの車両について警告します。
- 後方から高速で接近する車両や後方に遠ざかっていく車両。
- 曲がるときなど、車両が車線の方向を向いておらず、車線に対して斜めまたは直角になっている場合は、接近する車両をレーダーセンサーで検出することはできません。
- リヤターンアシストでは、車両と動いている物体、または静止している物体との間の速度差が小

さい場合には、固定物（金属柱など）により警告が作動したり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。

- リヤターンアシストは発進時に作動します。そのため、既に動いている車両や発進している車両が検出されなかったり、遅れて検出されたりする可能性があります。すぐ真横の車両も、センサーの検出範囲外であるために検出されないことがあります。
- リヤ衝突警告は、交差車両、投影面積が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

一般情報

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤターンアシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示器が作動している車両の側に対して発進時にのみ作動します。
- 約 20 km/h までリヤターンアシストは有効になります。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤターンアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
- このインジケータはドライバーがドアミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

i インフォメーション

例えば、レーダーセンサーの位置が事故後に変った場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケーターステッカーなどで覆わないでください。
- ▶ バンパーにさらに上塗りすると、塗料の厚い層ができて、センサーの反応が悪くなる可能性があります。その塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図 230：リヤバンパー内のレーダーセンサー

作動原理

レーンチェンジアシストは、リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方 70 m までの範囲および死角を監視しています。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当する外部ミラーに表示します。車両の右側および左側は個別に表示されます。例えば、左外部ミラーの警告インジケータはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約 15 km/h (9 mph) 未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケータが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

発進直後は車線変更補助の速度範囲に達しません。それに達するまで、ドライバーはリアターンアシストを介してサポートされます。

方向指示器の作動時にリヤターンアシストは車両の横および後ろの物体を検出しますが、インジケータが作動している側に対してのみ作動します。危険の可能性を検知すると、ドアミラーの各警告インジケータが点灯します。自分自身の計算された運転経路がインジケータが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドアミラーの各警告インジケータが数回明るく短く点滅します。

i インフォメーション

レーダーセンサーは左右隣の車線を監視します。他の車線は、レーダーセンサーにより監視されません。

情報および警告ステージ

レーンチェンジアシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケータ作動ステージがあります。

インフォメーション ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当する外部ミラーの警告インジケータが弱い光で点灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

警告ステージ

方向指示器がONで、レーンチェンジアシストが危険とみなされる側で車両を検出した場合、検出した側のドアミラーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく短く点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

レーンチェンジアシストの画面の明るさの設定

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）の明るさは、周囲の明るさによって自動的に調整されます。ドアミラーの警告インジケーターの基本的な明るさも調節可能です。

- ▶ アシスト  ▶  ▶ アシスト システムの設定
- ▶ レーンチェンジアシスト

i インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドアミラーの警告インジケーターは早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケーターがまだ作動していても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。
- その他のアシスタンス システム装備車で、インジケーター がON でない場合でもドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅することは可能です。車両が走行している車線から隣の車線へそれているのをレーン キープ アシストが検出する場合、レーンチェンジアシストは短く明るく数回点滅することにより危険な状況が発生する可能性があることを知らせます。

運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリヤ ターン アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

高速で接近する車両

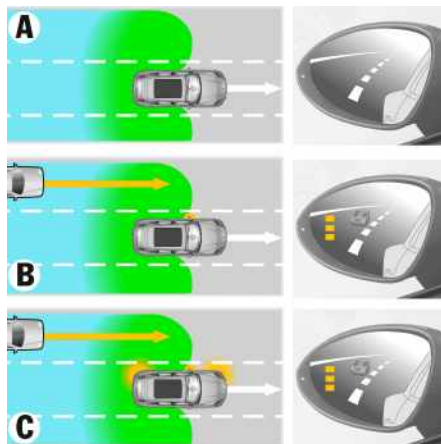


図 231: 高速で接近する車両

A – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出した（図の例は左車線を示しています）。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
運転状況 B でドライバーが方向指示器を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し

ます。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと接近する車両

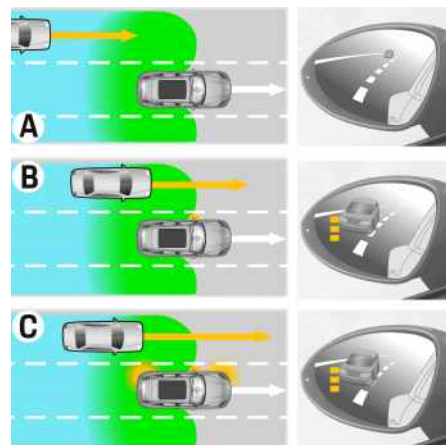


図 232: ゆっくりと接近する車両

A – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました（図の例は左車線を示す）。速度差が小さくて車間距離が大きいため、ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと遠ざかる車両

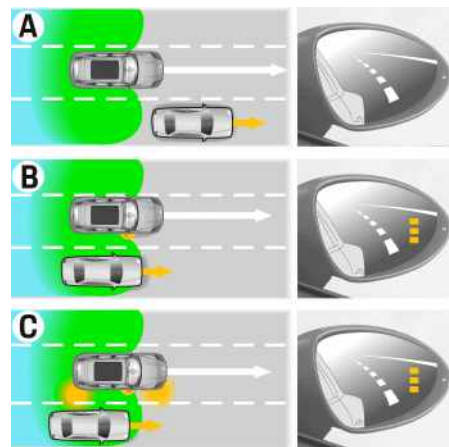


図 233: ゆっくりと遠ざかる車両

A – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 未満) を右側車線で検出しました。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

速く遠ざかる車両

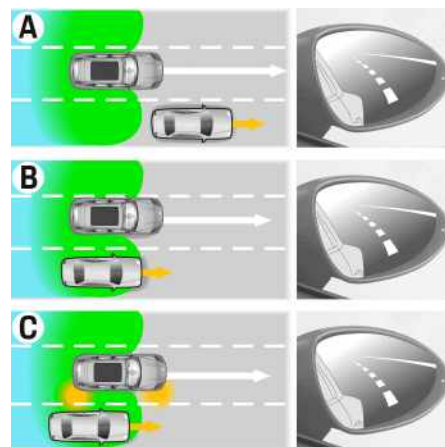


図 234: 速く遠ざかる車両

A – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 以上) を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 以上) を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

C – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケーターは作動しません。

車線変更をするために加速する

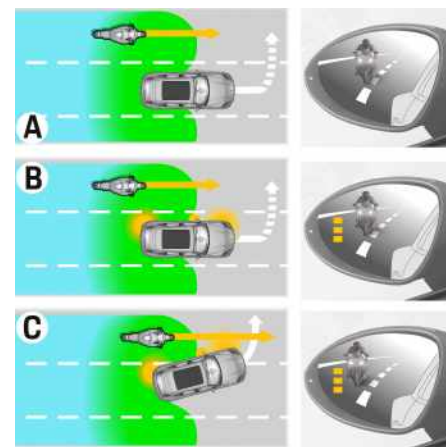


図 235: 車線変更をするために加速する

A – ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない
方向指示器灯は作動していません。車両発進後、リヤターンアシストは無効であり、死角にいるバイクは検出されません。高速で接近する車両も検出できない可能性があります。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

運転状況 A で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドアミラーの警告インジケーターは点灯します。ターンアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B の場合、ドライバーは該当する側へステアリング操作を行うことにより、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになり、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し、点灯します。これにより、見落とされた可能性のある車両との衝突の可能性をドライバーに警告します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーンチェンジアシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケータを点灯することがあります。レーンチェンジアシストは急カーブでは車両を検出できません。

- ▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーンチェンジアシストの検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーンチェンジアシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

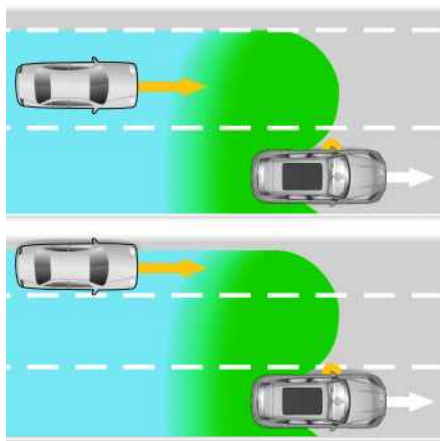


図 236 : 車線の幅と検出エリア

Apple CarPlay

PCM で Apple CarPlay を開く



図 237: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上。
- ✓ 使用中の iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ USB アダプターなしの、損傷のない Apple 純正ケーブルを使用している。トラブルなく使用するためです。

1. iPhone をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) A に接続します。
2. Apple CarPlay を使用していることを確認します。利用可能なアプリが表示されます。Apple CarPlay が開きます。

- ▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、**Apple CarPlay** を選択します。

インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone のアプリのみを表示することができます。対応アプリに関するインフォメーション: www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。ご契約になっている携帯電話の料金体系によっては、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230 ページ) を参照してください。

PCM での Apple CarPlay の操作

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで操作できます。

- ▶ **Apple CarPlay** でメイン メニューを開くには、PCM のタッチ ディスプレイのホーム ボタンを押します。

- ▶ PCM のメイン機能に切り替えるには、**Apple CarPlay** ▶ **ボルシェ** を選択します。

- または -

- ▶ いずれかの機能 (例: メディア) を選択します。

Siri 音声認識機能を使用する Apple CarPlay の操作

Siri の起動

- ✓ 使用している iPhone の設定で Siri が有効になっている。
- ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パークアシストがアクティブになっていない。
- ✓ PCM ボイス コントロールは無効です。

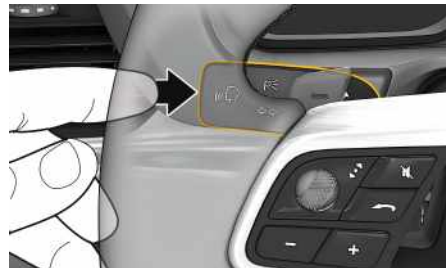


図 238: レバーのボイス コントロール ボタン

1. レバーの ボイス コントロール ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Siri の終了

- ✓ Siri が作動していて、ボイス コマンドを待機している。
- ▶ レバーの ボイス コントロール ボタンを押します。終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報:

- ▶ 「ボイス コントロール」の章 (217 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

Apple CarPlay と、iPod として使用する iPhone を切り替える

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、Apple CarPlay を使用するかを切り替えることができます。

1. (接続状況に応じて) ヘッダーの  または  を選択して、デバイス マネージャーを呼び出します。
2. ご使用中の iPhone のリンク  を選択してください。

HOLD 機能：停止制御

一般的な安全に関する指示



警告

上り坂での僅かな後退

ドライバーがブレーキペダルを作動させずに急な勾配で車両が停止すると、HOLD 機能が止めるまで車両が後退することがあります。この場合、ブレーキペダルを踏むことで後退を少なくすることができます。

- ▶ ブレーキペダルの操作でブレーキ力を大きくすることにより、車両の保持をアシストします。



警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

- ▶ 常に走行スタイルを路面状態および車両荷重に合わせて調整してください。必要な場合はフットブレーキを使用します。
HOLD 機能が作動しないと、ドライバーは坂道発進アシストを受けられません。
- ▶ フットブレーキで車両の停車状態を維持します。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 「警告およびインフォメーションメッセージ」の章（91ページ）を参照してください。

作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

ブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止し、進行方向に対して後退しないように制御されます。

HOLD 機能が作動すると、インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアを開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動します。HOLD 機能作動時に、通常操作で発進することもできます。



インフォメーション

車両がエレクトリックパーキングブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。エレクトリックパーキングブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキングブレーキを自動解除します。

- ▶ 「ブレーキ」の章（208ページ）を参照してください。



インフォメーション

HOLD 機能は無効です。

- 作動モード **P** と **N**：HOLD 機能が作動中にティプトロニック S 作動モードを選択すると、HOLD 機能は解除されます。
- 車両が停止していない場合。
- エンジンが手動で OFF にされた場合。
- 坂道の勾配率が 5 % 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。
- ブレーキペダルを踏む力が不十分な場合。

HOLD 機能を作動する

- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されている。
- ▶ 車両が停止するまでブレーキペダルを踏みます。HOLD 機能が作動しています。ブレーキペダルを踏まなくても、車両は停止状態を保ちます。



インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。これは、ブレーキペダルを連続的に押下することなく、停止時の車両を維持します。セレクターレバー変速レンジ位置の瞬間的な変化は、この場合、HOLD 機能を解除しません。



インフォメーション

HOLD 機能が有効であるとき、運転者はブレーキペダルの違いを感じることができ、油圧ノイズが聞こえます。これはシステムの正常な作動であり、障害がありません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

OFFにする

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック ブレーキ システム(ABS)とエンジン ドラッグ トルク コントロール システム(MSR)の機能と同様にオートマチック ブレーキ ディファレンシャル(ABD)とアンチスリップ コントロール(ASR)システムの両方を利用します。



警告

車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSM の利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント クラスターの PSM 警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSM がブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチ スリップ コントロール(ASR)

アンチ スリップ コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン ドラッグ トルク コントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン ドラッグ トルク コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリングトルク パルス

ステアリングトルク パルスは摩擦係数が異なる路面でブレーキをかける場合に運転者のステアリング アシストを行います。カウンター ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMスポーツの作動

- ✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車。

PSMスポーツ モードでは、システムが特定のスポーツモードに切り替わります。



警告

PSM サポート制限

PSM スポーツ モードの場合、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況では PSM サポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを必ず OFF にしておいてください。
- ▶ スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM スポーツを有効にしないでください。
- ▶ ⓘ ボタンを短く押してください。
ボタンのインジケーター ライトとインストルメント パネルの PSM OFF 警告灯 ⓘ が点灯します。インストルメント クラスタに PSM スポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSMをOFFにする



図 239 : センター コンソールのPSM OFFボタン



警告

PSM サポートなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況で PSM サポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では、常に PSM スポーツを必ず OFF にしておいてください。
- ▶ スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM を OFF にしないでください。
- ▶ ⓘ ボタンを 2 秒以上押してください。
ボタンを押してから実際に PSM が OFF になるまでには、若干の遅れがあります。
ボタンのインジケーター ライトとインストルメント パネルの PSM OFF 警告灯 ⓘ が点灯します。
インストルメント クラスタに PSM が停止したことを示すメッセージが表示されます。



インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車体は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしているもブレーキをかけて空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：

- － ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
- － ぬかるみなどから脱出するとき。

i インフォメーション

PSMスポーツ モードが作動しているとき、PSMを事前にONにしていた場合のみPSM OFFモードへの切り替えが可能です。

PSMを再度ONにする

- ▶ ボタンを押してください。
直ちに PSM が復帰します。
ボタンのインジケーター ライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯が消灯します。
インストルメント クラスタに PSM が作動していることを示すメッセージが表示されます。

警告メッセージへの対応

ABS警告灯に関する情報：

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（91ページ）を参照してください。

ABS ブレーキ システム



警告

車両コントロールの喪失

ABS は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABS が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ ABS の利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABSの特徴：

- － ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- － 優れた走行安定性：ホイール ロックによるスリップを回避します。
- － 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- － ホイール ロックの回避：ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット スポットを回避できます。

機能

ABSが最も効果を発揮するのは、緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し、安定したステアリングコントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール ロック を回避します。ホイールがロックする傾向見せた時ABSは作動し始めます。

このブレーキ コントロールは、大変小刻みなポンピング ブレーキをかけるのと同じような状態です。この脈動するブレーキペダルや振動音は、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合：

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ ペダルが振動してもしっかりとブレーキ ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関するインフォメーション：

- ▶ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（91ページ）を参照してください。

マルチコリジョン ブレーキング

マルチコリジョン ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- － 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- － エアバッグ コントロール ユニットが事故の際に該当する作動しきい値を検出したとき
- － 約 10 km/h を超える車速で走行しているときに事故が発生した場合。

i インフォメーション

事故の時にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させ減速させます。

例外条件

以下の状況では、事故があっても自動的にブレーキは作動しません：

- － ドライバーが強くアクセル ペダルを踏んだとき。
- － ドライバーがブレーキ ペダルを踏み込んだときのブレーキ圧がシステムのブレーキ圧より高いとき。

緊急電話システム

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な緊急電話システムが使用される場合があります。緊急状況または危険な状況で、緊急電話システムを介してヘルプを要求することができます。

プライベート モードの作動中であっても、故障時または緊急電話発信時や盗難発生時には車両の位置情報が送信できます。

緊急電話

- ✓ 利用可能な携帯電話ネットワーク
- ✓ 緊急電話システムは (イグニッションを ON にした約 20 秒後) 操作できます

i インフォメーション

緊急電話システムは、独立したモバイル通信モジュールを特徴とするため、携帯電話が車両にログインすることを必要としません。

ボルシェの影響範囲外の技術的または組織的な制限のため (ローミングまたは作動中の SIM カードがないなど)、状況により特定の緊急電話センターに緊急電話を確立することができない場合があります。この場合、緊急電話は公共の緊急電話センター (911) に確立されます (国別仕様により異なります)。公共の緊急電話センターは、緊急電話システムから送信されたデータを処理して、必要なレスキュー措置を特定する (例: 車両の現在の位置は自動的に通信されません) ことはできません。

▶ 「データ送信」の章 (287ページ) を参照してください。

悪い状況下では、緊急電話センターへの緊急電話を保証することはできません (利用可能な携帯電話ネットワークがないなど)。

車両バッテリーが切断されているか故障している場合、一体型バッテリーは緊急電話センターからのクエリのために少なくとも 1 時間利用できます。

i インフォメーション

カバー フラップが開いているときに、SOS ボタンを誤って押して、緊急電話を不意に作動させてしまう場合があります。

- ▶ 走行中は、SOS ボタンのカバー フラップを必ず閉じてください。
- ▶ 緊急時にのみ SOS ボタンを押してください。

緊急電話を SOS ボタンを介して作動

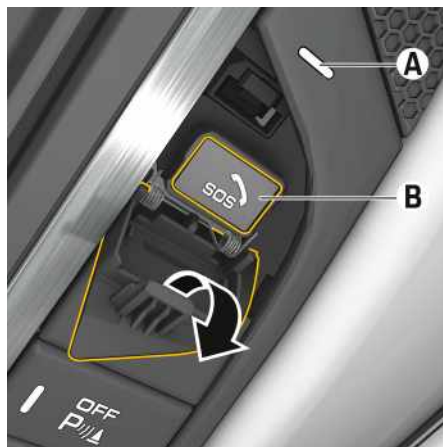


図 240 : SOS ボタンとインジケータ ライト

- A インジケータ ライト
- B SOS ボタン

i インフォメーション

緊急電話はイグニッションが OFF の場合に作動することができません。

1. カバー フラップを開いてください。
2. SOS ボタン B を 1 秒以上押してください。SOS ボタン B を 6 秒間以内に 1 秒以上再度押した場合に、携帯電話は中断されます。
緊急電話センターに通話を確立している最中に、インジケータ ライト A は緑色に点滅します。
3. 状況が許す場合は、緊急電話センターへ通話が確立されるまで、車内でお待ちください。
緊急電話センターに通話が確立されたときに、インジケータ ライト A は緑色に点滅します。
緊急電話センターからのクエリが未回答なままの場合、レスキュー措置が自動的に始動します。

i インフォメーション

インジケータ ライトが点滅しても、スピーカーが故障しているなどの理由でスピーカーから緊急電話センターが聞こえない場合があります。しかし、緊急電話センターは声を聞き取ることができています。

インジケータ ライト ステータス表示

インジケータ ライト	ステータス
OFF	緊急電話システムは OFF
緑色に点灯	緊急電話システムを操作できます

赤色に点灯または点滅 エラー - 緊急電話が不可または制限された状態でのみ利用可能¹

緑色の点滅 緊急電話作動中 - 緊急電話は確立され、緊急電話センターへデータの通信

自動緊急電話

i インフォメーション

イグニッションが OFF の場合には、自動緊急電話は可能ではありません。

エアバッグの作動直後に、緊急電話センターへ接続が確立されます。SOS ボタン **B** を押すことにより、自動緊急電話を中断することはできません。緊急電話センターからのクエリが未回答なままの場合、レスキュー措置が自動的に始動します。

データ送信

緊急電話中に、必要なレスキュー措置を特定するためのデータが利用可能な場合に緊急電話センターに通信されます。以下を含む場合があります：

- 現在の車両位置
- 車体番号
- 車両タイプ (ハイブリッド車両など)

故障発信

人身被害のない故障または事故の場合、故障発信を介してヘルプを求めることができます。

✓ 携帯電話ネットワークを利用できる。

- ✓ 故障発信システムの作動準備が整っている (イグニッション ON から約 20 秒経過している)。
- ✓ プライベート モードが無効になっている。
- ▷ 「ボルシェ コネクト」の章 (226 ページ) を参照してください。

i インフォメーション

故障発信システムは、自らの携帯電話モジュールを持つため、車内で登録した携帯電話を必要としません。

ボルシェの影響範囲外の技術的または組織的な制限のため (ローミングまたは有効な SIM カードがないなど)、状況によりボルシェ アシスタンス コールセンターに緊急電話を確立することができない場合があります。

故障発信の作動

✓ 電話  ▶ キーパッド  が選択されている。

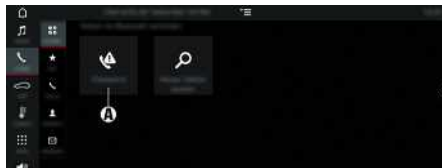


図 241 : 故障発信ボタン

1. 故障発信 **A** を選択します。
テスト緊急電話を終了するには、フッターまたは電話メニューで  を選択します。
2. 状況が許す場合は、コールセンターへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

データ通信

故障発信中、必要な措置を特定するためのデータが利用可能な場合には、コールセンターに送られます。これには以下が含まれる場合があります。

- 現在の車両位置
- 車体番号
- 車両タイプ (ハイブリッド車両など)
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

1. ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

携帯電話

概要説明 - 電話

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」の章 (230ページ) を参照してください。



図 242 : 電話番号の入力 (キーパッド)

希望する操作	操作方法	操作場所
携帯電話を Bluetooth® 経由で接続する (携帯電話の準備)	▶ 電話 ▶ 新しい電話を 検索 または、基地の電話を選択してください。	▶ p. 289
接続された 2 つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッドラインの左上で現在接続されている携帯電話を選択してください。すでに接続している 2 つのデバイスが表示されます ▶ 希望する携帯電話を選択します。	–
外部 SIM カードを使用してデータ接続を確立するには PCM を使用します	▶ グローブ ボックスまたはアームレストを開く ▶ SIM カードを SIM カード スロットに挿入する (切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください) ▶ 必要に応じて PIN を入力する ▶ データ接続を確認してください。	▶ p. 290
番号をダイヤル	▶ 電話 ▶ キーパッド (A を参照) ▶ を選択する (G を参照)。	–
ボルシェ コンシェルジュを開始する	▶ 電話 ▶ キーパッド を選択してください (A を参照) ▶ ボルシェ コンシェルジュ 1	▶ p. 180
連絡先をお気に入りに登録する	▶ 電話 ▶ お気に入り (B を参照) ▶ お気に入りを 追加 ▶ 所望の連絡先をリストから選択する ▶ を選択します。	▶ p. 290

1. 必要条件: データ接続が確立されていること。

希望する操作	操作方法	操作場所
通話履歴を表示する	▶ 電話  ▶ 通話  (C を参照)。	—
連絡先を表示する	▶ 電話  ▶ 連絡先  (D を参照)。	—
メッセージを表示する	▶ 電話  ▶ メッセージ  (E を参照) ▶ 任意のフォルダ (例えば、テキストメッセージ) を選択します。	▶ p. 291
ボイスメールを聞く	▶ 電話  ▶ キーパッド  (F 参照) ▶ しばらくの間、ボタン 1 を押し続ける。	—
着信に応答する / 拒否する	▶ 承認  または 拒否  を選択してください。	—
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューで  を選択します。	—

モデル、国別仕様および装備仕様に依拠して、いろいろなオプションが利用できます。ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

警告

携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズ フリー機器を使用してください。

警告

怪我をする危険

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

新しい携帯電話を接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効で、他の機器から探索可能な状態になっている。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
- ▶ 「デバイス マネージャー」の章 (169 ページ) を参照してください。

1. 電話 ▶ 新しい電話を検索

2. デバイス リストから携帯電話を選択します。6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。

3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較してください。

4. 携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。必要に応じて外部 SIM カードの PIN を PCM に入力します。
電話が正常に接続されると、数値の入力 (キーパッド  メニュー) が PCM に表示されます。

i インフォメーション

- 携帯電話の Bluetooth® の性能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。携帯電話がサポートしている場合には、車両を停車した後に通話を携帯電話に転送し、車両の外で通話を継続することもできます。
- 対応している携帯電話の概要は、ご利用の国のポルシェ ウェブサイトからご覧いただけます：モデル ▶ お客様の所有モデル (例：911 Carrera) ▶ 取扱説明書のダウンロード ▶ Bluetooth® 経由。

携帯電話を接続する (Windows® および iOS® オペレーティングシステム)

Windows® および iOS® オペレーティングシステムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

1. 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を探索してください。(接続ステータスに応じ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

て)  またはヘッダーの  を押して、PCM を可視化します。

- 利用可能な機器リストから PCM を選択してください。オプション  ▶ Bluetooth ▶ 名前: を選択することにより、PCM の Bluetooth® デバイス名をデバイスマネージャーに表示することができます。

登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効になっている。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
- ▶ 「デバイス マネージャー」の章 (169 ページ) を参照してください。

- (接続ステータスに応じて)  またはヘッダーの  を選択します。
登録されている携帯電話が最大 20 件、リストに表示されます。
- リストから携帯電話を選択してください。
携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

別の携帯電話を接続し、使用する

- ✓ 携帯電話が PCM に既に接続されている。

- (接続ステータスに応じて)  またはヘッダーの  を選択します。
- リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続します。
▶ 「新しい携帯電話を接続する」の章 (289 ページ) を参照してください。

接続された携帯電話は両方とも受信可能ですが、発信できるのは有効な携帯電話だけです。

- 接続された 2 台の携帯電話を切り替えるには、現在接続しているデバイスをヘッドラインの右上で選択します。

既に接続している 2 台のデバイスが表示されます。

— または —

電話  ▶ オプション  ▶ 電話を選択 ▶ ご希望のデバイスを選択してください。

PCM での SIM カードの使用

SIM カードはデータ接続の目的のためにのみ使用されます。データ接続に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コネクト」の章 (226 ページ) を参照してください。

SIM カードの挿入および取り出し

知識

SIM カード アダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れて、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

- ▶ SIM カード アダプターは使用しないでください。



図 243 : グローブボックス内の SIM カード

- SIM カード B を挿入します (ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm)。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。

- PIN 付き SIM カード :

- SIM カードの PIN を入力し OK で確定します。
- PIN を保存を選択してください。

- SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

接続ステータスの表示

モデル、国および装備によっては、以下のようヘッダーに表示されることがあります:

-  電話が接続されていません。
-  データ接続が利用できません (考えられる原因: 接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続の中断)。
-  LTE 携帯電話ネットワークを介したデータ接続。
-  UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。
-  EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) を介したデータ接続。
-  電話機能用の携帯電話ネットワークの受信電界強度。
-  外部 Wi-Fi ホットスポットによるデータ接続。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

- 電話  ▶ お気に入り 
- 最近の連絡先エリアから希望する連絡先を選択して、その連絡先をドラッグ & ドロップでお気に入りエリアに移動します。

お気に入り整理する

1. 電話 ▶ お気に入り

- 希望する連絡先を選択して、ドラッグ & ドロップで希望する場所に移動します。

お気に入りの削除

1. 電話 ▶ お気に入り

- 希望する連絡先を選択して、お気に入りディスプレイからドラッグ & ドロップで上に移動します。
– または –
利用可能な場合には、 アイコンを選択します。

通話中の各種機能

- ✓ 電話  ▶ キーパッド  が選択されている。

マイクのミュート

- ✓ 通話中である
 - ▶ マイクをミュートする  を選択します。

通話の保留

- ✓ 通話中である
 - ▶  を選択してください。
 - ▶ 通話を再開するには、 を選択してください。

電話会議を開始する

- ✓ 通話中である

-  ▶ 新しい通話の追加 (電話番号を入力または連絡先を選択する) ▶ 
- 電話会議を開始するには、 を選択してください。
- 電話会議を終了するには、 を選択してください。

2つの会議間の切り替え (スワッピング)

- ✓ 1 つ目の通話が通話中です。
- ✓ 2 つ目の通話が保留中です。
 - ▶  を選択して保留中の通話を有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。

インストールメント クラスター内の電話情報の表示

- ▶ インストールメント クラスターの車両 & 情報ディスプレイで希望の機能を選択してください。
 - ▶ 「D – 車両 & 情報ディスプレイ」の章 (37 ページ) を参照してください。
- 着信: ステアリング ホイールの電話ボタンを使用して、着信の応答または拒否を操作します。
- 前回の通話: ステアリング ホイールの電話ボタンやロータリー ノブを使用して前回ダイヤルした電話番号のリストを表示します。
- 会議: ステアリング ホイールの電話ボタンやロータリー ノブを使用して、通話中に別の通話を行ったリ、会議に参加者を追加したりします。

インストールメント クラスターの操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「インストールメント クラスターの操作」の章 (39 ページ) を参照してください。

メッセージの表示および編集

携帯電話でこの機能がサポートされていれば、SMS や E メールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりすることができます。携帯電話はテキスト メッセージ機能に対応していても、E メール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

i インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されている SMS しか表示できない場合、車両で受信した SMS は携帯電話メッセージ リストには表示されません。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

テキスト メッセージや Eメールの作成

- 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ / Eメール
-  を選択してください。
- (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
- 入力フィールドにメッセージを入力し、OK で確定してください。
- 送信  を選択してください。

テキストメッセージ / Eメールの返信または転送

1. 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ / Eメール
2. 返信 / 転送するテキストメッセージ / Eメールを選択してください。
3.  ▶ 返信 / 転送 を選択してください。

電話設定を変更する

一般設定

- ▶ 電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ ご希望の設定を選択してください。

連絡先を管理する

- ▶ 電話  ▶ 連絡先  ▶ オプション  ▶ ご希望の設定を選択してください。

- 連絡先メモリー: 使用している連絡先メモリーを表示します。
- 連絡先表示: 連絡先を姓または名で並び替えます。
- 連絡先を転送する: SIM カードの連絡先または Bluetooth® 経由で接続された携帯電話の連絡先を手動で PCM に移動します。
- お気に入りリストに追加: 選択された連絡先をお気に入り保存到保存します。

メッセージを編集する

- ▶ 電話  ▶ メッセージ  ▶ SMS/Eメールフォルダ ▶ オプション  ▶ ご希望の設定を選択してください。

- メッセージを読み上げ
- 詳細: メッセージの内容 (例えば、メッセージに含まれる数字) を使用します。

- 消去: 選択されたメッセージを削除します。
- 新しいメッセージ
- フォルダ概要: フォルダ一覧 (例えば、受信トレイ) を選択します。
- 削除モードを有効にする: メッセージを選択し、削除します。

携帯電話の収納 (国別仕様による)



図 244: アームレストのスマートフォン入れ

装備によっては、アームレストの小物入れに携帯電話トレイが内蔵されています。このトレイは車両の外部アンテナに接続するためのものです。携帯電話を充電し、PCMに接続するための USB ポートもあります。装備によっては、携帯電話トレイに、Qi 規格に準拠した携帯電話充電機能もあります。この機能は、PCM で有効 / 無効にすることができます。外部アンテナを使用することで、車両内の電磁波を抑え、Bluetooth® 経由で接続する携帯電話の受信品質を向上させることができます。

- ✓ 携帯電話のキーパッド / コード ロックが有効になっています。
- ▶ 印が付いた部分に携帯電話を置いてください。トレイ表面と携帯電話の間に物がなく、携帯電話の画面が上向きになっていることを確認します。

携帯電話のワイヤレス充電 (国によってはご利用いただけない場合があります)

利用可能な装備によっては、携帯電話をワイヤレスで充電することができます。この機能は次の機能を使用して ON または OFF にすることができます。PCM.

⚠ 注意

スマートフォントレイの金属の障害物

携帯電話のワイヤレス充電中は、電話と充電パッドの間に金属体があると非常に高温になり、身体損傷や所有物の損傷を引き起こす場合があります。

- ▶ 携帯電話と充電パッドの間に、障害物を置かないでください。

- ✓ 機能は以下で有効になります: PCM (設定  ▶ 電話設定 ▶ 電話 ▶ ワイヤレス充電 )

– または –

- 電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ 電話 ▶ ワイヤレス充電 .

- ✓ 携帯電話でサポートされる Qi 規格に準拠したワイヤレス充電。

- ▶ 携帯電話の背面をスマートフォントレイのマークが付いたエリアに合わせて置いてください。この機能が有効またはワイヤレス充電が有効な場合、PCM のステータス バーに  アイコンが表示されます。

充電パフォーマンスは、携帯電話によって異なります。

i インフォメーション

ワイヤレス充電には、交番磁界が使用されます。感覚器官の炎症や有効なインプラント（ペースメーカー、注入ポンプ、神経刺激装置など）または停止インプラント（人工ジョイントなど）との干渉などの反応が生じる可能性があります。

- ▶ 充電パッドから常に 10 cm 以上離してください。ICNIRP1998 に基づく継続的な露出制限は、この距離で満たされます。
 - ▶ インプラントを使用されている方は、質問がある場合は専門医にお問い合わせください。
-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

テクニカル・データ

以下のページでは、お使いの車両の技術データ (メーカー参考値) を表示します。

テクニカル データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国別で車両固有データと異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーションプレート (例: ビークルプレート) を参照してください。車両の公式登録書類の情報は、常にこの取扱説明書の内容よりも優先されます。

車体番号



図 245 : 車両識別番号固定位置

車体番号は、フロント ウィンドウの左下と助手席フットウエルのカーベットのカバー下にあります。

- ▶ スペア パーツの注文をする場合は、必ず車両識別番号を明示してください。

車両寸法

Cayenne モデル :

全長 (装備仕様により異なる)	4,918 mm ~ 4,929 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,983 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,194 mm

タイヤ空気圧プレート



図 246 : タイヤ空気圧プレート固定位置

車両データ バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ バンクは、「整備手帳」の中に添付されています。データ バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

DIN 規格空車重量での車高	1,676 mm～1,728 mm
リヤ リッド オープン時の全高	2,123 mm～2,188 mm
DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	(480 mm) ¹ 500 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル)	(465 mm) ¹ 475 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル オフロード レベル)	(520 mm) ¹ 530 mm

Cayenne E-Hybrid モデル：

DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	250 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル)	225 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル オフロード レベル)	280 mm

Cayenne Coupé モデル：

全長 (装備仕様により異なる)	4,931 mm ～ 4,939 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,983 mm ～ 1,995 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,194 mm
DIN 規定の空車重量での車高	1,643 mm～1,676 mm
リヤ リッド オープン時の全高	2,229 mm ～ 2,243 mm
DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	(480 mm) ² 500 mm

-
1. Cayenne GTS のみ
 2. Cayenne Coupé GTS のみ

最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル)	(465 mm) ¹ 475 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル オフロード レベル)	(520 mm) ¹ 530 mm

Cayenne Coupé E-Hybrid モデル：

DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	250 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル)	225 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル オフロード レベル)	280 mm

充填容量

燃料タンク	約 13 リットルの予備を含む約 75 リットル (オプション: 90 リットル)
フロント ウィンドウ / ヘッドライト ウォッシャー液	約 3.5 リットル (ナイト ビュー アシスト装備車: 約 6.2 リットル)

燃料消費量とCO₂排出量

CO₂ 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります (例: 「適合証明」)。そこに記載されている値は、規定の測定方法 (現行バージョンの Euro 6: 基準 (EU) 715/2007; 現行バージョンの Euro 5: ECE-R 101 と ECE-R 83) に基づいて測定したものです。

重量

規格 (EC) 1230/2012 に基づく、75 kg の運転者 1 名 と荷物分を含む空車重量。

▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて最大積載重量が減少します。

1. Cayenne Coupé GTS のみ

負荷、最大総重量および最大軸荷重

最大積載重量

モデルおよび装備に応じる	375 kg ~ 845 kg
--------------	-----------------

- ▶ 車両固有の重量は、ピークル プレートまたは車両の納車時に提供された公式登録書類 (国によって、「適合証明」など) に記載されています。ピークル プレートは助手席側のドア シル (ドア開口部) に取り付けられています。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。追加アクセサリが取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

ルーフ積載荷重

- ▶ ルーフ トランスポート システムは、ポルシェ テクニップメントの製品ラインのもの、またはポルシェが試験および認定したもののみ使用してください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 「ルーフ トランスポート システム」の章 (268 ページ) を参照してください。

最大ルーフ積載荷重

Cayenne Coupé モデル	75 kg
その他のすべてのモデル	100 kg

トレーラーけん引

最大けん引重量、ブレーキなし

全モデル	750 kg
------	--------

最大けん引重量 (ブレーキ装備車)¹

8 シリンダー エンジン搭載 E ハイブリッド車	3,000 kg
その他のすべてのモデル	3,500 kg

最大ドローバー荷重

8 シリンダー エンジン搭載 E ハイブリッド車	120 kg
その他のすべてのモデル	140 kg

最大軸荷重、リヤ (EU のみ、100 km/h 以下)

Cayenne Coupé Turbo S E ハイブリッド	175 kg 積載
Cayenne Coupé、Cayenne Coupé Turbo、Cayenne Coupé E ハイブリッド	190 kg 積載

最大軸荷重、リヤ (EU のみ、100 km/h 以下)

Cayenne Coupé S	200 kg 積載
その他のすべてのモデル	215 kg 積載

最大総重量 (EU のみ、100 km/h 以下)

全モデル	100 kg 積載
------	-----------

1. 坂道の勾配率が 12 % 以下のとき

ホイールおよびタイヤ

タイヤ / ホイール サイズ

ボルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数 (例: 「105」) と速度記号 (例: 「Y」) 以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するとき、またはタイヤの交換を行う場合:

▷ 「タイヤおよびホイール」の章 (152ページ) を参照してください。

- ▶ スノー チェーンは、適切なマークが付いたホイールおよびタイヤ サイズにのみ装着します。スノー チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ボルシェが承認したスノー チェーンのみ使用します。
- ▶ 交換するタイヤ / ホイールが EU 規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳しい情報はボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノー チェーンの装着
コラプシブル スペア ホイール	195/65-20 108P	6.5B x 20, R0 28	不可
6 シリンダー エンジン搭載 Cayenne モデル			
サマー タイヤ	FA: 255/55 ZR 19 XL (111Y) RA: 275/50 ZR 19 XL (112Y)	FA: 8.5J x 19, R0 47 RA: 9.5J x 19, R0 54	不可
	FA: 275/45 ZR 20 XL (110Y) RA: 305/40 ZR 20 XL (112Y)	FA: 9.0J x 20, R0 50 RA: 10.5J x 20, R0 64	不可
	FA: 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA: 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA: 9.5J x 21, R0 46 RA: 11.0J x 21, R0 58	不可
	FA: 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA: 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA: 10.0J x 22, R0 48 RA: 11.5J x 22, R0 61	不可
オール シーズン タイヤ	FA : 255/55 R 19 XL 111V M+S RA : 275/50 R 19 XL 112V M+S	FA: 8.5J x 19, R0 47 RA: 9.5J x 19, R0 54	不可
	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA: 9.0J x 20, R0 50 RA: 10.5J x 20, R0 64	不可
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA: 9.5J x 21, R0 46 RA: 11.0J x 21, R0 58	不可

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノー チェーンの装着
ウインター タイヤ	FA : 255/55 R 19 XL 111V M+S RA : 275/50 R 19 XL 112V M+S	FA: 8.5J x 19、RO 47 RA: 9.5J x 19、RO 54	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 112V M+S	FA: 9.0J x 20、RO 50 RA: 10.5J x 20、RO 64	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V XL M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA: 11.0J x 21、RO 58	リヤ アクスルのみ

8 シリンダー エンジン搭載 Cayenne モデル

サマー タイヤ	FA: 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA: 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA: 11.0J x 21、RO 58	不可
	FA: 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA: 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA: 10.0J x 22、RO 48 RA: 11.5J x 22、RO 61	不可
オール シーズン タイヤ	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA: 11.0J x 21、RO 58	不可
ウインター タイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA: 9.0J x 20、RO 50 RA: 10.5J x 20、RO 64	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA: 11.0J x 21、RO 58	リヤ アクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノー チェーンの装着
6 シリンダー エンジン搭載 Cayenne Coupé モデル			
サマー タイヤ	FA: 275/45 ZR 20 XL (110Y) RA: 305/40 ZR 20 XL (112Y)	FA: 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	不可

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノー チェーンの装着
	FA: 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA: 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可
	FA: 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA: 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA: 10.0J x 22、RO 48 RA : 11.5J x 22、RO 52	不可
オール シーズン タイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA: 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	不可
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可
ウインター タイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA: 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	リヤ アクスルのみ
8 シリンダー エンジン搭載 Cayenne Coupé モデル			
サマー タイヤ	FA: 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA: 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可
	FA: 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA: 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA: 10.0J x 22、RO 48 RA : 11.5J x 22、RO 52	不可
オール シーズン タイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S ¹ RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S ¹	FA : 9.0J x 20、RO 50 ¹ RA : 10.5J x 20、RO 55 ¹	不可
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可

1. Cayenne Turbo S E-Hybrid のみ

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノー チェーンの装着
ウインター タイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	リヤ アクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ボルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイで確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤのサイズおよび車両の積載状況を設定し、「標準タイヤ空気圧」または「コンフォート タイヤ空気圧」のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。
 - ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) の設定」の章 (153 ページ) を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。
 - 車両  ▶ 制御  ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 圧力差
- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせます。



警告

タイヤ空気圧が低い

「コンフォート プレッシャー」オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

高速走行時にタイヤ空気圧が低いと、タイヤが破損します。

- ▶ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤのみに設定してください。

	FA	RA
20 インチ コラプシブル スペア ホイール	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

テクニカル データ：オーディオおよびビデオ ファイル

対応するメディア	SD カード 128 GB まで DVD ドライブ オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、DVD オーディオ互換ビデオ DVD ポータブル プレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、専用ドライバー ソフトウェア不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリーおよびハード ドライブなど) DVDチェンジャー オーディオ CD 80 分まで、標準 DVD ビデオ、DVD ビデオ互換 DVD オーディオ
ファイル システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー カード USB 大容量記憶装置 exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション) DVD ドライブ ISO9660、Joliet、UDF
フォーマット	MPEG 1/ 2 Layer 3 : Windows Media Audio 9 および 10 ; MPEG 2/ 4 ; FLAC、MPEG 1/ 2 ; ISO-MPEG4 ; DivX 3、4 および 5 ; Xvid ; ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC) M ; Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3 (DVDチェンジャーには適用されません); .wma; .asf; .m4a; .m4b; .aac; .flac; .mpg; .mpeg; .avi; .mp4; .m4v; .mov; .wmv
再生リスト	.M3U ; .PLS ; .WPL ; .M3U8 ; .ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数; 最大 25 fps 時、最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.
ファイル数	DVD ドライブ DVD ごとに最大 1,000 ファイル USB 大容量記憶装置およびメモリー カード 媒体ごとに最大 10,000 ファイル、ディレクトリー / 再生リストごとに最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム カバー最大800 x 800ピクセル; GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenoteデータベース経由
DVD ビデオ地域コード	コード 1: USA、カナダおよび米国自治領 コード 2: ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード 3: 東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード 4: オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード 5: ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード 6: 中華人民共和国 コード 8: 国際領土 (船舶、航空機)

テクニカル データ：接続

携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz（Band VIII）/1800 MHz（Band III）/2100 MHz（Band I） LTE：クワッドバンド、800 MHz（Band 20）/900 MHz（Band 8）/1800 MHz（Band 3）/2600 MHz（Band 7）
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n（2.4 GHz）
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m
SIMカード	ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm

テクニカル データ：ラジオ

周波数範囲 / 規格	UKW（FM）：87.5～108 MHz（100 kHzごとの手動調節） MW（AM）：531～1,602 KHz（1 kHzごとの手動調節）
自動選局付き チューニング グリップ	UKW（FM）：100 kHz MW（AM）：9 kHz

テクニカル データ: CD/DVD ドライブ

一般情報	製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠して製造されています：2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter J、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
レーザー光線出力	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
レーザー光線波長	DVD：665 nm CD：795 nm

ライセンス告知

Bluetooth®	Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイシン エィ ダブリュ (株) はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレード ネームは、それぞれの所有者に帰属します。	
Dolby Digital	ドルビー ラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビー ラボラトリーズの商標です。	
DTS Digital Surround		DTS 特許については、 http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.
Gracenote		Gracenote および Gracenote ロゴとロゴ タイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンド ユーザー使用許諾契約書

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。+B19 無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

Bluetooth® 認証 (抜粋)

Albania – Andorra – Angola – Aruba – Australia –
Austria – Bahamas – Bahrain – Barbados – Belarus
– Belgium – Belize – Bolivia – Bonaire – Bosnia and

Herzegovina – Brazil – Brunei – Bulgaria – Burkina
Faso – Canada – Chile – China – Colombia – Costa
Rica – Croatia – Curacao – Cyprus – Czech Republic
– Denmark – Dominican Republic – Ecuador –

Egypt – El Salvador – Estonia – Ethiopia – Finland –
France – French Guyana – French Polynesia –
Gabon – Germany – Ghana – Gibraltar –
Guadeloupe – Guatemala – Greece – Greenland –

Hong Kong – Hungary – Iceland – India – Indonesia
 – Ireland – Iraq – Israel – Italy – Ivory Coast –
 Jamaica – Japan – Jordan – Kenya – Kosovo –
 Kuwait – Latvia – Lebanon – Lesotho – Liberia –
 Libya – Liechtenstein – Lithuania – Luxembourg –
 Macau – Macedonia – Madagascar – Malaysia –
 Malta – Martinique – Mauritius – Mexico – Monaco
 – Mongolia – Morocco – Mozambique –
 Netherlands – New Caledonia – New Zealand –
 Nigeria – Norway – Oman – Pakistan – Panama –
 Peru – Poland – Portugal – Puerto Rico – Qatar –
 Réunion – Romania – Russia – San Marino – Saudi
 Arabia – Senegal – Serbia – Singapore – Slovakia –
 South Africa – Spain – St. Lucia – Sweden –
 Switzerland – Tahiti – Taiwan – Thailand – United
 Arab Emirates – United Kingdom – Uruguay – USA
 – Venezuela – Vietnam – Yemen – Zimbabwe

リサイクル

耐用年数経過後の車両の返却

欧州連合加盟国の車両のみ：

耐用年数に達したボルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG が、無料で、環境負荷の小さい方法で廃棄します。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシートベルト プリテンショナー ユニット

未点火のガス ジェネレーター、あるいはエアバッグおよびシートベルト テンショナー ユニートを装備する車両全体またはアセンブリーは、「通常」のスクラップまたは廃棄物として処理したり、他のいかなる形態のエンド ストレージに入れてはなりません。適切な廃棄の詳細については：

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

🗑️ 電子機器および使い終わったバッテリー

キー、リモート コントロールおよび古いバッテリーは、「通常の」解体品として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混せて廃棄したりしないでください。

- ▶ 現地固有の処分方法に従い、使い終わった家庭用バッテリーは所定の収集場所に廃棄します。
- ▶ 高電圧バッテリーおよび 12 V リチウム バッテリーは危険物です。このためこれらのバッテリーについては、手を加えたり、自分で処分したりしないでください。

キー、リモート コントロールおよび古いバッテリーの正しい処分の詳細については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

無線装置 (EU の地域外)

検査マークおよび適合宣言

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina,
French Guyana, Georgia, Gibraltar,
Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast,
Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco,
Montenegro, New Caledonia, Norway,
Réunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland,
Trinidad & Tobago, Turkey.

CE

Algeria

AGREE PAR L'ARPT N°:T/CA/SP/PC/N°91/ARPT/
2011

Argentina

CNC COMISIÓN NACIONAL
DE COMUNICACIONES

CNC ID: H-21037

CNC ID: H-17181

CNC ID: C-18053

CNC ID: C-21130

Australia



ACN/ARBN 004 528 778/
58004528778

Belarus



Brazil



2294-15-3616

05031-16-06324

0716-15-3745

05674-16-06830

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

00598-18-05298

"Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados."

Modelo BCMevoc: 05531-16-02149

Modelo PK3: 00971-18-02930

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Canada

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may Not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des réglementations de la FCC et avec la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

1. Cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles et
2. Cet appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Costa Rica

SUTEL 00770-2018

Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)

Модель: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V_±, 400 mA

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V_±, 400 mA

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7EO-14B

NCA APPROVED: 2R9-1H-7EO-ODA

NCA APPROVED: 6X6-4H-7EO-OF3

NCA APPROVED: ZRO-M8-7E3-12B

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

HK0011801788

India

ETA – 1736/18-RLO(NE)

Indonesia

47977/SDPPI/2016

2684

55538/SDPPI/2018

2208

36930/SDPPI/2014

47817/SDPPI/2016

55747/SDPPI/2018



63118/SDPPI/2019

2692

Israel

Model Name: TSSRE4Dg

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

Model Name: LRR4

Manufacturer: Bosch

Japan

204-560001

202-LSC054

202-JN0638

202-SMF114



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Jamaica

This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA - PK3.

This product has been Type Approved by Jamaica:
SMA - BCMevoC.

Jordan

TRC/LPD/2016/583

TRC/LPD/2014/212

TRC/LPD/2016/584

TRC/LPD/2018/66

TRC/LPD/2017/615

Malaysia

CIDF15000490

CIDF17000143

CIDF18000015

CIDF19000029

Mexico

IFETEL: RLVPOPK17-1947

IFETEL: IFT-008-2015

IFETEL: RLVCOBC16-1825

IFETEL: RLVBOLR14-1873

IFETEL: RCPAPR318-2005

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

IFT: RCPKATR18-0034

Marca: KATHREIN AUTOMOTIVE

Modelo (s): TRANSCVRP01

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova



Mongolia



APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A16000088



APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A17000167

Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément :

MR 15019 ANRT 2017

Date d'agrément : 26/10/2017

Numéro d'agrément :

MR 12651 ANRT 2016

Date d'agrément : 18/10/2016

Numéro d'agrément :

MR 9668 ANRT 2014

Date d'agrément : 30/09/2014

Numéro d'agrément :

MR 12623 ANRT 2016

Date d'agrément : 11/10/2016

Numéro d'agrément :

MR 15845 ANRT 2018

Date d'agrément : 19/02/2018

Numéro d'agrément :

MR 13255 ANRT 2017

Date d'agrément : 09/02/2017

Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019

Date d'agrément: 23/04/2019

Nigeria

Model R3TR - Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission.

Oman

オマーン - TRA/TA-R/0358/13

D100428

オマーン - TRA/TA-R/4813/17

D100428

オマーン - TRA/TA-R/3673/16

D100428

オマーン - TRA/TA-R/2609/15

D080134

オマーン - TRA/TA-R/2160/14

オマーン - TRA/R/3848/17

D080134

オマーン - TRA/R/0447/15

D100428

オマーン - TRA

R/3621/16

D080134

Pakistan



Paraguay



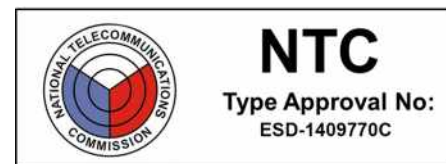
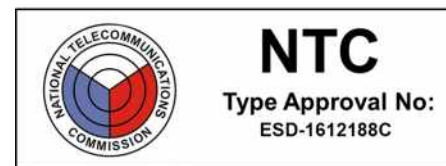
NR: 2016-11-I-000311



NR: 2017-12-I-0000410



Philippines



Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315

Serbia



34540-1313/16-3

Singapore

Complies with IDMA Standard DA 103787.

Complies with IDMA Standards N0644-18.

Complies with IDMA Standard N2853-18.

South Africa



TA-2016/2455
APPROVED



TA-2014/2597
APPROVED



TA-2014/1784
APPROVED



TA-2016/2759
APPROVED



TA-2017/3465
APPROVED



TA-2016/3539
APPROVED



TA-2019/5116
APPROVED



TA-2016/2586



TA-2005/614



TA-2017/2491
APPROVED

South Korea



MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5
MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG
BO-LRR4

R-CRM-DDG-R3TR

송신기 주파수 433.92 MHz

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주
로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,
모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로
인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

송신기 주파수 21.85 kHz

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주
로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,
모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로
인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH
/

제조사/제조국가 Germany /

기자재의 명칭/ 모델명 LTE-MBC-CN /

기자재의 명칭/ 모델명 MSIP-RMM-N7V-LTE-
MBC-CN

인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH
/

제조사/제조국가 Germany /

기자재의 명칭/ 모델명 WCH-193 /

기자재의 명칭/ 모델명 R-CMM-N7V-WCH-193

Taiwan

CCAK15LP0801T1

CCAE15LP0190T0

CCAF16LP2450T2

1. 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
2. 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

CCAE18LP0110T0

해당 무선 설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者

電磁波警語標示：「減少電磁波影響，請妥適使用
輸入電源需使用所附的5A保險絲於產品前端做保護

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความ
สอดคล้องตามมาตรฐานหรือ
ข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.
เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่
คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตาม
มาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของ
มนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคม
ที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่ง
ชาติประกาศกำหนด.

This telecommunication equipment conforms to
NTC technical requirements.

Ukraine

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線装置のメーカーは、ウクライナの無線装置に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019 年 4 月以降の無線装置のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言の全文は、以下のウェブサイトからご確認ください。

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>

**United Arab Emirates**

TRA REGISTERED No: ER58762/17,
DEALER No: 0018994/09
TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH
TRA REGISTERED No: ER36213/14,
DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER497919/16,
DEALER No: DA0062437/11
TRA REGISTERED No: ER61595/18,

DEALER No: DA65993/17
TRA REGISTERED No: ER47992/16,
DEALER No: 0043253/10
TRA REGISTERED No: ER71148/19
DEALER No: DA0043253/10
TRA REGISTERED No: ER50430/16,
DEALER No: 0018994/09

United States of America**NOTICE:**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by the manufacturer may void the FCC authorization to operate this equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information:
The radiated output power of the device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

Vietnam

索引

記号

◇ ボタンの設定	144
4WD	
4 輪駆動ディスプレイ	42
トルク配分の表示	42
ガソリン	
燃料計	38
燃料残量警告灯	38
ギヤのシフト	171
グローブボックス	
収納スペース	146
道路通行料自動徴収システム (ETC)	182
グローブボックス内のドライブ	
SD カード リーダー	235
SIM カード リーダー	235
グローブボックス内のポート	
SD カード リーダー	235
SIM カード リーダー	235
ジャッキ	121
エア サスペンション装備車のリフトアップに関する情報	60
報	
車両のリフトアップ	121
ジャンクションライト	248
ジャンパー ケーブルによる始動	123
外部電源	123
ダイナミック コーナリング ライト	247
ダイナミック ハイ ビーム	248
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	232
ホーム画面	234
情報ウィジェット	234
データ接続	
デバイス マネージャー	169
確立する (外部 SIM カード)	226
確立する (内蔵 SIM カード)	226
車両 WiFi ホットスポットの使用	226
ディスプレイ	
お手入れの諸注意	143
デコラティブ フィルム	141
お手入れの諸注意	141
デジタル タコメータ	37
デジタル取扱説明書	
オンボード	3
デバイス マネージャー	169

ドア	
キーによるロック	134
ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	135
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック	135
開操作	135
緊急ロック	136
緊急解除	136
車内からの開閉操作とロック	135
ドア ミラー	242
ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える	55
ドアの緊急ロック	136
ドアの緊急ロック解除	136
ドライバー プロファイル	201
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170
ドロップ フレーム機能	59
パーキング アシスタント	
リバース カメラ	194
パーキング ブレーキ	
エレクトリック パーキング ブレーキ	208
ブレーキ テスト スタンドでの測定	168
パーキング ロック	
緊急ロック解除	85
パークアシスト	193
アクティブ パーキング サポート	195
サラウンド ビュー (RTV)	195
リヤクロス トラフィック アラート (RCTA)	198
降車警告 (EW)	199
操作アシスト	198
パーソナル設定の呼び出し	201
パーティション ネット	257
パッシング ライト	248
バッテリー	187
お手入れ	188
ジャンパー ケーブルによる始動	123
バッテリーの注意事項	187
警告	187
交換	188
充電	188
接続後の作業	189
パノラミック ルーフ	
サンルーフ	264
パノラミック ルーフ	264
ルーフ ドライブの故障	265
パフォーマンス スタート	174
バルブ	250
パワー ウィンドウ	
ウィンドウの開閉	46
キーによるウィンドウの開閉 (リモート コントロール)	46

ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる (ボルシェ イージー エントリー装備車)	47
停止位置の保存	47
パワー ウィンドウ停止位置の保存	47
パンク	190
ビデオ	
対応するデータ形式	303
ブースト圧表示	38
プライベート モード	228
プラグ ソケット (12 V)	176
ブレーキ	
エレクトリック パーキング ブレーキ	208
テスト スタンド	168
フットブレーキ	208
ボルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB)	209
ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)	209
ブレーキ フルード	211
ブレーキ フルードの交換	211
ブレーキ液量の点検	211
ブレイリストを開く	244
ブレーキリング / ヒーティング	56
ベビー シート	164
助手席エアバッグの ON / OFF	164
ベルト	
お手入れの諸注意	143
シート ベルト プリテンショナー	119
警告灯 / 警告シンボル	119
高さ調節	120
注意	119
ボイス コントロール	
Siri	281
エアコンのボイス コマンド	221
コマンドの発話	218
ナビゲーションのボイス コマンド	220
メディアのボイス コントロール	219
ラジオのボイス コマンド	218
呼び出し	217
設定	145
電話のボイス コマンド	219
ボイスコントロール* 調整	218
ボイスメールを聞く	288
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	
シャーシ モードの設定	222
機能説明	222
ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)	
ON/OFF の切り替え	223
距離警告の設定	225

衝突の警告のタイミングの設定	224	音楽		警告ラベル	
ボルシェ イージー エントリー		USB を介した外部機器の接続	236	ハイブリッド車両	184
ドアのロックを解除する	134	お気に入りの保存 / 編集	245	警告灯	38
作動原理	133	グローブ ボックス内のポート	235	警報システム	
車両のロック	135	再生	244	ON/OFF	111
ボルシェ コネクト	226	対応するデータ形式	303	機能説明	111
アプリ	227	荷物		機能表示	111
サービスの利用	227	ルーフに載せて運ぶ	268	室内モニタリング システムおよび傾斜センサー*をOFFにする	111
データ接続を確認する	226	海外モード		軽合金製ホイール	
ユーザー (ボルシェ ID) の管理	227	ライト	250	お手入れの諸注意	141
ユーザー (ボルシェ ID) をログイン中	227	灰皿		軽修理	
設定	227	開く	131	パンク	190
ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)		掃除する	131	車両が動き出さないように車両を固定する	190
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	232	開閉操作		車両のけん引	85
車内でマニュアルを開く	235	ウィンドウ	46	検知ライト	248
操作	230	パーソナル設定の保存と呼び出し	201	言語	
ボルシェ コンシェルジュ		ルーフ システム	264	設定	145
ボルシェ コンシェルジュの開始	180	開閉操作とロック	132	個別モード	75
ボルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB)	209	サン ブラインド	265	故障	
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)		車両	132	ウィンドウ停止位置の保存	47
PSMスポーツの作動	284	外部 SIM カード		キーの電池	80
機能説明	284	データ接続を確認する	226	パワー ウィンドウ	47
ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)	208	お手入れの諸注意	142	故障発信	287
ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)	247	給油		故障診断用ソケット	6
ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)	248	フィルター フラップ位置の表示	38	交通情報通知	182
ボルシェ デュアル クラッチ トランスミッション (PDK)		緊急操作		工具	252
E ローンチ	174	車両プラグ	151	工具セット	252
ボルシェ ヒル コントロール (PHC)	238	充電ポート ドア	151	工場設定	
ボンネット	240	緊急電話	286	車両設定のリセット	145
移動データ (接続)	226	故障発信	287	降車警告 (EW)	199
運転席		空気圧		高圧洗浄機	
「速度 & アシスト」ディスプレイ	37	速度警告	153	取扱説明書	139
オドメーター (積算距離計)	41	携帯電話		高速道路ライト	247
タコメーター	37	Bluetooth* 経由で接続する (2 台目の携帯電話)	290	時刻と日付	
トリップ メーター	41	Bluetooth* 経由で接続する (Windows* および iOS* オペレーティングシステム)	289	設定	144
ライト調節	44	Bluetooth* 経由で接続する (既知の携帯電話)	290	自動内気循環モードの設定	
警告灯および表示灯	38	Bluetooth* 経由で接続する (新しい携帯電話)	289	エアコン システム	54
車両 & 情報ディスプレイ	37	荷物	292	自動防眩機能	
出力 & 駆動ディスプレイ	37	携帯電話を接続する	289	ミラー	243
水温計	38	携帯電話の収納	292	識別番号	295
燃料計	38	経由地を入力する (ナビゲーション)	181	車の手入れ	
運転席メモリー パッケージ	201	警告およびインフォメーション メッセージ	91	プラスチック製部品	141
応急処置セット	252	E-Hybrid 車両	108	ヘッドライト	141
横方向の加速度		エンジン	96	車内で取扱説明書を開く	235
表示	42	ドライビング システム	102	車幅灯	246
温度の設定		安全	91		
エアコン システム	52	車両	99		

車両			
キーによるロック	134	圧力差を表示する	153
キーによるロック解除	134	警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	145
ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	135	言語の設定	145
ボルシェ コンフォート アクセスによるロック解除	134	工場設定にリセット	145
緊急ロック	136	車両ジャッキ モードの設定をしています	144
緊急解除	136	設定	144
車内からのロック	135	単位の設定	144
車両ジャッキ モード	144	日付と時刻の設定	144
車両データ バンク	295	手入れ	
車両データ用データ バンク	295	ウィンドウ	140
車両ドア		手入れに関する諸注意	
ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	135	ウィンドウ	140
開操作	135	収納オプション	146
車内からのロック解除	134	フロント アームレストの小物入れ	146
車内からの開閉操作とロック	135	充填容量	297
車両のお手入れ	139	ウォッシャー液	297
Alcantara®	142	エンジン オイル	297
アンダーコーティング	140	充電	
エアバッグ	142	充電ポート ドア位置の表示	38
シート ベルト	143	充電 (高電圧バッテリー)	
シール	141	安全に関する指示	147
デコラティブ フィルム	141	車両プラグの緊急操作	151
ファブリック ライニング	142	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	148
ホイール ボルト	158	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロック	149
革製品	142	ステータス表示	149
洗車	139	充電タイマー機能	149
塗装	140	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	148
車両の長期保管	143	充電アダプター	176
車両プラグ (緊急操作)	151	充電タイマー機能	149
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	148	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	148
車両ホットスポット	226	充電ポート ドア	
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電およびロック ステータス	149	位置の表示	38
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロック ステータス表示	149	緊急操作	151
車両寸法	295	渋滞アップデート (ナビゲーション)	182
車両設定		縦方向の加速度	
PCM 表示を変更する	144	表示	42
インストルメント クラスター ディスプレイの変更	144	重量 (メーカー発表値)	297
シートヒーター、シート ベンチレーターおよびシート位置の調節	144	助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター	62
タイヤの種類とサイズの設定	154	小物入れ	
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	153	フロント アームレストの開閉部	146
ドア ロック オプションの設定	144	収納オプション	146
パーソナル ボタンへの保存	201	情報ウィジェット	234
ボイス コントロール システムの設定	145	接続	
マルチファンクションステアリング ホイールのボタンの割り当て変更	144	データ接続を確立する	226
		ボルシェ コネクト サービスの利用	227
		接続ステータス	290
		接続ステータス	290
		接続する	
		ボルシェ コネクト	226
		ボルシェ コネクト サービスの利用	227
		接続マネージャー	169
		設定	
		パーソナル設定の保存と呼び出し	201
		車両	144
		洗車	139
		トランスミッションのニュートラル位置	172
		全積載時	
		調整	154
		操作アシスト	198
		送風	
		調整	53
		足元の温度	
		設定	54
		地図 (ナビゲーション)	
		呼び出し	179
		設定	181
		遅延消灯	
		調整	247
		着信に応答する / 拒否する	288
		駐車	
		パークアシスト	193
		リバース カメラ	194
		駐車場	
		アクティブ パーキング サポート	195
		サラウンド ビュー (RTV)	195
		リヤクロスストラフィック アラート (RCTA)	198
		降車警告 (EW)	199
		操作アシスト	198
		通行料デバイス	182
		停止表示板	252
		締め付けトルク	
		ホイール ボルト	158
		電池の交換	
		キー	79
		電池の切れたキー	
		車両の始動	80
		電話	
		Bluetooth® 経由で接続する	289
		Bluetooth® 経由で接続する (2 台目の携帯電話)	290
		Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS® オペレーティングシステム)	289
		Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話)	290
		Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話)	289
		PCM での SIM カードの使用 (データ接続)	290
		インストルメント クラスターでの電話設定	291

お気に入りの保存 / 編集	290	部分積載		F	
デバイス マネージャー	169	調整	154	FM	
ボルシェ コンシェルジュ	288	風量を設定する	53	周波数帯の設定	244
荷物	292	保存		G	
緊急電話	286	パーソナル設定	201	G-Force ディスプレイ	42
故障発信	287	歩行者保護	240	H	
接続ステータス	290	放送局を選局 / 保存	244	HOLD 機能	
設定方法	292	方向指示灯	249	停止制御	283
通話中の各種機能	291	方向指示灯/パイロット ランプ		HUD	
番号をダイヤルする	288	操作レバー	249	ヘッドアップ ディスプレイ	216
連絡先を管理する	292	目的地の入力 / 検索	179	I	
電話機能を ON にする	226	輸送 (鉄道、船舶など)		i-Size システム	
塗装	140	車両の固定	87	I サイズ システム付きチャイルド シートの取り付け	166
お手入れ	140	連絡先 (電話)	288	トップテザー	167
お手入れの諸注意	140	A		I-Size システム	162
つや出し [ポリッシュ]	140	A/C MAX ボタン		ISOFIX システム	162
マークを取り除く	140	エアコン システム	52	ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け	166
傷の補修	140	ACC		トップテザー	167
保護する	140	操作方法	31	P	
盗難防止		Alcantara®		PCM	
イモビライザー、ステアリング コラム ロック	111	お手入れの諸注意	142	Apple CarPlay	281
道路通行料自動徴収システム (ETC)		AM		PCM WiFi ホットスポットの使用	226
道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用	182	周波数帯の設定	244	PCM 電話を ON にする	226
読書灯	44	Apple CarPlay	281	キーボード	234
内気循環ボタン	54	iPod と Apple CarPlay の切り替え	282	ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	232
内気循環モード		Siri	281	テキストおよび文字の入力	234
ON/OFF の切り替え	54	AUTO (ライト スイッチ)		ホーム画面	234
内蔵 SIM カード		オートマチック ヘッドライト	246	ホーム画面の設定	234
データ接続を確立する	226	B		メニューを開く	233
日付と時刻		Bluetooth®		時刻または温度ディスプレイの設定	234
設定	144	デバイス マネージャー	169	情報ウィジェット	234
燃料		携帯電話を接続する	289	情報ウィジェットの設定	235
タンク容量	297	C		電話機能を ON にする	226
燃料残量警告灯	38	CO ₂ 排出量	297	表示の変更	144
燃料インジケーター	38	E		PCM でマニュアルを開く	235
燃料計	38	E メール メッセージの表示および編集	291	PCM の操作	
燃料消費量	297	E ローンチ	174	タッチ ディスプレイ付き	233
標識の眩しさの軽減	248	E-Charge モード	186	PCM ホットスポット	226
標準プレッシャー		E-HOLD プログラム	186	PCM*	
選択	154	E-Hybrid 車両	184	お手入れの諸注意	143
表示		E-POWER 走行プログラム	186	ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170
車両 & 情報	37	EW (降車警告)	199	PDLs	247
出力 & 駆動	37			PDLs Plus	248
速度 & アシスト機能	37				
表示灯	38				
不凍剤					
ウォッシャー液の割合	49				
クーラント内	81				

Porsche Active Safe (ボルシェ アクティブ セーフ) (PAS) 乗員の予防的保護機能	225
PSM 機能説明	284

R	
RCTA [リヤ クロス トラフィック アラート]	198

S	
SD カード リーダー	235
SIM カード データ接続を確立する 挿入および取り出し	226 290
SIM カード リーダー	235
Siri	281

T	
TPM システムは登録中です	154
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	152

U	
USB を介した外部機器の接続	236
USB 接続	236

V	
VICS/ITS スポット交通情報	182

W	
WiFi PCM WiFi ホットスポットの使用 デバイス マネージャー	226 169

あ	
アームレスト内のインターフェース	236
アームレスト内のポート USB	235
アクセサリの取り付け	272
アクティブ パーキング サポート	195
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) レーダー センサー 操作方法	30 31
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 点灯/消灯	32

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) アダプティブ クルーズ コントロール (自動車速制御および自 動車間距離制御) の中断と再開 車間距離の設定 操作ステータス 表示 例外	34 33 32 31 35
アッパー換気フィード	54
アプリ	227
アルミニウム リム お手入れの諸注意	141
アンダーコーティング お手入れの諸注意	140 140
アンビエント ライト	44

い	
イージー エントリー イージー エントリー機能の使用	117
イージー エントリー機能	117
イオン発生機 ON/OFF の切り替え	54
イグニッション エンジンの始動および停止	67
イグニッション ロック	67
イモビライザー	111
インストルメント クラスタ 「速度 & アシスト」ディスプレイ オドメーター (積算距離計) オプションの選択および機能の有効化 サービス インターバルの表示 スポーツ クロノ ストップウォッチ タイヤ空気圧モニタリング タコメータ ドライビング データの表示 (トリップ情報) トリップ メーター パーソナル設定の保存と呼び出し メニュー概要 ライト調節 警告灯および表示灯 車両 & 情報ディスプレイ 出力 & 駆動ディスプレイ 制限速度の設定 操作 速度警告の設定 燃料計 表示の変更	38 37 41 40 43 128 152 37 170 41 201 41 44 38 37 37 43 39 43 38 144
インストルメント クラスタでの制限速度の設定	43
インストルメント クラスタでの速度警告の設定	43

インストルメント パネル 「速度 & アシスト」ディスプレイ タコメータ ライト調節 警告灯および表示灯 車両 & 情報ディスプレイ 出力 & 駆動ディスプレイ 水温計 燃料計 表示の変更	37 37 37 38 37 37 38 38 144
インストルメント 照明 明るさの調節	44
インターネット データ接続を確立する	226
インテリア ライト ON/OFF アンビエント ライト 減光	44 44 44

う	
ウインター タイヤ 一般情報	156
ウィンドウ キーによる開閉 (リモート コントロール) フロント ウィンドウ デフロスター リヤ ウィンドウ ヒーターの ON/OFF を切り替える 開閉操作 手入れに関する諸注意 停止位置の保存	46 55 55 46 140 47
ウォッシャー液 充填容量 追加 不凍剤	49 297 49 49

え	
エア サスペンションおよびレベリング システム付きボルシェ アク ティブ サスペンション マネージメント (PASM) エア スプリングの高さの設定 トレラーけん引 レベリング システムを OFF にする (車両ジャッキ モー ド) エア サスペンションおよびレベル コントロール システム付きボル シェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) エア スプリングの高さの設定 エア ベント 開閉操作 調整 エアコン システム A/C MAX モードを ON/OFF にする	58 60 60 58 58 53 53 52

ON/OFF の切り替え	52
アップパー換気フィード	54
イオン発生機の ON / OFF の切り替え	54
オート エアコンを使用する	52
クライメートコントロールタイプの設定	54
パーソナル設定の保存と呼び出し	201
ブレイクリング / ヒーティング	56
ブレイク / ヒート タイマー	56
フロント ウィンドウ デフロスター	55
温度の設定	52
最大冷房出力を ON/OFF にする	52
自動内気循環モードの設定	54
送風口の調節	53
足元の温度の設定	54
点灯/消灯	52
内気循環モードを ON/OFF にする	54
風量を設定する	53
風量調節	54
エアバッグ	
お手入れの諸注意	142
安全に関する指示	61
機能	61
警告灯	61
取り付け位置	61
助手席エアバッグの ON / OFF	164
エマージェンシー キーを押します	79
エミッション コントロール (チェック エンジン)	38
エミッション コントロール 警告灯	38
エレクトリック パーキング ブレーキ	
ブレーキ テスト スタンドでの測定	168
緊急ブレーキ機能	208
警告灯	208
作動 / 解除	208
発進時に自動解除	208
エンジン	
オイルの補充	65
始動および停止	67
冷却システム	38
エンジン オイル	63
交換容量	297
補充	65
エンジン カバー	240
エンジン コンパートメント リッド	240
お	
オイル	63
交換容量	297
補充	65

オート スタート / ストップ機能	
作動原理	68
前提条件	68
オート スタート/ストップ機能	
例外	69
オートマチック カミング ホーム ライト	247
オートマチック トランスミッション	171
オドメーター (積算距離計) の表示とリセット	41
オフロード チルティングインジケーター	70
オフロード ドライビング プログラム	70
オフロード 走行	71
オンボード コンピューター	
タイヤ空気圧モニタリング	152
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	170
メニュー概要	41
オンライン サービス	
データ接続を確立する	226
オンライン ナビゲーション	179
オンロード ドライビング プログラム	75
お気に入りの保存 / 編集	
メディア	245
電話	290
お手入れ	
軽合金製ホイール	141
高圧洗浄機の使用	139
車両の長期保管	143
お手入れの諸注意	139
Alcantara®	142
PCM*	143
アンダーコーティング	140
エアバッグ	142
カーベット	142
シートベルト	143
シール	141
スクリーン	143
タッチディスプレイ	143
ディスプレイ	143
デコラティブ フィルム	141
ファブリック ライニング	142
フロア マット	142
ホイール ボルト	158
革製品	142
軽合金製ホイール	141
車両の長期保管	143
洗車	139
塗装	140

か

カーゴマネージメント	256
カーベット	142
お手入れの諸注意	142
カップホルダー	78
カップホルダー	78

き

キー	79
エマージェンシー キーを取り出す	79
パーソナル設定の保存と呼び出し	201
車両のロック	134
車両のロック解除	134
電池の交換	79
キー [リモート コントロール]	
ウィンドウの開閉 [ボルシェ イージー エントリー非装備車]	46
キーボード	234
キャリアの取り付け	268
キャリアの取り付け (Cayenne Coupé)	270

く

クーラント (冷却水)	81
クーラント レベルの点検	81
クーラントの補充	81
クライメートコントロールタイプ	
調整	54
クルーズコントロール	
OFF にする	84
PSMスポーツ	83
クルーズコントロール	83
機能説明	83
速度の設定	83
中断操作	83

け

けん引	85
けん引バー	86
けん引フック	87
けん引ロープ	86
一般情報	85

こ

コーナリングライト	
スタティク コーナリングライト	247
ダイナミック コーナリングライト	247
コラボシブル スペア ホイール	192

コンフォート アクセス	
ドアのロックを解除する	134
作動原理	133
車両のロック	135
コンフォート ブレッシュャー	
選択	154
速度警告	153
コンフォート メモリー パッケージ	201
コンプレッサー	253

さ

サイド ロールアップ式ブラインド	47
サービス インターバルをインストール クラスターに表示する	43
サービス履歴	
表示	144
サマー タイヤ	
保管	157
サラウンド ビュー (RTV)	195
サン ブラインド	
開閉操作	265
停止位置の保存	265
サンシェード	
清掃	265
サンシェード停止位置の保存	265
サンバイザー	112
サンブラインド	
リヤ サイド ウィンドウ用	47

し

シート	
イージー エントリー機能の使用	117
シート ヒーター / シート ベンチレーターの使用	117
シート位置の調節	113
シート位置の保存と呼び出し	201
チャイルド シート	160
フロント シートの調節	113
ベビーシート	164
リヤシートの調節	113
シート ヒーターを ON/OFF にする	117
シートベルト	
お手入れの諸注意	143
シートベルト プリテンショナー	119
シートベルトの高さを調節する	120
警告灯 / 警告シンボル	119
着用	120
注意	119
シート ベンチレーターを ON/OFF にする	117

シート メモリー	201
シートベルト	
取り外す	120
シール	
お手入れの諸注意	141
シガレット ライター	
ボルト	131
シャーシ モードの設定	222
シャーシ番号	295

す

スキー バッグ	
スキー / スノー ボードの収納	255
スクリーン	
お手入れの諸注意	143
スタティック コーナリング ライト	247
ステアリング コラム ロック	111
ステアリング ホイール	
◇ ボタンの設定	144
調整	125
ステアリングホイール	
ヒーターのON/OFF	125
ステアリングホイールヒーターのON/OFF	125
ステアリング角ディスプレイ	70
ストップウォッチ	128
スノーチェーン	
一般情報	156
スピードリミッター	126
スペア ホイール	192
スポイラー	259, 267
スポーツ エキゾースト システム	77
スポーツ クロノ ストップウォッチ	128
スポーツ クロノ モード スイッチ	75
スポーツ プラス モード	75
スポーツ モード	75
スマート ルート	181
スマートフォン	
Bluetooth® 経由で接続する	289
荷物	292
スモーカーズ パッケージ	131

せ

セーフロック	134
キーによる解除	134
ドア ハンドルのタッチ センサーによる解除	135
セレクトー レバー	171

センター アームレスト	
フロント小物入れ	146
センター コンソール	
フロント小物入れ	146
セントラル ロック	132
キーによる車両のロック	134
キーによる車両のロック解除	134
パーソナル設定の保存と呼び出し	201
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック	135
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック解除	134
車内からの開閉操作とロック	135

そ

ソース [メディア] の選択	244
----------------	-----

た

タイダウン リング	
使用	256
ターニング ライト	248
タイヤ	152
ウインター タイヤ [一般的なインフォメーション]	156
コンフォートまたは標準プレッシャーの選択	154
スノーチェーン [一般的なインフォメーション]	156
タイヤバルブ	156
タイヤの種類とサイズの設定	154
タイヤ空気の充填	154
タイヤ空気圧の点検	152
タイヤ空気圧プレート	295
タイヤ交換 [一般的なインフォメーション]	155
タイヤ表記	155
トレッドの深さ	156
バンク	190
圧力差を表示する	153
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) に登録する	154
全負荷または部分積載の設定	154
保管	157
タイヤ / ホイール サイズ	299
タイヤ シーラントの取り外し	253
タイヤバルブ	
タイヤ	156
タイヤの点検	
空気圧	152
タイヤ空気圧	
インストール クラスターの表示	152
タイヤ空気圧プレート	295
速度警告	153
タイヤ空気圧プレート	295

タイヤ空気圧モニタリング (TPM).....	152
設定.....	153
登録.....	154
表示.....	153
タイヤ空気圧警告灯.....	38
タイヤ空気圧表.....	299
タイヤ充填コンプレッサー.....	253
タコメータ.....	37
タッチディスプレイ	
操作.....	233
表示の変更.....	144
タッチディスプレイ	
お手入れの諸注意.....	143

ち

チェック エンジン (エミッション コントロール).....	38
チャイルドシート	
I サイズ システム付きの取り付け.....	166
ISOFIX チャイルドシートの取り付け.....	166
トップテザー.....	167
取り付け.....	164
助手席エアバッグの ON / OFF.....	164
正しい取り付け位置の徹底.....	162
正しく使用する.....	160
適切な体重およびサイズグループの使用.....	160
チャイルドシート システム	
I サイズ システム付きの取り付け.....	166
ISOFIX チャイルドシートの取り付け.....	166
チャイルド プロテクション	
リヤでの操作を無効にする.....	47, 118
チャイルド ロック.....	135
リヤシート.....	47, 118
チルトインジケータ.....	70

つ

ツアーを計画する (ナビゲーション).....	181
-------------------------	-----

て

ティプトロニック S	
シフトアッププロンプト.....	173
パフォーマンス スタート.....	174
マニュアルシフト モード.....	173
洗車.....	172
惰性走行モード.....	174
テキスト メッセージの表示および編集.....	291
テクニカル データ.....	295
CO ₂ 排出量.....	297
タイヤ / ホイール サイズ.....	299

タイヤ空気圧表.....	299
充填容量.....	297
重量 (メーカー発表値).....	297
燃料消費量.....	297
テザー.....	
ISOFIX テザー付きチャイルドシートの取り付け.....	167
テスト スタンド	
ブレーキ テスト.....	168

と

トップテザー	
トップテザー付きチャイルドシートの取り付け.....	167
トランスミッション	
ティプトロニック S.....	171
パーキング ロックの緊急解除の実施.....	85
洗車.....	172
トリップ メーターの表示とリセット.....	41
トルク	
ホイール ボルトの締め付けトルク.....	158
トレーラー	
レベリング システム.....	60
トレイ (電話).....	292
トレッドの深さ	
タイヤ.....	156

な

ナビ ビュー アシスト.....	177
ON/OFF の切り替え.....	178
カメラの清掃.....	178
ナビゲーション.....	179
GPS 座標の入力.....	179
VICS/ITS スポット交通情報.....	182
インストルメント クラスターのマップビューとナビゲーション情報.....	182
スマート ルート.....	181
ツアーを計画する.....	181
経由地を入力する.....	181
交通渋滞の回避.....	182
地図コンテンツの設定.....	181
地図画面の表示 / 設定.....	182
道路通行料自動徴収システム (ETC).....	182
目的地の入力 / 検索.....	179

は

ハイ ビームヘッドライト	
ダイナミック ハイ ビーム.....	248
ハイビーム.....	249

ハイブリッド車.....	184
走行モード.....	185
ハイブリッド車両	
E ローンチ.....	174
ハイブリッド走行プログラム.....	186
ハザード ライト.....	250

ひ

ヒューズ.....	203
ヒューズ ボックス.....	203
ヒューズの割り当て.....	203
ヒューズの交換.....	203
ヒル コントロール.....	238

ふ

ファブリック ライニング (お手入れ).....	142
ファン設定	
エアコン システム.....	53
フィラー フラップ	
位置の表示.....	38
フルードおよび燃料.....	297
ウォッシュャー液.....	297
エンジン オイル.....	297
燃料.....	297
フロア マット	
お手入れの諸注意.....	142
フロント ウィンドウ	
デフロスター.....	55
フロント ウィンドウ ヒーター	
フロント ウィンドウ デフロスター.....	55
フロント ウィンドウワイパー	
リヤ ウィンドウの清掃.....	214
フロント シート	
調整.....	113
フロント ワイパー.....	212
リヤ ワイパー.....	214
レイン センサー作動の調節.....	213
ワイパー ブレード.....	214
手入れに関する諸注意.....	140
フロントガラス ウォッシュャー システム	
ウォッシュャー液を追加.....	49
充填容量.....	297
不凍剤.....	49

へ

ヘッドアップディスプレイ	
HUD.....	216

ヘッドライト	
バルブの交換	250
マトリックス ビーム	248
海外モード	250
手入れに関する諸注意	141
調整	250
ヘッドライト校正、オートマチック	249
ヘッドライト調整	250

ほ

ホイール	152
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	155
タイヤ表記	155
ホイール ボルト (お手入れ)	158
交換	157
締め付けトルク	158
盗難防止ホイール ボルト (ソケット レンチ)	158
保管	157
ホイール バランス	
ウインター タイヤ (一般的なインフォメーション)	156
スノーチェーン (一般的なインフォメーション)	156
タイヤバルブ	156
ホイール ボルト	158
ホイールのお手入れ	141
ホーム画面	234
ホットスポット	
PCM Wi-Fi ホットスポットの使用	226

ま

マトリックス ビーム	248
マニュアルシフト モード	173
マルチコリジョン ブレーキング	285
マルチファンクション ステアリング ホイール	
◇ ボタンの設定	144
ボタン	39
マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン	39
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン	39
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て変更	144

み

ミュージック	
ラゲッジ コンパートメント内のDVDチェンジャー	236
ミラー	
ドア ミラー ヒーター	55
ドア ミラーの格納および復帰	242
ドア ミラーの使用	242

ドア ミラーの調節	242
パーキング エイドとしてのドア ミラーの使用	243
自動防眩機能	243

め

メッセージ (テキスト / E メール) の表示および編集	291
メディア	
USB を介した外部機器の接続	236
お気に入りの保存 / 編集	245
グローブ ボックスおよびアームレスト内のポート	235
ソースの選択	244
ラゲッジ コンパートメント内のDVDチェンジャー	236
閲覧	244
再生	244
設定方法	245
対応するメディアおよびデータ形式	303
放送局を選局 / 保存	244
メモリー パッケージ	201
メンテナンス作業	
ウォッシャー液を追加	49

も

モード スイッチ	75
----------	----

ら

ライト	
アンビエント ライト	44
インテリア ライト	44
エクステリア ライト	246
エントリー/イグジット機能	247
オートマチック カミング ホーム ライト	247
オートマチック ヘッドライト	246
オートマチック ヘッドライト校正	249
ジャンクション ライト	248
ターン ライト	247
ダイナミック ハイ ビーム	248
ターニング ライト	248
ハイ ビーム ヘッドライト	249
ハザード ライト	250
バッシング ライト	248
バルブの交換	250
ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)	247
ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)	248
マトリックス ビーム	248
リヤ フォグ ライト	246
ロー ビーム	246
悪天候のライト	247
雨天時の機能	247

海外モード	250
検知ライト	248
高速道路走行時の作動	247
車幅灯	246
手入れに関する諸注意	141
状況に応じたライト配光	247
状況ライト配光	248
遅延消灯の設定	247
標識の眩しさの軽減	248
方向指示灯	249
無効化	247
霧機能	247
ラゲッジ コンパートメント	251
開操作	260
ラゲッジ コンパートメント カバー	253
ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット	257
ラゲッジ コンパートメント内のDVDチェンジャー	236
ラジオ	244
お気に入りの保存 / 編集	245
周波数帯の設定	244
放送局を選局 / 保存	244

り

リパース カメラ	194
リフティング プラットフォーム	121
車両のリフトアップ	121
リモート コントロール	79
ドアのロックを解除する	134
車両のロック	134
リヤ ウィンドウ	
ヒーターの ON/OFF を切り替える	55
清掃	214
リヤ クロス トラフィック アラート (RCTA)	198
リヤ シェード	253
取り外し	254
リヤ シェルフ	253
取り外し	254
リヤ シート	
チャイルド ロック	47, 118
リヤ スポイラー	259
リヤ ターン アシスト	276
リヤ フォグ ライト	
ON/OFF の切り替え	246
配光の適応	247
リヤ リッド	
開操作	260
開放高さ調整	261

リヤワイパー	
リバース機能	214

る

ルーフ システム	264
サンシェードの清掃	265
ルーフドライブの故障	265
開閉操作	264
停止位置の保存	265
ルーフ システムの終端位置の保存	265
ルーフ スポイラー	267
オート モード	267
マニュアル モード	267
ルーフ トランスポート システム	
アクセサリーの取り付け	272
キャリアの取り付け	268
キャリアの取り付け (Cayenne Coupé)	270
ルーフに載せて荷物を運ぶ	268

れ

レーダー センサー	
アダプティブクルーズコントロール	30
レーン キープ アシスト	273
ON/OFF の切り替え	275
レーン チェンジ アシスト	
ON/OFF の切り替え	276
リヤ ターン アシスト	276
運転状況	278
画面の明るさの設定	278
作動原理	277
レイン センサー	213

ろ

ロー ビーム	246
ロータリー プッシュ ボタンで	
ロータリー プッシュ ボタンで	233
ロータリー プッシュ ボタンの操作	233
ロールアップ式ブラインド	47
ローンチ コントロール	174
ロック	
キーによる車両のロック	134
セーフロック	134
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック	135
車内からの車両のロック	135
車両の緊急ロック	136
ロック オプション	
設定	144

ロック解除	
キーによる車両のロック解除	134
ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロック解除	134
リヤ リッドのロック解除および開操作	260
車内からの車両のロック解除	134
車両の緊急ロック解除	136

わ

ワイパー ブレード	
交換	214
ワイヤレス インターネット アクセス	226

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名

